

「アクションプログラム 2015」

実施結果

平成 28 年 8 月

川 崎 市

目 次

第1章 「アクションプログラム 2015」の取組

- 1 「アクションプログラム 2015」について 2
- 2 アクションプログラムの基本戦略と重点課題 2
- 3 アクションプログラムの進行管理 4

第2章 事務事業・重点課題の取組結果

- 1 事務事業の達成状況 8
- 2 重点課題の達成状況 9

附属資料 「アクションプログラム 2015」重点課題進行管理シート

- 1 重点課題進行管理シートについて 12
- 2 重点課題進行管理シート<全体版> 15
- 3 重点課題進行管理シート 掲載ページ索引 116

参考資料 帳票

- 1 **様式 1** 事務事業進行管理シート 123
- 2 **様式 2** 事務事業進行管理シート（重点課題用） 124
- 3 **様式 3** 事務事業進行管理シート（その他の事務事業用） 125
- 4 **様式 4** 「アクションプログラム 2015」に基づく重点課題
進行管理シート 126

第 1 章

「アクションプログラム 2015」の取組

第1章 「アクションプログラム 2015」の取組

1 「アクションプログラム 2015」について

川崎市がめざす方向について、平成26年度から総合的なビジョンと目標を示す川崎市総合計画及び行財政改革プログラムの策定に向けた作業をスタートし、平成28年3月に策定いたしました。

そのため、川崎市総合計画及び行財政改革プログラムを策定するまでの間は、施政方針、予算及び「行財政運営に関する改革プログラム」をもって、市政運営の基本的な方針とし、平成27年度は、これを「アクションプログラム 2015」（以下「アクションプログラム」という。）として平成27年4月に策定しました。

川崎市総合計画等をスタートさせるまでの2年間は、このアクションプログラムに基づいて、優先度の高い課題の解決に取り組むとともに、事務事業の見直しや施策・事業の重点化を図るなど、メリハリのある行財政運営を進めてきました（図表1-1参照）。

〔図表1-1〕 アクションプログラムの推進イメージ



2 アクションプログラムの基本戦略と重点課題

アクションプログラムでは、子どもたちの笑顔があふれるまちづくりを進めるなどの「安心のふるさとづくり」やライフイノベーションなど成長産業への投資をはじめとした「力強い産業都市づくり」、行財政改革の取組の一層の推進などの基本的な認識に基づく取組として、5つの基本戦略を掲げ、施政方針及び予算に主要な取組内容を盛り込みました。

また、基本戦略を推進するための重点的な取組として、平成27年度予算において特に重点的に取り組む事業とされているものや、それ以外で市の優先的な課題に対する取組で事業の進捗状況を重点的に把握していく必要性が高いものを「重点課題」として位置付けました（図表1-2参照）。

〔図表 1-2〕 5つの基本戦略と重点課題の構成イメージ



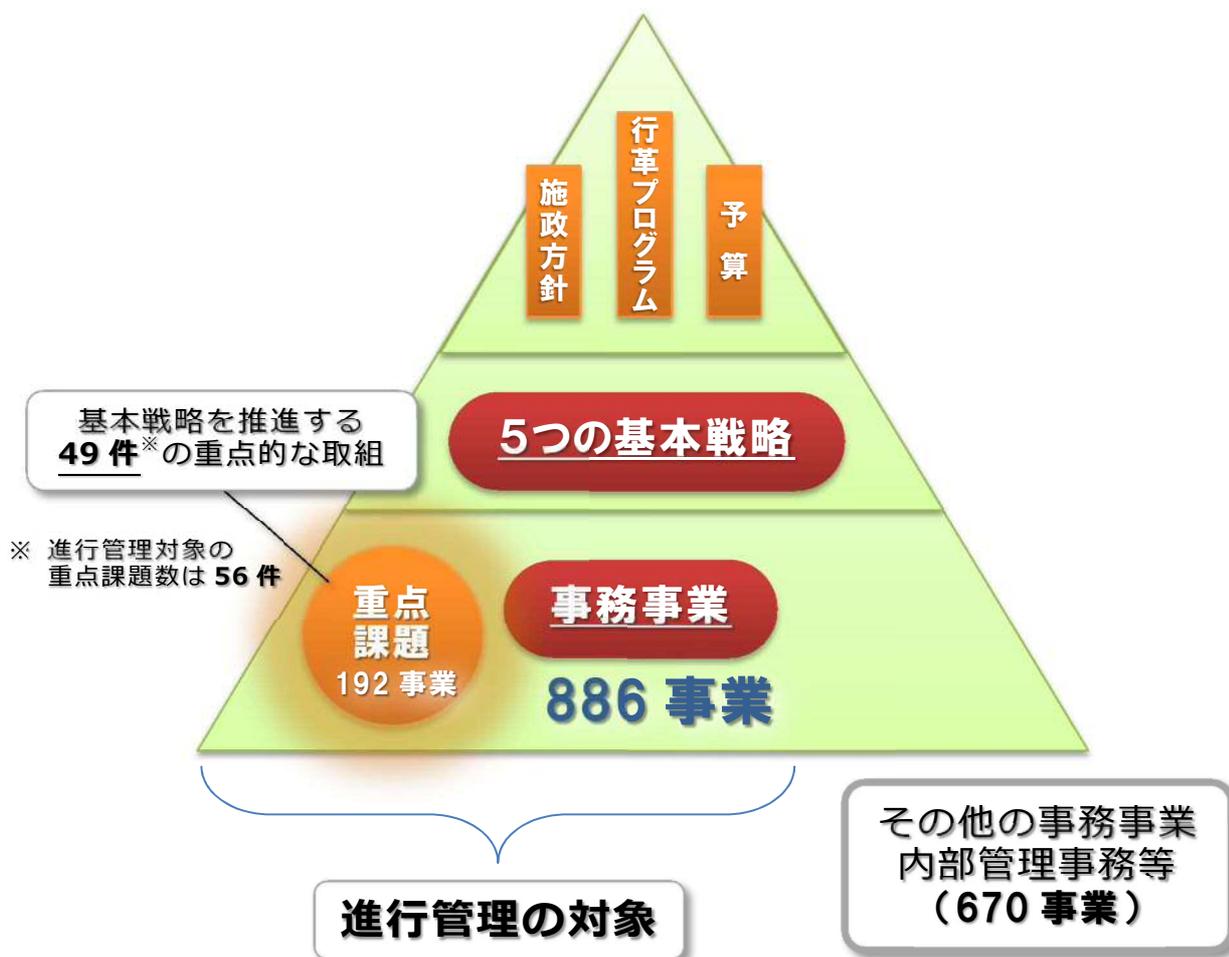
3 アクションプログラムの進行管理

アクションプログラムの進行管理については、5つの基本戦略に基づく事務事業を中心に、概ね1年ごとに事務事業単位の目標の達成状況や基礎情報等の把握を行います。また、重点課題として位置付けた49件の取組については、アクションプログラムを推進する中心的なものであり、より詳細に進捗状況や目標に対する達成状況を把握する必要があることから、事務事業単位に加えて、各重点課題の目標の達成状況等を半年ごとに把握することで、着実な進行管理を行いました（図表1-3、1-4参照）。

また、事務事業や重点課題は、4種類の帳票（管理シート）を評価のツールとして用い、進行管理を行いました（図表1-5参照）。

進行管理の実施結果については、予算編成、組織整備・職員配置計画策定作業や総合計画に位置付けられている事務事業の進行管理に活用するとともに、市民等にわかりやすく公表します。

〔図表1-3〕 事務事業・重点課題の関係



〔図表 1 - 4〕 事務事業や重点課題の進行管理の方法

【事務事業の進行管理】

種別	把握する事項の例	実施周期	実施目的
5つの基本戦略に基づく事務事業 【886事業】 様式1	・目標 ・達成状況、成果 ・課題等 ・基礎情報 (事務事業名称、概要、予決算額、人工等)	1年ごと	<ul style="list-style-type: none"> ・予算編成、組織整備・職員配置計画策定作業等への活用 ・新たな総合計画に向けた政策体系等の再構築
重点課題に位置付けられた事業 【192事業】 様式2	・目標 ・達成状況、成果 ・課題等 ・基礎情報	半年ごと	
その他の事務事業 (内部管理事務等) 【670事業】 様式3	・基礎情報 (目標設定・実績把握による進行管理は行わない。)	1年ごと	新たな総合計画に向け、必要に応じた事務事業の見直し、再構築

【重点課題の進行管理】

種別	把握する事項の例	実施周期	実施目的
重点課題 【56課題】 様式4	・目標 ・指標 ・達成状況、成果 ・課題等	半年ごと	重点課題については、次の目的で重点的な進行管理(半年単位での実績把握)を行う。 <ul style="list-style-type: none"> ・次年度以降の取組への着実な反映 ・取組の着実な推進 ・議会及び市民への適切な説明

〔図表 1 - 5〕 進行管理様式一覧

様式1	事務事業進行管理シート 「アクションプログラム2015」の5つの基本戦略に基づく事務事業のうち、重点課題に位置付けられた事務事業を除いたものが対象
様式2	事務事業進行管理シート(重点課題用) 「アクションプログラム2015」に基づく重点課題に位置付けられた事務事業が対象
様式3	事務事業管理シート 内部管理事務等が対象
様式4	「アクションプログラム2015」に基づく重点課題進行管理シート 「アクションプログラム2015」に基づく重点課題及びそれに位置付けられた事務事業が対象

※ 様式類については、巻末に掲載

第 2 章

事務事業・重点課題の取組結果

第2章 事務事業・重点課題の取組結果

1 事務事業の達成状況

「アクションプログラム2015」の5つの基本戦略に基づく886の事務事業のうち、「目標を上回った」事務事業は8件（0.9%）、「目標をほぼ達成した」事務事業は850件（95.9%）あり、全体としては概ね順調に進捗しました。

一方で、昨年同様、入札不調により整備が遅れたものなど、「目標を下回った」事務事業が28件（3.2%）ありました。

＜事務事業の達成状況区分＞ ※（ ）は昨年度実績

達成状況 区分	各区分に該当するケース	事務事業数		構成比	
			重点課題 対象事業		重点課題 対象事業
1 目標を大きく上回った	<ul style="list-style-type: none"> ●目標に明記した期日よりも相当早く達成し、そのことによりコスト面や市民サービスに大きく貢献した。 ●目標に明記した内容よりも相当高い水準であった。 ●目標に明記した数値を大きく上回った。 	0 (0)	0 (0)	—	—
2 目標を上回った	<ul style="list-style-type: none"> ●目標に明記した期日よりも早めに達成し、そのことによりコスト面や市民サービスに貢献した。 ●目標に明記した期日どおり達成し、明記した内容よりも高い水準であった。 ●目標に明記した数値を上回った。 	8 (10)	6 (4)	0.9% (1.1%)	3.1% (2.1%)
3 目標をほぼ達成した	<ul style="list-style-type: none"> ●目標に明記した期日、内容どおりに達成した。 ●途中で多少の遅れはあったものの、最終期限には間に合う形で、目標に明記した内容どおりに達成した。 ●目標に明記した数値とほぼ同じであった。 ●おおむね適正に処理し業務遂行に支障がなかった。 	850 (882)	176 (174)	95.9% (96.8%)	91.7% (93.1%)
4 目標を下回った	<ul style="list-style-type: none"> ●目標に明記した内容は達成したが、期日が遅れた。 ●目標に明記した期日どおりであったが、明記した内容に満たない水準であった。 ●目標に明記した数値を下回った。 ●所定の期日に間に合わないなど、業務を適正に処理できなかった。 	28 (19)	10 (9)	3.2% (2.1%)	5.2% (4.8%)
5 目標を大きく下回った	<ul style="list-style-type: none"> ●目標に明記した期日よりも遅れ、明記した内容に満たない水準であった。 ●目標に明記した数値を大きく下回った。 	0 (0)	0 (0)	—	—
合 計		886 (911)	192 (187)	100%	100%

2 重点課題の達成状況

(1) 全体結果

「アクションプログラム2015」に基づく56の重点課題のうち、「目標を上回る成果があった」重点課題は2件（3.6%）、「目標どおりの成果があった」重点課題は53件（94.6%）あり、全体としては概ね順調に進捗しました。

一方で、入札中止により整備が遅れたため、「目標を下回る成果があった」重点課題が1件（1.8%）ありました。

<重点課題の実施結果区分>

実施結果区分	基本戦略別の内訳					合計	構成比
	基本戦略1 生命を守り生き生きと暮らすことができるまちづくり	基本戦略2 子どもを安心して育てることのできるふるさとづくり	基本戦略3 市民生活を豊かにする都市基盤と環境づくり	基本戦略4 活力と魅力あふれる力強い都市づくり	基本戦略5 誰もが生きがいを持てる市民自治の地域づくり		
目標を上回る成果があった	0 (0)	0 (1)	0 (0)	2 (1)	0 (0)	2 (2)	3.6% (3.9%)
目標どおりの成果があった	12 (9)	10 (6)	20 (19)	7 (8)	4 (3)	53 (45)	94.6% (88.2%)
目標を下回る成果があった	0 (3)	0 (1)	0 (0)	1 (0)	0 (0)	1 (4)	1.8% (7.9%)
ほとんど成果なし	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	— (—)
合計	12 (12)	10 (8)	20 (19)	10 (9)	4 (3)	56 (51)	100%

※ 重点課題の件数は49件ですが、基本戦略3の「魅力ある都市拠点の整備」が拠点ごとに8件に分かれるため、全体の重点課題数は56件となっています。

※ 重点課題の実施結果区分については、16ページ以降に掲載している「『アクションプログラム2015』に基づく重点課題進行管理シート」における「④重点課題の総合的な実施結果区分」の結果を集計したものです。

(2) 実施結果区分が「目標を上回る成果があった」重点課題（2件）

	重点課題名	事務事業	実施結果区分についての説明（抜粋）	頁
1	東京オリンピック・パラリンピックに向けた取組	・東京オリンピック・パラリンピック開催に向けた準備(※)	・ <u>英国オリンピック委員会と事前キャンプ受け入れに係る覚書を締結し、事前キャンプの受け入れを軸としたホストタウン構想に本市が第1次登録されました。</u> このことは、本市としての大会運営への協力の道筋をつけるものであるとともに、「ひとづくり」「スポーツ振興・健康づくり」等「 <u>かわさきパラムーブメント推進ビジョン</u> 」で掲げる5つの方向性を今後さらに具体化していく上でも、大きな意義を持つと考えます。	101
2	ものづくり産業の支援	・海外販路開拓事業(※) ・先端産業等立地促進事業 ・ものづくり中小企業販路開拓支援事業 ・かわさきブランド推進事業(※) ・内陸部操業環境保全対策事業 ・産業デザイン振興育成事業 ・ものづくり医療イノベーション推進事業	・海外販路開拓事業については、市内企業の <u>海外展示会・商談会への参加機会を全10回に拡大し、それにより215件のマッチングを達成</u> するとともに、タイ・バンコク近郊において <u>市内企業の生産拠点設立支援を開始し、目標を上回りました。</u> ・ <u>かわさきブランド推進事業については、10件の認定を行い、目標を上回りました。</u>	102

(※)は、総合的な評価の中で、実施結果区分の判定に寄与した事務事業

(3) 実施結果区分が「目標を下回る成果があった」重点課題（1件）

	重点課題名	事務事業	実施結果区分についての説明（抜粋）	頁
1	新川崎・創造のもり地区での新たな施設整備	・新川崎・創造のもり第3期計画推進事業(※)	・ <u>新たな産学交流・研究開発施設整備事業者の選定業務</u> については、入札参加予定者の辞退により、 <u>入札を中止したため、当初予定していた選定スケジュールが変更となりました。</u> 再入札の可否等について、検討・調整を行った結果、2016年3月29日付けで整備事業者の公募を行い、選定及び契約締結については次年度に実施することとなったため、今後も引き続き、早期の供用開始に向けて調整を進めていく必要があります。	108

(※)は、総合的な評価の中で、実施結果区分の判定に影響を与えた事務事業

附 属 資 料

「アクションプログラム 2015」

重点課題進行管理シート

附属資料 「アクションプログラム 2015」重点課題進行管理シート

1 重点課題進行管理シートについて

「重点課題進行管理シート」は、評価のツールとして活用しているもので、56の重点課題ごとに課題の目標に対して、どれだけの成果が得られたのか等について、重点課題所管課が作成し、配下の事務事業の所管課と調整の上取りまとめたものです。評価票の帳票イメージと記載内容の見方は次のとおりとなります。

①重点課題の内容等

帳票を作成した所管局課名を（2016年3月末時点）を記載しています。以後の組織整備により、直近の所管局と異なっている場合があります。

基本戦略	4 活力と魅力あふれる力強い都市づくり	重点課題名	中小企業の成長促進
作成課	経済労働局産業振興部工業振興課	関係課	経済労働局次世代産業推進室、
重点課題の内容	<p>「アクションプログラム 2015」に位置付けられた施政方針の分野別の重点施策を踏まえた重点的に解決すべき課題の内容を記載しています。</p> <p>、地域産業を支える重要な役割を担っていますが、経済の国際環境は大きく変化しています。製品や技術等の高付加価値化、生産性の向上、知的財産の活用・輸出の取組に対する支援や、新たな成長産業の振興・育成を</p>		
重点課題の解決に向けた目標	<p>「重点課題の内容」で記載された課題の解決を図ることによって、目指すべき方向や状態、あるべき姿を記載しています。</p> <p>高い産業構造への転換を図ることで中小企業の成長を促進しま</p>		

評価の対象となる重点課題名を記載しています。

②重点課題に位置付けられた事務事業の目標・実績等

事務事業名・予算額	前半		1年間	
	取組内容・目標	実績等（目標との差異や次期への方向性等）	取組内容・目標	実績等（目標との差異や次期への方向性等）
知的財産戦略の推進 予算 8,400 千円 決算見込 8,428 千円	<ul style="list-style-type: none"> 知的財産シンポジウムの開催（1回） 知的財産交流会の開催（1回） 知的財産マッチング支援及び事業化に向けたフォロー（コーディネータ派遣）（100回） 大企業と中小企業のマッチング成立件数（1件） 知的財産スクールの開催（1回） 	大企業と中小企業のマッチング成立件数（未予約）を含め、目標どおり達成できました。	<ul style="list-style-type: none"> 知的財産シンポジウムの開催（1回） 知的財産交流会の開催（4回） 知的財産マッチング支援及び事業化に向けたフォロー（コーディネータ派遣）（210回） 大企業と中小企業のマッチング成立件数（3件） 知的財産スクールの開催（6回） 	<ul style="list-style-type: none"> 知的財産シンポジウムの開催（1回） 知的財産交流会の開催（14回） コーディネータ派遣回数 224回 マッチング成立件数 1件 知的財産スクールの開催 6
ものづくり中小企業経営革新支援事業 予算 12,465 千円 決算見込 10,160 千円	<ul style="list-style-type: none"> 補助金の公募を実施 川崎市産業振興支援事業評価委員会及び審査会の開催 補助金の交付決定事務 	目標どおり達成できました。	<ul style="list-style-type: none"> 補助金の公募を実施 川崎市産業振興支援事業評価委員会及び審査会の開催 補助金の交付決定事務 補助金の交付企業に対する中間検査の実施 実績報告に基づく補助金額の確定及び支払 次年度の補助金制度の募集説明会・個別相談会の開催 過去の交付企業へのフォローアップ（訪問・アンケート） 	目標どおり達成できました。
起業化総合支援事業 予算 6,687 千円 決算見込 6,556 千円	<ul style="list-style-type: none"> 創業フォーラムの開催（年2回のうち1回） かわさき起業家オーディションの開催（年6回のうち2回まで） 創業支援担当者会議の開催（年2回のうち1回） 	目標どおり達成できました。	<ul style="list-style-type: none"> 創業フォーラムの開催（年2回） 起業家塾の開催（年6回） かわさき起業家オーディションの開催（年6回） 創業支援担当者会議の開催（年2回） 	当該事務事業に対する評価結果として選択した区分を記載しています（評価区分の内容については、次々ページ参照）。
ウェルフェアインベーション推進事業 予算 51,992 千円 決算見込 46,240 千円	<ul style="list-style-type: none"> ウェルフェアインベーション推進会議の開催 福祉製品開発等のプロジェクト創出 コーディネーターを活用したプロジェクトの推進 プロジェクトに対する試作化委託の実施 海外展開プロジェクトの創出 	目標どおり達成できました。	<ul style="list-style-type: none"> ウェルフェアインベーション推進会議の開催 ウェルフェアインベーションフォーラムの開催 福祉製品開発等のプロジェクト創出 コーディネーターを活用したプロジェクトの推進 中国福祉関係者との交流、現地視察 	目標どおり達成できました。

重点課題の解決状況を測るのに適した指標の設定を行い、可能な限りアウトカム指標（施策・事業の実施により発生する効果・成果を表す指標）として設定しています。

③重点課題の解決状況に関する指標

指標	前半		区分	1年間		区分
	計画・目標値	実績値 (計画・目標値との差異)		計画・目標値	実績値 (計画・目標値との差異)	
指標①	●補助金の申請企業数 (新技術・新製品開発等支援事業、産学共同研究開発プロジェクト助成事業) ※補助金の申請企業数の補助制度の実施を受けるため、数値に不適当、前半に実績値目標を設定していません。	●補助金の交付企業数 (新技術・新製品開発等支援事業、産学共同研究開発プロジェクト助成事業) ※補助金の申請企業数の補助制度の実施を受けるため、数値に不適当、実績値	3	●補助金の交付企業数 (新技術・新製品開発等支援事業、産学共同研究開発プロジェクト助成事業) ※補助金の申請企業数の補助制度の実施を受けるため、数値に不適当、実績値	申請企業14社、採択企業8社、交付企業8社	3
指標②	●ウェルフェアイノベーションフォーラムでのプロジェクト創出・推進件数(10件)	●ウェルフェアイノベーションフォーラムでのプロジェクト創出・推進件数(15件)	3	●ウェルフェアイノベーションフォーラムでのプロジェクト創出・推進件数(20件) ●ウェルフェアイノベーションフォーラム(分科会・マッチング会等を含む)開催回数(2回)	●ウェルフェアイノベーションフォーラムでのプロジェクト20件を創出・推進 ●ウェルフェアイノベーションフォーラム(分科会・マッチング会等を含む)を2回開催	3
指標③	●創業フォーラムの開催(年6回のうち2回まで) ●知的財産交流会等の開催回数(2回)	●創業フォーラムの開催(年6回のうち2回まで) ●知的財産交流会等の開催回数(2回)	1 3	●創業フォーラムの開催(年2回) ●かわさき起業家オーディションの開催(年6回) ●知的財産交流会等の開催回数(4回)	●創業フォーラムの開催 2回 ●かわさき起業家オーディションの開催 6回 ●知的財産シンポジウムの開催 1回 ●知的財産交流会の開催 14回 ●コーディネータ派遣回数 224回 ●マッチング成立件数 1件 ●知的財産スクールの開催 6回	3

指標の上半期の目標と
その実績を記載しています。

指標の1年間の目標と
その実績を記載しています。

重点課題の指標に対する
評価結果として選択した
区分を記載しています(評価
区分の内容については、
次ページ参照)。

重点課題に位置付けられた事務事業の
総合的な実施結果について、4区分の
評価を行った結果を選択し、右にその
説明を記載しています。

④重点課題の総合的な実施結果区分について

重点課題の総合的な実施結果区分	実施結果区分についての説明
目標を上回る成果があった	●指標として掲載した新技術・新製品開発等支援事業、産学共同研究開発プロジェクト助成事業の取組は、申請企業14社、採択企業8社及び交付企業8社などの利用実績があったことから、一定の成果があったと考えます。
目標どおりの成果があった	●起業化総合支援事業の取組は、計画どおりに事業が進捗したことから、目標どおりの成果がありました。
目標を下回る成果があった	●ウェルフェアイノベーション推進事業の取組は、計画どおりに事業が進捗したことから、目標どおりの成果がありました。
ほとんど成果なし	●知的財産戦略推進の取組は計画どおりに進捗し、また、知的財産交流会は目標を上回る開催実績がありました。

⑤課題の状況について

年度当初と比べた現時点での課題の状況区分	課題の状況区分についての説明
課題は増大している	●引き続き、市内中小企業の製品や技術等の高付加価値化、知的財産の活用促進を図るとともに、新たな成長産業の振興・育成に向けて、2016年度も取組を継続していくことが必要です。
課題は同水準で存在する	●引き続き、市内中小企業の製品や技術等の高付加価値化、知的財産の活用促進を図るとともに、新たな成長産業の振興・育成に向けて、2016年度も取組を継続していくことが必要です。
課題は縮小・解消している	●引き続き、市内中小企業の製品や技術等の高付加価値化、知的財産の活用促進を図るとともに、新たな成長産業の振興・育成に向けて、2016年度も取組を継続していくことが必要です。

年度当初と比べた現時点での課題の
状況について、3区分で判断した
結果を選択し、右にその説明を
記載しています。

⑥次年度における事務事業の見直し結果

次年度における事務事業の見直し結果区分の説明	●新技術・新製品開発等支援事業、産学共同研究開発プロジェクト助成事業については、市内中小企業が他社との差別化を図るためには、新製品や新技術開発による新事業・新分野への進出が必要不可欠であることから、引き続き事業を継続していきます。 ●起業化総合支援事業については、創業支援機関との連携のもと引き続き創業支援に取り組むとともに、起業希望者にとってモデルケースとなる成長企業の創出加速に向けた取組として、新たに専門家等を活用した個別・集中のベンチャー企業等への支援を実施します。 ●ウェルフェアイノベーション推進事業については、事業の必要性が高まっていること、プロジェクトの創出・推進が順調に進んでいることから、次年度は一層の充実を図っていきます。 ●知的財産戦略の推進については、知的財産交流会が「川崎のモデル」の知財活用支援として国や他の自治体から注目され、大企業、中小企業とのネットワークが全国に広がり、マッチング機会が拡大していることから、引き続き積極的に推進していきます。
------------------------	--

<「事務事業」及び「重点課題の解決状況に関連する指標」の達成状況区分>

数字	達成状況の区分	該 当 例
1	目標を大きく上回った	<ul style="list-style-type: none"> ・目標に明記した期日よりも相当早く達成し、そのことによりコスト面や市民サービスに大きく貢献した。 ・目標に明記した内容よりも相当高い水準であった。 ・目標に明記した数値を大きく上回った。
2	目標を上回った	<ul style="list-style-type: none"> ・目標に明記した期日よりも早めに達成し、そのことによりコスト面や市民サービスに貢献した。 ・目標に明記した期日どおり達成し、明記した内容よりも高い水準であった。 ・目標に明記した数値を上回った。
3	目標をほぼ達成した	<ul style="list-style-type: none"> ・目標に明記した期日、内容どおりに達成した。 ・途中で多少の遅れはあったものの、最終期限には間に合う形で、目標に明記した内容どおりに達成した。 ・目標に明記した数値とほぼ同じであった。 ・おおむね適正に処理し業務遂行に支障がなかった。
4	目標を下回った	<ul style="list-style-type: none"> ・目標に明記した内容は達成したが、期日が遅れた。 ・目標に明記した期日どおりであったが、明記した内容に満たない水準であった。 ・目標に明記した数値を下回った。 ・所定の期日に間に合わないなど、業務を適正に処理できなかった。
5	目標を大きく下回った	<ul style="list-style-type: none"> ・目標に明記した期日よりも遅れ、明記した内容に満たない水準であった。 ・目標に明記した数値を大きく下回った。
	空白	<ul style="list-style-type: none"> ・指標設定を行っていない場合

<重点課題に位置付けられた事務事業の総括的な実施結果区分>

実施結果区分	該 当 例
目標を上回る成果があった	<ul style="list-style-type: none"> ・重点課題を構成する事務事業の多く（事業数や事業の寄与度を考慮）が目標・指標に明記した水準を上回った。
目標どおりの成果があった	<ul style="list-style-type: none"> ・重点課題を構成する事務事業の多く（事業数や事業の寄与度を考慮）が目標・指標に明記した水準を概ね達成した。
目標を下回る成果があった	<ul style="list-style-type: none"> ・重点課題を構成する事務事業の多く（事業数や事業の寄与度を考慮）が目標に明記した水準を下回った。
ほとんど成果なし	<ul style="list-style-type: none"> ・重点課題を構成する事務事業の多く（事業数や事業の寄与度を考慮）が目標に明記した水準を大きく下回った。

<年度当初と比べた現時点での課題の状況区分>

状況区分	該 当 例
課題は増大している	<ul style="list-style-type: none"> ・解決すべき課題に関する社会状況が変化し（課題が深刻になり）、次年度以降目標を高く設定する必要がある。
課題は同水準で存在する	<ul style="list-style-type: none"> ・解決すべき課題に関する社会状況は変わらず、次年度以降も引き続き同様の目標により取り組む必要がある。
課題は縮小・解消している	<ul style="list-style-type: none"> ・解決すべき課題に関する社会状況が変化し（課題が改善し）、次年度以降は取組の転換等を検討する必要がある。

2 重点課題進行管理シート＜全体版＞

「アクションプログラム2015」に基づく56の重点課題進行管理シートを、次のページから掲載しています。

「アクションプログラム2015」に基づく重点課題進行管理シート

①重点課題の内容等

基本戦略	1 生命を守り生き生きと暮らすことができるまちづくり	重点課題名	防災機能の強化
作成課	総務局危機管理室	関係課	各局室区
重点課題の内容	<ul style="list-style-type: none"> ●いつ発生するかわからない災害や危機事象に対する初動体制の重要性から、災害対策本部及び区本部の初動体制の強化と対応力の強化に向けた取組を推進します。 ●災害及び危機事象の発生時には、正確な情報や市全体の被災状況等を迅速に収集・分析し、災害及び危機事象の対応に関する意思決定を行い、市民や関係機関等へ迅速かつ確に情報を伝達する必要があることから、各種情報通信システムについて、再整備や機能強化等に向けた取組を推進します。 ●臨海部の石油コンビナート地域では多くの危険物等が取り扱われており、また、津波浸水被害も想定されていることから、主要地方道東京大師横浜から南側の臨海部に特化した総合的な防災対策を推進し、コンビナート災害、津波浸水被害等に備えた取組を推進します。 ●災害時に速やかに必要な物資を交付できるよう、市立小中学校など全ての避難所への備蓄倉庫の整備に向けた取組と備蓄計画に基づいた備蓄物資の購入、配置を着実に進めます。 ●市内主要駅周辺において約3万5千人の帰宅困難者の発生が想定されていることから、一時滞在施設や帰宅支援ステーション等の拡充と災害時の混乱抑制等に向けた取組を推進します。 ●災害対策基本法等の改定や国土強靱化基本法の制定を踏まえ、本市関係計画の修正や策定などを通じ、防災力の強化に向けた取組を推進します。 		
重点課題の解決に向けた目標	<ul style="list-style-type: none"> ●本部事務局員や区初動対応職員に対する研修や訓練の実施により、参集時における対応力の強化を図るとともに、体制やマニュアル等の検証と見直しを行います。 ●防災関連の情報通信システムについては、多重系無線及び衛星系無線並びに関連設備の再整備に向けた実施設計の完成、同報系防災行政無線戸別受信機のデジタル化更新の着手、総合防災情報システムへの被災者台帳機能の追加、総合防災情報システムにおける災害現場の画像共有機能の運用開始に向けた準備等を行います。 ●臨海部津波避難対策については、津波避難施設の指定拡充、津波情報看板の整備、津波避難訓練などを行うとともに、国、県、関係事業者との連携した取組のもと、事業者の防災対策の促進や情報発信・連絡体制の推進を図ります。 ●備蓄倉庫については、2015年度に69か所の整備を行います。 ●帰宅困難者対策として、各地区での事業所等との連携体制の強化や一時滞在施設の拡充を進めます。 ●地域防災計画の修正や国土強靱化地域計画の策定を行うとともに、業務継続計画震災対策編に基づいた訓練を実施します。 		

②重点課題に位置付けられた事務事業の目標・実績等

事務事業名・予算額	前半			1年間		
	取組内容・目標	実績等（目標との差異や次期への方向性等）	区分	取組内容・目標	実績等（目標との差異や次期への方向性等）	区分
帰宅困難者対策推進事業 予算 19,775 千円 決算見込 16,237 千円	<ul style="list-style-type: none"> ●帰宅困難者用一時滞在施設の確保 ●帰宅困難者用備蓄倉庫の整備に係る調整 ●川崎駅周辺帰宅困難者等対策協議会の開催 	目標どおり達成できました。（一時滞在施設を新たに1施設確保しました。）	3	<ul style="list-style-type: none"> ●帰宅困難者用一時滞在施設の確保 ●帰宅困難者対策用無線機、備蓄品の配備 ●帰宅困難者用備蓄倉庫の整備 ●帰宅困難者用啓発資料の作成・配布 ●川崎駅周辺帰宅困難者等対策協議会の開催 	目標どおり達成できました。（一時滞在施設を新たに3施設確保しました。また、川崎駅周辺帰宅困難者用備蓄倉庫を1か所整備しました。）	3
防災施設整備事業 予算 1,768,250 千円 決算見込 1,479,132 千円	<ul style="list-style-type: none"> ●効率的な被災者支援に向けた、総合防災情報システムの被災者台帳作成機能の追加に着手 ●多重系無線及び衛星系無線並びに関連設備の再整備に向けた実施設計に着手 ●同報系防災行政無線の戸別受信機の更新（デジタル化）の着手 ●備蓄倉庫69か所の設計 	目標どおり達成できました。	3	<ul style="list-style-type: none"> ●効率的な被災者支援に向けた、総合防災情報システムの被災者台帳作成機能の運用開始 ●多重系無線及び衛星系無線並びに関連設備の再整備に向けた実施設計の完了 ●同報系防災行政無線の戸別受信機の更新（1年目）の完了 ●総合防災情報システムにおける災害現場の画像共有機能の検証、運用開始の準備 ●避難所機能強化に向けたマンホールトイレ（9か所）の整備 ●備蓄倉庫69か所の整備 	目標どおり達成できました。	3
臨海部・津波防災対策事業 予算 6,500 千円 決算見込 4,048 千円	<ul style="list-style-type: none"> ●川崎臨海部防災協議会の開催 ●津波避難施設の指定拡充 ●標識設置に向けた調整 ●津波耐性に係るモデル調査の実施 	目標どおり達成できました。	3	<ul style="list-style-type: none"> ●川崎臨海部防災協議会の開催 ●臨海部広域防災訓練の実施 ●津波避難施設の指定拡充 ●津波避難訓練の実施 ●津波避難施設標識の設置 ●津波浸水想定を踏まえた津波対策の検討 ●臨海部防災パンフレットの作成 	目標どおり達成できました。（津波避難施設を新たに4施設確保しました。）	3

危機管理対策事業	<ul style="list-style-type: none"> ●宿日直体制の継続や必要なマニュアルの見直し ●国民保護計画に基づく訓練計画の検討 ●J-ALERTと同報系防災行政無線とのシステム連携による自動放送の継続 ●国民保護事象に関する緊急情報の、メールニュースかわさき等による自動配信の継続 ●原発事故による放射線安全対策に要した経費の賠償請求等に向けた取組の推進 	目標どおり達成できました。	<ul style="list-style-type: none"> ●宿日直体制の継続等、宿日直体制の強化に向けた取組の推進 ●本市国民保護計画に基づいた訓練を実施し、マニュアル等の必要な見直しの検討 ●J-ALERTと同報系防災行政無線とのシステム連携による自動放送の継続 ●国民保護事象に関する緊急情報の、メールニュースかわさき等による自動配信の継続 ●新型インフルエンザ等発生時に備えた対策物資の計画的な購入・配備 ●原発事故による放射線安全対策に要した経費の賠償請求等に向けた取組の推進 	目標どおり達成できました。
予算	135,409 千円			
決算見込	114,993 千円			
防災対策管理運営事業	<ul style="list-style-type: none"> ●業務継続計画震災対策編の訓練の計画 ●地域防災計画の修正に向けた情報収集及び検討 ●国土強靱化地域計画策定に向けた脆弱性評価等の実施 ●地震防災戦略の達成度評価と次期戦略の策定に向けた調整 	目標どおり達成できました。	<ul style="list-style-type: none"> ●業務継続計画震災対策編の訓練の実施 ●地域防災計画の策定 ●国土強靱化地域計画の策定 ●地震防災戦略の策定 	目標どおり達成できました。
予算	67,197 千円			
決算見込	101,303 千円			
地域防災推進事業	<ul style="list-style-type: none"> ●職員が地域に出向いて行う「ほうさい出前講座」の実施による市民の防災意識の向上 ●防災協力事業所の地域での認知度の向上と企業の防災意識向上に繋がる取組の実施 ●防災ネットワーク連絡会議、避難所運営会議の開催支援 ●自主防災組織の育成 ●災害時要援護者避難支援制度の円滑な運用 ●総合防災訓練（九都県市合同防災訓練）等の実施と検証を通じた地域防災体制の充実 	目標どおり達成できました。	<ul style="list-style-type: none"> ●職員が地域に出向いて行う「ほうさい出前講座」の実施による市民の防災意識の向上 ●防災協力事業所の地域での認知度の向上と企業の防災意識向上に繋がる取組の実施 ●防災ネットワーク連絡会議、避難所運営会議の開催支援 ●自主防災組織の育成 ●災害時要援護者避難支援制度の円滑な運用 ●総合防災訓練（九都県市合同防災訓練）等の実施と検証を通じた地域防災体制の充実 	目標どおり達成できました。
予算	65,699 千円			
決算見込	60,325 千円			

＜③重点課題の解決状況に関連する指標＞

	前半			1年間		
	計画・目標値	実績値 (計画・目標値との差異)	区分	計画・目標値	実績値 (計画・目標値との差異)	区分
指標①	備蓄倉庫69か所の工事着工	備蓄倉庫58か所の工事着工、11か所の工事入札手続実施	3	備蓄倉庫69か所の整備	目標どおり達成できました。	3

＜④重点課題の総合的な実施結果区分について＞

重点課題の総合的な実施結果区分		実施結果区分についての説明 <ul style="list-style-type: none"> ●大規模自然災害を対象に脆弱性評価やリスク対応策等を検討し、国土強靱化地域計画や新たな地震防災戦略を策定するなど、防災・減災対策の推進に向けた各種防災計画を整備しました。 ●備蓄倉庫の新規整備は、2015年度末までに69か所の整備を行いました。
目標を上回る成果があった		
目標どおりの成果があった	■	
目標を下回る成果があった		
ほとんど成果なし		

＜⑤課題の状況について＞

年度当初と比べた現時点での課題の状況区分		課題の状況区分についての説明 <ul style="list-style-type: none"> ●防災関連の情報通信システムについては、安定的な稼働や機能強化等を図るとともに、狭小備蓄倉庫の対応など個別課題解決に向けて、2016年度も取組を進めます。
課題は増大している		
課題は同水準で存在する	■	
課題は縮小・解消している		

＜⑥次年度における事務事業の見直し結果＞

次年度における事務事業の見直し結果区分の説明	<ul style="list-style-type: none"> ●各種防災計画の進捗状況を把握・検証の上、引き続き、課題解決に向けた取組を進めるとともに、関係法令等の改正などを踏まえた更なる防災対策を推進していく必要があります。
------------------------	--

「アクションプログラム2015」に基づく重点課題進行管理シート

①重点課題の内容等

基本戦略	1 生命を守り生き生きと暮らすことができるまちづくり	重点課題名	国のグリーンニューディール基金を活用した低炭素化の推進・防災機能の強化
作成課	環境局地球環境推進室	関係課	環境局地球環境推進室、港湾局港湾経営部整備計画課 健康福祉局地域福祉部地域福祉課、経済労働局公営事業部総務課 教育委員会事務局教育環境整備推進室
重点課題の内容	<ul style="list-style-type: none"> ●東日本大震災を契機に、再生可能エネルギーについては、地球温暖化対策として低炭素社会の構築に有効なだけでなく、自立分散型電源の確保や地産地消のエネルギー源として、市民の安全・安心の確保に資するものとして、重要度が高くなっています。 ●国のグリーンニューディール基金（GND基金）を活用して、防災拠点等へ再生可能エネルギー及び蓄電池を導入し、低炭素社会の構築及び自立分散型エネルギーの確保に向けた取組を推進します。 		
重点課題の解決に向けた目標	<ul style="list-style-type: none"> ●広域支援機能と帰宅困難者支援などの防災機能を備えた施設へ、再生可能エネルギー及び蓄電池を導入し、災害対応力の強化を図ります。 ●再生可能エネルギーを導入している小学校に蓄電池を導入するとともに、地域の防災拠点等として機能する民間施設に補助を行い、避難所等における活動機能の確保を図ります。 		

②重点課題に位置付けられた事務事業の目標・実績等

事務事業名・予算額	取組内容・目標	前年		1年間	
		実績等（目標との差異や次期への方向性等）	区分	実績等（目標との差異や次期への方向性等）	区分
環境エネルギー推進事業 予算 113,398 千円 決算見込 88,038 千円	●グリーンニューディール基金の効率的な運用及び民間施設への補助制度に係る事務手続きの実施	目標どおり達成できました。	3	●グリーンニューディール基金の効率的な運用及び民間施設への補助制度に係る事務手続きの実施	目標どおり達成できました。 3
港湾施設改修（防災・減災）事業 予算 2,605,663 千円 決算見込 592,155 千円	●千鳥町7号岸壁の付帯施設（検潮所）設置工事の実施 ●国が実施する東扇島9号岸壁耐震改修工事の事業推進を支援 ●再生エネルギー設備整備に向けた調整・検討	千鳥町7号岸壁の付帯施設（検潮所）設置工事は、入札不調により、下半期に実施します。	4	●千鳥町7号岸壁改良（耐震）工事の実施 ●緊急支援物資輸送路における埋設管付近の段差抑制対策工事実施 ●海底トンネルの津波対策の検討や防災用浮き桟橋の整備の実施 ●国が実施する東扇島9号岸壁耐震改修の事業推進を支援 ●再生エネルギー設備整備に向けた基本・詳細設計の実施	一部事業を除き、目標どおり達成できました。 緊急支援物資輸送路における埋設管付近の段差抑制対策工事については、関係者との調整に時間を要したため、次年度早期の実施となりました。 4
地域福祉計画策定事業 予算 361,895 千円 決算見込 318,012 千円	●国のグリーンニューディール基金による、太陽光パネル・蓄電池等設置のための詳細設計に向けた検討	目標どおり達成できました。	3	●国のグリーンニューディール基金による、太陽光パネル・蓄電池等設置のための詳細設計	目標どおり達成できました。 3
競輪場整備 予算 2,663,490 千円 決算見込 2,159,579 千円	●太陽光発電・蓄電池設置工事の入札・設置工事開始	目標どおり達成できました。	3	●太陽光発電・蓄電池設置工事	目標どおり達成できました。 3
安全で快適な教育環境整備事業 予算 1,705,884 千円 決算見込 1,401,230 千円	●蓄電池設置の工事着手（3校）	目標どおり達成できました。	3	●蓄電池設置の工事完了（3校：うち2校GND基金活用）	目標どおり達成できました。 3

＜③重点課題の解決状況に関連する指標＞

	前半			1年間		
	計画・目標値	実績値 (計画・目標値との差異)	区分	計画・目標値	実績値 (計画・目標値との差異)	区分
指標①	指標に関する実績値が1年度ごとにしか把握できないため、1年間の目標値のみ設定しています。	-		グリーンニューディール基金を活用して、再生可能エネルギー等を導入した施設数 3施設 【2014年度実績：なし】	3施設に導入	3

＜④重点課題の総合的な実施結果区分について＞

重点課題の総合的な実施結果区分		実施結果区分についての説明
目標を上回る成果があった		
目標どおりの成果があった	■	
目標を下回る成果があった		
ほとんど成果なし		

●グリーンニューディール基金の活用により、川崎競輪場に太陽光発電設備及び蓄電池、西御幸小学校及び上作延小学校に蓄電池を導入するなど、目標どおりの成果をあげることができました。

＜⑤課題の状況について＞

年度当初と比べた現時点での課題の状況区分		課題の状況区分についての説明
課題は増大している		
課題は同水準で存在する	■	
課題は縮小・解消している		

●再生可能エネルギー等の普及拡大は、持続可能な低炭素社会の構築だけでなく、自立分散型のエネルギー拠点の構築など、市民の安全・安心を確保するという観点からも大変重要であることから、引き続き取り組んでいく必要があります。

＜⑥次年度における事務事業の見直し結果＞

次年度における事務事業の見直し結果区分の説明	●競輪場整備については、2015年度において太陽光発電設備及び蓄電池設置工事が完了したことから、事業終了となります。
------------------------	--

「アクションプログラム2015」に基づく重点課題進行管理シート

①重点課題の内容等

基本戦略	1 生命を守り生き生きと暮らすことができるまちづくり	重点課題名	本庁舎等の建替えの取組
作成課	総務局本庁舎等建替準備室	関係課	
重点課題の内容	<ul style="list-style-type: none"> ●本庁舎及び第2庁舎は、災害対策活動の中核拠点に必要とされる耐震性能を満たしておらず、特に本庁舎は様々な構造上の制約から、耐震補強工事の実施が困難であるため、大規模地震で倒壊する危険性があるなど、多大なリスクを抱えています。 ●本庁機能が民間ビルを含む12の建物に分散しており、年額で約10億円（御幸ビル分を除くと約9億円）の賃借料負担が発生しているほか、行政サービスの低下や、庁内執行体制の非効率化も発生しています。 ●これらの課題を抜本的に解決するため、本庁舎等の建替えの取組を推進します。 		
重点課題の解決に向けた目標	●本庁舎等を現地で建て替えることにより、災害対策活動の中核拠点として機能するための耐震性能（Is値0.9相当）を確保するとともに、分散した本庁機能を新市庁舎、第3庁舎及び御幸ビルに集約します。		

②重点課題に位置付けられた事務事業の目標・実績等

事務事業名・予算額	前半			1年間		
	取組内容・目標	実績等（目標との差異や次期への方向性等）	区分	取組内容・目標	実績等（目標との差異や次期への方向性等）	区分
本庁舎等建替事業	<ul style="list-style-type: none"> ●本庁舎等建替基本計画の策定に向けた検討 ●環境アセスメント手続の推進 	目標どおり達成できました。	3	<ul style="list-style-type: none"> ●本庁舎等建替基本計画の策定 ●本庁舎解体設計の実施 ●環境アセスメント手続の推進 	目標どおり達成できました。	3
予算	86,711 千円					
決算見込	62,524 千円					

③重点課題の解決状況に関連する指標

	前半			1年間		
	計画・目標値	実績値（計画・目標値との差異）	区分	計画・目標値	実績値（計画・目標値との差異）	区分
指標①	目標値や数値的な実績値の把握に適さないため、指標は設定していません。					

④重点課題の総合的な実施結果区分について

重点課題の総合的な実施結果区分	
目標を上回る成果があった	
目標どおりの成果があった	■
目標を下回る成果があった	
ほとんど成果なし	
実施結果区分についての説明	<ul style="list-style-type: none"> ●学識経験者と市民代表からなる外部委員会の意見を踏まえて作成した案に基づきパブリックコメント手続を実施し、本庁舎等建替基本計画を策定しました。 ●本庁舎の解体について、設計を行いました。 ●環境アセスメントについて、環境配慮計画書を作成するなど、目標どおり手続を進めました。

⑤課題の状況について

年度当初と比べた現時点での課題の状況区分	
課題は増大している	
課題は同水準で存在する	■
課題は縮小・解消している	
課題の状況区分についての説明	●本庁舎は、大規模地震の際に倒壊・崩壊する危険性があり、耐震補強も困難であるため、抜本的な安全確保対策が課題となっており、今後も早期の解体と建替えに向けて取り組んでいく必要があります。

⑥次年度における事務事業の見直し結果

次年度における事務事業の見直し結果区分の説明	●本事業の進捗に伴い、設計や工事などの業務が順次発生してくるため、効率的・効果的な推進体制を検討する必要があります。
------------------------	--

「アクションプログラム2015」に基づく重点課題進行管理シート

①重点課題の内容等

基本戦略	1 生命を守り生き生きと暮らすことができるまちづくり	重点課題名	高齢者の多様な居住環境の整備
作成課	健康福祉局長寿社会部高齢者事業推進課	関係課	
重点課題の内容	<ul style="list-style-type: none"> ●高齢化が一段と進む2025年に向け、川崎らしい都市型の地域包括ケアシステムの構築を見据えた高齢者の多様な居住環境の整備を推進します。 ●高齢者実態調査の結果から、多くの高齢者が「介護が必要になった場合でも、家族に負担をかけずに自宅で暮らしたい」と望んでいることから、介護が必要になっても住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができる介護サービス基盤の整備を推進します。 ●給付と負担のバランスを考慮しながら、地域に密着した介護サービス等の充実と、特別養護老人ホーム等施設サービスの整備を効果的かつ一体的に進めます。 		
重点課題の解決に向けた目標	<ul style="list-style-type: none"> ●川崎らしい都市型の地域包括ケアシステムの構築を見据えながら、「川崎市地域包括ケアシステム推進ビジョン」及び「かわさきいきいき長寿プラン（川崎市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画）」に基づく介護サービス基盤の整備を着実に推進します。 		

②重点課題に位置付けられた事務事業の目標・実績等

事務事業名・予算額	前半		1年間			
	取組内容・目標	実績等（目標との差異や次期への方向性等）	区分	取組内容・目標	実績等（目標との差異や次期への方向性等）	区分
介護サービスの基盤整備事業	<ul style="list-style-type: none"> ●「第6期かわさきいきいき長寿プラン」に基づく介護サービス基盤の整備 ●定期巡回・随時対応型訪問介護看護（開所：0か所） ●（看護）小規模多機能型居宅介護（開所：3か所） ●認知症高齢者グループホーム開所：1か所 ●公募：14か所 ●特別養護老人ホーム開所：0か所 ●整備中：4か所 	<ul style="list-style-type: none"> ●「第6期かわさきいきいき長寿プラン」に基づく介護サービス基盤の整備 ●定期巡回・随時対応型訪問介護看護（開所：0か所） ●（看護）小規模多機能型居宅介護（開所：3か所） ●認知症高齢者グループホーム開所：1か所 ●公募：14か所 ●特別養護老人ホーム開所：0か所 ●整備中：4か所 	3	<ul style="list-style-type: none"> ●「第6期かわさきいきいき長寿プラン」に基づく介護サービス基盤の整備 ●定期巡回・随時対応型訪問介護看護（開所：1か所） ●（看護）小規模多機能型居宅介護（開所：7か所） ●認知症高齢者グループホーム開所：1か所 ●公募：14か所 ●特別養護老人ホーム開所（前年度からの繰越分）：1か所 ●整備中：4か所 	<ul style="list-style-type: none"> ●「第6期かわさきいきいき長寿プラン」に基づく介護サービス基盤の整備 ●定期巡回・随時対応型訪問介護看護（開所：1か所） ●（看護）小規模多機能型居宅介護（開所：6か所） ●認知症高齢者グループホーム開所：1か所 ●公募：14か所 ●特別養護老人ホーム開所（前年度からの繰越分）：1か所 ●整備中：4か所 	3
予算	3,323,327千円					
決算見込	2,818,665千円					

③重点課題の解決状況に関連する指標

指標①	前半		1年間		
	計画・目標値	実績値（計画・目標値との差異）	区分	計画・目標値	実績値（計画・目標値との差異）
<ul style="list-style-type: none"> ●「第6期かわさきいきいき長寿プラン」に基づく介護サービス基盤の整備 ●定期巡回・随時対応型訪問介護看護（開所：0か所） ●（看護）小規模多機能型居宅介護（開所：3か所） ●認知症高齢者グループホーム開所：1か所 ●公募：14か所 ●特別養護老人ホーム開所：0か所 ●整備中：4か所 	<ul style="list-style-type: none"> ●「第6期かわさきいきいき長寿プラン」に基づく介護サービス基盤の整備 ●定期巡回・随時対応型訪問介護看護（開所：0か所） ●（看護）小規模多機能型居宅介護（開所：3か所） ●認知症高齢者グループホーム開所：1か所 ●公募：14か所 ●特別養護老人ホーム開所：0か所 ●整備中：4か所 	3	<ul style="list-style-type: none"> ●「第6期かわさきいきいき長寿プラン」に基づく介護サービス基盤の整備 ●定期巡回・随時対応型訪問介護看護（開所：1か所） ●（看護）小規模多機能型居宅介護（開所：7か所） ●認知症高齢者グループホーム開所：1か所 ●公募：14か所 ●特別養護老人ホーム開所（前年度からの繰越分）：1か所 ●整備中：4か所 	<ul style="list-style-type: none"> ●「第6期かわさきいきいき長寿プラン」に基づく介護サービス基盤の整備 ●定期巡回・随時対応型訪問介護看護（開所：1か所） ●（看護）小規模多機能型居宅介護（開所：6か所） ●認知症高齢者グループホーム開所：1か所 ●公募：14か所 ●特別養護老人ホーム開所（前年度からの繰越分）：1か所 ●整備中：4か所 	3

④重点課題の総合的な実施結果区分について

重点課題の総合的な実施結果区分	
目標を上回る成果があった	
目標どおりの成果があった	■
目標を下回る成果があった	
ほとんど成果なし	

実施結果区分についての説明	<ul style="list-style-type: none"> ●高齢者実態調査の結果によれば、多くの高齢者が「介護が必要になった場合でも、家族に負担をかけずに自宅で暮らしたい」と望んでいることから、在宅生活を支えるための居宅サービスや「地域密着型サービス」、さらには、介護者の負担軽減のための「ショートステイ」の拡充を重点的に進めます。また、「特別養護老人ホーム」については、2015年4月の制度改正により、入居対象者を原則要介護3以上の中重度の方を支える施設としての機能強化を図り、真に入居の必要性が高いと認められる方が優先的に入居できるよう一定の整備を進めるなど、「第6期かわさきいきいき長寿プラン」に基づき着実な整備を行いました。
---------------	---

⑤課題の状況について

年度当初と比べた現時点での課題の状況区分	
課題は増大している	
課題は同水準で存在する	■
課題は縮小・解消している	

課題の状況区分についての説明	<ul style="list-style-type: none"> ●自宅で暮らす中・重度の要介護高齢者の増加や介護ニーズの多様化への対応として、地域での生活を支える介護サービス基盤体制の構築が必要です。 ●自宅での生活継続が困難となる重度の要介護高齢者の増加への対応として、個々の状況に応じて住まいを選択できるよう、介護保険施設・居住系サービスなどの確保が必要です。
----------------	---

⑥次年度における事務事業の見直し結果

次年度における事務事業の見直し結果区分の説明	<ul style="list-style-type: none"> ●「川崎市地域包括ケアシステム推進ビジョン」及び「第6期かわさきいきいき長寿プラン（川崎市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画）」に基づき、「川崎らしい都市型の地域居住の実現」に向け、次年度も計画的かつ効果的に介護サービス基盤の整備を推進していきます。
------------------------	--

「アクションプログラム2015」に基づく重点課題進行管理シート

①重点課題の内容等

基本戦略	1 命を守り生き生きと暮らすことができるまちづくり	重点課題名	かわさき健幸福寿プロジェクトの推進
作成課	健康福祉局長寿社会部高齢者事業推進課	関係課	
重点課題の内容	<ul style="list-style-type: none"> ●介護保険サービス事業者のケアにより要介護度が改善した場合、現行の介護保険制度においては介護報酬が下がる仕組みになっているため、介護サービスの質を評価する新しい仕組みの導入が必要です。 ●要介護度や日常生活動作（ADL）を改善、又は要介護度を一定期間維持した事業者に対して、一定のインセンティブを付与する仕組みを構築し、市民の方々が無理なく安心して介護サービスを利用でき、住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができる地域の実現（川崎市地域包括ケアシステム推進ビジョンの基本理念）を図ります。 ●要望活動や情報交換、連携等を通じて国に働きかけ、新しい仕組みの導入に向けて取組を進めます。 		
重点課題の解決に向けた目標	<ul style="list-style-type: none"> ●かわさき健幸福寿プロジェクトの取組について、様々な機会をとらえて内外に発信し、介護人材の定着や確保といった波及的効果を目指します。 ●国による介護サービスの質を評価する新たな仕組みの導入を目指します。 ●かわさき健幸福寿プロジェクトの仕組みを構築するため、介護サービス事業者に要介護度の改善等に取り組んでもらうモデル事業を実施します。 		

②重点課題に位置付けられた事務事業の目標・実績等

事務事業名・予算額	前半		1年間			
	取組内容・目標	実績等（目標との差異や次期への方向性等）	区分	取組内容・目標	実績等（目標との差異や次期への方向性等）	区分
かわさき健幸福寿プロジェクト	<ul style="list-style-type: none"> ●平成27年度モデル事業協力事業所の募集 ●川崎市要介護度の維持・改善促進検討委員会（かわさき健幸福寿プロジェクト委員会）、ワーキンググループの開催（1回） ●制度構築に向けた詳細な検討を行う局内ワーキングの立ち上げ 	平成27年度モデル事業協力事業所数について、当初100事業所を目標としていたところ、137事業所となりました。委員会の開催回数及び局内ワーキングの立ち上げは目標どおり達成できました。	2	<ul style="list-style-type: none"> ●平成27年度モデル事業の実施（6月～12月） ●協力事業所を対象とした各種研修会等の開催 ●局内ワーキングによる検討 ●かわさき健幸福寿プロジェクト委員会等の開催（3回） ●平成27年度モデル事業の評価 ●事業者に対するインセンティブ等、詳細の構築 	平成27年度モデル事業協力事業所数について、当初目標100事業所のところ、137事業所となりました。プロジェクト委員会については3回開催し、2016年度からの本実施に当たり、制度構築を図りました。その他の取組については、目標を達成しました。	2
予算	15,754千円					
決算見込	14,213千円					

③重点課題の解決状況に関連する指標

	前半		1年間			
	計画・目標値	実績値（計画・目標値との差異）	区分	計画・目標値	実績値（計画・目標値との差異）	区分
指標①	●平成27年度モデル事業協力事業所数100	●平成27年度モデル事業協力事業所数137	2	●平成27年度モデル事業協力事業所数100	●平成27年度モデル事業協力事業所数137	2
指標②	●かわさき健幸福寿プロジェクト委員会の開催1回	●かわさき健幸福寿プロジェクト委員会の開催1回	3	●かわさき健幸福寿プロジェクト委員会の開催3回	●かわさき健幸福寿プロジェクト委員会の開催3回	3
指標③	※指標に関する実績値が1年ごとにしか把握できないため、1年間の目標値のみ設定しています。			●自立支援介護講習会の開催3回	●自立支援介護講習会の開催3回	3

<④重点課題の総合的な実施結果区分について>

重点課題の総合的な実施結果区分		実施結果区分についての説明	●モデル事業の実施、意見交換会の開催、プロジェクト委員会での検討等により、2016年度からの本実施に向けた制度構築ができました。
目標を上回る成果があった			
目標どおりの成果があった	■		
目標を下回る成果があった			
ほとんど成果なし			

<⑤課題の状況について>

年度当初と比べた現時点での課題の状況区分		課題の状況区分についての説明	●これまで2か年度の取組を踏まえて、2016年度からプロジェクトを本実施します。プロジェクトの推進によって介護サービス質を評価し、その成果に応じたインセンティブの付与を開始する2017年度に向けて、引き続き取組を進める必要があります。
課題は増大している			
課題は同水準で存在する	■		
課題は縮小・解消している			

<⑥次年度における事務事業の見直し結果>

次年度における事務事業の見直し結果区分の説明	●今後も高齢者人口が増加する中、地域包括ケアシステムの推進を図り、介護保険制度を持続可能なものとしていくには、サービスの質を適正に評価することが必要と考えます。国による制度化を後押しするためにも、プロジェクトの取組でしっかりと成果を出して行くことが重要ですので、事務の効率化に努めつつ、引き続き参加事業所数及び参加者数を増やしていきます。
------------------------	---

「アクションプログラム2015」に基づく重点課題進行管理シート

①重点課題の内容等

基本戦略	1 生命を守り生き生きと暮らすことができるまちづくり	重点課題名	地域包括ケアシステムの構築に向けた取組
作成課	健康福祉局地域包括ケア推進室	関係課	健康福祉局総務部施設計画・整備担当、長寿社会部高齢者事業推進課、長寿社会部高齢者在宅サービス課、医療政策推進室
重点課題の内容	団塊の世代が75歳以上となる2025年を見据え、誰もが住み慣れた地域や本人が望む場で安心して暮らし続けることができるよう、2014年度に策定した「川崎地域包括ケアシステム推進ビジョン」に基づき、高齢者施策・障害者施策・保健医療施策を包括的かつ一体的に推進するなど、地域包括ケアシステムの構築に向けた取組を推進していく必要があります。		
重点課題の解決に向けた目標	●2014年度に策定した「川崎市地域包括ケアシステム推進ビジョン」の考え方に沿った各施策・事業を展開するとともに、推進ビジョンの考え方が地域全体で共有され、事業者、関係団体・機関、市民など、多様な主体がそれぞれの役割に応じた具体的な行動が行えるよう、様々な手法による普及啓発や多様な主体間の連携の仕組みづくりなどを進めていきます。		

②重点課題に位置付けられた事務事業の目標・実績等

事務事業名・予算額	前半			1年間		
	取組内容・目標	実績等（目標との差異や次期への方向性等）	区分	取組内容・目標	実績等（目標との差異や次期への方向性等）	区分
福祉センター再編整備事業 予算 12,715千円 決算見込 60,032千円	●福祉センター跡地活用施設への導入機能、施設・機能の規模、整備手法等の整理 ●「川崎市福祉センター跡地活用施設整備基本計画」の改訂案の策定	目標どおり達成できました。	3	●「川崎市福祉センター跡地活用施設整備基本計画」の改訂 ●要求水準書案の策定	目標どおり達成できました。	3
認知症高齢者対策事業 予算 37,178千円 決算見込 35,021千円	●認知症介護指導者養成研修、認知症サポート医養成研修・フォローアップ研修、かかりつけ医や一般病院勤務医療従事者の認知症対応力向上研修の開催 ●認知症サポーターの活動の場の検討 ●認知症疾患医療センターの運営 ●認知症コールセンターサポートほっとの運営 ●徘徊高齢者SOSネットワーク事業の実施 ●区における認知症高齢者介護教室の開催	目標どおり達成できました。（区の認知症高齢者介護室を8月末までに31回開催し、延べ238人が参加しました。）	3	●認知症初期集中支援事業の計画立案 ●認知症ケアパスの作成 ●認知症介護指導者養成研修、認知症サポート医養成研修・フォローアップ研修、かかりつけ医や一般病院勤務医療従事者の認知症対応力向上研修の開催 ●認知症サポーターの活動の場の検討 ●認知症疾患医療センターの運営 ●認知症コールセンターサポートほっとの運営 ●徘徊高齢者SOSネットワーク事業の実施 ●区における認知症高齢者介護教室の開催	ほぼ目標どおり達成できました。認知症ケアパスについては、区役所の組織再編を踏まえて作成する必要があることから、新体制の発足する2016年度に策定する方向で見直しを行いました。	3
高齢者権利擁護事業 予算 156,046千円 決算見込 156,444千円	●市民後見人選任に向けた家庭裁判所等への推薦 ●第2期市民後見人候補者実務実習の開催 ●川崎市あんしんセンターと連携した成年後見制度に関する研修	目標どおり達成できました。（市民後見人選任に向けた家庭裁判所等への推薦2件、実務実習について14名を対象に5月から開始（年間11回を予定）、成年後見制度に関する親族向け研修（38名）を開催）	3	●市民後見人選任に向けた家庭裁判所等への推薦 ●第2期市民後見人候補者実務実習の開催 ●川崎市あんしんセンターと連携した成年後見制度に関する研修、シンポジウムの開催	目標どおり達成できました。	3
地域包括ケアシステムの構築 予算 14,086千円 決算見込 13,229千円	●学識者や医療・福祉関係者、経済産業関係者などから構成される「川崎市地域包括ケアシステム連絡協議会」の設立 ●関係者間の交流の場づくりと地域への情報発信を行うための「川崎市地域包括ケアシステム懇話会」の設置 ●地域マネジメントを推進するための「川崎市地域包括ケアシステム推進本部会議」の創設	目標どおり達成できました。	3	●関係者間の交流を促進するとともに、情報を広く一元的に発信・集積していくためのポータルサイトの開設 ●地域包括ケアシステムの構築に向けた保健・医療・福祉施策の推進体制の構築	目標どおり達成できました。	3

介護予防事業	<ul style="list-style-type: none"> ●二次予防事業を「複合プログラム」として実施 ●区役所、地域包括センター等との連携による一次予防事業の実施 ●昨年度見直しを図った「わたしの町のすこやか活動支援事業」の実施 ●次年度の予算要求に向けた「総合事業」の基準や実施体制の検討 	目標どおり達成できました。	<ul style="list-style-type: none"> ●二次予防事業を「複合プログラム」として実施 ●「総合事業」の「一般介護予防事業」移行に向けた一次予防事業の実施 ●昨年度見直しを図った「わたしの町のすこやか活動支援事業」の実施 ●「総合事業」の円滑な実施に向けた基準や体制整備 	目標どおり達成できました。
予算	376,398 千円			
決算見込	324,992 千円			
高齢者住宅対策事業	<ul style="list-style-type: none"> ●福祉住宅の運営 ●シルバーハウジング事業の実施 ●住替え家賃助成事業の実施 ●住宅改造費助成事業の実施 	目標どおり達成できました。	<ul style="list-style-type: none"> ●福祉住宅の運営 ●シルバーハウジング事業の実施 ●住替え家賃助成事業の実施 ●住宅改造費助成事業の実施 	目標どおり達成できました。
予算	330,176 千円			
決算見込	320,750 千円			
介護予防いきいき大作戦推進事業	<ul style="list-style-type: none"> ●市民活動等における活動場所実態調査の実施 	目標どおり達成できました。	<ul style="list-style-type: none"> ●「いきいきリーダー」等を通じた人づくり ●イベント等を通じた普及啓発活動 ●地域で活動する団体等への支援 ●市民活動等における活動場所実態調査の実施 	目標どおり達成できました。
予算	7,846 千円			
決算見込	7,841 千円			
在宅医療連携推進事業	<ul style="list-style-type: none"> ●医療・介護従事者等の多職種関係団体による在宅療養推進協議会において在宅医療の具体的な取組方を検討します。 ●各区在宅療養調整医師と在宅医療サポートセンターのコーディネーター（看護職）の連携による在宅医療の仕組みの定着を図ります。 	在宅医療情報誌「あんしん」を発行したほか、目標どおり達成しました。	<ul style="list-style-type: none"> ●医療・介護従事者等の多職種関係団体による在宅療養推進協議会において在宅医療の具体的な取組方を検討します。 ●各区在宅療養調整医師と在宅医療サポートセンターのコーディネーターの連携定着。 ●在宅チーム医療を担う地域リーダー研修の開催。 ●市民向けシンポジウム開催等による啓発。 	目標どおり達成できました。
予算	19,664 千円			
決算見込	18,830 千円			

＜③重点課題の解決状況に関連する指標＞

	前半			1年間		
	計画・目標値	実績値 (計画・目標値との差異)	区分	計画・目標値	実績値 (計画・目標値との差異)	区分
指標①				地域包括ケアシステムの理解度	地域包括ケアシステムの理解度 10.1%	
指標②	地域包括ケアシステム連絡協議会（1回）	地域包括ケアシステム連絡協議会（1回実施）	3	地域包括ケアシステム連絡協議会（3回）	地域包括ケアシステム連絡協議会（3回実施）	3
指標③	認知症サポーターの養成者数 （2,000人以上）	認知症サポーターの養成者数 2,752人 （達成率138%）	2	認知症サポーターの養成者数 （4,500人以上）	認知症サポーターの養成者数 8,856人	2

〈④重点課題の総合的な実施結果区分について〉

重点課題の総合的な実施結果区分	
目標を上回る成果があった	
目標とおりの成果があった	■
目標を下回る成果があった	
ほとんど成果なし	

実施結果区分についての説明	<ul style="list-style-type: none"> ●地域包括ケアシステム連絡協議会や在宅療養推進協議会等について、指標で設定した開催目標を達成しており、地域包括ケアシステムの構築に向けた多様な主体による連携や検討が進められていることから、当初目標として設定した連携の仕組みづくりについては、成果があったと考えます。 ●認知症高齢者対策事業において、指標として設定した認知症サポーター養成講座の養成者数が、年度当初の目標を大幅に上回っています。また、ポータルサイトの設置や市民向け講演会・シンポジウムの開催なども目標どおり実施されたことから、市民の理解度の向上のための取組についても成果があったと考えます。
---------------	--

〈⑤課題の状況について〉

年度当初と比べた現時点での課題の状況区分	
課題は増大している	
課題は同水準で存在する	■
課題は縮小・解消している	

課題の状況区分についての説明	<ul style="list-style-type: none"> ●地域包括ケアシステムの理解度については、2015年度に実施した市民アンケートにより、現状が10.1%であることが把握できました。高齢化の進展が見込まれる中、一人でも多くの市民が地域包括ケアシステムを理解し、具体的な行動が行えるよう、2016年度も取組を継続していくことが必要です。
----------------	---

〈⑥次年度における事務事業の見直し結果〉

次年度における事務事業の見直し結果区分の説明	<p>川崎市福祉センター跡地活用施設の整備に関する基本的な考え方については、庁内の検討会議等において調整を行い、2016年1月に基本計画【改訂版】を策定しました。改訂版では、当初の基本計画の内容を踏まえつつ、障害者入所施設など、導入する施設・機能を整理するとともに、スケジュールの見直し等を行っており、これに基づき、引き続き取組を推進していきます。</p>
------------------------	--

「アクションプログラム2015」に基づく重点課題進行管理シート

①重点課題の内容等

基本戦略	1 生命を守り生き生きと暮らすことができるまちづくり	重点課題名	障害者の暮らしを支える取組の充実
作成課	健康福祉局障害保健福祉部障害計画課	関係課	障害福祉課、障害者雇用・就労促進課、施設計画・整備担当
重点課題の内容	<ul style="list-style-type: none"> ●「第4次かわさきノーマライゼーションプラン」及び上位概念である「地域包括ケアシステム推進ビジョン」に基づき、障害者福祉施策等の総合的かつ計画的な推進を図る必要があります。 ●安心して自立した地域生活が送れるよう、障害者支援施設、障害者通所施設等の整備を推進する必要があります。 ●2016年4月の障害者差別解消法の施行に向け、制度の周知・広報や相談体制の整備を検討する必要があります。 ●障害のある人もない人もスポーツなどに触れる機会をもち、潤いのある暮らしを送れるよう、障害者スポーツの更なる普及・発展に取り組んでいく必要があります。 		
重点課題の解決に向けた目標	<ul style="list-style-type: none"> ●「第4次かわさきノーマライゼーションプラン」に基づき、庁内関係課や障害関係団体等と連携しつつ、様々な障害福祉施策を展開・推進します。 ●障害程度が中・重度の特別支援学校卒業生対策として、2015年度中に「第2期障害者通所事業所整備計画」を策定し、通所施設を計画的に整備します。 ●2016年4月の障害者差別解消法の施行に向け、制度の周知・広報に取り組みます。 ●東京オリンピック・パラリンピックを見据え、市障害者スポーツ協会の設立に取り組みます。 ●障害者入所施設を「福祉センター跡地施設」（川崎区）に併設する方向で検討します。 		

②重点課題に位置付けられた事務事業の目標・実績等

事務事業名・予算額	取組内容・目標	前半		1年間	
		実績等（目標との差異や次期への方向性等）	区分	実績等（目標との差異や次期への方向性等）	区分
障害者福祉施策立案事業 予算 95,488 千円 決算見込 78,658 千円	<ul style="list-style-type: none"> ●第4次かわさきノーマライゼーションプランに基づく取組の推進 	目標どおり達成できました。	3	<ul style="list-style-type: none"> ●第4次かわさきノーマライゼーションプランに基づく取組の推進 	目標どおり達成できました。 3
施設障害福祉サービス事業 予算 14,221,543 千円 決算見込 15,371,069 千円	<ul style="list-style-type: none"> ●地域での障害者の自立と社会参加を促進するため、日中活動サービスの場の確保を推進 ●障害福祉サービス等事業者による施設運営の安定化及び利用者に係る支援の充実に資する必要な補助、助成などの支援を実施 ●公設民営施設の第Ⅱ期指定管理の総括評価 	目標どおり達成できました。	3	<ul style="list-style-type: none"> ●生活介護、就労継続支援、就労移行支援、自立訓練等の日中活動サービスの提供 ●特別支援学校卒業生対策に係る通所事業所整備計画の策定 ●事業者運営状況の調査・分析による市単独加算のあり方の検討 ●公設民営施設第Ⅲ期指定管理者の選定 	目標どおり達成できました。 3
障害者グループホーム事業 予算 2,759,617 千円 決算見込 3,280,294 千円	<ul style="list-style-type: none"> ●障害者の地域移行の促進のため、グループホームの増設等による基盤整備 ●補助金の支出により、障害者の高齢化・重度重複化に対応するためのバリアフリー化や消防設備設置の促進 	目標どおり達成できました。	3	<ul style="list-style-type: none"> ●グループホームの定員拡充、バリアフリー化や消防設備設置の促進に向けた取組 ●障害特性に応じた支援を行うための取組 定員 1141人（見込）	目標どおり達成できました。 3
障害者相談支援事業 予算 669,619 千円 決算見込 613,269 千円	<ul style="list-style-type: none"> ●相談支援事業の運営 ●相談支援専門員等の養成 ●地域自立支援協議会の運営 ●計画相談支援の実施 ●障害支援区分認定審査会の運営 	目標どおり達成できました。	3	<ul style="list-style-type: none"> ●相談支援事業の運営 ●相談支援専門員等の養成 ●地域自立支援協議会の運営 ●計画相談支援の実施 ●障害支援区分認定審査会の運営 	目標どおり達成できました。 3
障害福祉サービスの基盤整備事業 予算 646,066 千円 決算見込 1,113,451 千円	<ul style="list-style-type: none"> ●障害者通所事業所整備計画に基づく整備 2か所：川崎区、宮前区 ●耐震改修促進計画に基づく建替えに係る整備 1か所：宮前区 	目標どおり達成できました。	3	<ul style="list-style-type: none"> ●障害者通所事業所整備計画に基づく整備 2か所：川崎区、宮前区 → 建築、開設準備、開設 ●耐震改修促進計画に基づく建替えに係る整備 1か所：宮前区 → 建築、開設準備、開設 ●次期計画に基づいた通所施設の検討 ●南部地域における入所施設の検討 	目標どおり達成できました。 3

障害者就労支援事業	<ul style="list-style-type: none"> ●障害者就労体験ステップアップ事業の実施 ●障害者雇用短期チャレンジ事業の実施調整及び一部展開 ●特別支援学校生徒・保護者向け就職セミナーの開催 ●就労支援機関向け人材育成研修開催 ●障害者共同受注窓口との連携による福祉的就労の底上げ ●チャレンジ雇用事業の実施及び拡大検討 	目標どおり達成できました。	<ul style="list-style-type: none"> ●障害者就労体験ステップアップ事業の実施 ●障害者雇用短期チャレンジ事業の実施 ●就労支援機関向け人材育成研修開催 ●かわさき就労定着支援プログラムの展開 ●企業向け障害者雇用新規導入セミナー開催 ●障害者共同受注窓口との連携による福祉的就労の底上げ ●チャレンジ雇用事業の実施及び拡大検討 	目標どおり達成できました。
予算	49,041 千円		3	
決算見込	47,843 千円			
障害者の権利擁護推進事業	<ul style="list-style-type: none"> ●成年後見制度利用支援事業助成金の助成上限額等の見直しについての周知 ●虐待防止、支援体制の運営 	目標どおり達成できました。	<ul style="list-style-type: none"> ●成年後見制度に係る審判開始の市長申立の実施 ●生活保護世帯等の費用負担が難しい方に対する助成 ●虐待防止、支援体制の運営 	目標どおり達成できました。
予算	28,044 千円		3	
決算見込	26,010 千円			
障害者団体育成等事業	<ul style="list-style-type: none"> ●障害者団体の育成支援及び障害者団体の運営体制の強化を目標として、以下の事業を行う。 ●障害者団体への運営費等の補助 <ul style="list-style-type: none"> ・（公財）川崎市身体障害者協会への運営費補助 ・心身障害者(児)保護者団体への運営費補助 ●障害者団体の育成、障害者施設関連団体の育成に係る支援 	目標どおり達成できました。	<ul style="list-style-type: none"> ●障害者団体の育成支援及び障害者団体の運営体制の強化を目標として、以下の事業を行う。 ●障害者団体への運営費等の補助 <ul style="list-style-type: none"> ・（公財）川崎市身体障害者協会への運営費補助 ・心身障害者(児)保護者団体への運営費補助 ●障害者団体の育成、障害者施設関連団体の育成に係る支援 	目標どおり達成できました。
予算	19,475 千円		3	
決算見込	19,218 千円			
障害者社会参加促進事業	<ul style="list-style-type: none"> ●障害者社会参加推進協議会の実施 ●障害者スポーツ振興事業の実施 ●市障害者スポーツ協会設立に向けた準備 ●地域における障害者スポーツ普及促進事業（文部科学省委託事業）の実施 ●生活訓練等事業の実施 	目標どおり達成できました。	<ul style="list-style-type: none"> ●障害者社会参加推進協議会の実施 ●障害者スポーツ振興事業の実施 ●市障害者スポーツ協会の設立及び運営 ●地域における障害者スポーツ普及促進事業（文部科学省委託事業）の実施 ●生活訓練等事業の実施 	目標どおり達成できました。
予算	98,582 千円		3	
決算見込	99,223 千円			

＜③重点課題の解決状況に関連する指標＞

	前半			1年間		
	計画・目標値	実績値 (計画・目標値との差異)	区分	計画・目標値	実績値 (計画・目標値との差異)	区分
指標①	整備計画が1年単位のものであるため1年間の目標値のみ設定しています。			障害者通所事業所整備計画に基づく整備	障害者通所事業所整備計画に基づく整備 宮前区 2016年1月開設 川崎区 2016年4月開設	3
指標②	整備計画が1年単位のものであるため1年間の目標値のみ設定しています。			グループホーム80床の整備	グループホーム80床の整備	3

＜④重点課題の総合的な実施結果区分について＞

重点課題の総合的な実施結果区分		実施結果区分についての説明
目標を上回る成果があった		<ul style="list-style-type: none"> ●障害者通所事業所については、整備計画に基づき目標どおり、川崎区、宮前区への整備を行いました。また、グループホームについては、第4次ノーマライゼーションプランの計画どおり、市内80床の整備を行いました。
目標どおりの成果があった	■	
目標を下回る成果があった		
ほとんど成果なし		

＜⑤課題の状況について＞

年度当初と比べた現時点での課題の状況区分		課題の状況区分についての説明
課題は増大している		<ul style="list-style-type: none"> ●「川崎市地域包括ケアシステム推進ビジョン」及び「第4次かわさきノーマライゼーションプラン」に基づき、ライフステージに応じた総合的な支援体制の構築や、多様な主体の参画による地域で支え合う社会の実現、誰もが安心・安全で生活しやすいまちづくりの推進が必要です。
課題は同水準で存在する	■	
課題は縮小・解消している		

＜⑥次年度における事務事業の見直し結果＞

次年度における事務事業の見直し結果区分の説明	<ul style="list-style-type: none"> ●特別支援学校等の卒業生は今後も増加することが見込まれるため、2015年度に策定した第2期通所事業所整備計画に基づき、具体的な取組を推進します。 ●グループホームについては、親なき後を見据えた障害のある方の地域生活を支えるためのニーズがますます増加しており、対応が必要となっています。
------------------------	---

「アクションプログラム2015」に基づく重点課題進行管理シート

①重点課題の内容等

基本戦略	1 生命を守り生き生きと暮らすことができるまちづくり	重点課題名	がん検診の取組の強化
作成課	健康福祉局健康安全部健康増進課	関係課	
重点課題の内容	<p>●がんが国民の疾病による死亡の最大の原因であり、本市においても死因の第1位となっていることから、壮年期からの健康づくりと疾病の早期発見・早期治療が必要となっています。がんによる死亡者数を減少させるためには、がん検診の受診率を向上させ、がんを早期発見することが重要です。</p> <p>●がん検診の受診率については、近年、胃がん検診を除いて停滞した状況にあることから、受診のきっかけづくりのための広報や受診者の基礎データを集約する台帳整備等、工夫のある受診率向上対策が求められています。</p>		
重点課題の解決に向けた目標	<p>●国民病ともいふべきがんの早期発見・早期治療のため、2017年度中に本市のがん検診受診率が政令市トップレベルになるよう、効果的な手法による取組を実施します。</p>		

②重点課題に位置付けられた事務事業の目標・実績等

事務事業名・予算額	前半			1年間		
	取組内容・目標	実績等（目標との差異や次期への方向性等）	区分	取組内容・目標	実績等（目標との差異や次期への方向性等）	区分
がん検診事業	<ul style="list-style-type: none"> ●国の指針等に基づくがん検診の実施 ●働く世代の女性支援のためのがん検診推進事業及びがん検診推進事業の実施 ●がん検診台帳システムの構築 ●肺がん検診の二次読影体制の検討 ●がん検診・特定健診等コールセンターの設置による問合せ受付及び受診勧奨の実施 	目標どおり達成できました。	3	<ul style="list-style-type: none"> ●国の指針等に基づくがん検診の実施 ●働く世代の女性支援のためのがん検診推進事業及びがん検診推進事業の実施 ●がん検診台帳システムの構築 ●肺がん検診の二次読影体制の検討 ●がん検診・特定健診等コールセンターの設置による問合せ受付及び受診勧奨の実施 	目標どおり達成できました。	3
予算	1,889,898千円					
決算見込	2,232,287千円					

③重点課題の解決状況に関連する指標

指標	前半			1年間		
	計画・目標値	実績値（計画・目標値との差異）	区分	計画・目標値	実績値（計画・目標値との差異）	区分
指標①	指標に関する実績値が1年ごとにしか把握できないため、1年間の目標値のみ設定しています。			<ul style="list-style-type: none"> ●がん検診受診者数 肺がん検診 80,000人 大腸がん検診 80,000人 胃がん検診 37,500人 子宮がん検診 45,600人 乳がん検診 22,800人 	<ul style="list-style-type: none"> ●がん検診受診者数 肺がん検診 80,394人 大腸がん検診 82,078人 胃がん検診 40,316人 子宮がん検診 39,042人 乳がん検診 26,038人 	3

④重点課題の総合的な実施結果区分について

重点課題の総合的な実施結果区分		実施結果区分についての説明
目標を上回る成果があった		<p>●がん検診推進事業やコールセンター等による受診勧奨の効果もあり、指標としていた目標値に概ね到達したことから、当初目標設定した受診率を上げる取組については、一定の成果があったと考えます。</p>
目標どおりの成果があった	■	
目標を下回る成果があった		
ほとんど成果なし		

⑤課題の状況について

年度当初と比べた現時点での課題の状況区分		課題の状況区分についての説明
課題は増大している		<p>●がん検診の取組に当たっては、国の指針に一部変更があったため、胃がん検診については今後も内容等を検討していく必要があり、その他の検診についても継続していく必要があります。また、本市がん検診の受診率向上のため、次年度から本稼働するがん検診台帳システムを活用するなど、効果的な取組を引き続き行っていくことが必要です。</p>
課題は同水準で存在する	■	
課題は縮小・解消している		
課題は縮小・解消している		

⑥次年度における事務事業の見直し結果

次年度における事務事業の見直し結果区分の説明	<p>●がん検診の取組については、国の指針のうち、胃がん検診と乳がん検診について変更があったため、学識経験者や医療機関関係者による会議等で今後の検討を行った結果、胃がん検診は、次年度は今までどおり実施し、2017年度以降については今後検討していくこととなりました。また、乳がん検診は、国の指針に則った内容で行う方向になりました。</p>
------------------------	--

「アクションプログラム2015」に基づく重点課題進行管理シート

①重点課題の内容等

基本戦略	1 生命を守り生き生きと暮らすことができるまちづくり	重点課題名	民間建築物の耐震化の促進
作成課	まちづくり局総務部企画課	関係課	まちづくり局指導部建築管理課、まちづくり局指導部宅地企画指導課、まちづくり局市街地開発部住宅整備課、まちづくり局計画部都市計画課
重点課題の内容	<ul style="list-style-type: none"> ●地震による既存建築物の倒壊等の被害を未然に防止するため、「川崎市耐震改修促進計画」(以下「促進計画」)に基づいた耐震対策を着実に実施し、建築物の耐震性の向上を図る必要があります。また、2013年11月に改正された耐震改修促進法を受けて耐震診断義務化路線の指定等を盛り込んだ促進計画の改定を行うとともに、2016年3月に計画期間が終了するため促進計画の延伸を行う必要があります。 ●台風や集中豪雨等により地すべりなどの土砂災害が発生しているため、宅地の防災対策を行い安全性の向上を図る必要があります。 ●民間建築物への耐震診断や耐震改修等に対する助成を行うとともに、所有者等に多角的に周知を図ることにより総合的な耐震対策を推進します。また、宅地防災工事助成等により、崩壊防止工事を推進することにより災害に強いまちづくりを推進します。 		
重点課題の解決に向けた目標	<ul style="list-style-type: none"> ●耐震診断義務化路線の指定に伴う促進計画の一部改定や、2015年度に計画期間が終了する促進計画の改定を行います。 ●民間建築物の耐震対策について、住宅や特定建築物の助成制度を所有者等に多角的に周知することで、助成件数の増加を図ります。 ●急傾斜地崩壊対策について、急傾斜地崩壊危険区域の新規指定・拡大をすることともに、ハザードマップ等を活用し、市民に土砂災害警戒区域等の情報を周知します。また、老朽化した壁盤等の改修を促進します。 		

②重点課題に位置付けられた事務事業の目標・実績等

事務事業名・予算額	取組内容・目標	前年		1年間		
		実績等(目標との差異や次期への方向性等)	区分	実績等(目標との差異や次期への方向性等)	区分	
防災都市計画推進事業 予算 1,512 千円 決算見込 2,495 千円	<ul style="list-style-type: none"> ●防災都市づくり基本計画の市民等への周知・啓発 ●防災都市づくりの施策間連携の強化を図る庁内推進会議の設置 	目標どおり達成できました。	3	<ul style="list-style-type: none"> ●計画に基づく各種施策の推進 ・ハザード情報を一元化した災害リスクマップの作成 ・防火地域の拡大など地域地区の活用調査・検討 ・防災関連施策の連携に向けた検討 ・都市復興に向けた担当職員訓練等の実施 	3	目標どおり達成できました。
民間マンション耐震対策事業 予算 133,395 千円 決算見込 68,637 千円	<ul style="list-style-type: none"> ●マンション予備診断の実施 ●マンション一般診断費用の助成 ●マンション耐震改修設計費用の助成 ●マンション耐震改修工事費用の助成 ●マンション耐震化に関する制度の普及・啓発 ●耐震化事業全体の統合を視野に入れた再整備作業 	目標どおり達成できました。 ●マンション予備診断件数(申請6棟、うち完了5棟) ●マンション一般診断助成件数(申請15棟) ●マンション耐震改修設計助成件数(申請2棟) ●マンション耐震改修工事助成件数(申請5棟、うち完了5棟)	3	<ul style="list-style-type: none"> ●マンション予備診断の実施及び翌年度準備 ●マンション一般診断費用の助成及び翌年度準備 ●マンション耐震改修設計費用の助成及び翌年度準備 ●マンション耐震改修工事費用の助成及び翌年度準備 ●マンション耐震化に関する制度の普及・啓発及び翌年度準備 ●耐震化事業全体の統合を視野に入れた再整備作業と翌年度準備 	3	目標どおり達成できました。 ●マンション予備診断件数(申請27棟、うち完了27棟) ●マンション一般診断助成件数(申請15棟、うち完了15棟) ●マンション耐震改修設計助成件数(申請2棟、うち完了2棟) ●マンション耐震改修工事助成件数(申請5棟、うち完了5棟)
特定建築物耐震対策事業 予算 239,373 千円 決算見込 92,342 千円	<ul style="list-style-type: none"> ●沿道建築物の耐震診断を義務付ける道路の指定に伴う耐震診断費用の一部助成制度の創設 ●耐震診断費用の一部助成の実施 ●耐震設計費用の一部助成の実施 ●耐震改修費用の一部助成の実施 ●制度の普及啓発の実施 	目標どおり達成できました。 ●耐震診断費用の一部助成の実施(申請9件、うち完了1件) ●耐震設計費用の一部助成の実施(申請2件) ●耐震改修費用の一部助成の実施(申請7件)	3	<ul style="list-style-type: none"> ●沿道木造建築物への耐震診断士派遣の実施 ●沿道建築物の耐震診断費用の一部助成の実施 ●耐震診断費用の一部助成の実施 ●耐震設計費用の一部助成の実施 ●耐震改修費用の一部助成の実施 ●制度の普及啓発の実施 	3	目標どおり達成できました。 ●沿道木造建築物への耐震診断士派遣の実施(申請23件、うち完了23件) ●沿道建築物の耐震診断費用の一部助成の実施(申請1件、うち完了1件) ●耐震診断費用の一部助成の実施(申請9件、うち完了9件) ●耐震設計費用の一部助成の実施(申請2件、うち完了0件) ●耐震改修費用の一部助成の実施(申請7件、うち完了7件)
建築物防災対策事業 予算 234,834 千円 決算見込 170,452 千円	<ul style="list-style-type: none"> ●耐震診断士派遣の実施 ●精密診断、補強計画、補強工事等費用の一部助成の実施 ●アスベスト含有調査及び除去等費用の一部助成の実施 ●制度の普及啓発の実施 	目標どおり達成できました。 ●耐震診断士派遣の実施(申請306件、うち完了239件) ●精密診断、補強計画、補強工事等費用の一部助成の実施(申請77件) ●アスベスト含有調査及び除去等費用の一部助成の実施(申請1件)	3	<ul style="list-style-type: none"> ●耐震診断士派遣の実施 ●精密診断、補強計画、補強工事等費用の一部助成の実施 ●アスベスト含有調査及び除去等費用の一部助成の実施 ●制度の普及啓発の実施 	3	目標どおり達成できました。 ●耐震診断士派遣の実施(申請396件、うち完了321件) ●精密診断、補強計画、補強工事等費用の一部助成の実施(申請114件、うち工事完了72件・診断設計完了14件) ●アスベスト含有調査及び除去等費用の一部助成の実施(含有調査2件)
宅地防災対策事業 予算 13,481 千円 決算見込 7,914 千円	<ul style="list-style-type: none"> ●大規模盛土造成地の変動予測調査(第2次スクリーニング調査の対象となる可能性のある大規模盛土造成地の現地踏査)の実施 ●宅地防災工事に対する助成及び助成金制度に関する啓蒙活動の実施 	目標どおり達成できました。 ●宅地防災工事に対する助成(申請3件、うち完了1件)	3	<ul style="list-style-type: none"> ●大規模盛土造成地の変動予測調査(現地踏査の結果に基づく第2次スクリーニング計画の修正：盛土造成地の優先度の判定)の実施 ●宅地防災工事に対する助成及び助成金制度に関する啓蒙活動の実施 	3	目標どおり達成できました。 ●宅地防災工事に対する助成(4件)

急傾斜地崩壊対策事業	●急傾斜地崩壊危険区域の指定及び崩壊防止工事の実施の推進 ●急傾斜地崩壊危険区域における神奈川県との合同パトロールの実施 ●土砂災害警戒区域等に関する情報の周知	目標どおり達成できました。	3	●急傾斜地崩壊危険区域の指定及び崩壊防止工事の実施の推進 ●急傾斜地崩壊危険区域における崖崩れ災害防止に向けた周知啓発活動の実施 ●土砂災害警戒区域等に関する情報の周知	目標どおり達成できました。 ●急傾斜地崩壊危険区域の指定・拡大2区域、工事の実施5区域 ●土砂災害警戒区域等に関する情報の周知（周知活動2回）	3
予算	74,200 千円					
決算見込	31,466 千円					

③重点課題の解決状況に関する指標

	前半			1年間		
	計画・目標値	実績値 (計画・目標値との差異)	区分	計画・目標値	実績値 (計画・目標値との差異)	区分
指標①	指標に関する実績値が1年ごとには把握できないため、1年間の目標値のみ設定しています。			木造住宅の耐震改修助成制度等の実施件数（400件）	●耐震診断士派遣の実施（申請396件、うち完了321件） ●精密診断、補強計画、補強工事等費用の一部助成の実施（申請114件、うち工事完了72件・診断設計完了14件） 合計407件（達成率102%）	3
指標②	指標に関する実績値が1年ごとには把握できないため、1年間の目標値のみ設定しています。			特定建築物の耐震改修助成制度等の実施件数（40件）	●沿道木造建築物への耐震診断士派遣の実施（申請23件、うち完了23件） ●沿道建築物の耐震診断費用の一部助成の実施（申請1件、うち完了1件） ●耐震診断費用の一部助成の実施（申請9件、うち完了9件） ●耐震設計費用の一部助成の実施（申請2件、うち完了0件） ●耐震改修費用の一部助成の実施（申請7件、うち完了7件） 合計40件（達成率100%）	3
指標③	指標に関する実績値が1年ごとには把握できないため、1年間の目標値のみ設定しています。			宅地防災工事助成の実施件数（5件）	宅地防災工事助成の実施件数（実施4件） 合計4件（達成率80%）	3

④重点課題の総合的な実施結果区分について

重点課題の総合的な実施結果区分		実施結果区分についての説明
目標を上回る成果があった		●建築物防災対策事業、特定建築物耐震対策事業、宅地防災対策事業のいずれも概ね目標どおりの実績となっており、その他の耐震化事業についても、目標どおりに事業進捗していることから、耐震化の促進について成果があったと考えます。
目標どおりの成果があった	■	
目標を下回る成果があった		
ほとんど成果なし		

⑤課題の状況について

年度当初と比べた現時点での課題の状況区分		課題の状況区分についての説明
課題は増大している		
課題は同水準で存在する	■	
課題は縮小・解消している		

⑥次年度における事務事業の見直し結果

次年度における事務事業の見直し結果区分の説明	●川崎市耐震改修促進計画に基づき、耐震化の取組を進め、2015年度末までに住宅及び特定建築物の耐震化率を90%以上とする目標を達成しましたが、法改正やそれに伴う国の基本方針等の改正を受け、2015年度末に川崎市耐震改修促進計画の改定を行い、新たに設定した2020年度末までに住宅及び特定建築物の耐震化率を95%以上とする目標達成に向けて、引き続き建築物の耐震化を促進していきます。 ●これまでの耐震施策を着実に進めるとともに、耐震化が進んでいない木造戸建住宅や通行障害建築物の耐震化率の向上のため、耐震化の重要性の意識啓発や助成制度による支援を重点的に行ってまいります。 ●宅地防災対策事業及び急傾斜地崩壊対策事業については、住民への啓発活動を十分に行い、崩落防止工事を順次進めていくことで宅地の安全性を高めてまいります。
------------------------	---

「アクションプログラム2015」に基づく重点課題進行管理シート

①重点課題の内容等

基本戦略	1 生命を守り生き生きと暮らすことができるまちづくり	重点課題名	臨海部の防災・減災対策の推進
作成課	港湾局港湾経営部整備計画課	関係課	港湾局港湾経営部整備計画課
重点課題の内容	<ul style="list-style-type: none"> ●東日本大震災以降、首都圏における大規模地震災害が危惧されていることから、臨海部においては、震災時における津波対策や緊急物資受入施設等の早期整備を行うことで、港湾機能を麻痺することなく緊急物資の受入場所の確保や輸送路の確保を図ります。 ●地震等の発生により島部が孤立した場合において、内陸部への避難方法を確保する必要があるため、防災用浮き桟橋を整備します。 ●災害時の一時避難施設に指定されている川崎マリエンの防災機能を強化するため、再生エネルギー設備を整備します。 ●海岸保全施設を適切に維持管理するとともに、陸間の作業性及び安全性の向上を図るための改良を行うなど、津波・高潮による浸水から背後圏を防護するための事業を推進します。 		
重点課題の解決に向けた目標	<ul style="list-style-type: none"> ●緊急物資受入のため、岸壁の耐震化に向けた事業の推進を図るとともに、緊急物資輸送路が災害時に通行できるよう必要な対策を実施します。 ●海底トンネルの津波対策の検討及び防災用浮き桟橋の整備を実施します。 ●海岸保全施設である陸間や防潮堤を改良し、背後圏を浸水から防護するための事業を推進します。 		

②重点課題に位置付けられた事務事業の目標・実績等

事務事業名・予算額	前半			1年間		
	取組内容・目標	実績等（目標との差異や次期への方向性等）	区分	取組内容・目標	実績等（目標との差異や次期への方向性等）	区分
港湾施設改修（防災・減災）事業 予算 2,605,663 千円 決算見込 592,155 千円	<ul style="list-style-type: none"> ●千鳥町7号岸壁の付帯施設（検潮所）設置工事の実施 ●国が実施する東扇島9号岸壁耐震改修工事の事業推進を支援 ●再生エネルギー設備整備に向けた調整・検討 	千鳥町7号岸壁の付帯施設（検潮所）設置工事は、入札不調により、下半期に実施します。	4	<ul style="list-style-type: none"> ●千鳥町7号岸壁改良（耐震）工事の実施 ●緊急支援物資輸送路における埋設管付近の段差抑制対策工事の実施 ●海底トンネルの津波対策の検討や防災用浮き桟橋の整備を実施 ●国が実施する東扇島9号岸壁耐震改修の事業推進を支援 ●再生エネルギー設備整備に向けた基本・詳細設計の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ●緊急支援物資輸送路における埋設管付近の段差抑制対策工事については、関係者との調整等に時間を要したため、次年度早期の実施となりました。 ●一部事業を除き、目標どおり達成できました。 	4
海岸保全施設維持整備事業 予算 0 千円 決算見込 0 千円	<ul style="list-style-type: none"> ●陸間の改良を実施 ●新たな改良工事の実施に向けた関係企業調整 ●海岸保全基本計画の見直しに向けた関係機関との調整を実施 	目標どおり達成できました。	3	<ul style="list-style-type: none"> ●陸間の改良を実施 ●新たな改良工事の実施に向けた関係企業調整 ●海岸保全施設長寿命化計画策定に向けた関係企業等との調整 ●海岸保全基本計画の見直しに向けた関係機関との調整を実施 	目標どおり達成できました。	3

③重点課題の解決状況に関連する指標

指標①	前半			1年間		
	計画・目標値	実績値（計画・目標値との差異）	区分	計画・目標値	実績値（計画・目標値との差異）	区分
災害発生時の防災・減災の効果を指標とすべきですが、発生予測ができないため、指標を設定することが困難です。						

④重点課題の総合的な実施結果区分について

重点課題の総合的な実施結果区分		実施結果区分についての説明 <ul style="list-style-type: none"> ●港湾施設改修（防災・減災）事業の取組の結果、課題解決に向けた目標をほぼ達成したことから、成果があったと考えます。 ●海岸保全施設維持整備事業の取組により、陸間を引戸式に改良した結果、現場操作員の安全の確保及び作業性の向上が図られ、成果があったと考えます。
目標を上回る成果があった		
目標どおりの成果があった	■	
目標を下回る成果があった		
ほとんど成果なし		

<⑤課題の状況について>

年度当初と比べた現時点での課題の状況区分	
課題は増大している	
課題は同水準で存在する	■
課題は縮小・解消している	

課題の状況区分についての説明	<ul style="list-style-type: none"> ●港湾施設改修（防災・減災）事業については、首都圏で今後、大規模災害が危惧されているため、早期整備に向けた円滑な事業進捗が必要です。 ●海岸保全施設（陸閘）は、民間企業の敷地内に数多く存在することから、現場操作員の安全を確保するためにも、引き続き2016年度も取組を継続していくことが必要です。
----------------	--

<⑥次年度における事務事業の見直し結果>

次年度における事務事業の見直し結果区分の説明	<ul style="list-style-type: none"> ●海岸保全施設維持整備事業については、海岸法が改正されたことにより、民間企業等と調整を図りながら、現場操作員の安全を確保するため操作規則及び施設の延命化に向けた長寿命化計画の策定を行う必要があります。
------------------------	--

「アクションプログラム2015」に基づく重点課題進行管理シート

①重点課題の内容等

基本戦略	1 生命を守り生き生きと暮らすことができるまちづくり	重点課題名	市立病院の機能強化に向けた取組
作成課	病院局経営企画室〔経営企画担当〕	関係課	病院局川崎病院事務局庶務課、病院局井田病院事務局庶務課、病院局経営企画室〔経営企画担当〕
重点課題の内容	<ul style="list-style-type: none"> ●医療の高度化、高齢化社会の急速な進展による高齢人口の増加、慢性疾患を中心とした疾病構造の変化などにより、近年の医療需要は複雑化、多様化する傾向にあります。市立病院は、地域の基幹病院又は中核病院として、高度・特殊・急性期医療や、救急医療等を継続的かつ安定的に提供することが求められています。 ●多様な医療ニーズに対応するため、医療機関相互の機能分担と連携を進め、地域の医療水準を高めていくことが重要であり、地域医療連携の強化が求められています。 ●2015年3月に総務省から示された「新公立病院改革ガイドライン」により、「新公立病院改革プラン」の策定が求められています。 		
重点課題の解決に向けた目標	<ul style="list-style-type: none"> ●高齢化の進展とともに救急患者の増加が予測されるため、救急医療の体制強化・拡充を推進し、救急患者の積極的な受入れに取り組みます。 ●医療機能の分化・連携を推進するとともに、医療の質と患者サービスの向上に取り組み、市民に信頼される市立病院の運営を行います。 ●2015年度神奈川県が策定する「地域医療構想」の策定状況を踏まえながら、市立病院の運営方針となる「新公立病院改革プラン」を策定します。 		

②重点課題に位置付けられた事務事業の目標・実績等

事務事業名・予算算額	前半			1年間		
	取組内容・目標	実績等（目標との差異や次期への方向性等）	区分	取組内容・目標	実績等（目標との差異や次期への方向性等）	区分
川崎病院の運営	<ul style="list-style-type: none"> ●高度・特殊・急性期医療等の提供 ●地域周産期母子医療センターの安定的な運営 ●救急医療の安定的な提供と体制強化の検討 ●地域医療連携の体制強化 ●地域医療支援病院名称承認申請に向けた準備 ●病院建築物劣化調査等及びESCO事業導入可能性基礎調査等の実施 	<p>目標どおり達成できました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●NICU・GCUともに病床稼働が前年度同期を上回るなど、地域周産期母子医療センターを安定的に運営しました。 ●救命救急センターに救急業務嘱託員として、救急救命士の任用を継続し、強化体制の維持を図りました。 ●4月から紹介患者予約センターの運用を開始しました。 ●連携医の登録を進めるなど地域医療支援病院承認申請に向けた準備を進めました。 ●中長期保全計画素案作成、ESCO事業導入可能性基礎調査の実施、川崎病院機能再編検討委員会設置等、基本方針に基づく取組を進めました。 <p>また、ICTの取組では、外来診療における電子お薬手帳の運用を開始しました。</p>	3	<ul style="list-style-type: none"> ●高度・特殊・急性期医療等の提供 ●地域周産期母子医療センターの安定的な運営 ●救急医療の安定的な提供と体制強化の検討 ●助産外来の評価及び拡充検討 ●地域医療連携の体制強化 ●地域医療支援病院名称承認申請に向けた準備 ●病院の中長期保全計画、ESCO年次計画及びICTを活用した取組の推進を視野に入れた再整備（スマート化）の検討 	<p>目標どおり達成できました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●NICU・GCUともに病床稼働が前年度と同程度で、地域周産期母子医療センターを安定的に運営しました。 ●救命救急センターに救急医をサポートする救急救命士を確保し、また夜間・休日における緊急MRI撮影実施体制を整備し、救急医療体制の充実を図りました。 ●助産外来に関わる助産師を対象とした保健指導学習会を実施し、助産実践能力の向上に努めました。 ●地域医療支援病院と称することについて承認を得ました。また、地域の346医療施設と連携登録医として登録し、地域医療連携を強化しました。 ●中長期保全計画を作成し、ESCO事業導入可能性基礎調査の実施及び導入に向けて検討を行いました。また、ICTを活用した取組において、外来診療における電子お薬手帳の運用開始、デジタルサイネージの導入、院内Wi-Fiの試験的導入・提供を推進しました。 	3
井田病院の運営	<ul style="list-style-type: none"> ●高度・特殊・急性期医療等の提供 ●地域がん診療連携拠点病院の認定更新に向けた取り組みの強化（がん疾患手術件数、化学療法件数、放射線療法件数） ●地域医療支援病院の名称承認に向けた取り組み（逆紹介率の向上、中原区医師会との連携促進） ●2次救急医療の強化（休日・夜間の当直体制拡充の検討、救急隊との連絡会実施） 	<p>目標どおり達成できました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●がん治療等を安定的に提供した結果、がん疾患手術件数などの申請基準を満たし、地域がん診療連携拠点病院の認定更新の申請を行いました。 ●地域医療従事者との症例検討会の開催や、患者の逆紹介を継続的に行うなど、地域医療支援病院の承認に向けた取組を進めました。 ●円滑な救急受入れ等に向け救急隊との連絡会を実施したほか、5月から平日夜間の当直体制を拡充し、二次救急医療機能を強化しました。 	3	<ul style="list-style-type: none"> ●高度・特殊・急性期医療等の提供 ●地域がん診療連携拠点病院の認定更新（申請実施） ●地域医療支援病院の名称承認に向けた取り組み（逆紹介率の向上、中原区医師会との連携促進） ●2次救急医療の強化（休日・夜間の当直体制拡充、救急隊との連携強化） 	<p>目標どおり達成できました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●診療実績要件を満たし、地域がん診療連携拠点病院の認定更新が認められました。 ●医療機関の役割分担や紹介状の持参を周知した結果、紹介・逆紹介率について、地域医療支援病院の承認基準を達成いたしました。 ●平日夜間の当直体制拡充を継続し、救急隊との連絡会を実施した結果、救急自動車搬送台数は、昨年度実績を上回りました。 	3
予算	9,483,761 千円					
決算見込	8,878,918 千円					
予算	4,485,720 千円					
決算見込	4,154,045 千円					

経営健全化の推進	<ul style="list-style-type: none"> ●経営健全化計画2014年度達成状況及び計画3か年の取組状況の取りまとめ ●新公立病院改革プランの策定に向けた諸課題の整理 ●「市立川崎病院におけるスマート化の基本方針」に基づく諸課題の調整 	<ul style="list-style-type: none"> ●2014年度を含む計画期間3か年の健全化達成状況を点検・評価書(案)としてとりまとめ、学識者等で構成する外部委員会に諮りました。 ●新公立病院改革プラン策定方針を定め、外部委員会の意見をいただくなど、策定作業を進めました。 ●中長期保全計画の策定やESCO事業の調査に着手するほか、ICTを活用した取組の推進に向け、関係局との協議・調整を進めました。 	3	<ul style="list-style-type: none"> ●「川崎市立病院運営委員会」による経営健全化計画の達成状況の点検・評価 ●新公立病院改革プランの策定 ●「市立川崎病院におけるスマート化の基本方針」に基づく取組の推進 	<ul style="list-style-type: none"> ●学識者等で構成する外部委員会に、第3次経営健全化計画の達成状況を諮り点検・評価書としてとりまとめました。 ●外部委員会の意見を踏まえ、新公立病院改革プランに位置づける「川崎市立病院中期経営計画2016-2020」を策定しました。 ●中長期保全計画を作成し、老朽化設備の省工費改修や防災機能強化について調査・検討を行ったほか、ICTを活用したサービスを導入し、スマート化の取組を推進しました。 	3
予算	722,952 千円					
決算見込	546,743 千円					

③重点課題の解決状況に関連する指標

	前半			1年間		
	計画・目標値	実績値 (計画・目標値との差異)	区分	計画・目標値	実績値 (計画・目標値との差異)	区分
指標①	指標に関する実績値が1年ごとしか把握できないため、1年間の目標のみ設定していません。			入院患者満足度 ①川崎病院(87.7%) ②井田病院(87.7%) ※入院患者が求める質の高い安全で安心な医療をどの程度提供できているかを表す指標です。	①川崎病院 86.5% (目標値比 -1.2%) ②井田病院 89.8% (目標値比 +2.1%)	3
指標②	指標に関する実績値が1年ごとしか把握できないため、1年間の目標のみ設定していません。			外来患者満足度 ①川崎病院(80.9%) ②井田病院(80.9%) ※外来患者が求める質の高い安全で安心な医療をどの程度提供できているかを表す指標です。	①川崎病院 74.6% (目標値比 -6.3%) ②井田病院 81.3% (目標値比 +0.4%)	4
指標③	紹介率 ①川崎病院(60.0%) ②井田病院(55.0%) ※初診患者の中で、地域の病院や診療所から紹介された患者の割合で、地域医療連携の取組状況を表す指標です。	①川崎病院 61.2% (目標値比 +1.2%) ②井田病院 55.9% (目標値比 +0.9%)	3	紹介率 ①川崎病院(60.0%) ②井田病院(55.0%) ※初診患者の中で、地域の病院や診療所から紹介された患者の割合で、地域医療連携の取組状況を表す指標です。	①川崎病院 61.7% (目標値比 +1.7%) ②井田病院 58.0% (目標値比 +3.0%)	3

④重点課題の総合的な実施結果区分について

重点課題の総合的な実施結果区分		実施結果区分についての説明 <ul style="list-style-type: none"> ●満足度調査については、今年度は、全国の他の病院の平均値(入院:87.7%、外来:80.9%)を目標値として設定しました。井田病院については、地域の医療機関との紹介・逆紹介など、地域医療連携を積極的に推進した結果、市立病院が本来提供すべき高度・特殊医療の強化が評価に繋がり、目標を達成することができました。一方、川崎病院については、井田病院と同様に取り組みましたが、目標値を下回りました。特に、平均値と差があった外来患者満足度については、原因として、「くつろげる場所」、「待ち時間」の評価が低いことが判明したため、調査後、外来の環境整備として、Wi-Fiの導入やデジタルサイネージの導入などに取り組みました。 ●紹介率については、紹介患者予約センター設置、かかりつけ医制度の推進、地域医療従事者等との症例検討会の充実、連携登録医の登録を進めるなど、地域医療機関との連携を推進した結果、目標を達成することができました。また、川崎病院は地域医療支援病院の名称承認を受けました。
目標を上回る成果があった		
目標どおりの成果があった	■	
目標を下回る成果があった		
ほとんど成果なし		

⑤課題の状況について

年度当初と比べた現時点での課題の状況区分		課題の状況区分についての説明 <ul style="list-style-type: none"> ●高齢社会の進展に伴い、今後ますます医療需要は高まることが予想されることから、2016年度も引き続き、救急医療をはじめとした医療機能を強化していくとともに、地域全体の医療水準向上のため、地域医療連携の推進に取り組んでいく必要があります。
課題は増大している		
課題は同水準で存在する	■	
課題は縮小・解消している		

⑥次年度における事務事業の見直し結果

次年度における事務事業の見直し結果区分の説明	<ul style="list-style-type: none"> ●「川崎市立病院中期経営計画2016-2020」については、今年度、目標どおりに策定しましたが、県が策定する「地域医療構想」が策定中であり、また、2017年度に「川崎市総合計画 第2期実施計画」の策定作業が予定されることなどから、2017年度には、本計画の見直しの必要性を検討することとしたため、2016年度はその準備作業を行うこととしました。 ●川崎病院は、地域の基幹病院として、次年度も今年度の方向性に沿って、救急医療の拡充・体制強化及び地域医療連携を推進するとともに、災害医療拠点病院及び臨床研修指定病院としての役割を担っていきます。また、高齢化の進展に伴う救急患者・がん患者の増加等による医療需要の変化等に対応するため、医療機能再編整備に向けた基本構想の策定を行います。
------------------------	--

「アクションプログラム2015」に基づく重点課題進行管理シート

①重点課題の内容等

基本戦略	1 生命を守り生き生きと暮らすことができるまちづくり	重点課題名	消防力の総合的な強化
作成課	消防局総務部企画担当	関係課	消防局総務部庶務課、消防局総務部施設設備課、消防局警防部警防課、消防局警防部救急課、消防局警防部指令課、消防局警防部航空隊
重点課題の内容	<ul style="list-style-type: none"> ●大震災時において被害を最小限に抑えるためには、地域の防災拠点となる消防庁舎等の整備が急務であり、消防力の強化に向けて老朽化した消防署所の早期改築・改修が必要です。 ●大規模災害等に対応するためには、「公助」と合わせて、市民及び地域の有する「自助力」「共助力」と連携した取組の推進が必要です。 ●消防活動に必要な機器等は計画的な更新を行い、安定的な消防活動体制の確保、機能強化を図る必要があります。 ●いつでも誰もが安心して平等な救急サービスが受けられるよう、高度な救命処置を提供することができる救急救命士の常時乗車体制の確保に向けた取組が必要です。 		
重点課題の解決に向けた目標	<ul style="list-style-type: none"> ●防災拠点となる消防庁舎等の整備及び消防活動に必要な機器等の更新を推進します。 ●救急救命士の常時乗車体制の確保に向けて、救急救命士を新規に養成（5人）します。また、高度な救命処置を提供することができる資格者を養成します。 ●地域防災力を高めるため、消火ホースキットの配備（59か所）を推進します。 		

②重点課題に位置付けられた事務事業の目標・実績等

事務事業名・予算額	前半			1年間		
	取組内容・目標	実績等（目標との差異や次期への方向性等）	区分	取組内容・目標	実績等（目標との差異や次期への方向性等）	区分
消防団に関する事務 予算 214,844 千円 決算見込 207,305 千円	<ul style="list-style-type: none"> ●条例定数1,345人の確保に向けた取組の推進 ・各消防団における、町内会、自治会等の積極的な消防団員募集広報活動の実施 ・消防団応援事業所制度の導入 ・消防団員の安全装備品の整備拡充 	目標どおり達成できました。	3	<ul style="list-style-type: none"> ●条例定数1,345人の確保に向けた取組の推進 ・女性や学生等に対する積極的な入団促進のためのイベント開催 ・消防団応援事業所制度の事業推進 ・消防団員の安全装備品の整備拡充 	目標どおり達成できました。	3
庁舎等整備事業 予算 1,584,626 千円 決算見込 1,181,952 千円	<ul style="list-style-type: none"> ●緊急消防援助隊活動拠点施設の工事 ●防災拠点として早期改修が必要とされる緊急工事の実施 ●臨港消防署千鳥町出張所棧橋の改築工事 	目標どおり達成できました。	3	<ul style="list-style-type: none"> ●緊急消防援助隊活動拠点施設の完成 ●防災拠点として早期改修が必要とされる緊急工事の実施 ●臨港消防署千鳥町出張所棧橋の改築工事 	臨港消防署千鳥町出張所棧橋の改築工事については、2015年度2度にわたる入札不調となり、関係局と協議した結果、2016年度に事業を実施することになったため、目標を下回る実績としております。	4
消防署所の改築事業 予算 348,752 千円 決算見込 285,161 千円	<ul style="list-style-type: none"> ●宮前消防署菅生出張所の改築工事 ●消防総合訓練場内の訓練塔・補助訓練塔の工事に向けた基本・実施設計 ●航空隊庁舎の移設工事に向けた基本・実施設計 	目標どおり達成できました。	3	<ul style="list-style-type: none"> ●宮前消防署菅生出張所の改築工事完了 ●消防総合訓練場内の訓練塔・補助訓練塔の工事に向けた基本・実施設計 ●航空隊庁舎の移設工事に向けた基本・実施設計 	目標どおり達成できました。	3
警防活動事業 予算 194,201 千円 決算見込 197,881 千円	<ul style="list-style-type: none"> ●大規模災害発生時における現場指揮本部の効率的な運用を目的とした、各種訓練及び研修の実施 ●消火ホースキットの仕様書の作成及び業者の決定 ●普及啓発、訓練指導用として各署にスタンドパイプ訓練資機材を各1台配備 	目標どおり達成できました。	3	<ul style="list-style-type: none"> ●大規模災害発生時における現場指揮本部の効率的な運用を目的とした、各種訓練及び研修の実施 ●市域避難所59か所へ消火ホースキットを配備 ●2017年度以降の配備拡充についての検討 	目標どおり達成できました。	3
救急救命士養成事業 予算 61,132 千円 決算見込 56,315 千円	<ul style="list-style-type: none"> ●救急救命士資格取得のため、3人を救急救命士養成施設に派遣 ●気管挿管認定救急救命士を2人養成 ●ビデオ硬性挿管用喉頭鏡認定救急救命士を4人養成 ●拡大2行為認定救急救命士を16人養成 	目標どおり達成できました。	3	<ul style="list-style-type: none"> ●救急救命士資格取得のため、5人を救急救命士養成施設に派遣及び資格取得 ●気管挿管認定救急救命士を4人養成 ●ビデオ硬性挿管用喉頭鏡認定救急救命士を16人養成 ●拡大2行為認定救急救命士を32人養成 	目標どおり達成できました。	3
消防指令体制の整備 予算 486,538 千円 決算見込 458,159 千円	<ul style="list-style-type: none"> ●消防指令システム及び消防情報管理システム更新に向けた基本方針の最終決定及び関係局との調整 ●ヘリコプターテレビ電話システム更新のため、地上設備の据付及びそよかせ1号の機上設備契約事務の適正実施 	目標どおり達成できました。	3	<ul style="list-style-type: none"> ●消防指令システム及び消防情報管理システム更新に向けた関係局との調整を実施 ●地上設備の据付完了及び機上設備の契約の締結 	目標どおり達成できました。	3

ヘリコプター整備事業	●そよかぜ2号の領収 ●そよかぜ1号のヘリコプターテレビ電送システム機上設備の機体改修業者の決定	目標どおり達成できました。	3	●そよかぜ2号の更新 ●そよかぜ1号のヘリコプターテレビ電送システムの機体改修	目標どおり達成できました。	3
予算	1,780,337 千円					
決算見込	1,780,718 千円					

③重点課題の解決状況に関する指標

	前半			1年間		
	計画・目標値	実績値 (計画・目標値との差異)	区分	計画・目標値	実績値 (計画・目標値との差異)	区分
指標①	●救急救命士の養成(3人)	目標どおり達成できました。	3	●救急救命士の養成(5人)	目標どおり達成できました。	3
指標②	配備計画が1年単位のものであるため、1年間の目標値のみ設定			●消火ホースキットの配備(59か所)	目標どおり達成できました。	3

④重点課題の総合的な実施結果区分について

重点課題の総合的な実施結果区分		実施結果区分についての説明 ●臨港消防署千鳥町出張所棧橋の改築工事については、2014年度に続き、経済情勢等により今年度も二度にわたる入札不調となり、関係局と協議した結果、次年度に事業を見送ることになりました。 ●その他の事業については、消防団応援事業所制度を導入したほか、緊急消防援助隊活動拠点施設の工事、消火ホースキット59セットの配備、救急救命士の養成、ヘリコプターテレビ電送システムの整備など計画どおりに推進できたため、概ね目標どおりの成果があったと考えます。
目標を上回る成果があった		
目標どおりの成果があった	■	
目標を下回る成果があった		
ほとんど成果なし		

⑤課題の状況について

年度当初と比べた現時点での課題の状況区分		課題の状況区分についての説明 ●臨港消防署千鳥町出張所棧橋については、引き続き課題(老朽化対策、震災・津波対策)が存在するため、2016年度も早期の改築に向け取組を継続していくことが必要です。
課題は増大している		
課題は同水準で存在する	■	
課題は縮小・解消している		

⑥次年度における事務事業の見直し結果

次年度における事務事業の見直し結果区分の説明	●臨港消防署千鳥町出張所棧橋の改築工事については、2015年度も入札不調に終わったため、関係局と協議した結果、2016年度に実施することとなりました。 ●消火ホースキットの配備については、2016年度の58か所への配備で完了となりますが、2017年度以降の配備拡充については、市民アンケート等の結果に基づき、関係局と調整を踏まえ、推進していきます。 ●救急救命士の養成事業については、2016年度は救急効果の向上のため救急救命士の養成数を現行の5人から7人に増やすとともに、2018年度の王禅寺救急隊の増隊に必要な救急救命士6人も合わせて養成します。
------------------------	---

「アクションプログラム2015」に基づく重点課題進行管理シート

①重点課題の内容等

基本戦略	2 子どもを安心して育てることのできるふるさとづくり	重点課題名	質の高い保育・幼児教育の総合的な提供
作成課	市民・こども局こども本部子育て推進部保育課	関係課	市民・こども局こども本部子育て推進部幼児教育担当、市民・こども局こども本部子育て推進部保育所整備課、市民・こども局こども本部子育て推進部運営支援・人材育成担当、市民・こども局こども本部子育て推進部保育課、市民・こども局こども本部子育て推進部事業調整・待機児童対策担当
重点課題の内容	<ul style="list-style-type: none"> ●就学前児童数の増加等に伴い保育需要が年々高まる中で、認可保育所の整備等により入所枠の拡大を図るなど、待機児童解消に向けた継続的な取組を推進します。 ●毎年20園程度の施設園を開設する中でも、保育事業の質の担保・向上に向け、公立・民間を問わず市内で働く保育士向けの研修等の各種取組を推進するとともに、延長保育や一時保育などの保育ニーズへの適切な対応を進めます。 ●多様な保育ニーズへの対応策として、川崎認定保育園への助成やおなかま保育室事業を実施します。川崎認定保育園は、月額最大2万円の保育料補助を実施します。 ●子どもが病気の際などの保育ニーズにも対応するため、病児・病後児保育施設の充実及び新規整備に取り組みます。 		
重点課題の解決に向けた目標	<ul style="list-style-type: none"> ●認可保育所の整備等により、保育の受け入れ枠を1,480人分増加します。 ●保育所等への申請者数の増加が見込まれる中、引き続き区役所における相談・支援の充実に努め、待機児童解消に向けて継続的な取組を進めていきます。 		

②重点課題に位置付けられた事務事業の目標・実績等

事務事業名・予算額	取組内容・目標	前年		1年間		
		実績等（目標との差異や次期への方向性等）	区分	実績等（目標との差異や次期への方向性等）	区分	
幼児教育の振興事業 予算 3,572,764 千円 決算見込 3,503,677 千円	<ul style="list-style-type: none"> ●私立幼稚園保育料等補助の実施 ●新制度の施設型給付、一時預かり事業（幼稚園型）の実施 ●私立幼稚園協会補助金事業の実施 ●幼児教育巡回相談事業の実施 ●新制度移行に関する説明会及び移行園への支援 	目標どおり進行しています。年度末に向けては、各補助金の適切な執行に向け、補助金額の確定や精算処理を確実に進めていきます。	3	<ul style="list-style-type: none"> ●私立幼稚園保育料等補助の実施 ●新制度の施設型給付、一時預かり事業（幼稚園型）の実施 ●私立幼稚園協会補助金事業の実施 ●幼児教育巡回相談事業の実施 ●新制度移行に関する説明会及び移行園への支援 ●幼児園児保育料等補助の実施 ●認定こども園の整備及び認可・認定の実施 	目標どおり達成できました。「子ども・子育て支援新制度」の施行に伴い、次年度以降、施設型給付園への移行が進むと、私立幼稚園保育料等補助金の支給人数は減少が見込まれます。（2015年 22,167人）	3
認可保育所の整備 予算 2,826,200 千円 決算見込 2,721,111 千円	<ul style="list-style-type: none"> ●2016年4月開設の民間事業者活用型整備の運営法人の募集・選定 ●2015年4月民営化園のアフターフォロー ●2016年4月民営化園の法人及び保護者との協議・調整 ●2017年4月民営化園の法人の募集・選定 ●2018年4月民営化園の選定 	2016年4月に向けた子ども・子育て支援事業計画上の拡大定員数を確保するため、認可保育所及び小規模保育事業所の設置運営法人について、民間事業者活用型保育所整備事業による法人募集を第3次まで実施しました。また、各年度の民営化に向けた作業について、目標どおり進行しています。	3	<ul style="list-style-type: none"> ●2016年4月の入所枠拡大に向けた取組（1,480人増） ①認可保育所の整備による定員増（19園・1,310人） ②小規模保育事業所の整備による定員増（5園・95人） ③公立保育所の建替え民営化による定員増（4園・75人） 	認可保育所の整備により1,380人、公立保育所の民営化により75人、小規模保育事業所の整備により72人、合計で1,527人の入所枠を拡大し、当初計画を上回って定員枠を確保しました。	3
公立保育所の運営 予算 2,251,015 千円 決算見込 2,125,449 千円	<ul style="list-style-type: none"> ●効率的で効果的な運営（45か所：受入定員 4,825人）（2015年4月現在） ●民営化の推進（4園） ●「新たな公立保育所」実施園の建替え計画の作成 	効率的で効果的な運営を行うとともに、民営化に向けた事業の推進等、目標どおり進行しています。	3	<ul style="list-style-type: none"> ●効率的で効果的な運営（45か所：受入定員4,825人）（2015年4月現在） ●民営化の推進（4園） ●「新たな公立保育所」実施園の建替え計画の作成 	4園の民営化、「新たな公立保育所」実施園の建替え計画の作成等について目標どおり達成できました。引き続き民営化の着実な実施、新たな公立保育所の建替え計画を進めていきます。	3
保育所職員の育成事業 予算 6,310 千円 決算見込 22,891 千円	<ul style="list-style-type: none"> ●市全体の保育の質の担保、向上を目的とした、課題・ニーズに対応した適切な研修の実施 	目標どおり進行しています。	3	<ul style="list-style-type: none"> ●市全体の保育の質の担保、向上を目的とした、課題・ニーズに対応した適切な研修の実施 	民間保育所や認可外保育施設の職員も対象にして、公民合同の研修を実施しました。引き続き、課題やニーズに対応した研修を計画、実施していきます。	3

民間保育所の運営	<ul style="list-style-type: none"> ●民間保育所の運営支援（222か所、17,515人） ●延長保育事業の拡充（1時間延長14か所、2時間延長208か所） ●一時保育事業の拡充（58か所） ●公設民営保育所の民設化の推進 	目標どおり進行しています。	3	<ul style="list-style-type: none"> ●民間保育所の運営支援（3月末：222か所、17,515人） ●延長保育事業の拡充（1時間延長14か所、2時間延長208か所） ●一時保育事業の拡充（62か所） ●公設民営保育所の民設化の推進 	民間保育所の適正な運営の支援と、延長保育事業や一時保育事業の拡充を目標どおり達成しました。また、公設民営保育所2か所の民設化を達成しました。引き続き増設される民間保育所の適正な運営の確保と多様な保育事業の推進を図っていきます。	3
認可外保育施設の支援等	<ul style="list-style-type: none"> ●子ども・子育て支援新制度による地域型保育事業の円滑な運営に向けた各種マニュアルなどの整備 ●2016年度に向けた地域型保育事業の移行や家庭的保育事業や小規模保育C型の新規募集等 ●川崎認定保育園及びおなかも保育室の円滑な運営及び川崎認定保育園保育料補助の実施 ●病児・病後児保育施設の運営及び病児保育施設の新規整備 	目標どおり進行しています。	3	<ul style="list-style-type: none"> ●子ども・子育て支援新制度による地域型保育事業の円滑な運営に向けた各種マニュアルなどの整備 ●2016年度に向けた地域型保育事業の移行や家庭的保育事業や小規模保育C型の新規募集等 ●川崎認定保育園及びおなかも保育室の円滑な運営及び川崎認定保育園保育料補助の実施 ●病児・病後児保育施設の運営及び病児保育施設の新規整備 	川崎認定保育園やおなかも保育室からの小規模保育事業への移行などを進めました。また、川崎認定保育園保育料補助の実施により、2016年4月時点での利用児童数は4,384人となり、3年間で1,993人の増加となりました。	3
保育料対策事業	<ul style="list-style-type: none"> ●滞納を未然防止するための口座振替の勧奨、滞納長期化を防止するための早期の納付指導等の継続的実施 ●滞納長期化を防止するため、督促や催告に合わせた電話による納付指導 ●長期滞納者への滞納整理を実施するための財産調査 	目標どおり進行しています。	3	<ul style="list-style-type: none"> ●滞納を未然防止するための口座振替の勧奨、滞納長期化を防止するための早期の納付指導等の継続的実施 ●滞納長期化を防止するため、園長面談や、督促や催告に合わせた電話による納付指導 ●長期滞納者への滞納整理を実施するための財産調査 ●財産差押え等の滞納処分の実施 	口座振替の勧奨を全世帯に実施し、口座振替残高不足者への電話による注意喚起を継続的に実施しました。また、滞納長期化を防止するため、督促や催告に合わせた電話による納付指導を行いました。さらに、長期滞納者への滞納整理を実施するための各種調査及び滞納処分を実施しました。	3
待機児童ゼロ対策の推進	<ul style="list-style-type: none"> ●待機児童解消の継続に向けた取組の推進 ●待機児童対策推進本部会議、推進本部検討部会の効果的な運営 ●各区役所待機児童対策推進会議との連携 ●各区役所における課題解決に向けた取組の推進 	申請受付前からの各区役所における相談会・説明会を全区実施し利用者支援の充実を図るなど目標どおり進行しています。	3	<ul style="list-style-type: none"> ●待機児童解消の継続に向けた取組の推進 ●待機児童対策推進本部会議、推進本部検討部会の効果的な運営 ●各区役所待機児童対策推進会議との連携 ●各区役所における課題解決に向けた取組の推進 	2016年4月1日時点の待機児童数について、計画を上回る保育所整備等により、7区中6区で待機児童を解消しましたが、大規模集合住宅開発等に伴う申請増が続く中原区において6人となりました。今後、保育需要をより精緻に分析し、必要な地域への受け皿の確保を進めていきます。	3
予算	28,569,231 千円					
決算見込	28,763,947 千円					
予算	4,033,788 千円					
決算見込	3,965,570 千円					
予算	31,131 千円					
決算見込	28,152 千円					
予算	24,938 千円					
決算見込	25,947 千円					

＜③重点課題の解決状況に関連する指標＞

	前半			1年間		
	計画・目標値	実績値 (計画・目標値との差異)	区分	計画・目標値	実績値 (計画・目標値との差異)	区分
指標①	指標に関する実績値が1年ごとしか把握できないため、1年間の目標のみ設定しています。			認可保育所の整備等により定員枠を拡大 1,480人	1,527人 (+47人) 認可保育所の整備による定員増1,380人、公立保育所の民営化による定員増75人、小規模保育事業所の整備による定員増72人、合計で1,527人と目標値を上回って定員枠を確保しました。	3
指標②	指標に関する実績値が1年ごとしか把握できないため、1年間の目標のみ設定しています。			私立幼稚園保育料等補助金支給人数 22,106人	22,167人 (+61人) 「子ども・子育て支援新制度」の施行に伴い、次年度以降、施設型給付園への移行が進むと、私立幼稚園保育料等補助金の支給人数は減少が見込まれます。	3
指標③	指標に関する実績値が1年ごとしか把握できないため、1年間の目標のみ設定しています。			川崎認定保育園の受入児童数(2016年度4月時点) 4,171人	川崎認定保育園の受入児童数 4,384人 (+213人) 月額最大2万円の保育料補助の効果もあり、2016年4月時点での利用児童数は4,384人と、3年間で1,993人増加しており、認可保育所と並び、保育ニーズを支える重要な保育資源となっています。	3

<④重点課題の総合的な実施結果区分について>

重点課題の総合的な実施結果区分	
目標を上回る成果があった	
目標どおりの成果があった	■
目標を下回る成果があった	
ほとんど成果なし	

実施結果区分についての説明	<ul style="list-style-type: none"> ●保育需要が高まる中、認可保育所の整備等により受け皿の拡充を図り、利用児童数も大幅に増加しています。また、各区においては、市民視点に立ち、相談・支援の充実に取り組んでいます。 ●延長保育や一時保育の充実と合わせて、認可外保育施策として川崎認定保育園やおなかま保育室事業を実施し、多様な保育ニーズに対応しています。特に、川崎認定保育園は、月額最大2万円の保育料補助実施により、利用者が大幅に増加し、認可保育所と並び市の保育ニーズを支える重要な受け皿となっています。 ●子どもが病気の際などの保育ニーズに対応するため、病児・病後児保育施設の充実及び新規整備に取り組んでいます。 ●毎年20園程度の新設園を開設する中で、保育の質の担保・向上に向けて、市内の公民保育所で働く保育士向けの研修等の取組を推進しています。
---------------	---

<⑤課題の状況について>

年度当初と比べた現時点での課題の状況区分	
課題は増大している	■
課題は同水準で存在する	
課題は縮小・解消している	

課題の状況区分についての説明	<ul style="list-style-type: none"> ●大規模集合住宅の開発に伴い、今後も引き続き就学前児童数の増加が見込まれていることに加え、待機児童対策の取組への期待感等から申請率も上昇しています。 ●近年の建設コストの上昇に加え、保育所整備が必要な主要駅近辺の保育需要が高い地域ほど、賃借料の高騰等により整備が難しい状況となっています。 ●保育施設の大幅な増加に伴い、保育士不足が生じており、保育の質の担保・向上を図るための処遇改善や人材育成が喫緊の課題となっています。 ●保育事業費が年々急増する中、保育施策の持続性・継続性を担保していく必要があります。
----------------	---

<⑥次年度における事務事業の見直し結果>

次年度における事務事業の見直し結果区分の説明	<ul style="list-style-type: none"> ●仕事をしながら子育て中の保護者が安心して子どもを預けられる環境を整備し、「子育てしやすいまちかわさき」を実現していくためには、保育所整備をはじめとした待機児童対策が必要不可欠であるため、引き続き保育受け皿の量的拡充と保育の質の担保・向上の取組を両輪で推進していきます。 ●幼稚園については、次年度に新制度へ移行する園（認定こども園）が新たに1園あり、施設型給付費が増加しますが、それに伴い、私立幼稚園保育料等補助金の対象者数は減少します。新制度の「一時預かり事業（幼稚園型）」を推進するため、幼稚園における預かり事業の保育時間及び保育実施日数の拡大が図られるよう調整を行い、次年度は本事業を拡充する予定です。
------------------------	--

「アクションプログラム2015」に基づく重点課題進行管理シート

①重点課題の内容等

基本戦略	2 子どもを安心して育てることのできるふるさとづくり	重点課題名	小児医療費助成の拡充
作成課	市民・こども局こども本部こども支援部こども家庭課	関係課	
重点課題の内容	●本制度は、小児に係る医療費の保険診療の自己負担分を助成することにより、その健全な育成を図り、もって小児保健の向上に寄与するとともに福祉の増進を図ることを目的としています。制度発足以来、段階的に制度の拡充を行っており、2015年4月には通院医療費助成対象年齢を小学校2年生まで拡大しました。引き続き、子育ての不安を解消し、安心して子どもを産み育てることのできる環境づくりに向けて、国や県及び他都市の動向等も注視しながら、更なる制度の拡充に向けた検討を進めていく必要があります。		
重点課題の解決に向けた目標	●小児医療費助成制度の更なる拡充に向けて、家計における医療費の負担感の高い小学校3年生まで優先して、2016年4月に通院医療費助成対象年齢の拡大を図るとともに、2017年度以降できるだけ早期に、小学校6年生まで拡大します。また、「小児医療費助成制度検討プロジェクト会議」等において、持続可能な制度として安定的に運営できるよう、受益と負担の考え方等、様々な観点から幅広く検討・調整を行います。		

②重点課題に位置付けられた事務事業の目標・実績等

事務事業名・予算額	前半			1年間		
	取組内容・目標	実績等（目標との差異や次期への方向性等）	区分	取組内容・目標	実績等（目標との差異や次期への方向性等）	区分
小児医療費助成事業	<ul style="list-style-type: none"> ●医療費の助成の普実な実施 ●受給資格一斉更新の実施 ●事務効率化による経費削減に向けた検討及び調整 ●通院医療費助成対象年齢の小学校3年生までの拡大に向けた取組の実施 ●制度の更なる拡充に向けた検討の実施 	目標とおり達成できました。	3	<ul style="list-style-type: none"> ●医療費の助成の普実な実施 ●受給資格一斉更新の実施 ●事務効率化による経費削減に向けた検討及び調整 ●通院医療費助成対象年齢の小学校3年生までの拡大に向けた取組の実施 ●制度の更なる拡充に向けた検討の実施 	目標とおり達成できました。	3
予算	3,808,438 千円					
決算見込	3,919,025 千円					

③重点課題の解決状況に関連する指標

指標①	前半			1年間		
	計画・目標値	実績値（計画・目標値との差異）	区分	計画・目標値	実績値（計画・目標値との差異）	区分
	2016年4月に通院医療費助成対象を小学校3年生まで拡大することを目標としますが、今年度中に実績値として現れる指標はありません。			2016年4月に通院医療費助成対象を小学校3年生まで拡大することを目標としますが、今年度中に実績値として現れる指標はありません。		

④重点課題の総括的な実施結果区分について

重点課題の総括的な実施結果区分	
目標を上回る成果があった	
目標どおりの成果があった	■
目標を下回る成果があった	
ほとんど成果なし	
実施結果区分についての説明	●制度の拡充に向け、2016年4月に通院医療費助成対象年齢を小学校2年生までから小学校3年生までに拡大することとし、また、2017年4月に通院医療費助成対象年齢を小学校6年生まで拡大するとともに、一部負担金導入を検討することで、更なる制度拡充に向けた一定の方向性を見出したことについては、成果があったと考えます。

⑤課題の状況について

年度当初と比べた現時点での課題の状況区分	
課題は増大している	
課題は同水準で存在する	■
課題は縮小・解消している	
課題の状況区分についての説明	●2017年4月の通院医療費助成対象年齢の更なる拡大については、一部負担金導入の検討など引き続き課題があることから、2016年度も取組を継続していくことが必要です。

⑥次年度における事務事業の見直し結果

次年度における事務事業の見直し結果区分の説明	●次年度は2017年4月の通院医療費助成対象年齢の小学校6年生までの拡大に向けて、検討を進めます。小学校6年生までの拡大に当たっては、恒久的な支出を伴うことから、制度の安定的かつ継続的な運用を図るため、受診者に一定の負担を求める仕組み等について併せて検討を行います。
------------------------	---

「アクションプログラム2015」に基づく重点課題進行管理シート

①重点課題の内容等

基本戦略	2 子どもを安心して育てることのできるふるさとづくり	重点課題名	青少年を地域で見守る取組
作成課	市民・こども局こども本部子育て施策部青少年育成課	関係課	教育委員会事務局総務部企画課 教育委員会事務局生涯学習部生涯学習推進課
重点課題の内容	<ul style="list-style-type: none"> ●不登校、ひきこもり、非行など困難を抱える子ども・若者への対応等、従来の青少年健全育成の枠を越えた問題が発生している中、各施策・事業の有機的な連携、重層的対応と、関係部局との円滑な連携を図るために、「子ども・若者育成支援推進法」の趣旨に基づいた「川崎市子ども・若者プラン」を策定するとともに、庁内外の連絡会議等を開催し、困難を抱える子ども・若者への支援の強化が必要となっています。 ●児童の健全育成や市民活動の地域拠点としてこども文化センターを、また放課後児童の健全な育成と子育て家庭への支援に向けてわくわくプラザ事業の円滑な運営が必要となっています。 ●青少年の健全な育成のために、これまで実施してきた青少年活動推進事業を円滑に実施します。 		
重点課題の解決に向けた目標	<ul style="list-style-type: none"> ●「(仮称)川崎市子ども・若者プラン」を3月末までに策定します。 ●子ども・若者を取り巻く状況等を踏まえた青少年の健全育成を着実に推進します。 		

②重点課題に位置付けられた事務事業の目標・実績等

事務事業名・予算算額	前半			1年間		
	取組内容・目標	実績等(目標との差異や次期への方向性等)	区分	取組内容・目標	実績等(目標との差異や次期への方向性等)	区分
こども文化センター運営事業 予算 3,179,429 千円 決算見込 3,171,979 千円	<ul style="list-style-type: none"> ●適切な運営に向けた指導 ●指定管理の総括評価、次期法人募集の実施 ●計画的な修繕の実施 ●いこいの家との合築施設のモデル事業の検討 	概ね目標どおり達成できました。 <ul style="list-style-type: none"> ●適切な運営に向けた指導の実施 ●次期指定管理者の募集・選定の実施 ●計画的な修繕の実施 ●いこいの家との複合施設におけるモデル事業の候補施設を選定 ●小杉こども文化センターの権利変換等協議の実施 	3	<ul style="list-style-type: none"> ●適切な運営に向けた指導 ●次期指定管理者の選定、議案上程の実施 ●計画的な修繕の実施 ●いこいの家との合築施設のモデル事業の実施 	概ね目標どおり達成できました。 <ul style="list-style-type: none"> ●適切な運営に向けた指導の実施 ●次期指定管理者の募集・選定の実施 ●計画的な修繕の実施 ●いこいの家との複合施設におけるモデル事業の実施 ●小杉こども文化センターの休止と代替的機能の検討 	3
わくわくプラザ事業 予算 143,769 千円 決算見込 201,452 千円	<ul style="list-style-type: none"> ●適切な運営に向けた指導 ●指定管理の総括評価、次期法人募集の実施 ●学校との連携による施設整備 ●「放課後子ども総合プラン」の推進 	概ね目標どおり達成できました。 <ul style="list-style-type: none"> ●適切な運営に向けた指導の実施 ●次期指定管理者の募集・選定の実施 ●学校との連携による施設整備の実施 ●「放課後子ども総合プラン」の推進 	3	<ul style="list-style-type: none"> ●適切な運営に向けた指導 ●次期指定管理者の選定、議案上程の実施 ●学校との連携による施設整備 ●「放課後子ども総合プラン」の推進 	概ね目標どおり達成できました。 <ul style="list-style-type: none"> ●適切な運営に向けた指導の実施 ●次期指定管理者の募集・選定の実施 ●学校等との連携による施設整備の実施 ●「放課後子ども総合プラン」の推進 	3
青少年教育施設の管理運営 予算 479,181 千円 決算見込 449,287 千円	<ul style="list-style-type: none"> ●適切な運営に向けた指導 ●指定管理の総括評価、次期法人募集の実施 ●計画的な修繕の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ●適切な運営に向けた指導の実施 ●青少年教育3施設の次期指定管理者の募集・選定の実施 ●計画的な修繕の実施 ●トコジラミの発生に伴いハケ岳少年自然の家の利用を休止(6月30日～) ●ハケ岳少年自然の家の施設保全等の課題整理に向けた検討 	4	<ul style="list-style-type: none"> ●適切な運営に向けた指導 ●次期指定管理者の選定、議案上程の実施 ●計画的な修繕の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ●指定管理料支出において、不適切な事務執行がありました。 ●適切な運営に向けた指導の実施 ●青少年教育3施設の次期指定管理者の募集・選定の実施 ●計画的な修繕の実施 ●トコジラミの発生に伴いハケ岳少年自然の家の利用を休止(6月30日～12月18日) ●ハケ岳少年自然の家の休止期間中における衛生管理の徹底 ●ハケ岳少年自然の家の施設保全等の課題整理に向けた検討 	4
青少年活動推進事業 予算 21,764 千円 決算見込 13,853 千円	<ul style="list-style-type: none"> ●青少年指導員欠員補充の委嘱 ●有害図書類の区分陳列等立入調査の実施 ●こどもの遊び場実態調査の実施 ●第28期青少年問題協議会の調査専門委員会を2回、全体会を1回開催 	概ね目標どおり達成できました。 <ul style="list-style-type: none"> ●青少年指導員を委嘱(8名) ●有害図書類の区分陳列等立入調査実施に伴う事前調査の委託 ●こどもの遊び場事業を実施 ●青少年問題協議会の調査専門委員会を2回、全体会を1回開催 	3	<ul style="list-style-type: none"> ●川崎市青少年指導員連絡協議会への支援 ●有害図書類の区分陳列等に係る立入調査を実施 ●こどもの遊び場事業を実施 ●第28期青少年問題協議会を運営し、意見具申に向けて協議 	概ね目標どおり達成できました。 <ul style="list-style-type: none"> ●青少年指導員の委嘱、情報提供等の活動支援の実施 ●有害図書類の区分陳列等立入調査の実施 ●こどもの遊び場事業を実施 ●青少年問題協議会の起草専門委員会を5回開催、臨時の全体会を1回開催 ●地域子ども・子育て活動支援助成モデル事業の実施 	3

子ども・若者育成支援推進事業	<ul style="list-style-type: none"> ●子ども・若者プラン策定に向けた中間報告 ●ひきこもり等児童福祉事業を実施 	<p>概ね目標どおり達成できました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●子ども・若者プランの策定について、中学生死亡事件に係る最終報告書発表が8月下旬になったことから、9月に予定していた中間報告は省略し、年度末の策定に向けて継続して協議・検討を実施 ●ひきこもり等児童福祉事業を実施 	3	<ul style="list-style-type: none"> ●こども施策庁内推進本部会議や青少年問題協議会を開催し、意見聴取しながら子ども・若者プランを策定 ●施策の情報共有のために庁内連絡会議を、民間団体との情報交換会をそれぞれ開催 ●子ども・若者支援機関マップの更新と、リーフレットの作成、ホームページによる普及啓発 ●ひきこもり等児童福祉対策事業を実施 	3
予算	8,179 千円				
決算見込	8,152 千円				

＜③重点課題の解決状況に関連する指標＞

	前半			1年間		
	計画・目標値	実績値 (計画・目標値との差異)	区分	計画・目標値	実績値 (計画・目標値との差異)	区分
指標①	多世代の交流促進に向けた、いこいの家との連携モデル事業の実施 (全市2か所)	連携モデル事業の実施 (全市2か所)	3	多世代の交流促進に向けた、いこいの家との連携モデル事業の実施 (全市2か所)	連携モデル事業の実施 (全市2か所)	3
指標②	青少年の健全育成と非行防止に向けた青少年指導員の地域巡回パトロールの実施 (月2回)	青少年指導員の地域巡回パトロールの実施 (月2回)	3	青少年の健全育成と非行防止に向けた青少年指導員の地域巡回パトロールの実施 (月2回)	青少年指導員の地域巡回パトロールの実施 (月2回)	3

＜④重点課題の総合的な実施結果区分について＞

重点課題の総合的な実施結果区分		<p>実施結果区分についての説明</p> <ul style="list-style-type: none"> ●子ども・若者を取り巻く環境の変化、子ども・若者をめぐる問題の複雑・深刻化を踏まえて、子ども・若者育成支援推進法に基づく計画として、本市の子ども・若者施策を全庁横断的にまとめた「川崎市子ども・若者ビジョン」を策定しました。 ●こども文化センター・わくわくプラザの指定管理期間については、こども文化センター・わくわくプラザの今後のあり方等を検討し、その検討結果を反映させるために次期指定期間を3年間としました。 ●小杉町3丁目東地区再開発事業に伴い、小杉こども文化センターを休止しました。 ●ハヶ岳少年自然の家については、トコジラミの発生に伴い、6月30日から12月18日の間、施設を休止しました。休止期間中においては、トコジラミの駆除を行うとともに、施設再開後は、利用者アンケートの実施や衛生管理の状況確認、衛生管理研修等を行いました。
目標を上回る成果があった		
目標どおりの成果があった	■	
目標を下回る成果があった		
ほとんど成果なし		

＜⑤課題の状況について＞

年度当初と比べた現時点での課題の状況区分		<p>課題の状況区分についての説明</p> <ul style="list-style-type: none"> ●「川崎市子ども・若者ビジョン」を踏まえて、新たな課題やニーズに対応した子ども・若者の居場所づくりや地域の安心・安全な見守り体制の充実が必要です。 ●こども文化センター・わくわくプラザのあり方等の検討については、地域包括ケアシステムや子ども・若者ビジョンを踏まえた居場所づくり、わくわくプラザに対する市民ニーズへの対応などを踏まえて、次期指定管理期間の3年間の中で方向性を決めていく必要があります。 ●小杉こども文化センター休止中における代替的機能の実施が求められています。 ●ハヶ岳少年自然の家については、築38年が経過しており、施設保全のあり方について検討が必要であるとともに、利用実態に見合った施設の適切な運営が必要です。
課題は増大している	■	
課題は同水準で存在する		
課題は縮小・解消している		

＜⑥次年度における事務事業の見直し結果＞

次年度における事務事業の見直し結果区分の説明	<ul style="list-style-type: none"> ●「川崎市子ども・若者ビジョン」において位置づけた施策・事業の進捗管理・評価を踏まえ、子ども・若者に係る関係施策の総合的・横断的な連携の推進を図るとともに、新たな課題やニーズに対応した子ども・若者の居場所づくりや地域の安心・安全な見守り体制の構築等の取組を進めます。 ●こども文化センター・わくわくプラザについて、指定管理者へのモニタリングを踏まえ、現在の社会ニーズ・市民ニーズに沿った運営方法のあり方について検討を行います。 ●小杉こども文化センターの代替的機能について、所要の調整・準備を行い、可能な限り早急に実施します。 ●ハヶ岳少年自然の家について、老朽化した施設の保全のあり方等を検討するとともに、利用実態に見合った運営方法を検討します。
------------------------	---

「アクションプログラム2015」に基づく重点課題進行管理シート

①重点課題の内容等

基本戦略	2 子どもを安心して育てることのできるふるさとづくり	重点課題名	「キャリア在り方生き方教育」の推進
作成課	教育委員会事務局総務部教育改革推進担当	関係課	
重点課題の内容	<p>●社会の様々な領域において構造的な変化が進行する中、社会人として自立した人材の育成が強く求められる一方、若者の「学校から社会への移行」が円滑に行われていない状況が課題となっています。さらに、子どもたちが将来に不安を感じたり、学校での学習に自分と将来との関係で、意義が見いだせずに学習意欲が低下し、学習習慣が確立しないといったことも課題となっています。</p> <p>●「自分をつくる」「みんな一緒に生きている」「わたしたちのまち川崎」の視点の「キャリア在り方生き方教育」が重要となることから、全校実施に向けた取組を推進します。</p>		
重点課題の解決に向けた目標	<p>●子どもたちの社会的自立に必要な能力や態度の育成と、共生・協働の視点から、教育の在り方を幅広く見直し、これまでの取組を価値づけ、改革していくために、発達段階に合わせた児童生徒用「キャリア在り方生き方ノート」や教員用「キャリア在り方生き方ノート指導資料」を作成するなど、「キャリア在り方生き方教育」の取組を推進します。</p>		

②重点課題に位置付けられた事務事業の目標・実績等

事務事業名・予算額	前半			1年間		
	取組内容・目標	実績等（目標との差異や次期への方向性等）	区分	取組内容・目標	実績等（目標との差異や次期への方向性等）	区分
キャリア在り方生き方教育推進事業	<p>●「キャリア在り方生き方教育の手引き」を使っての校内研修の推進</p> <p>●子どもたちが発達の段階に応じて、自分を見つめ、在り方や生き方を考える助けとなる「キャリア在り方生き方ノート」「キャリア在り方生き方ノート教師用指導資料」の原稿作成</p> <p>●担当者研修会（9月）</p>	目標どおり達成できました。	3	<p>●担当者研修会（年2回）、校内研修等を通じた指導の充実</p> <p>●子どもたちが発達の段階に応じて、自分を見つめ、在り方や生き方を考える助けとなる「キャリア在り方生き方ノート」「キャリア在り方生き方ノート教師用指導資料」の作成、配布</p> <p>●協力校情報交換会（年3回）</p>	目標どおり達成できました。	3
予算	9,569 千円					
決算見込	6,899 千円					

③重点課題の解決状況に関連する指標

	前半			1年間		
	計画・目標値	実績値（計画・目標値との差異）	区分	計画・目標値	実績値（計画・目標値との差異）	区分
指標①	指標に関する実績値が1年ごとにしか把握できないため、1年間の目標値のみ設定しています。			「将来の夢や目標を持っている、どちらかといえば持っている」と回答した児童生徒の割合（小6：85.5%）（中3：70%）	「将来の夢や目標を持っている、どちらかといえば持っている」と回答した児童生徒の割合（小6：84.6%）（中3：69.6%）	3
指標②	指標に関する実績値が1年ごとにしか把握できないため、1年間の目標値のみ設定しています。			「自分にはよいところがあると思わない」と回答した児童生徒の割合の減少（小6：5%）（中3：9%）	「自分にはよいところがあると思わない」と回答した児童生徒の割合の減少（小6：6.7%）（中3：9.4%）	3

＜④重点課題の総合的な実施結果区分について＞

重点課題の総合的な実施結果区分		実施結果区分についての説明	<ul style="list-style-type: none"> ●関連する指標の数値としては若干目標値を下回りましたが、2016年度からの「キャリア在り方生き方教育」への全校での取組に向けて、子どもたちが発達段階に応じて、自分を見つめ、在り方や生き方を考える助けとなる「キャリア在り方生き方ノート」「キャリア在り方生き方ノート教師用指導資料」を作成・配付することができたことは一定の成果であり、今後の学校での取組を推進するものと考えます。
目標を上回る成果があった			
目標どおりの成果があった	■		
目標を下回る成果があった			
ほとんど成果なし			

＜⑤課題の状況について＞

年度当初と比べた現時点での課題の状況区分		課題の状況区分についての説明	<ul style="list-style-type: none"> ●「かわさき教育プラン」の基本目標「自主・自立」「共生・協働」を受け、各学校が子どもたちの社会的・職業的自立に向けた目標を設定し、必要な力を身につけさせるために、「指導内容、指導手法、習慣・ルール」や「体験活動・地域とのかかわり」など様々な教育活動を見直し、新たに価値づけ、体系的・系統的に指導していきます。その指導の充実に向けて、事業への理解や「キャリア在り方生き方ノート」「キャリア在り方生き方ノート教師用指導資料」の効果的な活用方法についての研修等が必要であり、引き続き取組を推進していくことが求められています。
課題は増大している			
課題は同水準で存在する	■		
課題は縮小・解消している			

＜⑥次年度における事務事業の見直し結果＞

次年度における事務事業の見直し結果区分の説明	<ul style="list-style-type: none"> ●担当者研修会の内容を充実させ、「キャリア在り方生き方教育」についての理解を深めるとともに、指導体制の構築を図っていきます。また、研究推進校において、「キャリア在り方生き方ノート」「キャリア在り方生き方ノート教師用指導資料」の効果的な活用方法や内容を検証していきます。
------------------------	--

「アクションプログラム2015」に基づく重点課題進行管理シート

①重点課題の内容等

基本戦略	2 子どもを安心して育てることのできるふるさとづくり	重点課題名	確かな学力の育成
作成課	教育委員会事務局総合教育センター	関係課	教育委員会事務局職員部教職員課
重点課題の内容	<ul style="list-style-type: none"> ●義務教育9年間の教育課程の内容は、本来すべての子どもたちが身に付けなくてはならないものであり、学習指導要領の目指す「生きる力」は、生涯にわたる学習・生活の基礎となる力でもあります。一人ひとりの「生きる力」を伸ばしていくため、学ぶ意欲・態度を育むことを大切にしながら「確かな学力」を育成していくことが必要となります。 ●子どもの学力・学習状況の把握により、教育課程の見直しを図るとともに、学習指導要領に的確に対応した確かな学力の育成を目指します。また、川崎の特色を活かした取組の推進による理科教育の充実、ALTの配置による英語教育・外国語活動の支援を行います。 ●1学級あたり35人を超える小学校2年生以上の学級において、県の研究指定制度を活用した少人数学級を実施します。また、県から加配される少人数指導等のための教員を学級担任にあてて少人数学級を実施した学校に対して、市費の非常勤講師を配置し、習熟の程度に応じた学習や課題別学習等の少人数指導を推進します。 ●教育用や校務用コンピュータを有効活用し、児童生徒の情報活用能力を育成すること、教師の指導力を豊かにすること、校務の共有化・効率化を図り、教材研究や子どもと触れ合う時間を十分に確保することを目標に、教育の情報化推進計画並びに教育の情報セキュリティポリシーを基にICT機器の整備や教材・資料のデータベース化、教員研修の充実、及び情報活用能力育成に向けた研究の推進を図ります。 		
重点課題の解決に向けた目標	●基礎的・基本的な知識・技能の確実な習得や思考力・判断力・表現力等の育成、学習意欲の向上等を重視した様々な取組を推進し、児童生徒に「確かな学力」を育みます。		

②重点課題に位置付けられた事務事業の目標・実績等

事務事業名・予算 算額	前半			1年間		
	取組内容・目標	実績等（目標との差異や次期 への方向性等）	区分	取組内容・目標	実績等（目標との差異や次期 への方向性等）	区分
少人数指導等推進 事業 予算 95,461 千円 決算 見込 91,155 千円	<ul style="list-style-type: none"> ●課題別学習や習熟の程度に応じた学習などの少人数指導の実施 ●1学級あたり35人を超える小学校2年生以上の学校における、神奈川県の研究指定制度を活用した少人数学級の実施 ●神奈川県から加配されている少人数指導等のための教員を学級担任にあてて少人数学級を実施した学校に対する、市費の非常勤講師の配置 	目標とおり達成できました。	3	<ul style="list-style-type: none"> ●課題別学習や習熟の程度に応じた学習などの少人数指導の実施 ●1学級あたり35人を超える小学校2年生以上の学校における、神奈川県の研究指定制度を活用した少人数学級の実施 ●神奈川県から加配されている少人数指導等のための教員を学級担任にあてて少人数学級を実施した学校に対する、市費の非常勤講師の配置 ●次年度の児童生徒数推計等による少人数学級実施予定校の把握、及び、申出のあった学校に計画書の提出を依頼 	目標とおり達成できました。	3
教育課程・学習指 導に関する事務 予算 95,281 千円 決算 見込 93,528 千円	<ul style="list-style-type: none"> ●川崎市小学校学習状況調査の実施 ●小中学校教育課程研究会の実施（6月、8月） ●学習指導要領、かわさき教育プランに基づく学校教育の推進 ●学校からのニーズを把握し、教育活動サポーターを配置 ●横浜国立大学と連携した中核理科教員養成プログラム（CST）への参加募集 ●市内小中学校でのCST実習生の受入 ●採用試験における推薦基準にCST認定者を含めた人材確保 ●理科支援員を全小中学校に配置 ●関係局と連携した、先端科学技術者の巡回授業の実施 	目標とおり達成できました。（川崎市立小学校学習状況調査を5月12日に実施しました。）	3	<ul style="list-style-type: none"> ●川崎市中学校学習状況調査の実施 ●学習指導要領、かわさき教育プランに基づく学校教育の推進 ●教育活動サポーターの配置及び効果・課題の検証 ●横浜国立大学と連携した中核理科教員養成プログラム（CST）を実施 ●市内小中学校でのCST実習生の受入 ●理科支援員を全小中学校に配置とその活用 ●関係局と連携した、先端科学技術者の巡回授業の実施 	目標とおり達成できました。（川崎市立中学校学習状況調査を11月10日に実施しました。市内小中学校でCST実習生を1名受け入れ、実習を実施しました。先端科学技術者による授業を市内小中学校12校で24回の出前授業を行いました。）	3
教育の情報化推進 事業 予算 1,413,193 千円 決算 見込 1,393,713 千円	<ul style="list-style-type: none"> ●校務支援システム保健帳票・指導要録・中学校通知表等に関するサポートの強化及び安定運用 ●校務支援システムグループウェア、週案へのサポートの強化及び安定運用 ●校務用コンピュータの再配置 ●校務用コンピュータ用のプリンタ機器更新 	校務支援システム保健帳票のリリース時期に遅れが生じましたが、運用での周知を徹底し、支障をきたすことはありませんでした。	3	<ul style="list-style-type: none"> ●校務支援システム保健帳票・指導要録・中学校通知表等に関するサポートの強化及び安定運用 ●校務支援システムグループウェア、週案へのサポートの強化及び安定運用 ●校務支援システムの安定運用に向けた協議 ●校務支援システム公簿類の運用に向けた協議 ●中学校50校の教育用コンピュータ機器更新 ●「教育の情報化推進計画」に基づく取組の推進 ●次期「教育の情報化推進計画」の検討 	目標とおり達成できました。	3

外国語指導助手配置事業	●小・中・高等学校への外国語指導助手（ALT）の配置による、児童生徒が外国人と直接コミュニケーションを図る機会の確保及び各学校の英語教育・外国語活動の支援 ●英語教育改革に対応した教員研修の充実 ●言語習得の基礎となるリスニング能力育成に向けた英語に触れる機会の充実	目標どおり達成できました。	3	●小・中・高等学校への外国語指導助手（ALT）の配置による、児童生徒が外国人と直接コミュニケーションを図る機会の確保及び各学校の英語教育・外国語活動の支援、効果の検証 ●英語教育改革に対応した教員研修の充実と普及 ●言語習得の基礎となるリスニング能力育成に向けた英語に触れる機会の充実と検証	目標どおり達成できました。（ALTとの学習機会確保とその効果の検証を行いました。また、国が進める新しい英語教育改革計画に対応して、小中高それぞれの校種において英語教育推進リーダーによる指導力向上研修を実施しました。）	3
予算	307,546 千円					
決算見込	307,532 千円					

③重点課題の解決状況に関する指標

	前半			1年間		
	計画・目標値	実績値 (計画・目標値との差異)	区分	計画・目標値	実績値 (計画・目標値との差異)	区分
指標①	指標に関する実績値が1年ごとにしか把握できないため、1年間の目標値のみ設定しています。			「授業がわかる、どちらかといえばわかる」と回答した児童生徒の割合 (小5：88.5%) (中2：74%) ※小5：国語・算数・理科・社会の平均、中2：国語・数学・理科・社会・英語の平均	「授業がわかる、どちらかといえばわかる」と回答した児童生徒の割合 (小5：89%) (中2：74.2%)	3
指標②	指標に関する実績値が1年ごとにしか把握できないため、1年間の目標値のみ設定しています。			「学習はすき、どちらかといえばすき」と回答した児童生徒の割合 (小5：74.5%) (中2：58%) ※小5：国語・算数・理科・社会・総合の平均、中2：国語・数学・理科・社会・英語の平均	「学習はすき、どちらかといえばすき」と回答した児童生徒の割合 (小5：74.3%) (中2：59.2%)	3
指標③	指標に関する実績値が1年ごとにしか把握できないため、1年間の目標値のみ設定しています。			「授業で学んだことが、生活の中で役に立っていると思う、どちらかといえば思う」と回答した児童生徒の割合 (小5：90%) (中2：71%) ※小5：国語・算数・理科・社会・総合の平均、中2：国語・数学・理科・社会・英語の平均	「授業で学んだことが、生活の中で役に立っていると思う、どちらかといえば思う」と回答した児童生徒の割合 (小5：90.2%) (中2：71.5%)	3

④重点課題の総合的な実施結果区分について

重点課題の総合的な実施結果区分		実施結果区分についての説明 ●習熟の程度に応じた学習などの少人数指導の実施、小中学校教育課程研究会における授業提案や研究協議、学習状況調査の実施及び結果の分析による授業改善への取組等、一人ひとりの学習状況をきめ細かく把握するとともに、課題を設定し解決する単元の構成や、児童生徒が主体的に取り組める学習活動の工夫等を取り入れた授業づくりを支援しました。その結果、児童生徒の学習への意欲が高まり、指標として設定した「授業がわかる、どちらかといえばわかる」の数値が、年度当初に設定した目標値に達するなど、課題への取組に一定の成果があったと考えます。
目標を上回る成果があった		
目標どおりの成果があった	■	
目標を下回る成果があった		
ほとんど成果なし		

⑤課題の状況について

年度当初と比べた現時点での課題の状況区分		課題の状況区分についての説明 ●外国語指導助手配置事業については、国が進める新しい英語教育改革計画が進行する中、教職員研修やALTの適正配置に課題が引き続き存在することから、2016年度も取組を継続していくことが必要です。
課題は増大している		
課題は同水準で存在する	■	
課題は縮小・解消している		

⑥次年度における事務事業の見直し結果

次年度における事務事業の見直し結果区分の説明	●川崎市学習状況調査については、全国学力・学習状況調査の結果と合わせて分析することで、全国的な成果と課題を踏まえ、本市の成果と課題を的確に把握できることから、次年度もそれぞれの調査を補完的に活用し、学力把握と学力向上の取組を進めています。
------------------------	---

「アクションプログラム2015」に基づく重点課題進行管理シート

①重点課題の内容等

基本戦略	2 子どもを安心して育てることのできるふるさとづくり	重点課題名	一人ひとりの教育的ニーズに対応した総合的な支援
作成課	教育委員会事務局学校教育部指導課	関係課	教育委員会事務局総務部教育改革推進担当、教育委員会事務局総務部学事課、教育委員会事務局総合教育センター
重点課題の内容	<ul style="list-style-type: none"> ●特別支援学校や特別支援学級に在籍する障害のある児童生徒が増加しており、また、通常の学級においても、発達障害のほか、いじめや不登校、経済的に困難な家庭環境など、様々な教育的ニーズのある子どもが増加している現状があることから、一人ひとりの教育的ニーズに応じた適切な教育的支援を行う必要があります。 ●児童支援コーディネーターの専任化や特別支援教育サポーターの配置、就学援助の迅速な認定・支給や円滑な事務処理の構築に向けた制度の検討、「かわさき共生＊共育プログラム」の実践などに取り組むことで、一人ひとりの教育的ニーズに応じた適切な支援を実施していきます。 		
重点課題の解決に向けた目標	<ul style="list-style-type: none"> ●支援の必要な子どもの課題改善を推進するため、すべての子どもがいいきと個性を發揮できるよう、障害の有無にかかわらず、一人ひとりの教育的ニーズに適切に対応していく教育（支援教育）を学校全体で推進します。 		

②重点課題に位置付けられた事務事業の目標・実績等

事務事業名・予算額	取組内容・目標	前半		1年間		
		実績等（目標との差異や次期への方向性等）	区分	実績等（目標との差異や次期への方向性等）	区分	
共生・共育推進事業 予算 10,051 千円 決算見込 9,739 千円	<ul style="list-style-type: none"> ●共生・共育担当者研修会（4月、8月）の実施 ●「かわさき共生＊共育プログラム効果測定ハンドブック」を使用している校内研修の推進 ●研究協力校への支援 	目標どおり達成できました。	3	<ul style="list-style-type: none"> ●共生・共育担当者研修会（年3回）、校内研修等を通じた指導者育成の充実 ●研究協力校15校の効果検証等の調査研究 ●いじめ、不登校等の早期発見のための「効果測定」の活用推進 	3	概ね目標どおり達成できました。 （年3回の担当者研修会について、研修資料の充実と校務支援システムを利用した周知で時間短縮を図り、年2回開催としました。）
就学援助・就学事務 予算 677,659 千円 決算見込 725,980 千円	<ul style="list-style-type: none"> ●就学援助：小中学校からの申請に対する迅速な認定及び支給、小中学校担当者への説明会の実施 ●就学事務：法令で定められた就学事務の円滑な執行（各区分役所区民課、小中学校との連絡・調整等）、就学事務システムの開発に向けた取組（仕様の検討、庁内関係課との調整、予算要求等） 	目標どおり達成できました。	3	<ul style="list-style-type: none"> ●就学援助：小中学校からの申請に対する迅速な認定及び支給、生活保護基準引き下げに伴う、国や他都市への調査及びより円滑な事務処理の構築に向けた制度の検討 ●就学事務：法令で定められた就学事務の円滑な執行（各区分役所区民課、小中学校との連絡・調整等）、就学事務システムの開発に向けた取組（仕様の検討、庁内関係課との調整等） 	3	目標どおり達成できました。
特別支援教育推進事業 予算 303,292 千円 決算見込 279,509 千円	<ul style="list-style-type: none"> ●特別支援教育サポーター配置による教育的支援の充実 ●田島支援学校教員の特定行為従事者研修受講促進 ●さくら小学校における「交流及び共同学習の研究」として授業研究の実施 ●分教室拡充に向けた中央支援学校・聾学校との調整及び改修工事設計委託の実施 	目標どおり達成できました。	3	<ul style="list-style-type: none"> ●特別支援教育サポーター配置による教育的支援の充実 ●田島支援学校における看護師と教員の連携による医療的ケア体制整備 ●さくら小学校の「交流及び共同学習」の全市に向けた研究報告会の実施 ●分教室拡充に向けた中央支援学校・聾学校との調整及び改修工事設計委託の実施 	3	目標どおり達成できました。
児童支援コーディネーター専任化事業 予算 102,489 千円 決算見込 90,251 千円	<ul style="list-style-type: none"> ●学校訪問・研修・協議会の開催等による推進校及び児童支援コーディネーターの取組支援 ●6月実施の「特別支援教育体制充実アンケート」の集約と分析から事業の成果の検証 	目標どおり達成できました。	3	<ul style="list-style-type: none"> ●学校訪問・研修・協議会等の開催等による推進校及び児童支援コーディネーターの取組支援 ●「特別支援教育体制充実アンケート」「いじめ・暴力に関わる調査」等の集約と分析から事業の成果の検証 ●全校配置に向けた次年度以降の事業拡充計画の取りまとめ ●次年度の推進校の募集及び決定 	3	目標どおり達成できました。
海外帰国・外国人児童生徒相談事業 予算 54,320 千円 決算見込 49,589 千円	<ul style="list-style-type: none"> ●区教育担当と連携した受け入れ体制の整備 4月、各区教育担当に体制整備に向けた資料送付 ●日本語指導等協力者の指導力向上に向けた研修の実施 4月、新規登録者研修会 6月、第1回研修会 ●相談、就学体制づくりのために帰国・外国人児童生徒教育担当者研修会を実施 7月、第1回研修会 	目標どおり達成できました。	3	<ul style="list-style-type: none"> ●区教育担当と連携した受け入れ体制の整備 12月学校教育部連絡調整会議において各担当との情報交換 ●日本語指導等協力者の指導力向上に向けた研修の実施 10月・11月・3月に研修会の実施 ●相談、就学体制づくりのために帰国・外国人児童生徒教育担当者研修会を実施 1月、第2回研修会 	3	目標どおり達成できました。

適応指導教室事業	●市内6か所に設置している適応指導教室の運営 ●適応指導教室に通級する児童生徒の相談や活動のサポートを行うメンタルフレンド（ボランティア学生）の募集及び配置	目標どおり達成できました。	●市内6か所に設置している適応指導教室の運営 ●適応指導教室に通級する児童生徒の相談や活動のサポートを行うメンタルフレンド（ボランティア学生）の募集及び配置	目標どおり達成できました。
予算	78,498 千円		3	3
決算見込	79,373 千円			

③重点課題の解決状況に関する指標

	前年			1年間		
	計画・目標値	実績値 (計画・目標値との差異)	区分	計画・目標値	実績値 (計画・目標値との差異)	区分
指標①	指標に関する実績値が1年ごとにしか把握できないため、1年間の目標値のみ設定しています。			支援の必要な児童の課題改善率（84%） ※全小学校において把握している支援の必要な児童のうち、その後の支援によって課題が改善した割合（改善傾向にある児童を含む）	支援の必要な児童の課題改善率（85%）	3
指標②	指標に関する実績値が1年ごとにしか把握できないため、1年間の目標値のみ設定しています。			「いじめはどんなことがあってもいけないことだと思う」と回答した児童生徒の割合（小6：78%） （中3：64%）	「いじめはどんなことがあってもいけないことだと思う」と回答した児童生徒の割合（小6：77.0%） （中3：64.2%）	3
指標③	指標に関する実績値が1年ごとにしか把握できないため、1年間の目標値のみ設定しています。			かわさき共生＊共育プログラム効果測定によるポジティブ・活躍群の割合（小学校：63.3%） （中学校：56.3%）	かわさき共生＊共育プログラム効果測定によるポジティブ・活躍群の割合（小学校：67.1%） （中学校：57.8%）	3

④重点課題の総合的な実施結果区分について

重点課題の総合的な実施結果区分		<p>実施結果区分についての説明</p> <ul style="list-style-type: none"> ●特別支援教育推進事業については、田島支援学校の教員が特定行為業務従事者として認定され、本市南部の医療的ケアの拠点校としての体制を整備し、また、昨年度に引き続き、さくら小学校の「交流及び共同学習」の研究報告会を開催し取組を全市に発信する等、事業推進に向け、成果があったと考えます。 ●児童支援コーディネーター専任化事業については、児童支援コーディネーターを核として、児童の課題を多面的に捉え、チームで対応できる児童支援体制を構築したこと等から、課題改善につながるなど、成果があったと考えます。
目標を上回る成果があった		
目標どおりの成果があった	■	
目標を下回る成果があった		
ほとんど成果なし		

⑤課題の状況について

年度当初と比べた現時点での課題の状況区分		<p>課題の状況区分についての説明</p> <ul style="list-style-type: none"> ●様々な教育的ニーズのある子どもが増加している現状の中、特別支援教育サポーターの配置や児童支援コーディネーターの専任化など支援体制に関する課題が引き続き存在するため、2016年度も取組を継続していく必要があります。
課題は増大している		
課題は同水準で存在する	■	
課題は縮小・解消している		

⑥次年度における事務事業の見直し結果

次年度における事務事業の見直し結果区分の説明	<ul style="list-style-type: none"> ●特別支援教育推進事業については、本年度の事業実施の結果、対象となる児童生徒の増加に対する対応が求められるとともに、共生社会の実現に向け、障害の有無にかかわらずすべての児童生徒を対象として、一人ひとりの教育的ニーズに的確に対応した教育をさらに推進する必要があることから、2016年度は事業費を精査しつつも、今年度の事業内容・事業規模を拡大する予定としています。 ●児童支援コーディネーター専任化事業については、本年度の事業実施の結果、共生社会の実現に向け、障害の有無にかかわらずすべての児童生徒を対象として、一人ひとりの教育的ニーズに的確に対応した教育をさらに推進する必要があることから、2016年度は事業費を精査しつつも、今年度の事業内容・事業規模を拡大する予定としています。
------------------------	--

「アクションプログラム2015」に基づく重点課題進行管理シート

①重点課題の内容等

基本戦略	2 子どもを安心して育てることのできるふるさとづくり	重点課題名	いのち・心の教育の推進と子どものSOSを見逃さない指導・相談体制の構築
作成課	教育委員会事務局学校教育部指導課	関係課	教育委員会事務局総務部人権・共生教育担当、教育委員会事務局総合教育センター
重点課題の内容	<p>●2015年2月に発生した中学生死亡事件を受け、教育委員会として、二度とこのような事件を発生させないための方策をしっかりと検討していかなければなりません。そのためには、検証委員会による検証作業を進め、報告書としてまとめるとともに、より実効性のある再発防止策を検討していく必要があります。</p> <p>●また、児童生徒のより安全・安心な環境を早期につくるため、学校における指導体制の点検と振り返りを行うと同時に、再発防止のために指導体制の整備を進めていく必要があります。</p> <p>●人権教育全般の推進及び子どもの権利学習のための講師派遣並びに資料の検討・作成・配布、スクールカウンセラーの中学校全校配置、市立小学校・高等学校への学校巡回カウンセラー派遣、スクールソーシャルワーカー配置による医療機関や児童相談所等の関係機関との連携、区・教育担当を中心とした学校・地域・関係機関との連携強化や、児童生徒理解を基盤とした校内体制づくりへのきめ細やかな支援など、これまで実施してきた取組をさらに推進していきます。</p>		
重点課題の解決に向けた目標	<p>●様々な資料や研修等を通じて人権教育全般の推進を図りながら、子どもたちの豊かな心をはぐくみ、子どものSOSを見逃すことのないよう、区とも連携して学校へのきめ細やかな支援を推進します。</p>		

②重点課題に位置付けられた事務事業の目標・実績等

事務事業名・予算 算額	前半			1年間		
	取組内容・目標	実績等（目標との差異や次期への方向性等）	区分	取組内容・目標	実績等（目標との差異や次期への方向性等）	区分
人権教育推進事業 予算 3,208 千円 決算見込 2,963 千円	<ul style="list-style-type: none"> ●人権尊重教育推進会議の開催（5月） ●相談カードの修正・作成・配布（6月） ●教員研修・推進校研究支援（5月～3月） 	目標どおり達成できました。	3	<ul style="list-style-type: none"> ●外国人教育推進連絡会議の開催（11月・2月） ●人権尊重教育推進会議の開催（10月・2月） ●人権教育補助教材「はたらくひとびと」活用検討委員会の開催（11月・2月） ●人権教育補助教材「はたらくひとびと」の配布（3月） ●PTA人権研修会（2月） ●学校用務員給食調理員等人権研修会の開催（3月） 	目標どおり達成できました。	3
子どもの権利学習 推進事業 予算 3,302 千円 決算見込 3,276 千円	<ul style="list-style-type: none"> ●子どもの権利学習派遣事業事前説明会の実施（5月） ●子どもの権利学習派遣事業の実施（6月～3月） ●子どもの権利学習資料・活用資料の改善を踏まえた検討 	目標どおり達成できました。	3	<ul style="list-style-type: none"> ●子どもの権利学習派遣事業の実施（6月～3月） ●子どもの権利学習資料・活用資料の学校への配布（11月） 	目標どおり達成できました。（講師派遣を行っているNPO法人の協力により、中学生対象に子どもの権利学習派遣事業を試験的に実施できました。来年度に向けて対象者の拡大を図っていきます。）	3
児童生徒指導・相 談業務 予算 192,198 千円 決算見込 188,908 千円	<ul style="list-style-type: none"> ●市内市立全中学校へのスクールカウンセラーの配置 ●市内市立小学校、高等学校への学校巡回カウンセラー7名の派遣 ●各区1名以上のスクールソーシャルワーカーの配置 	目標どおり達成できました。	3	<ul style="list-style-type: none"> ●市内市立全中学校へのスクールカウンセラーの配置 ●市内市立小学校、高等学校への学校巡回カウンセラー7名の派遣 ●各区1名以上のスクールソーシャルワーカーの配置 	目標どおり達成できました。	3
区における教育支 援推進事業 予算 9,433 千円 決算見込 9,272 千円	<ul style="list-style-type: none"> ●区における教育支援の推進・学校運営全般に対する支援・学校間及び学校と地域の連携強化 ●地域諸団体・機関との連携強化による子ども支援の推進 ●スクールソーシャルワーカーを活用した支援 ●学校支援センターの取組を活用した支援 	目標どおり達成できました。（川崎区・教育担当については、指導主事・スクールソーシャルワーカーを増員し、より一層の教育支援体制の充実を図りました。）	3	<ul style="list-style-type: none"> ●区における教育支援の推進（通年） ●学校運営全般に対する支援・学校間及び学校と地域の連携強化 ●地域諸団体・機関との連携強化による子ども支援 ●スクールソーシャルワーカーを活用した支援 ●学校支援センターの取組を活用した支援（通年） 	目標どおり達成できました。（川崎区・教育担当については、指導主事・スクールソーシャルワーカーを増員し、より一層の教育支援体制の充実を図りました。）	3

＜③重点課題の解決状況に関連する指標＞

	前半			1年間		
	計画・目標値	実績値 (計画・目標値との差異)	区分	計画・目標値	実績値 (計画・目標値との差異)	区分
指標①	指標に関する実績値が1年ごとにしか把握できないため、1年間の目標値のみ設定しています。			「人の気持ちが分かる人間になりたいと思う、どちらかといえば思う」と回答した児童生徒の割合 (小6：95%) (中3：95%)	「人の気持ちが分かる人間になりたいと思う、どちらかといえば思う」と回答した児童生徒の割合 (小6：93.4%) (中3：93.6%)	3

＜④重点課題の総括的な実施結果区分について＞

重点課題の総括的な実施結果区分		実施結果区分についての説明
目標を上回る成果があった		
目標どおりの成果があった	■	
目標を下回る成果があった		
ほとんど成果なし		

●「人の気持ちが分かる人間になりたいと思う、どちらかといえば思う」の指標の数値は若干目標値を下回りましたが、指導主事やスクールソーシャルワーカーの増員といった区の実情に応じた配置や、活用方法の改善による福祉部門との連携強化による一層の支援体制の充実を図り、また、学校運営体制を一層整備するため新たに毎年2月を「学校体制振り返り月間」と位置づける仕組みづくりなど、着実に取組を推進することで、きめ細やかな支援による児童生徒理解に一定の成果があったと考えます。

＜⑤課題の状況について＞

年度当初と比べた現時点での課題の状況区分		課題の状況区分についての説明
課題は増大している		
課題は同水準で存在する	■	
課題は縮小・解消している		

●児童生徒・教職員の人権尊重の意識の向上や、専門性の高い相談体制の継続等のためにも、2016年度も取組を継続していくことが必要です。

＜⑥次年度における事務事業の見直し結果＞

次年度における事務事業の見直し結果区分の説明	●2015年2月に発生した中学生死亡事件を受け、検証作業を進めてきました。児童生徒のより安全・安心な環境づくりを継続する必要があるため、各区地域みまもり支援センターの区・教育担当を中心として、学校・地域・こども未来局をはじめとした関係機関との連携強化など、今年度の事業内容・事業規模を維持して実施する予定です。
------------------------	---

「アクションプログラム2015」に基づく重点課題進行管理シート

①重点課題の内容等

基本戦略	2 子どもを安心して育てることのできるふるさとづくり	重点課題名	中学校完全給食の導入に向けた取組
作成課	教育委員会事務局中学校給食推進室	関係課	教育委員会事務局学校教育部健康教育課
重点課題の内容	<ul style="list-style-type: none"> ●本市の中学校において完全給食を提供することにより、更なる食育の充実が図られること、育ち盛りの生徒にとって栄養バランスがあり、安全・安心で温かい食事を摂ることができるなどのことから、2013年11月に「川崎市立中学校給食の基本方針」を決定しました。 ●その後、2014年10月には「川崎市立中学校完全給食実施方針」（2015年1月一部修正）を決定し、2016年度には一部の学校において、2017年度には全校において中学校完全給食を実施する予定です。今後は本実施方針に基づき、市内3か所の学校給食センター、その他の給食施設や各学校の配膳室等の整備を着実に進めるとともに、献立作成、給食費の額の決定等の準備・検討を進める必要があります。 		
重点課題の解決に向けた目標	<ul style="list-style-type: none"> ●安全・安心で温かい中学校完全給食の早期実施 2016年度 一部実施 2017年度 全校実施 		

②重点課題に位置付けられた事務事業の目標・実績等

事務事業名・予算額	前半			1年間		
	取組内容・目標	実績等（目標との差異や次期への方向性等）	区分	取組内容・目標	実績等（目標との差異や次期への方向性等）	区分
中学校給食等運営事業	<ul style="list-style-type: none"> ●ミルク給食及びランチサービス事業の継続実施 ●中学校完全給食の早期実施に向けた取組の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・中学校給食推進会議等による検討 ・民間活力を活かした手法による給食施設等の整備推進 ・中学校完全給食を活用した食育推進の検討 	目標どおり達成できました。	3	<ul style="list-style-type: none"> ●ミルク給食及びランチサービス事業の継続実施 ●中学校完全給食の早期実施に向けた取組の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・中学校給食推進会議等による検討 ・民間活力を活かした手法による給食施設等の整備推進 ・中学校完全給食を活用した食育推進の検討 ●東橋中学校での完全給食の試行実施 	目標どおり達成できました。	3
予算	3,244,775 千円					
決算見込	3,351,379 千円					

③重点課題の解決状況に関連する指標

指標①	前半			1年間		
	計画・目標値	実績値（計画・目標値との差異）	区分	計画・目標値	実績値（計画・目標値との差異）	区分
本重点課題の目標は中学校完全給食を実施することであり、課題解決の状況を指標で測る性質のものではないため、指標を設定することが困難です。						

④重点課題の総括的な実施結果区分について

重点課題の総括的な実施結果区分		実施結果区分についての説明
目標を上回る成果があった		
目標どおりの成果があった	■	
目標を下回る成果があった		
ほとんど成果なし		<ul style="list-style-type: none"> ●2015年度の事務事業の実施結果については、中学校完全給食の早期実施に向けた取組の結果、計画どおり学校給食センター及びその他の給食関連施設の整備を進め、また、2016年1月7日には東橋中学校において試行実施を開始するなど、着実に取組を推進し、目標どおりの成果であったと考えます。

⑤課題の状況について

年度当初と比べた現時点での課題の状況区分		課題の状況区分についての説明
課題は増大している		
課題は同水準で存在する	■	
課題は縮小・解消している		
		<ul style="list-style-type: none"> ●本市で初となる中学校完全給食の実施に向けては、限られた財源であることも踏まえ、事業に要する経費については、効率的・効果的な予算執行に努めるとともに、災害時における学校給食センターの活用や、円滑な給食実施に向けたマニュアルづくりなど、2016年度も取組を着実に推進することが必要です。

⑥次年度における事務事業の見直し結果

次年度における事務事業の見直し結果区分の説明	<ul style="list-style-type: none"> ●今年度の中学校完全給食の早期実施に向けた取組の結果、2016年1月より、東橋中学校で完全給食の試行実施を開始しました。今後は、試行実施における評価・検証や課題の検討を進め、次年度には、自校方式2校（犬蔵中学校・中野島中学校）、合築校方式2校（東橋中学校・はるひ野中学校）において本格実施を行う予定です。また、2017年度中の全校実施に向け、引き続き、学校給食センター及びその他の給食関連施設の整備を進めていきます。
------------------------	--

「アクションプログラム2015」に基づく重点課題進行管理シート

①重点課題の内容等

基本戦略	2 子どもを安心して育てることのできるふるさとづくり	重点課題名	教育環境の整備
作成課	教育委員会事務局教育環境整備推進室	関係課	教育委員会事務局総務部企画課
重点課題の内容	<ul style="list-style-type: none"> ●より多くの学校施設の教育環境を早期かつ効率的に改善するため、「学校施設長期保全計画」に基づく改修による学校施設の再生整備及び予防保全を実施し、施設の長寿命化を図るとともに、併せて教育環境の質的な改善と環境対策を推進します。 ●特に利用者のニーズの高い、学校トイレの快適化やエレベータの既存校舎への設置を計画的に進めます。 ●児童生徒が増加している地域ごとの対応の検討を行いながら、学校の新設、増築等や通学区域の変更等を計画的に行い、良好な教育環境を確保します。 		
重点課題の解決に向けた目標	<ul style="list-style-type: none"> ●学校施設長期保全計画に基づく改修を進め、学校施設の再生整備及び予防保全を計画的に実施します。 ●再生整備と併せて、利用者の特にニーズの高い、学校トイレの快適化とエレベータ設置を計画的に実施します。 ●新川崎F地区新設小学校と小杉駅周辺地区新設小学校の開設に伴う取組を推進し、両地域における良好な教育環境の確保を実現します。 ●児童生徒が増加している地域においては、一部通学区域の変更や計画的な増築を実施し、良好な教育環境の確保を実現します。 		

②重点課題に位置付けられた事務事業の目標・実績等

事務事業名・予算額	取組内容・目標	前半		1年間		
		実績等（目標との差異や次期への方向性等）	区分	実績等（目標との差異や次期への方向性等）	区分	
児童生徒増加対策事業 予算 5,302,169 千円 決算見込 8,208,449 千円	<ul style="list-style-type: none"> ●子母口小学校・東橋中学校の校舎合築工事の完了 ●増築工事 下小田中小、末長小、西梶ヶ谷小の設計着手・下沼部小、久末小の工事着手・白鳥中の工事完了（繰越） 	目標どおり達成できました。	3	<ul style="list-style-type: none"> ●新川崎F地区・小杉駅周辺地区新設開設に伴う取組の推進 ●増築工事 下小田中小、末長小、西梶ヶ谷小の設計着手・古川小、臨港中の設計完了、工事着手・下沼部小、久末小の工事着手・白鳥中（繰越）、御幸小、大師中、富士見中の工事完了 ●児童急増地域等における開発状況調査等の実施及び対応策の検討 	3	<p>概ね目標どおり達成しました。</p> <p>(御幸小学校の校舎増築工事については、地中埋設物の影響で工期を2016年4月末まで延長しました。)</p>
既存学校施設再生整備事業 予算 2,178,451 千円 決算見込 1,760,341 千円	<ul style="list-style-type: none"> ●再生整備モデル事業(西丸子小・久末小)の工事(4年目)の着手 ●再生整備モデル事業の検証 ●予防保全事業(Aグループ校舎2校・体育館2校、Bグループ校舎4校・体育館9校)の設計着手の準備 ●再生整備事業の前年度設計継続(Cグループ校舎8校・体育館5校)、設計着手(Cグループ体育館5校)の準備 	目標どおり達成できました。	3	<ul style="list-style-type: none"> ●再生整備モデル事業(西丸子小・久末小)の工事(4年目)の完了 ●再生整備モデル事業の検証 ●予防保全事業(Aグループ校舎2校・体育館2校、Bグループ校舎4校・体育館9校)の設計着手 ●再生整備事業の前年度設計継続(Cグループ校舎8校・体育館5校)、設計着手(Cグループ体育館5校) 	3	目標どおり達成できました。
安全で快適な教育環境整備事業 予算 1,705,884 千円 決算見込 1,401,230 千円	<ul style="list-style-type: none"> ●学校トイレ快適化事業の次年度工事分設計着手(7校) ●学校トイレ快適化事業の工事着手(7校) ●エレベータ整備事業の次年度工事分設計着手(3校) ●エレベータ整備事業の工事着手(4校) ●蓄電池設置の工事着手(3校) ●学校における複数熱源導入の工事着手(21校) ●灯油式発電機の工事着手(22校) 	目標どおり達成できました。(エレベータ整備事業については、次年度工事分の設計を2校追加し、5校で設計を行っています。)	3	<ul style="list-style-type: none"> ●学校トイレ快適化事業の次年度工事分設計完了(7校) ●学校トイレ快適化事業の工事完了(7校) ●エレベータ整備事業の次年度工事分設計完了(3校) ●エレベータ整備事業の工事完了(4校) ●蓄電池設置の工事完了(3校：うち2校GND基金活用) ●学校における複数熱源導入の工事完了(21校) ●灯油式発電機の工事完了(22校) 	3	<p>概ね目標どおり達成しました。</p> <p>(エレベータ整備事業の工事(3校)については、入札不調(4回目で落札)の影響で工期を2016年5月末まで延長しました。)</p>

＜③重点課題の解決状況に関する指標＞

	前半			1年間		
	計画・目標値	実績値 (計画・目標値との差異)	区分	計画・目標値	実績値 (計画・目標値との差異)	区分
指標①	指標に関する実績値が1年ごとにしか把握できないため、1年間の目標値のみ設定しています。			トイレ快適化整備校数の割合 (65.2%) ※床がドライ化されていない小学校91校、中学校41校を対象とする	トイレ快適化整備校数の割合 (65.2%)	3
指標②	指標に関する実績値が1年ごとにしか把握できないため、1年間の目標値のみ設定しています。			エレベータ設置校数の割合 (61.8%) ※小・中学校における校舎増改築や既存校舎改修によるエレベータの設置校の割合	エレベータ設置校数の割合 (60.0%)	3

＜④重点課題の総合的な実施結果区分について＞

重点課題の総合的な実施結果区分		実施結果区分についての説明
目標を上回る成果があった		
目標どおりの成果があった	■	
目標を下回る成果があった		
ほとんど成果なし		

●①児童生徒増加対策事業のうち一部については計画変更しましたが、その他の新增築工事は予定どおり進捗したこと、②「学校施設長期保全計画」に基づく予防保全や再生整備の改修工事の設計に予定どおり着手できたこと、③エレベータ設置については、入札不調のため、一部工事を繰り越しましたが、学校トイレの快適化などについては、予定どおり進捗できたことから、安全で快適な教育環境の整備については、成果があったと考えます。

＜⑤課題の状況について＞

年度当初と比べた現時点での課題の状況区分		課題の状況区分についての説明
課題は増大している		
課題は同水準で存在する	■	
課題は縮小・解消している		

●築20年以上の老朽化が進行した校舎が7割以上あること、一部の地域の児童生徒については増加していく傾向にあることなど課題が引き続き存在することから、2016年度も取組を継続していく必要があります。

＜⑥次年度における事務事業の見直し結果＞

次年度における事務事業の見直し結果区分の説明	<ul style="list-style-type: none"> ●児童生徒増加対策事業については、地中埋設物の影響により御幸小学校校舎増築工事の工期延長を行いました。2016年4月に工事完了するよう取組を推進します。 ●安全で快適な教育環境整備事業については、入札不調の影響によりエレベータ設置工事の工期延長を行いました。2016年5月に工事完了するよう取組を推進します。
------------------------	---

「アクションプログラム2015」に基づく重点課題進行管理シート

①重点課題の内容等

基本戦略	2 子どもを安心して育てることのできるふるさとづくり	重点課題名	地域ぐるみで教育を支える環境の充実
作成課	教育委員会事務局生涯学習部生涯学習推進課	関係課	教育委員会事務局総務部教育改革推進担当
重点課題の内容	<ul style="list-style-type: none"> ●中学校区と行政区に設置された地域教育会議における市民の自主的な活動を支援することや、2014年度からスタートした「地域の寺子屋事業」を推進することなどを通して、地域ぐるみで子どもの育ちをサポートする仕組みづくりを進め、地域の教育力向上を図ることが求められています。 ●学校・家庭・地域社会が連携して、より良い教育の実現を目指すことができるように、学校教育推進会議の充実を図るとともに、学校・家庭・地域社会が一体となって学校運営に取り組む学校運営協議会（コミュニティ・スクール）を各区に指定し、その取組成果を他の学校に波及させていくことが求められています。 ●各区に設置した学校支援センターの事業を通して、地域人材による学校支援の活動を推進していくことが求められています。 		
重点課題の解決に向けた目標	●全市8か所においてスタートした地域の寺子屋事業の21か所への拡充を目指して取り組み、地域ぐるみで子どもの教育や学習をサポートする仕組みづくりを進めます。		

②重点課題に位置付けられた事務事業の目標・実績等

事務事業名・予算額	取組内容・目標	前半		1年間	
		実績等（目標との差異や次期への方向性等）	区分	実績等（目標との差異や次期への方向性等）	区分
地域等による学校運営への参加促進事業 予算 16,695 千円 決算見込 15,477 千円	<ul style="list-style-type: none"> ●地域に開かれた信頼される学校づくり、地域の創意工夫を活かした特色ある学校づくりを目指した学校運営の推進 ●学校運営協議会の運営支援 	目標どおり達成できました。	3	<ul style="list-style-type: none"> ●地域に開かれた信頼される学校づくり、地域の創意工夫を活かした特色ある学校づくりを目指した学校運営の推進（通年） ●学校運営協議会の運営支援（通年） ●コミュニティ・スクール連絡会、コミュニティ・スクール・フォーラム等の開催 ●取組成果をまとめたパンフレットの作成 	3
地域における教育活動の推進事業 予算 44,263 千円 決算見込 38,009 千円	<ul style="list-style-type: none"> ●地域の寺子屋モデル事業の全市21か所への拡充に向けた取組の推進 ●寺子屋先生養成講座の実施 ●学校・家庭・地域の連携協力推進会議の立ち上げ ●川崎市地域教育会議運営推進会議、代表者会議等を通して7行政区・51中学校区地域教育会議の活動の推進 	目標どおり達成できました。（地域の寺子屋については、昨年度開講した8か所に加えて、4か所が新たに開講しました。残りの9か所について引き続き開講に向けて調整中です。）	3	<ul style="list-style-type: none"> ●学校・家庭・地域の連携協力推進会議を通じた寺子屋事業の検証、寺子屋に関する人材育成 ●寺子屋事業における2年間のモデル事業の検証と2016年度以降の本格実施に向けた準備 ●地域の寺子屋フォーラムの開催 ●地域教育会議運営推進会議、代表者会議、全市交流会等の実施 	3

③重点課題の解決状況に関連する指標

	計画・目標値	前半		1年間	
		実績値（計画・目標値との差異）	区分	実績値（計画・目標値との差異）	区分
指標①	指標に関する実績値が1年ごとにしか把握できないため、1年間の目標値のみ設定しています。			親や教員以外の地域の大人と知り合うことができた割合（90%） ※寺子屋事業参加者へのアンケート結果	3
指標②	指標に関する実績値が1年ごとにしか把握できないため、1年間の目標値のみ設定しています。			学校や家では勉強できないことを教えてもらった割合（75%） ※寺子屋事業参加者へのアンケート結果	3

指標③	指標に関する実績値が1年ごとにしか把握できないため、1年間の目標値のみ設定しています。		「今住んでいる地域の行事に参加している」と回答した児童生徒の割合 (小6：54%) (中3：31.5%)	「今住んでいる地域の行事に参加している」と回答した児童生徒の割合 (小6：53.1%) (中3：34.3%)	3
-----	---	--	--	--	---

〈④重点課題の総合的な実施結果区分について〉

重点課題の総合的な実施結果区分		実施結果区分についての説明	<p>学校運営協議会や学校教育推進会議、区単位での学校支援に取り組みました。また、地域の寺子屋事業については、目標の21カ所への拡充に向けて、新たな寺子屋の立ち上げと2016年度開講の準備を進めるとともに、コーディネーターや寺子屋先生など事業に関わる人材育成を進めました。</p> <p>さらに、地域教育会議については、中学生死亡事件を受け、各地域教育会議の意見の取りまとめや、代表者会議、交流会など各機会をとらえて今後の活動に向けた話し合いなどを行いました。</p>
目標を上回る成果があった			
目標どおりの成果があった	■		
目標を下回る成果があった			
ほとんど成果なし			

〈⑤課題の状況について〉

年度当初と比べた現時点での課題の状況区分		課題の状況区分についての説明	<p>学校や家庭、子どもを取り巻く様々な社会状況が変化する中で、地域に開かれた学校づくりの推進・支援と、地域の教育力向上により地域が子ども達の育ちを支える取組を進めていくことが引き続き求められています。</p>
課題は増大している			
課題は同水準で存在する	■		
課題は縮小・解消している			

〈⑥次年度における事務事業の見直し結果〉

次年度における事務事業の見直し結果区分の説明	<p>コミュニティ・スクールについては、今年度新たに取り組み始めた2校を含め、全10校の取組はパイロット校としての役目を十分果たしており、来年度も現状の体制で取り組む方向としました。</p> <p>2014年度からスタートした地域の寺子屋事業については、2年間のモデル実施での課題や成果を受け、2016年度から本格実施として地域の実情に合わせながら更なる拡充を図っていきます。</p>
------------------------	--

「アクションプログラム2015」に基づく重点課題進行管理シート

①重点課題の内容等

基本戦略	3 市民生活を豊かにする都市基盤と環境づくり	重点課題名	スマートシティの推進
作成課	総合企画局スマートシティ戦略室	関係課	
重点課題の内容	<ul style="list-style-type: none"> ●2011年3月11日に発生した東日本大震災と福島第一原子力発電所の事故により、わが国は甚大な被害を受け、市民生活や経済活動に不可欠なエネルギーの安定供給やエネルギー基盤の重要性が再認識されました。 ●また、インターネットを活用したコミュニケーションツールとしてのスマートフォンなど、ICT（情報コミュニケーション技術）が人々の生活に浸透し、暮らしのスタイルが多様化する中、生活環境の変化やニーズ等に対応する誰もが暮らしやすい生活環境づくりに向けて、ハード・ソフト両面からの社会基盤の再構築が必要となっています。 ●こうした社会を取り巻く状況を踏まえ、本市においては、より質の高い持続可能なまちづくりを進める必要があります。 ●水素を日常の生活や産業活動に導入し、利活用する「水素社会」の実現に向けた取組の一層の推進が求められています。 		
重点課題の解決に向けた目標	<ul style="list-style-type: none"> ●持続可能な社会の実現を目指し、低炭素化をはじめ、市民生活の利便性や質の向上、安全・安心の確保につながるよう、「川崎市スマートシティ推進方針」に基づき、エネルギーの最適利用やICT・データの活用により、エネルギー・生活・交通・まちづくり・産業の5分野においてスマートシティの実現に向けた取組を推進します。 ●「水素社会の実現に向けた川崎水素戦略」に基づき、水素供給システムの構築や多分野にわたる水素利用の拡大、社会受容性の向上などの取組を推進します。 		

②重点課題に位置付けられた事務事業の目標・実績等

事務事業名・予算額	取組内容・目標	前半		1年間		
		実績等（目標との差異や次期への方向性等）	区分	実績等（目標との差異や次期への方向性等）	区分	
スマートシティ推進事業 予算 33,873 千円 決算見込 29,481 千円	<ul style="list-style-type: none"> ●「(仮称)スマートシティ推進計画」の策定に向けた調整 ●リーディングプロジェクト等の創出に向けた検討、調整 ●スマートシティに関するPR・情報発信 【川崎駅周辺地区】 ●地域主体のエネルギーマネジメントに係る実証事業の継続実施と評価・検証 ●スマートEVバスの機能向上検討・効果検証 【小杉駅周辺地区】 ●HEMSを活用したサービス提供実証事業の継続実施し、市民モニターへの段階的なサービス内容の充実に向けた検討・実施 ●データの二次利用に向けた検討 	目標どおり達成できました。	3	<ul style="list-style-type: none"> ●「(仮称)スマートシティ推進計画」の策定 ●リーディングプロジェクト等の創出に向けた検討、調整 ●スマートシティに関するPR・情報発信 【川崎駅周辺地区】 ●地域主体のエネルギーマネジメントに係る実証事業の継続実施と評価・検証、中間まとめ ●スマートEVバスの機能向上検討・効果検証 【小杉駅周辺地区】 ●市民モニターへの段階的なサービス内容の充実に向けた検討・実施 ●データの二次利用に向けた検討 ●実証事業の効果検証・取りまとめ 	目標どおり達成できました。	3
水素戦略推進事業 予算 8,600 千円 決算見込 8,074 千円	<ul style="list-style-type: none"> ●水素供給ネットワークの構築に向けた要素技術の検証、システム全体設計の明確化 ●再生可能エネルギーと水素を用いた自立型エネルギー供給システム共同実証の実施 ●地域循環型水素地産地消モデル実証事業の推進 ●再エネ等由来水素活用燃料電池フォークリフト実証事業の推進 ●鉄道駅等への燃料電池の導入、利活用 ●リーディングプロジェクト等の創出に向けた検討、調整 ●水素の社会認知度の向上に向けたPR・情報発信 	目標どおり達成できました。	3	<ul style="list-style-type: none"> ●水素供給ネットワークの構築に向けた要素技術の検証、システム全体設計の明確化 ●再生可能エネルギーと水素を用いた自立型エネルギー供給システム共同実証の実施 ●地域循環型水素地産地消モデル実証事業の推進 ●再エネ等由来水素活用燃料電池フォークリフト実証事業の推進 ●鉄道駅等への燃料電池の導入、利活用 ●リーディングプロジェクト等の創出に向けた検討、調整 ●水素の社会認知度の向上に向けたPR・情報発信 	目標どおり達成できました。	3

③重点課題の解決状況に関する指標

	前半			1年間		
	計画・目標値	実績値 (計画・目標値との差異)	区分	計画・目標値	実績値 (計画・目標値との差異)	区分
指標①	単年度の成果を端的にあらわす定量的な数値の把握ができないことから、指標を設定することが困難です。					

④重点課題の総合的な実施結果区分について

重点課題の総合的な実施結果区分		実施結果区分についての説明
目標を上回る成果があった		
目標どおりの成果があった	■	
目標を下回る成果があった		
ほとんど成果なし		

●スマートシティ推進事業については、「川崎市スマートシティ推進方針（増補改訂版）」を策定するとともに、リーディングプロジェクトとして、川崎駅や小杉駅周辺地区において実証等の取組の推進・検証、成果の取りまとめを行うなど、目標どおりの成果があったと考えます。
 ●水素戦略推進事業については、各リーディングプロジェクトが進捗するとともに、水素の社会認知度の向上のためのPR・情報発信も実施できたことから、目標どおりの成果があったと考えます。

⑤課題の状況について

年度当初と比べた現時点での課題の状況区分		課題の状況区分についての説明
課題は増大している		
課題は同水準で存在する	■	
課題は縮小・解消している		

●国の電力システム改革やデータの利活用に関するルール作りが現在進められており、こうした将来的な制度などを見据えながら、スマートシティの推進に向けた取組を進めなければならないことから、2016年度も取組を継続していく必要があります。
 ●水素エネルギーの導入・利活用に当たっては、法規制等の整備が追いついていないという課題が存在することから、2016年度も取組を継続していく必要があります。

⑥次年度における事務事業の見直し結果

次年度における事務事業の見直し結果区分の説明	<ul style="list-style-type: none"> ●スマートシティ推進事業については、今年度策定した「川崎市スマートシティ推進方針（増補改訂版）」に基づき、エネルギー・生活・交通・まちづくり・産業の5分野において、多様な主体と連携したリーディングプロジェクトを創出・実施するとともに、リーディングプロジェクトについてPDCAサイクルによる進行管理を行います。 ●水素戦略推進事業については、新たな組織のもと体制等を拡充し、多様な主体と連携したリーディングプロジェクトを創出・推進することにより、水素社会の実現に向けた取組を加速させていきます。
------------------------	---

「アクションプログラム2015」に基づく重点課題進行管理シート

①重点課題の内容等

基本戦略	3 市民生活を豊かにする都市基盤と環境づくり	重点課題名	地球温暖化対策の推進
作成課	環境局地球環境推進室	関係課	環境局地球環境推進室 環境局環境対策部交通環境対策課
重点課題の内容	<ul style="list-style-type: none"> ●喫緊の課題である地球温暖化問題の解決に向け、地球全体で考え、地域でできることから対応を進めていくことが求められています。 ●地球全体という視点については、本市では、優れた環境技術や省エネルギー技術を有する世界的企業が事業活動をしていることから、こうした特徴・強みを活かしながら、地球全体での温室効果ガスの削減に貢献していく必要があります。 ●あわせて、温室効果ガスは、あらゆる主体から排出されるものであることから、多様な主体の協働により、地域での取組を進めていく必要があります。 ●二酸化炭素をほとんど排出しない再生可能エネルギーの導入は、地球温暖化対策を推進していく上で重要な手段であるとともに、非常時における自立・分散型エネルギー拠点としても活用できることから、積極的に推進していく必要があります。 		
重点課題の解決に向けた目標	<ul style="list-style-type: none"> ●2020年度までに、1990年度における市域の温室効果ガス排出量の25%以上に相当する量の削減を目指します。 ●2020年度までに、太陽エネルギー利用量を2005年度比で30倍にします。 		

②重点課題に位置付けられた事務事業の目標・実績等

事務事業名・予算額	前半			1年間		
	取組内容・目標	実績等（目標との差異や次期への方向性等）	区分	取組内容・目標	実績等（目標との差異や次期への方向性等）	区分
エコオフィス推進事業 予算 14,427 千円 決算見込 14,078 千円	<ul style="list-style-type: none"> ●電力需給対策を重視し、CCかわさき推進プランに基づく市の率先した取組を推進（夏の電力需給対策の推進） ●エコオフィス管理システムを活用した環境配慮取組の推進（省エネ法等に基づく届出） 	目標どおり達成できました。	3	<ul style="list-style-type: none"> ●電力需給対策を重視し、CCかわさき推進プランに基づく市の率先した取組を推進 ●エコオフィス管理システムを活用した環境配慮取組の推進とシステム改修の実施 ●環境配慮契約・グリーン購入推進方針に基づく取組の推進 ●グリーン購入推進方針等による低公害車の公用車への率先導入 	目標どおり達成できました。	3
地球温暖化対策事業 予算 97,438 千円 決算見込 82,113 千円	<ul style="list-style-type: none"> ●低CO2川崎ブランド'15の募集 ●川崎メカニズム認証制度の募集 ●市条例に基づく計画書制度等の運用（7月末締切） ●「第4回スマートライフスタイル大賞」の募集 	目標どおり達成できました。	3	<ul style="list-style-type: none"> ●地球温暖化対策推進実施計画（第2期間）に基づく取組推進 ●低CO2川崎ブランド'15の認定及び認定製品・技術等の普及啓発の取組 ●川崎メカニズム認証制度に基づく、市内事業者の製品・技術等の優れた環境技術による川崎市域外での温室効果ガスの削減貢献量（域外貢献量）の認証及び算定 ●市条例に基づく計画書制度等の運用と見直しに向けた検討 ●中小規模事業者向け省エネ支援策等の実施 ●市民・事業者の優れた取組の発掘と情報発信を進めるため、「第4回スマートライフスタイル大賞制度」を実施 ●地球温暖化防止活動推進センターを核とした協働の取組を推進 ●研修会の開催等による地球温暖化防止活動推進員のスキル向上 ●CC川崎エコ会議を通じたネットワークの形成と情報発信 	目標どおり達成できました。	3

環境エネルギー推進事業	●川崎市エネルギー取組方針の策定 ●グリーンニューディール基金の効率的な運用及び民間施設への補助制度に係る事務手続きの実施 ●創エネ・省エネ・蓄エネ機器補助事業及び市内事業者エコ化支援事業に係る事務手続きの実施 ●「市建築物における環境配慮標準」の運用、公共施設への創エネ・省エネ・蓄エネの導入推進 ●川崎大規模太陽光発電所の運用とかわさきエコ暮らし未来館の運営	目標どおり達成できました。	●川崎市エネルギー取組方針に基づく「めざす姿」の実現に向けた取組の推進 ●グリーンニューディール基金の効率的な運用及び民間施設への補助の実施 ●住宅用創エネ・省エネ・蓄エネ機器補助事業及び市内事業者エコ化支援事業の実施及び来年度以降のあり方の検討 ●「市建築物における環境配慮標準」の運用及び公共施設における環境配慮技術の標準モデル等についての検討 ●川崎大規模太陽光発電所の運用とかわさきエコ暮らし未来館の運営	目標どおり達成できました。
予算	113,398 千円			
決算見込	88,038 千円		3	3
自動車排出ガス対策事業	●かわさき自動車環境対策推進協議会と連携した取組（産業道路クリーンライン化事業など）の推進 ●産業道路の迂回、低公害・低燃費車の優先配車に係る事業者の自主的取組の促進 ●ディーゼル車運行規制の実施 ●低公害・低燃費車導入助成（ハイブリッド、CNG車）の実施	目標どおり達成できました。	●かわさき自動車環境対策推進協議会と連携した取組（産業道路クリーンライン化事業など）の推進及び2016年度以降の協議会の方向性の検討とプラン案の策定 ●産業道路の迂回、低公害・低燃費車の優先配車に係る事業者の自主的取組の促進 ●ディーゼル車運行規制の実施 ●低公害・低燃費車導入助成（ハイブリッド、CNG車）の実施	目標どおり達成できました。
予算	16,743 千円			
決算見込	15,209 千円		3	3
低公害・低燃費車普及促進事業	●燃料電池車の公用車導入や水素ステーションの整備に向けた調整 ●九都県市指定低公害車等の低公害・低燃費車の普及促進及び公用車への率先導入 ●電気自動車普及及び啓発の取組 ●各種エコドライブ講習会の実施 ●エコ運搬制度の報告書受付及び必要に応じた指導 ●排出ガス規制に関する情報収集	目標どおり達成できました。	●燃料電池車の公用車導入や水素ステーションの整備に向けた調整及び普及啓発の取組 ●九都県市指定低公害車等の低公害・低燃費車の普及促進及び公用車への率先導入 ●電気自動車普及及び啓発の取組 ●各種エコドライブ講習会の実施 ●エコ運搬制度の適切な運用 ●排出ガス規制に関する情報収集	目標どおり達成できました。
予算	705 千円			
決算見込	2,280 千円		3	3

<③重点課題の解決状況に関連する指標>

	前半			1年間		
	計画・目標値	実績値 (計画・目標値との差異)	区分	計画・目標値	実績値 (計画・目標値との差異)	区分
指標①	指標に関する実績値が1年ごとには把握できないため、1年間の実績値の欄に記載します。	-		市域における温室効果ガス排出量を2020年度までに基準年度比25%以上に相当する量を削減 【基準年度：1990年度 2,922万t-CO2】 ※地球温暖化対策推進基本計画の目標年度（2020年）を目標値として設定します。	2,569万t-CO2（2013年度暫定値） 基準年度比12.1%削減	3
指標②	指標に関する実績値が1年ごとには把握できないため、1年間の目標値のみ設定しています。	-		住宅用創エネ・省エネ・蓄エネ機器導入補助件数の累計 7,150件	累計で6,540件の補助を実施	3
指標③	指標に関する実績値が1年度ごとには把握できないため、1年間の目標値のみ設定しています。	-		九都県市指定低公害車の導入率 【2013年度導入率】 63.0%	2014年度導入率 64.3%	3

<④重点課題の総合的な実施結果区分について>

重点課題の総合的な実施結果区分	
目標を上回る成果があった	
目標とおりの成果があった	■
目標を下回る成果があった	
ほとんど成果なし	

実施結果区分についての説明	<ul style="list-style-type: none"> ●配下の事務事業を着実に推進した結果、概ね目標とおりの成果をあげることができました。指標として設定した市域における温室効果ガス排出量については、前年度比では増加傾向となっていますが、基準年度との比較では12.1%減少しています。 ●また、住宅用創エネ・省エネ・蓄エネ機器導入補助件数については、実績値は目標値を下回ったものの、順調に増加しており、市内の住宅等における環境配慮機器等の導入は着実に進んでいます。
---------------	---

<⑤課題の状況について>

年度当初と比べた現時点での課題の状況区分	
課題は増大している	■
課題は同水準で存在する	
課題は縮小・解消している	

課題の状況区分についての説明	<ul style="list-style-type: none"> ●引き続き、地域からの地球温暖化対策の取組を推進していく必要があります。昨年末の気候変動枠組条約第21回締約国会議（COP21）で採択された「パリ協定」や、国の新たな温室効果ガス削減目標等の国内外の動向を踏まえ、今後、より一層の取組の推進が必要となります。 ●さらに、温室効果ガスの排出抑制などの「緩和策」の取組とあわせて、温暖化に起因する気候変動による影響を低減する取組である「適応策」についても取組を推進していく必要があることから、「気候変動適応策基本方針」の策定を進めています。
----------------	---

<⑥次年度における事務事業の見直し結果>

次年度における事務事業の見直し結果区分の説明	<ul style="list-style-type: none"> ●「気候変動適応策基本方針」について、2016年6月に策定・公表することとしています。また、地球温暖化対策に関する国内外の動向や、国が今春に策定する「地球温暖化対策計画」の内容等を踏まえ、本市の「地球温暖化対策推進計画」について2016・2017年度において改定を行います。
------------------------	---

「アクションプログラム2015」に基づく重点課題進行管理シート

①重点課題の内容等

基本戦略	3 市民生活を豊かにする都市基盤と環境づくり	重点課題名	国際環境施策の推進
作成課	環境局地球環境推進室	関係課	経済労働局国際経済推進室、環境局地球環境推進室、環境局環境総合研究所事業推進課、環境局環境総合研究所都市環境課
重点課題の内容	<ul style="list-style-type: none"> ●先進国の環境対策が進む中、途上国では経済の成長過程における環境負荷が増大し、途上国の公害問題のみならず、地球規模の環境問題が悪化しています。 ●本市がこれまで培ってきた環境技術や本市に集積する環境産業、優れた技術を生かしたこれまでの取組をグリーンイノベーションの取組としてより一層発展・拡大し、持続可能な社会の創造を推進します。 ●持続可能な社会づくりに向けては、産業界における持続可能な企業理念の形成と、社会的責任に基づく事業活動の展開を促進する必要があります。 		
重点課題の解決に向けた目標	<ul style="list-style-type: none"> ●本市の強みと特徴である、環境技術・産業の集積を活かし、「環境」と「経済」の調和と好循環の取組をより一層推進することで、国際貢献を果たすとともに、次世代の川崎の活力を生み出し持続可能な社会を創造していきます。 ●国連環境計画(UNEP)や国、国際・研究機関等と連携しながら、アジア諸国の環境配慮への取組を促進するとともに、環境関連の多様な主体によるネットワーク組織である「かわさきグリーンイノベーションクラスター」を通じた環境技術移転による国際貢献・産業振興を推進します。 		

②重点課題に位置付けられた事務事業の目標・実績等

事務事業名・予算額	取組内容・目標	前半		1年間		
		実績等（目標との差異や次期への方向性等）	区分	実績等（目標との差異や次期への方向性等）	区分	
国際環境産業推進事業 予算 49,648 千円 決算見込 47,820 千円	<ul style="list-style-type: none"> ●「川崎国際環境技術展」の開催に向けた企画・調整 ●技術展出展企業等へのマッチングフォローアップの実施 ●市内環境製品・技術等の調査・情報収集及び発信 ●グリーンイノベーションクラスター事務局機能の整備及び記念フォーラムの開催 	目標どおり達成できました。	3	<ul style="list-style-type: none"> ●「川崎国際環境技術展」の開催 ●技術展出展企業等へのマッチングフォローアップの実施 ●市内環境製品・技術等の情報収集及び発信 ●グリーンイノベーションクラスターの運営 	目標どおり達成できました。	3
国際環境施策推進事業 予算 22,002 千円 決算見込 21,256 千円	<ul style="list-style-type: none"> ●グリーンイノベーションの創出に向けた研究会の設置 ●グリーンイノベーションの推進に向けた環境情報のパッケージ化の検討 ●グリーンイノベーションに係る情報発信（展示会出展等） ●グリーンイノベーションクラスターの運営（経済労働局との共管） ●グリーンイノベーションに関する庁内関係会合の開催 	目標どおり達成できました。	3	<ul style="list-style-type: none"> ●グリーンイノベーションの創出に向けた研究会の運営 ●グリーンイノベーションの推進に向けた環境情報のパッケージ化の作成 ●グリーンイノベーションに係る情報発信（展示会出展等） ●グリーンイノベーションクラスターの運営（経済労働局との共管） ●グリーンイノベーションに関する庁内関係会合の開催 	目標どおり達成できました。	3
環境総合研究推進事業 予算 260,945 千円 決算見込 251,305 千円	<ul style="list-style-type: none"> ●第12回アジア・太平洋エコビジネスフォーラムの開催準備 ●第18期瀋陽市環境技術研修生の受入準備 ●海外からの研修・視察の受入 ●オープンラボ、多摩川教室、環境科学教室等の環境学習講座の実施 	目標どおり達成できました。	3	<ul style="list-style-type: none"> ●第12回アジア・太平洋エコビジネスフォーラムの開催 ●UNEPプロジェクトへの協力 ●第18期瀋陽市環境技術研修生の受入 ●海外からの研修・視察の受入 ●環境技術ポータルサイトの管理・運営 ●アーカイブスペースの管理・運営 ●オープンラボ、出前教室、多摩川教室、環境セミナー、環境科学教室等の環境学習講座の実施 ●環境学習用教材の貸出、環境学習用冊子の配布 	目標どおり達成できました。	3
都市環境事業 予算 19,676 千円 決算見込 14,973 千円	<ul style="list-style-type: none"> ●環境技術産学公民連携共同研究事業の募集および実施（公募型共同研究5件、連携型共同研究1件） 	目標どおり達成できました。	3	<ul style="list-style-type: none"> ●環境技術産学公民連携共同研究事業の実施および成果の総括（公募型共同研究5件、連携型共同研究1件） 	目標どおり達成できました。	3

③重点課題の解決状況に関する指標

	前半			1年間		
	計画・目標値	実績値 (計画・目標値との差異)	区分	計画・目標値	実績値 (計画・目標値との差異)	区分
指標①	指標に関する実績値が1年度ごとにしか把握できないため、1年間の目標値のみ設定しています。	-		国際会議の開催回数 【2014年度実績 3回】	3回実施	3
指標②	指標に関する実績値が1年度ごとにしか把握できないため、1年間の目標値のみ設定しています。	-		グリーンイノベーションに関する情報発信（展示会への出展回数等） 【2014年度実績 6回】	6回実施	3
指標③	指標に関する実績値が1年度ごとにしか把握できないため、1年間の目標値のみ設定しています。	-		川崎国際環境技術展の来場者数 【2014年度実績 11,300人】	15,000人	3

④重点課題の総合的な実施結果区分について

重点課題の総合的な実施結果区分		実施結果区分についての説明 ●配下の事務事業の着実な推進により、グリーンイノベーションの取組や環境技術を活かした国際貢献の取組等について、当初に設定した目標どおりの成果を挙げる事ができました。
目標を上回る成果があった		
目標どおりの成果があった	■	
目標を下回る成果があった		
ほとんど成果なし		

⑤課題の状況について

年度当初と比べた現時点での課題の状況区分		課題の状況区分についての説明 ●環境問題に国境はなく、地球規模での環境改善が喫緊の課題となっています。国においても、地球環境問題を外交の重要分野と位置付け、国際社会において自らの経験を活かし、環境技術の移転に向けた取組などを積極的に推進しています。 ●こうした背景から、本市の強みと特徴である環境技術・産業を活かした取組をグリーンイノベーションの取組として、より一層発展、拡大することで、課題解決による国際貢献に寄与するとともに、快適な市民生活の維持、向上などにつながるサステナブル・シティの創造を目指していきます。
課題は増大している		
課題は同水準で存在する	■	
課題は縮小・解消している		

⑥次年度における事務事業の見直し結果

次年度における事務事業の見直し結果区分の説明	●「グリーンイノベーション推進方針」に基づく取組の推進に向け、関係各局が連携するとともに、環境関連の多様な主体によるネットワーク組織「かわさきグリーンイノベーションクラスター」などを通じて、環境課題の解決に向けた事業者との研究会を開催するなど、国際貢献と産業振興を推進します。
------------------------	--

「アクションプログラム2015」に基づく重点課題進行管理シート

①重点課題の内容等

基本戦略	3 市民生活を豊かにする都市基盤と環境づくり	重点課題名	資源循環社会の構築に向けた取組の推進
作成課	環境局生活環境部廃棄物政策担当	関係課	環境局生活環境部廃棄物政策担当、環境局生活環境部収集計画課、環境局施設部施設建設課
重点課題の内容	<ul style="list-style-type: none"> ●地球環境にやさしい持続可能な循環型のまちを目指して、市民・事業者・行政の協働のもと、3R（リデュース・リユース・リサイクル）を基本として、更なる発生抑制・リサイクルの推進に向けて取り組む必要があります。 ●廃棄物処理事業は、全ての市民の生活に密着したライフラインのひとつであるため、「一般廃棄物処理基本計画（かわさきチャレンジ・3R）」に位置付けられた施策を中心に引き続き取組を推進し、安定的かつ効率的な廃棄物処理体制を構築していく必要があります。 		
重点課題の解決に向けた目標	<ul style="list-style-type: none"> ●市民・事業者・行政の協働のもと、3R（リデュース・リユース・リサイクル）施策を着実に推進することで、より一層ごみの発生・排出抑制、リサイクルを促進し、ごみ焼却量の削減を図ります。 		

②重点課題に位置付けられた事務事業の目標・実績等

事務事業名・予算額	前半			1年間		
	取組内容・目標	実績等（目標との差異や次期への方向性等）	区分	取組内容・目標	実績等（目標との差異や次期への方向性等）	区分
廃棄物企画調整事務 予算 11,964 千円 決算見込 7,849 千円	<ul style="list-style-type: none"> ●2014年度かわさきチャレンジ・3Rの各施策進行管理 ●新たな一般廃棄物処理基本計画策定に向けた審議会等での検討 ●小型家電の再資源化を促進するための方策の推進 ●市民の利便性を考慮した拠点回収拡充等に向けた検討 ●一般廃棄物処理手数料等の見直しの検討 	目標どおり達成できました。	3	<ul style="list-style-type: none"> ●2014年度かわさきチャレンジ・3Rの各施策進行管理 ●新たな一般廃棄物処理基本計画の審議会等での検討・答申、計画の策定 ●小型家電の再資源化を促進するための方策の推進 ●市民の利便性を考慮した拠点回収拡充等に向けた検討 ●一般廃棄物処理手数料等の見直しの検討 	目標どおり達成できました。	3
分別収集事業 予算 1,341,366 千円 決算見込 1,340,988 千円	<ul style="list-style-type: none"> ●空き缶、空き瓶、ペットボトル、小物金属、使用済乾電池、ミックスペーパー及びプラスチック製容器包装の適正かつ効率的な収集運搬 ●委託している収集運搬業務のモニタリング実施による適切な業務管理 ●中原・宮前生活環境事業所管内空き缶・ペットボトル収集運搬業務の新規委託の契約手続 	目標どおり達成できました。	3	<ul style="list-style-type: none"> ●空き缶、空き瓶、ペットボトル、小物金属、使用済乾電池、ミックスペーパー及びプラスチック製容器包装の適正かつ効率的な収集運搬 ●委託している収集運搬業務のモニタリング実施による適切な業務管理 ●中原・宮前生活環境事業所管内空き缶・ペットボトル収集運搬業務の委託業者の決定及び事前研修の実施 	目標どおり達成できました。	3
普通ごみ収集事業 予算 1,031,585 千円 決算見込 904,556 千円	<ul style="list-style-type: none"> ●普通ごみの適正かつ効率的な収集運搬の実施 	目標どおり達成できました。	3	<ul style="list-style-type: none"> ●普通ごみの適正かつ効率的な収集運搬の実施 	目標どおり達成できました。	3
リサイクルパークあさお整備事業 予算 4,462,300 千円 決算見込 3,515,977 千円	<ul style="list-style-type: none"> ●資源化処理施設建設工事の継続 ●空調、衛生、電気、各付帯工事の継続 ●外構その他工事の着手 ●用地確定測量業務委託の着手 ●広場内トイレ設置工事の着手 ●健康とふれあいの広場実施設計及び契約準備 	外構その他工事及び広場内トイレ設置工事については、入札が不調となったため、工事の着手が遅れました。外構その他工事については2016年1月の契約に向けて、広場内トイレ設置工事については2016年4月の契約に向けて準備を進めています。	4	<ul style="list-style-type: none"> ●資源化処理施設建設工事の完了 ●空調、衛生、電気、各付帯設備工事の完了 ●外構その他工事の完了 ●用地確定測量業務委託の完了 ●広場内トイレ設置工事の完了 ●健康とふれあいの広場整備工事の着手 	外構その他工事及び広場内トイレ設置工事については、入札が不調となったため、工事の着手が遅れました。2016年12月末の完成に向けて、外構その他工事については2015年12月に契約し、広場内トイレ設置工事については2016年4月の契約に向けて準備を進めました。	4
処理センター整備事業 予算 142,726 千円 決算見込 92,568 千円	<ul style="list-style-type: none"> ●橋処理センター解体撤去工事に係る事前調査（アスベスト、ダイオキシン類、土壌等）の実施及び解体撤去工事発注仕様書の作成準備 ●橋処理センター建設工事基準仕様書の作成準備 ●橋処理センター整備事業に係る条例環境影響評価準備書手続の実施（縦覧・説明会） 	目標どおり達成できました。	3	<ul style="list-style-type: none"> ●橋処理センター解体撤去工事に係る事前調査（アスベスト、ダイオキシン類、土壌等）の実施、解体撤去工事発注仕様書の作成及び解体撤去工事の発注 ●橋処理センター建設工事基準仕様書の作成 ●橋処理センター整備事業に係る条例環境影響評価準備書手続の実施（縦覧・説明会・審議会）及び同評価書手続の準備 	目標どおり達成できました。	3

＜③重点課題の解決状況に関する指標＞

	前半			1年間		
	計画・目標値	実績値 (計画・目標値との差異)	区分	計画・目標値	実績値 (計画・目標値との差異)	区分
指標①	指標に関する実績値が1年ごとには把握できないため、1年間の実績値の欄に記載します。	—		市民1人1日あたりのごみ排出量を2015年度までに988g 【基準年度：2010年度排出量 1,041g】	976g	3
指標②	指標に関する実績値が1年ごとには把握できないため、1年間の実績値の欄に記載します。	—		資源化率を2015年度までに35% 【基準年度：2010年度資源化率 24.0%】	29.5% 新聞・雑誌等の電子化などにより、資源物の量自体が当初の想定より少なくなり、資源物の市ごみ総排出量に占める割合が小さくなってきたことから、目標は下回りましたが、資源化率は基準年度から着実に上昇しています。	4
指標③	指標に関する実績値が1年ごとには把握できないため、1年間の実績値の欄に記載します。	—		ごみ焼却量を2015年度までに37万トン 【基準年度：2010年度ごみ焼却量 412,712t】	371,270t	3

＜④重点課題の総合的な実施結果区分について＞

重点課題の総合的な実施結果区分		実施結果区分についての説明
目標を上回る成果があった		
目標どおりの成果があった	■	
目標を下回る成果があった		
ほとんど成果なし		

＜⑤課題の状況について＞

年度当初と比べた現時点での課題の状況区分		課題の状況区分についての説明
課題は増大している		
課題は同水準で存在する	■	
課題は縮小・解消している		

＜⑥次年度における事務事業の見直し結果＞

次年度における事務事業の見直し結果区分の説明	<ul style="list-style-type: none"> ●引き続き、市民・事業者・行政との協働により、新たに策定した「一般廃棄物処理基本計画」に位置付けた施策を中心に、地球環境にやさしい持続可能なまちの実現を目指す取組を進めていきます。 ●分別収集事業については、2015年度からの南部・川崎生活環境事業所の空き缶・ペットボトル収集運搬業務の民間委託化に引き続き、中原・宮前生活環境事業所においても民間業者に委託することにより、効率的に事業を行うこととしています。 ●処理センター整備事業については、橋処理センター解体撤去工事に係る取組を進めていきます。
------------------------	---

「アクションプログラム2015」に基づく重点課題進行管理シート

①重点課題の内容等

基本戦略	3 市民生活を豊かにする都市基盤と環境づくり	重点課題名	魅力ある都市拠点の整備（川崎駅周辺地区）
作成課	まちづくり局市街地開発部市街地整備推進課	関係課	
重点課題の内容	●川崎駅周辺地区においては、商業・業務・文化施設・都市型住宅などを中心として、民間活力を活かした都市機能の集積を推進するとともに、東西の駅前広場の再編整備を行う等、本市の玄関口としてふさわしいまちづくりに取り組んできました。 ●今後は、歩行者の回遊性を高めるとともに、羽田空港や臨海部の玄関口である京急川崎駅周辺のまちづくりを推進し、広域的な集客機能等を備えた活力と魅力にあふれた都市拠点の形成を推進します。		
重点課題の解決に向けた目標	●JR川崎駅北口自由通路等整備事業や堀川町C地区連絡ペDESTリアンデッキの整備を推進します。 ●「川崎駅周辺総合整備計画」について、計画策定以降の新たな環境変化、新たなまちづくりの動向等を踏まえた改定を行います。 ●「都市再生安全確保計画」に基づき、地下街防災推進事業を活用した支援を行うことにより、帰宅困難者対策の取組を進めます。 ●「京急川崎駅周辺地区まちづくり整備方針」に基づき、民間事業の誘導とその進捗にあわせた都市基盤の再編整備のバランスをとりながら、国際化に対応した計画的なまちづくりを進めます。		

②重点課題に位置付けられた事務事業の目標・実績等

事務事業名・予算額	前半			1年間		
	取組内容・目標	実績等（目標との差異や次期への方向性等）	区分	取組内容・目標	実績等（目標との差異や次期への方向性等）	区分
川崎駅西口地区住宅市街地総合整備事業 予算 887,813 千円 決算見込 262,270 千円	<ul style="list-style-type: none"> ●堀川町C地区連絡ペDESTリアンデッキ整備に向けた関係者調整及び詳細設計 ●北口自由通路西側ペDESTリアンデッキの工事着手 ●民間開発の誘導（大宮町地区A-2街区等） 	目標どおり達成できました。	3	<ul style="list-style-type: none"> ●堀川町C地区連絡ペDESTリアンデッキ整備に向けた関係者調整及び詳細設計の取りまとめ ●北口自由通路西側ペDESTリアンデッキの整備推進 ●民間開発の誘導（大宮町地区A-2街区等） 	目標どおり達成できました。	3
川崎駅周辺総合整備事業 予算 21,512 千円 決算見込 23,430 千円	<ul style="list-style-type: none"> ●関連計画や開発動向及び社会環境変化を踏まえた「川崎駅周辺総合整備計画改定」に向けた庁内調整、改定委員会設置及び開催 ●社会資本総合整備計画の事後評価委員会付議に向けた議案作成及び次期計画策定に向けた関係者調整 ●都市再生安全確保計画に基づく地下街防災推進事業の支援実施 ●民間開発の適切な誘導・支援 	目標どおり達成できました。	3	<ul style="list-style-type: none"> ●「川崎駅周辺総合整備計画」の改定 ●社会資本総合整備計画事後評価の実施及び次期計画の作成 ●都市再生安全確保計画に基づく地下街防災推進事業の支援実施 ●民間開発の適切な誘導・支援 	目標どおり達成できました。	3
JR川崎駅北口自由通路等整備事業 予算 2,941,705 千円 決算見込 1,177,642 千円	<ul style="list-style-type: none"> ●北口自由通路と新たな改札口の整備推進（基礎杭打設工事、人工地盤設置工事等） ●アゼリア接続屋根・EVの工事着手 	アゼリア接続屋根・EVについては、入札不調に伴う再契約手続が必要となりましたが、年度後半の工事着手を予定しております。	4	<ul style="list-style-type: none"> ●北口自由通路と新たな改札口の整備推進（基礎杭打設工事、人工地盤設置工事等） ●アゼリア接続屋根・EVの整備推進（準備工事、基礎杭打設工事等） 	北口自由通路の人工地盤設置工事を推進するとともに、アゼリア接続屋根・EVについては、再契約手続きの上、工事に着手し、基礎杭等打設工事については次年度早期に着手できる見込みです。	4
京急川崎駅周辺地区整備事業 予算 5,970 千円 決算見込 5,400 千円	<ul style="list-style-type: none"> ●整備方針に沿った民間事業の誘導（権利者調整、事業化誘導） ●民間事業の進捗にあわせた道路の再編整備に係る関係機関協議の着手 	目標どおり達成できました。	3	<ul style="list-style-type: none"> ●整備方針に沿った民間事業の誘導（権利者調整、事業化誘導） ●民間事業の進捗にあわせた道路の再編整備に係る関係機関協議の推進 	目標どおり達成できました。	3

③重点課題の解決状況に関連する指標

指標①	前半			1年間		
	計画・目標値	実績値（計画・目標値との差異）	区分	計画・目標値	実績値（計画・目標値との差異）	区分
施設が完成する事業がないため、指標を設定することが困難です。						

<④重点課題の総合的な実施結果区分について>

重点課題の総合的な実施結果区分		実施結果区分についての説明	●川崎駅周辺地区については、JR川崎駅北口自由通路等整備や堀川町C地区連絡デッキ整備、京急川崎駅周辺地区整備方針の策定等の重点課題の解決に向けた取組を着実に推進しています。
目標を上回る成果があった			
目標とおりの成果があった	■		
目標を下回る成果があった			
ほとんど成果なし			

<⑤課題の状況について>

年度当初と比べた現時点での課題の状況区分		課題の状況区分についての説明	●2016年度も引き続き、隣接都市拠点と連携した適切な役割分担のもと、交通機能や地理的優位性及び民間活力を最大限に活かしながら、高次な都市機能の集積による都市拠点の整備を推進していく必要があります。
課題は増大している			
課題は同水準で存在する	■		
課題は縮小・解消している			

<⑥次年度における事務事業の見直し結果>

次年度における事務事業の見直し結果区分の説明	<ul style="list-style-type: none"> ●北口自由通路等整備事業については、地中障害物の出現に伴う影響により整備スケジュールの見直しを行い、それを踏まえて、北口自由通路西側デッキ事業及びアゼリア接続屋根・EV事業についても、本体事業との適切な事業調整を行うとともに、効率的な事業進捗を図ります。 ●堀川町C地区連絡デッキ事業については、詳細設計を取りまとめ、次年度の工事着手に向けた契約手続きを進めています。 ●次年度も引き続き、本市の玄関口にふさわしい魅力ある広域拠点の形成を図るため、基盤施設整備やA-2街区等の民間開発の誘導を推進するなど、改定した川崎駅周辺総合整備計画に基づく総合的な取組を着実に推進します。
------------------------	--

「アクションプログラム2015」に基づく重点課題進行管理シート

①重点課題の内容等

基本戦略	3 市民生活を豊かにする都市基盤と環境づくり	重点課題名	魅力ある都市拠点の整備（小杉駅周辺地区）
作成課	まちづくり局小杉駅周辺総合整備推進室	関係課	建設緑政局道路整備課 経済労働局産業政策部企画課
重点課題の内容	<p>●小杉駅周辺地区においては、大規模工場跡地等を中心に再開発事業が進められるとともに、横須賀線武蔵小杉駅が開業することで、交通結節点の強化が図られ、駅周辺に公共施設をはじめ、商業、業務、都市型住宅といった、さまざまな都市機能の効率的な再配置・整備を行い、駅を中心とした利便性の高い歩いて暮らせるコンパクトなまちづくりを推進します。</p> <p>●そのためには、高齢化が進んだ人口減少社会を見据えて、誰もが便利に公共サービスを受けられるよう、さまざまな都市機能を駅周辺に効率的に集約・整備するとともに、駅へのアクセス性を高める幹線道路等の都市基盤の整備を進め、利便性の高い都市生活環境を備えた活力と魅力に溢れた広域拠点の形成を推進していく必要があります。</p>		
重点課題の解決に向けた目標	<p>●コンパクトなまちづくりを推進し、2015年度は、小杉町3丁目東地区第一種市街地再開発事業（1.1ha）において、権利変換計画作成に向け、再開発組合と調整していきます。</p>		

②重点課題に位置付けられた事務事業の目標・実績等

事務事業名・予算算額	前半			1年間		
	取組内容・目標	実績等（目標との差異や次期への方向性等）	区分	取組内容・目標	実績等（目標との差異や次期への方向性等）	区分
コンベンション等整備推進事業 予算 130,900 千円 決算見込 51,593 千円	<ul style="list-style-type: none"> ●内装工事の発注に向けた調整 ●寄附申請手続等の調整 ●施設管理運営における指定管理者制度等導入の検討 	目標どおり達成できました。	3	<ul style="list-style-type: none"> ●内装工事の発注 ●寄附申請手続等の調整 ●施設管理運営における指定管理者制度等導入の検討 	目標どおり達成できました。	3
小杉駅周辺地区再開発等事業 予算 1,397,932 千円 決算見込 144,794 千円	<ul style="list-style-type: none"> ●南口西街区：組合解散に向けた準備・調整 ●小杉町3丁目中央地区：組合解散に向けた準備・調整 ●小杉町3丁目東地区：権利変換計画作成準備 ●小杉駅北側地区：誘導、支援 	目標どおり達成できました。	3	<ul style="list-style-type: none"> ●南口西街区：組合解散 ●小杉町3丁目中央地区：組合解散 ●小杉町3丁目東地区：権利変換計画作成 ●小杉駅北側地区：誘導、支援 ●その他地区の状況に応じたまちづくりの誘導・支援 	小杉町3丁目東地区に関して、事業計画の見直しを行ったことから権利変換計画認可申請に至りませんでした。しかし、次年度予定の工事着手スケジュールには影響がでない範囲での調整を行い、次年度早期の権利変換計画認可の予定です。その他事業に関しては目標どおり達成しました。	3
小杉駅周辺地区都市再生総合整備事業 予算 1,800 千円 決算見込 1,782 千円	<ul style="list-style-type: none"> ●武蔵小杉周辺景観計画特定地区の拡大や指定を検討 ●各地区の景観形成の基準案の検討 ●国道409号拡幅事業に係る総合自治会館の土地利用計画案の検討 	目標どおり達成できました。	3	<ul style="list-style-type: none"> ●武蔵小杉周辺景観計画特定地区の拡大や指定の案を作成 ●各地区の景観形成の基準案の策定 ●国道409号拡幅事業に係る総合自治会館の土地利用計画案の策定 	目標どおり達成できました。	3
小杉駅周辺交通機能整備事業 予算 1,117 千円 決算見込 341 千円	<ul style="list-style-type: none"> ●接続通路の維持管理及び保守点検 ●JR武蔵小杉駅構内の混雑状況等現況把握 ●小杉駅周辺の歩行者空間の安全性に関する現地調査 	目標どおり達成できました。	3	<ul style="list-style-type: none"> ●接続通路の維持管理及び保守点検 ●JR武蔵小杉駅構内の安全対策、混雑緩和について、鉄道事業者との協議・調整 ●小杉駅周辺の歩行者空間の安全対策の取組 	目標どおり達成できました。	3

③重点課題の解決状況に関連する指標

指標①	前半			1年間		
	計画・目標値	実績値（計画・目標値との差異）	区分	計画・目標値	実績値（計画・目標値との差異）	区分
※再開発事業は、複数年に渡る長期間を要するものであり、年度後半の施設建築物完成をめざしていることから、1年間の目標値のみ設定しています。				2015年度内の建築物の完成1棟（新丸子東3丁目南部地区における住宅棟）	目標どおり達成できました。	3

<④重点課題の総合的な実施結果区分について>

重点課題の総合的な実施結果区分		実施結果区分についての説明	●小杉駅周辺地区については、コンベンションホールの工事着手、小杉駅南口西街区及び小杉町3丁目中央地区での再開発組合解散、新丸子東3丁目南部地区における住宅棟の完成等、広域拠点の形成に向けた取組を着実に推進しました。
目標を上回る成果があった			
目標とおりの成果があった	■		
目標を下回る成果があった			
ほとんど成果なし			

<⑤課題の状況について>

年度当初と比べた現時点での課題の状況区分		課題の状況区分についての説明	●引き続き、利便性の高い都市生活環境を備えた活力と魅力に溢れた広域拠点の形成を推進していく必要があるため、2016年度も取組を継続することが必要です。
課題は増大している			
課題は同水準で存在する	■		
課題は縮小・解消している			

<⑥次年度における事務事業の見直し結果>

次年度における事務事業の見直し結果区分の説明	<ul style="list-style-type: none"> ●小杉駅周辺交通機能整備事業については、JR武蔵小杉駅の安全対策・混雑緩和について課題となっているため、鉄道事業者との協議・調整を図るとともに、次年度以降には、駅利用者や周辺の歩行者の動向調査から現状分析を行い、現況鉄道施設及び駅周辺の公共施設の課題を抽出し、解決に向けた対応策を検討します。 ●総合自治会館跡地の土地利用計画案をもとに、国道409号線拡幅整備の早期実現と、賑わいの形成や回遊性の創出を目指した施設・広場づくりに向け、民間活力を活かした適切な跡地利用を誘導します。
------------------------	---

「アクションプログラム2015」に基づく重点課題進行管理シート

①重点課題の内容等

基本戦略	3 市民生活を豊かにする都市基盤と環境づくり	重点課題名	魅力ある都市拠点の整備（新百合ヶ丘駅周辺地区）
作成課	まちづくり局総務部企画課	関係課	
重点課題の内容	●新百合ヶ丘駅周辺の道路において、休日や雨天などの特定の時間帯で、交通混雑が見受けられることから、当面の交通混雑緩和を図るための取組を推進します。また、駅周辺における土地利用転換などの機会を適切に捉え、誰もが利用しやすく、安全・安心かつ円滑な交通環境整備に向け、ハード・ソフト両面における官民協働での取組を推進します。		
重点課題の解決に向けた目標	●新百合ヶ丘駅周辺の道路における当面の交通混雑緩和に向けて、北口駅前広場の整流化を実施するとともに、南口駅前広場の詳細設計を完了します。		

②重点課題に位置付けられた事務事業の目標・実績等

事務事業名・予算額	前半			1年間		
	取組内容・目標	実績等（目標との差異や次期への方向性等）	区分	取組内容・目標	実績等（目標との差異や次期への方向性等）	区分
新百合ヶ丘駅周辺交通環境調査事業	●北口駅前広場の整流化に向けた関係機関調整 ●北口駅前広場の整流化の実施 ●南口駅前広場の再整備に向けた協議調整	目標どおり達成できました。	3	●南口駅前広場の詳細設計の完了 ●商業者との協議調整	目標どおり達成できました。	3
予算	17,300 千円					
決算見込	6,410 千円					

③重点課題の解決状況に関連する指標

指標	前半			1年間		
	計画・目標値	実績値（計画・目標値との差異）	区分	計画・目標値	実績値（計画・目標値との差異）	区分
指標①	施設整備による定量的な数値の把握ができないことから、指標を設定することが困難です					

④重点課題の総括的な実施結果区分について

重点課題の総括的な実施結果区分		実施結果区分についての説明 ●新百合ヶ丘駅周辺交通環境調査事業については、道路管理者、交通管理者などと協議・調整を行い、北口駅前広場の整流化の実施や南口駅前広場の詳細設計を完了するなど、交通環境の改善に向けた取組を推進し、目標どおりの成果があったと考えます。
目標を上回る成果があった		
目標どおりの成果があった	■	
目標を下回る成果があった		
ほとんど成果なし		

⑤課題の状況について

年度当初と比べた現時点での課題の状況区分		課題の状況区分についての説明 ●新百合ヶ丘駅周辺駅の道路においては、休日や雨天などの特定の時間帯で、交通混雑が見受けられることから、2016年度も取組を推進する必要があります。
課題は増大している		
課題は同水準で存在する	■	
課題は縮小・解消している		

⑥次年度における事務事業の見直し結果

次年度における事務事業の見直し結果区分の説明	●今年度の詳細設計の成果を踏まえ、次年度は、南口駅前広場等の交通混雑緩和に向けた取組を推進します。
------------------------	---

「アクションプログラム2015」に基づく重点課題進行管理シート

①重点課題の内容等

基本戦略	3 市民生活を豊かにする都市基盤と環境づくり	重点課題名	魅力ある都市拠点の整備（新川崎・鹿島田駅周辺地区）
作成課	まちづくり局市街地開発部市街地整備推進課	関係課	
重点課題の内容	<ul style="list-style-type: none"> ●新鶴見操車場跡地を中心に、新たな土地利用及び都市基盤の方針を定めた地区計画に基づき、地域生活拠点にふさわしい商業・業務機能、都市型居住機能の導入と研究開発機能の拡充を目指し、民間開発の適切な誘導を進めます。 ●鹿島田駅周辺地区においては、社会経済の変化や地域の意向を踏まえた、安全で魅力ある地域生活拠点の形成を進めます。 ●鹿島田駅西部地区第一種市街地再開発事業では、住宅棟の2016年度完成に向けて、指導・誘導等を行います。 ●再開発事業の進捗を見据えつつ、南武線連続立体交差事業と整合を図った「南武線沿線まちづくり方針」の策定に向けて、検討を進めます。 		
重点課題の解決に向けた目標	<ul style="list-style-type: none"> ●新川崎駅前広場ロータリーの整備を推進します。 ●鹿島田駅西部地区第一種市街地再開発事業における住宅棟の2016年度完成に向けた指導・誘導等を図ります。 ●南武線連続立体交差事業と整合を図った南武線沿線まちづくり方針策定に向けた検討を進めます。 		

②重点課題に位置付けられた事務事業の目標・実績等

事務事業名・予算額	前半			1年間		
	取組内容・目標	実績等（目標との差異や次期への方向性等）	区分	取組内容・目標	実績等（目標との差異や次期への方向性等）	区分
新川崎地区整備事業 予算 58,122 千円 決算見込 88,804 千円	<ul style="list-style-type: none"> ●新川崎地区地区計画に基づく土地利用誘導 ●新川崎駅前広場ロータリーの整備調整 ●北加瀬地区の土地利用誘導 	目標とおり達成できました。	3	<ul style="list-style-type: none"> ●新川崎地区地区計画に基づく土地利用誘導 ●新川崎駅前広場ロータリーの整備完成 ●北加瀬地区の土地利用誘導 	目標とおり達成できました。	3
鹿島田駅周辺地区整備事業 予算 4,163 千円 決算見込 2,469,312 千円	<ul style="list-style-type: none"> ●施設建築物工事（住宅棟）の推進 ●公共施設工事（交通広場等）の推進 ●南武線沿線まちづくり方針案の検討 	目標とおり達成できました。	3	<ul style="list-style-type: none"> ●施設建築物工事（住宅棟）の推進 ●公共施設工事（交通広場等）の完成 ●南武線沿線まちづくり方針案の策定 	鹿島田駅西部地区第一種市街地再開発事業については、公共施設（交通広場等）工事が完成するとともに、施設建築物（住宅棟）工事が進んでいます。また、沿線まちづくり方針については、策定に向けた基本的な考え方を取りまとめました。	3

③重点課題の解決状況に関連する指標

指標	前半			1年間		
	計画・目標値	実績値（計画・目標値との差異）	区分	計画・目標値	実績値（計画・目標値との差異）	区分
指標①	施設整備による定量的な数値の把握ができないことから、指標を設定することが困難です。					

④重点課題の総合的な実施結果区分について

重点課題の総合的な実施結果区分		実施結果区分についての説明 <ul style="list-style-type: none"> ●新川崎地区整備事業における新川崎駅前広場ロータリーや、鹿島田駅周辺地区整備事業における公共施設工事の完成により、重点課題の解決に向けた取組は順調に進んでいます。 ●2016年度には、鹿島田駅西部地区第一種市街地再開発事業が完了する予定です。 ●今後も引き続き、新川崎・鹿島田駅周辺地区の土地利用誘導を行うとともに、広域拠点と連携する南武線沿線として、まちづくりの方向性を定めていく必要があります。
目標を上回る成果があった		
目標どおりの成果があった	■	
目標を下回る成果があった		
ほとんど成果なし		

⑤課題の状況について

年度当初と比べた現時点での課題の状況区分		課題の状況区分についての説明 <ul style="list-style-type: none"> ●新川崎・鹿島田駅周辺地区の拠点形成が進んでいることから、今後は拠点整備の波及効果も踏まえた南武線沿線全体として、次のまちづくりの方向性を定めていく必要があります。
課題は増大している		
課題は同水準で存在する	■	
課題は縮小・解消している		

⑥次年度における事務事業の見直し結果

次年度における事務事業の見直し結果区分の説明	<ul style="list-style-type: none"> ●新川崎・鹿島田駅周辺地区整備事業については、これまでのまちづくりの取組を活かしながら、魅力ある地域生活拠点を形成するため、引き続き地区計画等に基づく民間の土地利用誘導を行います。 ●南武線沿線まちづくり推進事業については、広域拠点と連携する軸として、民間の土地利用転換の機会を捉えた戦略的かつ機動的な誘導により、地域資源と民間活力を活かした駅を中心としたまちづくりを推進するため、南武線沿線まちづくり方針を策定し、将来像を明確にした上で、適時適切にまちづくりを推進します。
------------------------	--

「アクションプログラム2015」に基づく重点課題進行管理シート

①重点課題の内容等

基本戦略	3 市民生活を豊かにする都市基盤と環境づくり	重点課題名	魅力ある都市拠点の整備（溝口駅周辺地区）
作成課	建設緑政局計画部企画課	関係課	建設緑政局自転車対策室・まちづくり局市街地整備推進課
重点課題の内容	●溝口駅南口地区は、駅前広場や都市計画道路が未整備の状況にあり、主要ターミナル駅である溝口駅に集中するバス交通の適切な誘導を図るなど交通連結機能の強化が必要となっています。そのため、バスターミナル、タクシー乗場及び駐輪場等の広場整備を行い、溝口駅周辺における交通結節機能の強化を図るとともに、バリアフリーに対応した都市施設を整備することにより、市民が安全で安心に利用できる生活拠点の都市基盤整備を促進します。		
重点課題の解決に向けた目標	●南口広場の整備計画は確定しており、他事業との調整を綿密に行い、2016年度に完成することを目標としています。		

②重点課題に位置付けられた事務事業の目標・実績等

事務事業名・予算額	前半			1年間		
	取組内容・目標	実績等（目標との差異や次期への方向性等）	区分	取組内容・目標	実績等（目標との差異や次期への方向性等）	区分
溝口駅南口広場整備事業	●南口広場整備に向けた関係機関協議・調整 ●南口広場整備工事発注・契約	目標どおり達成できました。	3	●南口広場整備に向けた関係機関協議・調整 ●南口広場整備工事推進	目標どおり達成できました。	3
予算	264,838 千円					
決算見込	102,000 千円					

③重点課題の解決状況に関する指標

指標①	前半			1年間		
	計画・目標値	実績値（計画・目標値との差異）	区分	計画・目標値	実績値（計画・目標値との差異）	区分
指標①	南口広場の整備については、関係機関との協議・調整、工事発注に向けた契約を行っている段階であり、指標を設定していません。					

④重点課題の総括的な実施結果区分について

重点課題の総括的な実施結果区分	
目標を上回る成果があった	
目標どおりの成果があった	■
目標を下回る成果があった	
ほとんど成果なし	
実施結果区分についての説明	●南口広場の整備計画に基づく設計・積算を行い、2015年7月に工事着手しました。今後、2016年度内の供用開始を目指します。

⑤課題の状況について

年度当初と比べた現時点での課題の状況区分	
課題は増大している	
課題は同水準で存在する	■
課題は縮小・解消している	
課題の状況区分についての説明	●溝口駅周辺における交通結節機能の強化を図るために、引き続き2016年度も取組を継続していくことが必要です。

⑥次年度における事務事業の見直し結果

次年度における事務事業の見直し結果区分の説明	●南口広場の整備計画に基づき、2016年度内の供用開始を目指し事業を進めていきます。
------------------------	--

「アクションプログラム2015」に基づく重点課題進行管理シート

①重点課題の内容等

基本戦略	3 市民生活を豊かにする都市基盤と環境づくり	重点課題名	魅力ある都市拠点の整備（鷺沼駅周辺地区）
作成課	まちづくり局総務部企画課	関係課	
重点課題の内容	●宮前区は山坂が多く、拠点機能が分散しているなどの地域課題があり、また急速な高齢化などの社会経済状況の変化に対応するため、宮前平・鷺沼駅周辺地区における超高齢社会を見据えた誰もが暮らしやすい、持続可能なまちづくりのあり方について、関係機関と調整を行いながら検討を進めます。		
重点課題の解決に向けた目標	●東急沿線のステークホルダーである鉄道事業者と包括連携協定を締結し、協定に基づく持続可能なまちづくりを推進します。		

②重点課題に位置付けられた事務事業の目標・実績等

事務事業名・予算額	前半			1年間		
	取組内容・目標	実績等（目標との差異や次期への方向性等）	区分	取組内容・目標	実績等（目標との差異や次期への方向性等）	区分
鷺沼駅周辺まちづくり調査事業	●鉄道事業者との包括連携協定の締結 ●駅を中心としたまちづくりやアクセス向上に向けた調査検討	目標どおり達成できました。	3	●包括連携協定に基づく沿線まちづくりの取組推進 ●駅を中心としたまちづくりやアクセス向上に向けた調査検討	目標どおり達成できました。	3
予算	1,500 千円					
決算見込	1,296 千円					

③重点課題の解決状況に関連する指標

指標①	前半			1年間		
	計画・目標値	実績値（計画・目標値との差異）	区分	計画・目標値	実績値（計画・目標値との差異）	区分
	施設が完成する事業がないため、指標を設定することが困難です。					

④重点課題の総合的な実施結果区分について

重点課題の総合的な実施結果区分	
目標を上回る成果があった	
目標どおりの成果があった	■
目標を下回る成果があった	
ほとんど成果なし	
実施結果区分についての説明	●鷺沼駅周辺地区まちづくり調査事業については、誰もが暮らしやすい、持続可能なまちづくりの実現に向けて、6月に鉄道事業者と包括連携協定を締結し、協定の連携・協力事項である「駅を中心としたまちづくりやアクセス向上」などについて、調査検討を推進するなど、目標どおりの成果があったと考えます。

⑤課題の状況について

年度当初と比べた現時点での課題の状況区分	
課題は増大している	
課題は同水準で存在する	■
課題は縮小・解消している	
課題の状況区分についての説明	●鷺沼駅周辺地区まちづくり調査事業については、今年度の取組結果を踏まえ、2016年度も駅を中心とした多様なライフスタイルに対応する機能の充実や、駅アクセスの向上などに関する取組を推進する必要があります。

⑥次年度における事務事業の見直し結果

次年度における事務事業の見直し結果区分の説明	●今年度の包括協定の締結や調査検討の結果、駅を中心としたまちづくりやアクセス向上の取組の推進が必要であり、次年度は、鷺沼駅周辺における再整備に向けた事業計画調整を推進します。
------------------------	---

「アクションプログラム2015」に基づく重点課題進行管理シート

①重点課題の内容等

基本戦略	3 市民生活を豊かにする都市基盤と環境づくり	重点課題名	魅力ある都市拠点の整備（登戸・向ヶ丘遊園駅周辺地区）
作成課	まちづくり局登戸区画整理事務所	関係課	
重点課題の内容	●登戸・向ヶ丘遊園駅周辺地区においては、道路、公園等の公共施設が未整備で、建物の老朽化が進んでいる中、土地区画整理事業が長期化していることから、事業の早期完成に向けた取組が必要となっています。		
重点課題の解決に向けた目標	●2025年度の事業完了に向けて、骨格となる幹線道路や駅前周辺等、整備効果の高い箇所の整備を重点的に進めるとともに、効果的な事業手法である集団移転の活用を図ります。		

②重点課題に位置付けられた事務事業の目標・実績等

事務事業名・予算額	前半			1年間		
	取組内容・目標	実績等（目標との差異や次期への方向性等）	区分	取組内容・目標	実績等（目標との差異や次期への方向性等）	区分
登戸地区土地区画整理事業	<ul style="list-style-type: none"> ●登戸1号線・2号線・3号線などにおける、建物等の移転や公共施設整備にかかる調整 ●次年度以降の事業展開の検討 ●仮換地指定に向けた権利者調整 ●商店街地区における集団移転に向けた合意形成の促進 ●駅周辺地区における、建物等の移転に向けた合意形成の促進 ●事業計画の変更手続き 	目標とおり達成できました。（仮換地指定 約3,723㎡）	3	<ul style="list-style-type: none"> ●登戸1号線・2号線・3号線などの整備推進 ●仮換地指定の推進 ●商店街地区における集団移転の促進 ●駅周辺地区における、建物等の移転に向けた合意形成の促進 ●事業計画の変更に向けた関係機関との協議・調整 	目標とおり達成できました。（仮換地指定 約13,569㎡）	3
予算	3,619,079 千円					
決算見込	2,049,365 千円					

③重点課題の解決状況に関連する指標

指標	前半			1年間		
	計画・目標値	実績値（計画・目標値との差異）	区分	計画・目標値	実績値（計画・目標値との差異）	区分
指標①	仮換地指定率 72% ※仮換地指定面積（累計）と全宅地面積との割合	仮換地指定率 71.3%	4	仮換地指定率 75%	仮換地指定率 75%	3
指標②	宅地使用開始率 54% ※権利者により使用収益が開始された箇所の面積（累計）と全宅地面積との割合	宅地使用開始率 54.9%	3	宅地使用開始率 56%	宅地使用開始率 56%	3

④重点課題の総合的な実施結果区分について

重点課題の総合的な実施結果区分		実施結果区分についての説明 ●重点整備エリアである登戸駅西側周辺地区について、引き続き事業を推進しており、指標である仮換地指定率及び宅地使用開始率の実績値が当初設定目標に達したことなど、成果があったと考えます。
目標を上回る成果があった		
目標どおりの成果があった	■	
目標を下回る成果があった		
ほとんど成果なし		

⑤課題の状況について

年度当初と比べた現時点での課題の状況区分		課題の状況区分についての説明 ●登戸・向ヶ丘遊園駅周辺地区においては、防災性や生活環境について課題が存在することから、事業の早期完了に向けて、2016年度も引き続き事業を推進していきます。
課題は増大している		
課題は同水準で存在する	■	
課題は縮小・解消している		

⑥次年度における事務事業の見直し結果

次年度における事務事業の見直し結果区分の説明	●2015年度は民間事業者を活用した補償交渉支援業務を導入しましたが、引き続き成果の検証を実施しながら、民間事業者の活用を推進します。
------------------------	---

「アクションプログラム2015」に基づく重点課題進行管理シート

①重点課題の内容等

基本戦略	3 市民生活を豊かにする都市基盤と環境づくり	重点課題名	魅力ある都市拠点の整備（幹線道路）
作成課	建設緑政局計画部企画課	関係課	建設緑政局計画部企画課、建設緑政局道路河川整備部道路整備課
重点課題の内容	<ul style="list-style-type: none"> ●慢性的な渋滞は、大きな経済的損失を招くとともに、環境の悪化や市民の安全性の低下など、市民生活の豊かさに大きく関わる重要課題となっています。市内の幹線道路には、依然として、交差点や踏切において渋滞が発生しており、渋滞の基本的な対策となる道路ネットワークの整備などを推進する一方で、早期の効果発現を目的とした渋滞対策が必要です。 ●都市計画法や道路法に基づき、市民生活や経済活動を支える都市基盤施設である幹線道路の整備を行い、市民が安全・安心・快適な交通環境や活力と賑わいのある都市の形成に向けた交通体系を構築し、魅力あふれるまちづくりを目指します。 		
重点課題の解決に向けた目標	<ul style="list-style-type: none"> ●市内の渋滞の緩和を図るため、交差点改良など局所的かつ即効的な対策により、早期の効果発現を目的として、2014年から概ね3年間で、京急川崎（大）第2踏切、元木交差点、溝口交差点、稲生橋交差点、宿河原1丁目交差点の5か所の交差点及び踏切を対象として緊急渋滞対策を実施します。 ●都市計画法や道路法に基づき、市民生活や経済活動を支える都市基盤施設である幹線道路の整備を行います。 		

②重点課題に位置付けられた事務事業の目標・実績等

事務事業名・予算額	前半		1年間			
	取組内容・目標	実績等（目標との差異や次期への方向性等）	区分	取組内容・目標	実績等（目標との差異や次期への方向性等）	区分
緊急渋滞対策事業	<ul style="list-style-type: none"> ●京急川崎(大)第2踏切：京浜急行電鉄(株)と対策案についての協議・調整。 ●元木交差点：交通管理者と対策案についての協議・調整。 ●溝口交差点：事後調査の実施、効果検証。 ●稲生橋交差点：交通管理者と対策案についての協議・調整。 	目標どおり達成できました。	3	<ul style="list-style-type: none"> ●京急川崎(大)第2踏切：京浜急行電鉄(株)と対策案についての協議・調整。 ●元木交差点：交通管理者と対策案についての協議・調整。 ●溝口交差点：事後調査の実施、効果検証。 ●稲生橋交差点：交通管理者と対策案についての協議・調整。 	目標どおり達成できました。	3
予算	0千円					
決算見込	0千円					
街路整備事業	<ul style="list-style-type: none"> ●宮内新横浜線（宮内・子母口）及び関連道路（国道409号、幸多摩線）用地交渉 ●荻宿小田中線（Ⅰ・Ⅲ期）用地交渉 ●東京丸子横浜線（市ノ坪）工事施工、（木月）工事完成 ●丸子中山茅ヶ崎線（小杉御殿）電共工事施工、（蟻山坂）用地交渉 ●世田谷町田線（登戸・片平・上麻生）用地交渉・工事施工 ●菅早野線（白山・下麻生）用地交渉 ●登戸2号線 用地交渉・工事施工 ●尻手黒川線（Ⅳ期）用地交渉 ●柿生町田線（柿生駅前）用地交渉 ●野川柿生線（久本・王禅寺）・用地交渉 	目標どおり達成できました。	3	<ul style="list-style-type: none"> ●宮内新横浜線（宮内・子母口）及び関連道路（国道409号、幸多摩線）用地交渉 ●荻宿小田中線（Ⅰ・Ⅲ期）用地交渉 ●東京丸子横浜線（市ノ坪）工事施工、（木月）工事完成 ●丸子中山茅ヶ崎線（小杉御殿）電共工事完成、（蟻山坂）用地交渉 ●世田谷町田線（登戸・片平・上麻生）用地交渉・工事施工 ●菅早野線（白山・下麻生）用地交渉 ●登戸2号線 用地交渉・工事施工 ●尻手黒川線（Ⅳ期）用地交渉 ●柿生町田線（柿生駅前）用地交渉 ●野川柿生線（久本・王禅寺）・用地交渉 	目標どおり達成できました。	3
予算	3,466,157千円					
決算見込	3,200,184千円					
道路改進黨業(国県道)	<ul style="list-style-type: none"> ●国道409号（市ノ坪）用地交渉 ●国道409号（小杉・小杉御殿町）用地交渉 ●主要地方道川崎府中（枳形・生田）用地交渉・工事施工 ●主要地方道横浜生田（東三田）用地交渉・工事施工 ●主要地方道横浜上麻生（下麻生）用地交渉・工事施工 	目標どおり達成できました。	3	<ul style="list-style-type: none"> ●国道409号（市ノ坪）用地交渉 ●国道409号（小杉・小杉御殿町）用地交渉 ●主要地方道川崎府中（枳形・生田）用地交渉・工事施工 ●主要地方道横浜生田（東三田）用地交渉・工事施工 ●主要地方道横浜上麻生（下麻生）用地交渉・工事施工 	目標どおり達成できました。	3
予算	3,035,989千円					
決算見込	1,944,185千円					

③重点課題の解決状況に関連する指標

	前半			1年間		
	計画・目標値	実績値 (計画・目標値との差異)	区分	計画・目標値	実績値 (計画・目標値との差異)	区分
指標①	目標値を数値で設定することが難しいため、指標を設定していません。					

④重点課題の総合的な実施結果区分について

重点課題の総合的な実施結果区分		実施結果区分についての説明
目標を上回る成果があった		
目標どおりの成果があった	■	
目標を下回る成果があった		
ほとんど成果なし		

●緊急渋滞対策の取組については、溝口交差点と宿河原1丁目交差点の取組を公表するとともに、元木交差点については対策を実施し、また、京急川崎(大)第2踏切及び稲生橋交差点については、対策実施に向け対策案の検討や関係機関等と協議調整を行うなど、目標どおり事業を推進しました。
●幹線道路の整備については、地権者交渉に多くの時間を要しましたが、東京丸子横浜線、世田谷町田線、川崎府中は道路工事を進め、年度内に整備を行いました。また、宮内新横浜線、菅早野線、国道409号、横浜上麻生等で用地取得の推進など計画的に事業が進捗しました。

⑤課題の状況について

年度当初と比べた現時点での課題の状況区分		課題の状況区分についての説明
課題は増大している		
課題は同水準で存在する	■	
課題は縮小・解消している		

●緊急渋滞対策については、渋滞対策の基本となる道路ネットワークの整備などを推進する一方で、早期の効果発現を目的とした渋滞対策を2016年も引き続き継続していく必要があります。
●幹線道路の整備については、移転先の確保や権利関係の輻輳など、地権者交渉に多くの時間を要するなどの課題が存在するため、2016年も引き続き取組を継続していく必要があります。

⑥次年度における事務事業の見直し結果

次年度における事務事業の見直し結果区分の説明	●市内の幹線道路は、市民生活や経済活動を支える重要な都市基盤施設であることから、幹線道路の整備や局所的な渋滞を解消するため、これらの事業を引き続き推進します。
------------------------	---

「アクションプログラム2015」に基づく重点課題進行管理シート

①重点課題の内容等

基本戦略	3 市民生活を豊かにする都市基盤と環境づくり	重点課題名	身近な地域交通環境の整備
作成課	まちづくり局交通政策室	関係課	まちづくり局交通政策室
重点課題の内容	<ul style="list-style-type: none"> ●安全で快適な日常生活の実現に向けて、坂が多い丘陵地や路線バスのネットワークが利用しづらいなどさまざまな特性をもつ地域では、コミュニティ交通の導入や路線バスネットワークの見直しなど、交通環境の改善が求められています。 ●市民生活を支える公共交通の強化に向け、バス事業者が必要に合わせて行う路線の新設や増便等の検討を促進する必要があります。 ●無秩序な路上荷さばきにより、幹線道路の円滑な交通環境や商店街の安全な賑わい空間が阻害されています。 ●広域公共交通機関網の整備の一環として、都市交通に関する計画立案のため、東京都市圏において10年ごとに人の動き、物の動きを調査・分析し計画の立案に役立つ基礎資料を作成します。 ●「川崎市総合都市交通計画」に位置付ける施策・事業を推進するとともに、毎年度の進捗状況を把握して進行管理を行います。 ●市民の移動利便性や、本市の都市競争力の向上のため、総合都市交通計画に基づく計画的な取組を進める必要があります、そのために必要となる調査・検討を行います。 ●今年度は、国において交通政策審議会の答申が予定されており、それに向けた対応を行うために必要となる調査・検討を行います。 ●臨海部の公共機能強化を通じた、臨海部へのアクセス向上を図るため、取組を進めます。 ●JR南武線武蔵溝ノ口駅以北の片側改札口の5駅について、駅に隣接する踏切を横断しなくても、線路反対側の地域や駅改札口にアクセスできるように、橋上駅舎化等の整備に向けた取組を推進します。 		
重点課題の解決に向けた目標	<ul style="list-style-type: none"> ●「地域交通の手引き」に基づき、地域住民が主体となった地域協議会等に対し、進捗状況に応じた技術的支援を行いながら、地域のニーズに適したコミュニティ交通の導入を目指します。 ●地域の利用動向に応じたバスサービスを提供し、路線バスによる地域交通の充実を図ることを目的とし、事業者が行う路線バスの社会実験に対する支援を行います。 ●「川崎駅周辺地区荷さばき対策基本計画」に基づき、無秩序な路上荷さばきを抑制するための対策を推進します。 ●交通政策審議会答申へ必要な事業が位置付けられるよう取り組みます。 ●臨海部の公共機能強化を計画的に進められるよう、基本方針策定に向けた取組を進めます。 ●稲田堤駅、津田山駅については、用地取得を行います。また、稲田堤駅については、工事着手に向けた環境を整えます。 		

②重点課題に位置付けられた事務事業の目標・実績等

事務事業名・予算額	前半			1年間		
	取組内容・目標	実績等（目標との差異や次期への方向性等）	区分	取組内容・目標	実績等（目標との差異や次期への方向性等）	区分
地域交通支援事業 予算 9,728千円 決算見込 11,044千円	<ul style="list-style-type: none"> ●地域協議会等への支援 ●コミュニティ交通本格運行継続に向けた支援 ●路線バスの運行社会実験の実施に向けた調整、取組の推進 ●公共交通機能強化に向けた取組の推進 	<ul style="list-style-type: none"> ●地域が主体となったコミュニティ交通の導入に向けた検討及び本格運行継続に向けた取組に対し支援しました。 ●路線バスの運行社会実験の実施に向けたバス事業者との調整、取組を推進しました。 	3	<ul style="list-style-type: none"> ●地域協議会等への支援 ●コミュニティ交通本格運行継続に向けた支援 ●路線バスの運行社会実験の実施に向けた調整、取組の推進 ●公共交通機能強化に向けた取組の推進 	●目標どおり達成できました。	3
駐車施設整備推進事業 予算 2,635千円 決算見込 2,462千円	<ul style="list-style-type: none"> ●事業者、庁内関係部署と連携した荷さばき対策の検討体制のあり方の検討 	<ul style="list-style-type: none"> ●荷さばき社会実験の結果に基づき、新たな荷さばきスペースとして第三庁舎荷さばきスペース確保について協議調整を実施しました。 	3	<ul style="list-style-type: none"> ●事業者自らが荷さばき対策を行う意識の醸成 ●荷さばき対策の検討体制のあり方及び効果的な対策の検討 	<ul style="list-style-type: none"> ●事業者部会を開催し、荷さばき対策のあり方を検討しました。また、効果的な対策を事業者自ら検討するため、かわさきTMO事務局と協議調整をしました。 ●路上・路外荷さばき場所の確保について、交通管理者等と協議調整を行いました。 	3
総合的な交通体系調査事業 予算 22,412千円 決算見込 21,390千円	<ul style="list-style-type: none"> ●過年度に行った物資流動調査のとりまとめに向けた関係機関との協議・調整 ●川崎市総合都市交通計画に位置付ける施策・事業の「2014年度の進捗状況」のとりまとめに向けた情報収集や関係調整等 ●川崎市総合都市交通計画の施策展開等の見直しに向けた検討 ●総合都市交通計画に位置付けた事業の推進に向けた検討 ●臨海部公共交通機能強化に向けた取組の推進 ●国の交通政策審議会への必要な事業の位置付けに向けた取組の推進 	●目標どおり達成できました。	3	<ul style="list-style-type: none"> ●過年度に行った物資流動調査結果を基にした東京都市圏における望ましい物流や都市交通体系のあり方の検討及び検討結果等のとりまとめ ●川崎市総合都市交通計画に位置付ける施策・事業の「2014年度の進捗状況」のとりまとめ、公表。「2015年度の進捗状況」の把握作業の実施 ●川崎市総合都市交通計画の施策展開等の見直しに向けた検討 ●総合都市交通計画に位置付けた事業の推進に向けた検討 ●臨海部公共交通機能強化に向けた取組の推進 ●国の交通政策審議会への必要な事業の位置付けに向けた取組の推進 	●目標どおり達成できました。	3

南武線駅アクセス向上等整備事業	●稲田堤駅、津田山駅については、事業用地取得に向け用地交渉の継続	●目標どおり達成できました。稲田堤駅については、用地交渉に時間を要していることから、事業用地確保に向けた他の手法を検討しているところです。	3	●稲田堤駅、津田山駅の事業用地取得 ●稲田堤駅については、橋上駅舎化の工事着手	●稲田堤駅については、用地交渉が難航していることから、神奈川県と土地収用法適用に向け協議調整を実施しました。 ●津田山駅については、目標どおり達成できました。	4
予算	607,172 千円					
決算見込	105,100 千円					

③重点課題の解決状況に関する指標

指標	前半			1年間		
	計画・目標値	実績値 (計画・目標値との差異)	区分	計画・目標値	実績値 (計画・目標値との差異)	区分
指標①	施設の完成する事業などがないため、指標を設定することが困難です。					

④重点課題の総合的な実施結果区分について

重点課題の総合的な実施結果区分		実施結果区分についての説明 ●コミュニティ交通については、本格導入に向けた検討の支援や運行継続に向けた活動の支援を行うなど、目標どおりの成果があったと考えます。また、路線バスについても、社会実験の実施に向けた事業者等との協議、調整を進めるなど、目標どおりの成果があったと考えます。 ●駐車施設整備推進事業については、荷さばき対策に対する事業者の意識醸成や路上・路外荷さばき場の本格整備に向けた関係機関との協議調整を進め、目標どおりの成果があったと考えます。 ●南武線駅アクセス向上等整備事業については、稲田堤駅では、用地取得まで至りませんでした。が、神奈川県と土地収用法適用に向けた協議調整を進め、津田山駅では、用地取得を完了させるなど、一定の成果があったと考えます。 ●川崎市総合都市交通計画については、進行管理や見直しに向けた検討を実施しました。
目標を上回る成果があった		
目標どおりの成果があった	■	
目標を下回る成果があった		
ほとんど成果なし		

⑤課題の状況について

年度当初と比べた現時点での課題の状況区分		課題の状況区分についての説明 ●コミュニティ交通については、引き続き、地域の活動を支援する必要があります。また、路線バスの充実に向け、社会実験支援制度の活用なども含め、引き続き、バス事業者との協議、調整を進める必要があります。 ●事業者の荷さばきに対する意識醸成及び荷さばき場の本格整備に向けては、課題が引き続き存在するので、次年度も取組を継続する必要があります。 ●南武線駅アクセス向上等整備事業の課題は引き続き存在するので、次年度も取組を継続する必要があります。 ●川崎市総合都市交通計画については、毎年度、進行管理を行うとともに、2017年度の見直しに向けた検討を、引き続き実施する必要があります。
課題は増大している		
課題は同水準で存在する	■	
課題は縮小・解消している		

⑥次年度における事務事業の見直し結果

次年度における事務事業の見直し結果区分の説明	●コミュニティ交通については、「地域交通の手引き」に基づき、引き続き、地域に対する支援を行っていきます。 ●総合都市交通計画については、2017年度の施策展開等の見直しに向けて、引き続き、検討作業を進めていきます。 ●南武線駅アクセス向上等整備事業について、稲田堤駅については、神奈川県との土地収用法を適用した用地取得の検討、津田山駅については、工事着手に向けた取組を進めていきます。
------------------------	--

「アクションプログラム2015」に基づく重点課題進行管理シート

①重点課題の内容等

基本戦略	3 市民生活を豊かにする都市基盤と環境づくり	重点課題名	南武支線の機能強化
作成課	まちづくり局交通政策室	関係課	まちづくり局総務部企画課
重点課題の内容	<ul style="list-style-type: none"> ●南武支線は利便性が低いことなどから、支線沿線の人口が多いにもかかわらず、沿線の居住者や臨海部に勤務する人の利用割合が低く、沿線住民は、南武支線よりも、路線バスや自転車といった交通手段を選択しています。 ●沿線地域の持続的な発展に向けては、まちの発展と鉄道軸強化が互いに連携した取組が必要となっています。 ●また、臨海部の従業者数等の増加が見込まれる中、臨海部の更なる活性化に向けて、アクセシビリティ向上が求められています。 		
重点課題の解決に向けた目標	<ul style="list-style-type: none"> ●人口が急増している小田栄地区周辺の利便性向上を図るため、新駅設置に向けた協議・調整を行い、施行協定を締結します。 ●新駅設置にあわせて、南武支線の利用促進に向けた取組を推進します。 		

②重点課題に位置付けられた事務事業の目標・実績等

事務事業名・予算額	前半			1年間		
	取組内容・目標	実績等（目標との差異や次期への方向性等）	区分	取組内容・目標	実績等（目標との差異や次期への方向性等）	区分
南武支線新駅整備事業	<ul style="list-style-type: none"> ●事業用地取得 ●新駅整備に向けた詳細設計 	事業用地取得については、地権者との合意に至りました。また、新駅整備に向けた詳細設計をとりまとめ、9月に施行協定を締結するなど、新駅開業に向けた調整を推進しました。	3	<ul style="list-style-type: none"> ●施行協定締結 ●新駅開業に向けた協議・調整 	目標とおり達成できました。なお、協議調整の結果、2016年3月に小田栄駅を開業することができました。	3
南武支線沿線まちづくり推進事業	<ul style="list-style-type: none"> ●南武支線沿線の現況調査 	目標とおり達成できました。	3	<ul style="list-style-type: none"> ●南武支線利用促進に向けた取組 ●小田栄新駅アクセス向上に向けた検討 	目標とおり達成できました。	3
予算	276,728千円					
決算見込	290,604千円					
予算	3,000千円					
決算見込	2,695千円					

③重点課題の解決状況に関する指標

指標	計画・目標値	前半		1年間		
		実績値（計画・目標値との差異）	区分	計画・目標値	実績値（計画・目標値との差異）	区分
指標①	施設整備による定量的な数値の把握ができないことから、指標を設定することが困難です。					

④重点課題の総合的な実施結果区分について

重点課題の総合的な実施結果区分		実施結果区分についての説明
目標を上回る成果があった		<ul style="list-style-type: none"> ●南武支線新駅整備事業については、新駅開業に向けた協議・調整を進め、小田栄駅が開業しましたので、目標とおりの成果があったと考えます。 ●南武支線沿線まちづくり推進事業については、沿線における今後のまちづくりに関する調査や利用促進に向けた取組を進めるなど、目標とおりの成果があったと考えます。
目標とおりの成果があった	■	
目標を下回る成果があった		
ほとんど成果なし		

⑤課題の状況について

年度当初と比べた現時点での課題の状況区分		課題の状況区分についての説明
課題は増大している		<ul style="list-style-type: none"> ●南武支線新駅整備事業については、「臨海部を支える公共交通機能強化」に向け、引き続き、更なる南武支線の利便性向上策や利用促進に向けた取組を検討する必要があります。 ●南武支線沿線まちづくり推進事業については、沿線地域の持続的な発展に向けて、新駅設置を契機に、交通結節機能の強化や住環境の改善などの取組を検討する必要があります。
課題は同水準で存在する	■	
課題は縮小・解消している		

⑥次年度における事務事業の見直し結果

次年度における事務事業の見直し結果区分の説明	<ul style="list-style-type: none"> ●南武支線新駅整備事業については、今年度、新駅を開業するなど「臨海部を支える公共交通機能強化」に向けた取組を進めましたが、引き続き、持続可能な公共交通機能強化に向け、利用促進や安全対策等の検討・推進を目指す必要があることから、次年度も事業内容を継続する方向となりました。 ●南武支線沿線まちづくり推進事業については、小田栄駅の利用状況を踏まえ、密集市街地の改善と併せた南武支線沿線のまちづくりの方向性を検討します。
------------------------	--

「アクションプログラム2015」に基づく重点課題進行管理シート

①重点課題の内容等

基本戦略	3 市民生活を豊かにする都市基盤と環境づくり	重点課題名	ユニバーサルデザインのまちづくりの推進
作成課	まちづくり局総務部企画課	関係課	まちづくり局交通政策室、建設緑政局道路河川整備部道路施設課
重点課題の内容	<ul style="list-style-type: none"> ●交通バリアフリー法に基づく新法の内容への拡充が強く求められるとともに、東京オリンピック・パラリンピック開催に向けて加速する国際化等への対応が求められることから、ユニバーサルデザインのまちづくりを推進する必要があります。 ●タクシーは個人のニーズにあわせて運行が可能な身近な交通手段であり、その中でも一般の利用者だけでなく、高齢者や車いす利用者など、誰もが利用しやすいユニバーサルデザインタクシーの車両普及や利用環境の整備が求められています。 ●ノンステップバスの普及促進を図り、障害者や高齢者等の公共交通機関の利用環境を整備し、福祉のまちづくりを推進することが求められています。 		
重点課題の解決に向けた目標	<ul style="list-style-type: none"> ●川崎駅周辺地区についてバリアフリー基本構想を改定します。また、更なる市民の外出機会や来街者の増加に向けて、バリアフリー法の概念を継承しつつ、誰もが安全・安心に暮らし訪れることのできるユニバーサルデザイン都市の実現に向けた取組を推進します。 ●高齢者や車いすの方など、誰でも利用可能なユニバーサルデザインタクシー車両の導入を促進し、2017年度末までに川崎市内の法人タクシー総台数の10%（約140台）の導入を目指すため、補助制度を活用し導入促進を図ります。また、ユニバーサルデザインタクシーに対応した乗場を整備し、ユニバーサルデザインタクシーの認知度を高めることで、誰もが利用しやすい交通環境の整備に向けて取り組みます。 ●民営バス事業者のノンステップバスの導入を促進し、高齢者や障害者など誰もが利用しやすい移動手段の確保を図ります。 		

②重点課題に位置付けられた事務事業の目標・実績等

事務事業名・予算額	前半		1年間			
	取組内容・目標	実績等（目標との差異や次期への方向性等）	区分	取組内容・目標	実績等（目標との差異や次期への方向性等）	区分
バリアフリー推進事業 予算 2,852 千円 決算見込 2,538 千円	<ul style="list-style-type: none"> ●各構想に基づくバリアフリー事業の進行管理 ●川崎駅周辺地区バリアフリー基本構想（案）の作成 ●ユニバーサルデザイン方針（案）の作成 	●目標どおり達成できました。	3	<ul style="list-style-type: none"> ●川崎駅周辺地区バリアフリー基本構想の改定 ●ユニバーサルデザイン方針の策定 	<ul style="list-style-type: none"> ●川崎駅周辺地区バリアフリー基本構想の改定 ●ユニバーサルデザイン方針のハード領域である公共サイン整備に関するガイドラインの策定 	3
ユニバーサルデザインタクシー導入促進事業 予算 3,000 千円 決算見込 600 千円	<ul style="list-style-type: none"> ●ユニバーサルデザインタクシー導入補助 ●武蔵溝の口駅南口、井田病院、川崎病院におけるユニバーサルデザインタクシー対応乗り場整備に向けた調整 	<ul style="list-style-type: none"> ●タクシー事業者に対し、ユニバーサルデザインタクシーの早期導入を働きかけました。 ●溝の口駅南口整備に向け、ユニバーサルデザインタクシーに対応した乗り場整備の調整を行いました。また、井田病院の整備進捗状況について確認しました。 	3	<ul style="list-style-type: none"> ●ユニバーサルデザインタクシー導入補助 ●武蔵溝の口駅南口、井田病院、川崎病院におけるユニバーサルデザインタクシー対応乗り場整備に向けた調整 	●目標どおり達成しました。	3
民営ノンステップバス導入促進事業 予算 1,450 千円 決算見込 0 千円	●地域公共交通会議による生活交通改善事業計画の策定	●目標どおり達成しました。	3	●民間バス事業者への国庫補助導入の促進	●目標どおり達成しました。	3
バリアフリー重点整備地区交通安全施設整備事業 予算 29,792 千円 決算見込 28,915 千円	バリアフリー基本構想地区、推進構想地区4地区（武蔵中原・武蔵新城駅周辺地区、津田山・久地・宿河原駅周辺地区、梶が谷・宮崎台駅周辺地区、中野島・稲田堤駅周辺地区）におけるバリアフリー化の推進 <ul style="list-style-type: none"> ●関係機関協議 ●設計積算 	●目標どおり達成できました。	3	バリアフリー基本構想地区、推進構想地区4地区（武蔵中原・武蔵新城駅周辺地区、津田山・久地・宿河原駅周辺地区、梶が谷・宮崎台駅周辺地区、中野島・稲田堤駅周辺地区）におけるバリアフリー化の推進 <ul style="list-style-type: none"> ●工事施工 ●工事完成 	●目標どおり達成しました。	3

③重点課題の解決状況に関連する指標

	前半			1年間		
	計画・目標値	実績値 (計画・目標値との差異)	区分	計画・目標値	実績値 (計画・目標値との差異)	区分
指標①	指標に関する実績値が1年ごとにしか把握できないため、1年間の目標値のみ設定しています。			ユニバーサルデザインタクシー導入予定台数 8台	ユニバーサルデザインタクシー導入台数 4台(うち補助3台)	4

④重点課題の総合的な実施結果区分について

重点課題の総合的な実施結果区分		実施結果区分についての説明
目標を上回る成果があった		
目標どおりの成果があった	■	
目標を下回る成果があった		
ほとんど成果なし		

●バリアフリー推進事業については、当初の目標どおり、旧法に基づく「バリアフリー基本構想」の改定や「公共サイン整備に関するガイドライン」の策定などを行いました。
 ●ユニバーサルデザインタクシーについては、導入事業者に対する補助金を支出するとともに、溝口駅南口や井田病院などへの乗り場整備に向けた調整を行い、目標どおりの成果があったと考えます。
 ●ノンステップバスについては、事業者の意向に応じ、国の導入補助が受けられるよう手続きを支援し、目標どおりの成果があったと考えます。
 ●バリアフリー重点整備地区交通安全施設整備事業については、バリアフリー基本構想地区、推進構想地区4地区におけるバリアフリー化に向けて整備を行い、目標どおりの成果があったと考えます。

⑤課題の状況について

年度当初と比べた現時点での課題の状況区分		課題の状況区分についての説明
課題は増大している		
課題は同水準で存在する	■	
課題は縮小・解消している		

●東京2020オリンピック・パラリンピックの開催に向けて、高齢者や障害者、子育て世代や外国人等、誰もが暮らし・訪れやすいまちづくりが必要となることを踏まえ、ユニバーサルデザインのまちづくりの取組を進めていく必要があります。
 ●ユニバーサルデザインタクシーについては、引き続き、導入推進に繋がる取組を継続していくことが必要です。
 ●ノンステップバスについては、市内の導入割合が国の目標値を到達しているため、事業者の意向を踏まえ、対応を検討していきます。
 ●バリアフリー重点整備地区交通安全施設整備事業については、引き続き、バリアフリー化に向けた整備を進めていく必要があります。

⑥次年度における事務事業の見直し結果

次年度における事務事業の見直し結果区分の説明	<p>●バリアフリー推進事業については、引き続き旧交通バリアフリー法に基づくバリアフリー基本構想の改定を進めるとともに、多言語表示など分かりやすいサイン整備の考え方等を示したガイドラインに基づき、ハード領域におけるユニバーサルデザインまちづくりを進め、また、庁内連携のもと、ハード・ソフトを包括した「ユニバーサルデザイン方針」の策定に向けた取組を進めます。</p> <p>●タクシー事業者の車両更新のタイミングやメーカーが限定されることなどから、ユニバーサルデザインタクシーの導入が停滞していますが、タクシー業界の過当競争の是正を図るため、タクシー事業者に強制的な台数削減を求められることのできる減車法の特例扱いに関する国の発表や他メーカーからの発売予定を受け、今後は、導入台数の加速が見込まれることから、引き続き、ユニバーサルデザインタクシーの導入促進に向け、導入補助、乗り場整備の調整を進めます。</p> <p>●ノンステップバスについては、市内の導入割合が国の目標値を達成しているため、市補助金の予算化を来年度から見直しました。なお、ノンステップバス導入にあたり、国庫補助の適用を受けるための事業計画の策定については、引き続き行います。</p>
------------------------	---

「アクションプログラム2015」に基づく重点課題進行管理シート

①重点課題の内容等

基本戦略	3 市民生活を豊かにする都市基盤と環境づくり	重点課題名	暮らしやすい住宅・住環境の整備
作成課	まちづくり局市街地開発部住宅政策担当	関係課	まちづくり局計画部景観・まちづくり支援課、まちづくり局市街地開発部市街地整備推進課、まちづくり局市街地開発部住宅整備課、まちづくり局市街地開発部住宅建替推進課、まちづくり局市街地開発部住宅管理課
重点課題の内容	<ul style="list-style-type: none"> ●都市拠点や地域が育んできた旧街道の面影が残る街並みなど、地域の個性や地域資源を活かした良好な都市景観の形成が求められています。また、地域特性に応じた良好な住環境の形成に向けた市民の提案や、自主的なまちづくり活動等を進めていくための支援の必要があります。 ●密集市街地のうち、延焼危険性や避難困難性が特に高い重点密集市街地（川崎区小田2・3丁目地区、幸区幸町3丁目地区）については、老朽木造建築物が密集し、防災力の向上や住環境の改善に向けた取組が必要になっています。また、被害想定公表や防災都市づくり基本計画の策定などを踏まえ、より実効性の高い地震時等の火災延焼被害の低減への取組が求められています。 ●高齢者から子育て世帯まで誰もが住み慣れた地域で安心して暮らせるように、地域特性を踏まえつつ、ライフスタイルの変化や多様化するニーズに合った住まいの確保や住環境の向上のための取組が求められています。 ●高経年分譲マンションのストックがますます増加する見込みであり、マンション管理組合が行うバリアフリー化等の取組に対する支援等、住宅・マンションの良質化の促進を図る必要があります。 ●少子高齢化の進展や人口減少に伴う空き家の増加等に対応するため、既存住宅ストックの活用強化による中古住宅の流通促進や地域再生に向けた市民の取組への支援等、新たな課題に対応する必要があります。 ●市営住宅の需要は依然高いため、耐震対策や長寿命化改善などの取組を進めるなど、良質な市営住宅ストックを形成し維持する必要があります。 		
重点課題の解決に向けた目標	<ul style="list-style-type: none"> ●「景観計画特定地区」及び「都市景観形成地区」を指定し、地区の特性を活かした景観形成方針・基準の策定を行います。また、市民・事業者・市との協働による良好な街並みづくりを進めます。 ●重点的に改善すべき密集住宅市街地として指定した地区において、住宅の建替え促進、生活道路や公園・広場等の整備を行います。また、対象地区の見直しと新たな防火規制等の導入を柱とする新たな施策展開に向けた検討・調整を進めます。 ●老朽化した建物の更新による防災性の向上や敷地の共同化による街区や空地等の整備を進めます。 ●特定優良賃貸住宅事業及び高齢者向け優良賃貸住宅事業の実施、並びにサービス付き高齢者向け住宅における供給の誘導を行うなど、多様な住宅の供給を図ります。 ●居住支援制度により、高齢者等の入居機会の確保と、居住継続による居住の安定化を目指します。 ●公社・NPO・事業者等と連携し、インターネットや各種相談窓口を活用して、市民等への的確な情報提供や相談対応、セミナー等を実施することにより、住宅の耐震化・バリアフリー化・省エネ化等を図ります。 ●総合的かつ計画的な住宅及び住環境の整備に関する施策に関して、川崎市住宅政策審議会において調査・審議し、2016年度末の住宅基本計画改定に向け、取組を進めます。 ●市営住宅の適正な管理と有効活用に向け、市営住宅の新たな管理手法の検討や駐車場施設等の財産の効果的活用の推進を図ります。 		

②重点課題に位置付けられた事務事業の目標・実績等

事務事業名・予算算額	前半			1年間		
	取組内容・目標	実績等（目標との差異や次期への方向性等）	区分	取組内容・目標	実績等（目標との差異や次期への方向性等）	区分
都市景観形成推進事業 予算 5,747千円 決算見込 3,466千円	<ul style="list-style-type: none"> ●戸手4丁目北地区を対象とした地区計画形態意匠条例の改正 ●各景観形成地区における協議会の開催、景観形成活動の支援 	目標とおり達成できました。	3	<ul style="list-style-type: none"> ●新川崎景観形成地区の景観計画特定地区への移行 ●各景観形成地区における協議会の開催、景観形成活動の支援 ●イベントの開催など景観施策の情報提供、啓発活動の実施 ●市民主体のまちなみづくりの取組の推進 	目標とおり達成できました。	3
地区まちづくり推進事業 予算 6,939千円 決算見込 7,302千円	<ul style="list-style-type: none"> ●地区まちづくり構想(案)の策定に向けた組織の運営支援 ●防災まちづくりの来年度の新たな2地区を抽出 	地区まちづくり構想策定に向けた支援は、現在2地区において着実に進捗しました。また、防災まちづくりにおいては、新たに取組む地区の抽出に向けた条件の整理を行いました。	3	<ul style="list-style-type: none"> ●地区まちづくり構想認定に向けた組織の運営支援 ●まちづくり計画策定支援 ●防災まちづくりモデル（2地区）における組織の運営支援 ●防災まちづくりモデル事業の検証と庁内支援体制の調整 ●防災まちづくりの新たな2地区の地元調整 	地区まちづくり構想認定に向けた支援の結果、1地区は認定することができ、もう1地区は引き続きの支援となりました。また、防災まちづくりにおいては、地域特性に応じたまちづくり計画を策定し、モデル地区の組織とともに計画を推進しました。それらのモデル地区の実績を新たな地区での円滑な取組に反映できるように、関係者と調整を行いました。	3
密集住宅市街地整備促進事業 予算 11,526千円 決算見込 10,367千円	<ul style="list-style-type: none"> ●重点密集市街地における災害に強い住環境の形成推進（共同住宅建替促進事業、住宅不燃化促進事業、重点路線区画道路拡幅整備の助成） ●地域啓発活動の実施（広報紙配布1回、コンサル派遣1回、補助制度普及冊子の配布1回） ●密集市街地の更なる改善に向けた新たな施策展開の検討、建築物の不燃化方針の中間取りまとめ 	住宅の建替促進を行う住宅不燃化促進事業等は着実に進捗しており、密集市街地の不燃化を推進することができました。地域啓発活動は、前半は地元訪問等による啓発を中心に実施し、広報紙配布等は、後半に実施します。	3	<ul style="list-style-type: none"> ●重点密集市街地における災害に強い住環境の形成推進（共同住宅建替促進事業、住宅不燃化促進事業、重点路線区画道路拡幅整備の助成） ●地域啓発活動の実施（広報紙配布3回/年、コンサル派遣1回/年、補助制度普及冊子の配布1回、町内会等への説明会5町会×1回） ●密集市街地の更なる改善に向けた新たな施策展開の方向性の決定、建築物の不燃化方針の取りまとめ、新たな規制・誘導方針に係る条例化等の手続の着手 	新たな取組方針を目標とおり取りまとめました。なお、コンサル派遣については、今年度は申込がなかったため実施に至りませんでした。地域住民への説明会を予定よりも多く開催するなど、状況変化へ適切に対応した地域啓発活動を実施しました。	3

優良建築物等整備事業	<ul style="list-style-type: none"> ●戸手4丁目北地区（地盤調査・実施設計への助成）の推進 ●京急川崎駅東街区（建物除却への助成）の推進 ●大島4丁目4番地地区（工事監理・空地整備への助成）の推進 ●川崎駅北口地区第2街区10番館ビルの事業調整 ●戸手4丁目北地区公共施設整備（道路・下水等の設計業務）の推進 	戸手4丁目北地区では、密接に関連する国の高規格堤防事業のスケジュールに変更が生じているため、本市事業工程の見直しを適宜行い、目標どおり達成しました。また、10番館ビルは、事業化に向けた権利者の理解は得られつつあるものの、引き続き、事業調整を行います。	<ul style="list-style-type: none"> ●戸手4丁目北地区の事業推進（地盤調査・実施設計・工事監理 共同施設整備への助成） ●京急川崎駅東街区の事業完了（建物除却・空地整備への助成） ●大島4丁目4番地地区の事業推進（工事監理・空地整備への助成） ●川崎駅北口地区第2街区10番館ビルの事業推進（事業採択、基本設計への助成） ●戸手4丁目北地区公共施設整備の推進（道路・下水等の設計業務） 	戸手地区では、国の高規格堤防事業の大幅な遅延のため工事着工が遅れていますが、状況の変化に適宜対応しながら地盤調査や実施設計を行うなど、次年度の着工に向けた環境を整えました。10番館ビルは、権利者の合意形成が図られず事業採択に至りませんでした。事業化に向けた調整を進めました。	
公的賃貸住宅等供給推進事業	<ul style="list-style-type: none"> ●特定優良賃貸住宅の適正管理及び有効活用策の検討 ●高齢者向け優良賃貸住宅の供給促進及び制度要綱の見直し ●サービス付高齢者向け住宅の供給の誘導及び管理体制の確認 ●賃貸住宅事業者向け経営管理相談事業の見直し 	目標どおり達成できました。 ●高齢者向け優良賃貸住宅の新規供給に向けた補助手続・協議中戸数 59戸（2住宅） ●サービス付き高齢者向け住宅の新規登録戸数 152戸（3住宅）	<ul style="list-style-type: none"> ●特定優良賃貸住宅の適正管理及び有効活用策のとりまとめ ●高齢者向け優良賃貸住宅の供給促進及び制度要綱の改正 ●サービス付高齢者向け住宅の供給の誘導及び指導指針の策定など管理体制の確立 ●賃貸住宅事業者向け経営管理相談事業の実施 	高齢者向け優良賃貸住宅の要綱については、国のサービス付き高齢者向け住宅制度の見直しや市の居住支援協議会と連動した制度構築が必要な状況となったため、要綱改正に向け、既存ストックの活用を含む高齢者向け賃貸住宅のあり方や制度設計等についてとりまとめました。その他については、目標どおり達成できました。	
住宅・マンション良質化支援推進事業	<ul style="list-style-type: none"> ●マンション共用廊下等段差解消改修工事費用の助成 ●子育て等あんしんマンション認定制度の実施と補助メニューの見直し ●子育て等あんしんマンション子育て相談員の派遣 ●リフォーム事例集の作成 	目標どおり達成できました。 ●分譲マンション段差解消工事等費用助成件数 16件申請受付中3件助成済	<ul style="list-style-type: none"> ●マンション共用廊下等段差解消改修工事費用の助成及び翌年度準備 ●子育て等あんしんマンション認定制度要綱の改正及び認定制度の活性化 ●子育て等あんしんマンション子育て相談員の派遣 	●子育て等あんしんマンション認定制度については、要綱の改正には至りませんでした。が、住宅政策審議会での審議等を踏まえ、そのあり方や役割を整理し、一定の方向性を整理しました。引き続き制度構築に取り組み、2016年内に改正し、認定制度の活性化を目指します。	
住情報提供事業	<ul style="list-style-type: none"> ●住宅リフォームやマンション管理に関する相談受付等 ●住まい・アドバイザー派遣制度の実施 ●マンション管理基礎セミナーの開催（1回） ●長期優良住宅や住宅性能表示制度等の住まい・まちづくりに関する講習会等を実施（1回） ●来年度からの新たな住情報提供事業執行に向けた検討会の開催 	目標どおり達成できました。 ●窓口相談実施件数 282件 ●住まいアドバイザーの現地派遣件数 22件 ●マンション管理基礎セミナー 1回 ●住まい・まちづくり講習会に於いては、開催等の調整であり、後半に2回実施見込です。	<ul style="list-style-type: none"> ●住宅リフォームやマンション管理に関する相談受付等 ●住まい・アドバイザー派遣制度の実施 ●マンション管理基礎セミナーの開催（2回） ●長期優良住宅や住宅性能表示制度等の住まい・まちづくりに関する講習会等を実施（2回） ●来年度からの新たな住情報提供事業執行の準備 	目標どおり達成できました。	
住宅政策推進事業	<ul style="list-style-type: none"> ●住宅基本計画の改定に反映させる各種統計資料の整理・分析 ●住宅基本計画改定委員会の設置及び開催運営 ●第8次川崎市住宅政策審議会の発足手続及び開催運営（1回、部会1回） ●空き家（中古住宅）の利活用に向けた取組の検討 ●住宅基本計画改定に向けた検討の着手 	目標どおり達成できました。	<ul style="list-style-type: none"> ●住宅基本計画の改定に反映させる各種統計資料の整理・分析 ●住宅基本計画改定委員会の開催運営 ●第8次川崎市住宅政策審議会の開催運営（3回、部会3回） ●空き家（中古住宅）の利活用に向けた取組のとりまとめ ●住宅基本計画改定に向けた骨子のとりまとめ 	目標どおり達成できました。	
民間賃貸住宅等居住支援推進事業	<ul style="list-style-type: none"> ●居住支援制度の実施 ●あんしん賃貸支援事業の実施 ●効率的な事業の執行に向けた検討 	目標どおり達成できました。 ●居住支援制度の利用による入居世帯数 434件	<ul style="list-style-type: none"> ●居住支援制度の実施 ●あんしん賃貸支援事業の実施 ●効率的な事業の執行について、改善案の作成 	目標どおり達成できました。	

市営住宅等再生事業	<ul style="list-style-type: none"> ●社会福祉法人と連携した管理手法の試験的導入（1団地において実施） ●空き駐車場を活用したコインパーキングの拡充検討 ●特定公共賃貸住宅における子育て世帯を対象とした使用者負担額減額制度の試行的取組を開始 	社会福祉法人と連携した管理手法の試験的導入については、法人との協議・調整を進めたが条件等が合わず実施にいたらなかった。今後は、対象を社会福祉法人以外にも広げ、引き続き実施に向けた調整を行っていく。	<ul style="list-style-type: none"> ●社会福祉法人と連携した管理手法の試験的導入（1団地において実施）と検証。 ●空き駐車場を活用したコインパーキングの他団地等への設置 ●特定公共賃貸住宅における子育て世帯を対象とした使用者負担額減額制度の試行的実施 	<ul style="list-style-type: none"> ●社会福祉法人と連携した管理手法の試験的導入については、社会福祉法人以外に対象を広げ調整し、公益社団法人等による管理手法のモデル実施をすることに至りました。次年度、引き続き実施するとともに、その効果について早期に検証することとします。 ●コインパーキングについては、4団地での新設に向け業者選定まで手続きを終了し、次年度早期に契約を締結します。 	3
市営住宅等ストック活用事業	<ul style="list-style-type: none"> ●建替事業の推進 継続：6団地7棟（大島、中野島2期、久末1期、南平耐火1期、高石1期、有馬第2・1期） ●耐震改修事業の推進 着手：6団地8棟（上作延第2、菅生A号棟、日向、南加瀬第2、南加瀬第1、京町C） ●長寿命化改善モデル事業の推進 着手：2団地3棟（京町C） ●ストック計画改定に向けた検討 	<ul style="list-style-type: none"> ●耐震改修事業の推進については、1団地1棟で工事着手し2団地3棟で入札手続中です。3団地4棟は入札手続きを行いました但不調となったため、速やかに設計を見直したうえで再入札し当初どおり年度内に完了する予定です。 ●長寿命化改善モデル事業の推進については、入札手続きを行いました但不調となったため、速やかに設計を見直したうえで再入札し、当初どおり年度内に着手、再来年度完了する予定です。 	<ul style="list-style-type: none"> ●建替事業の推進 着手：1団地2棟（末長2期） 完成：2団地3棟（中野島2期、南平耐火1期） ●耐震改修事業の推進 完成：6団地8棟（上作延第2、菅生A号棟、日向、南加瀬第2、南加瀬第1、京町C） ●長寿命化改善モデル事業の推進 継続：2団地3棟（京町C） ●ストック計画の骨子の取りまとめ 	目標どおり達成できました。	3

＜③重点課題の解決状況に関連する指標＞

	前半			1年間		
	計画・目標値	実績値 (計画・目標値との差異)	区分	計画・目標値	実績値 (計画・目標値との差異)	区分
指標①	指標に関する実績値が1年ごとにしか把握できないため、1年間の目標値のみ設定しています。			分譲マンション段差解消工事等費用助成件数（10件）	分譲マンション段差解消工事等費用助成件数 19件 (達成率190%)	2
指標②	指標に関する実績値が1年ごとにしか把握できないため、1年間の目標値のみ設定しています。			住まいアドバイザー派遣制度の1年間の利用件数（50件）	住まいアドバイザー派遣制度の1年間の利用件数 60件 (達成率120%)	3
指標③	指標に関する実績値が1年ごとにしか把握できないため、1年間の目標値のみ設定しています。			バリアフリー化（エレベータ設置）された市営住宅の戸数（5,162戸）	バリアフリー化（エレベータ設置）された市営住宅の戸数 5,114戸 (達成率99%)	3

④重点課題の総合的な実施結果区分について

重点課題の総合的な実施結果区分	
目標を上回る成果があった	
目標どおりの成果があった	■
目標を下回る成果があった	
ほとんど成果なし	

実施結果区分についての説明	<ul style="list-style-type: none"> ●密集住宅市街地整備促進事業について、地域啓発活動においては、コンサル派遣の実施には至りませんでした。他の取組においては事業を遂行し、目標を概ね達成することができました。 ●優良建築物等整備事業について、戸手地区においては、国事業の大幅な遅延のため着工が遅れていることから、次年度着工に向けた環境を整えました。10番館ビルにおいては、権利者の合意形成が図られず事業採択には至りませんでした。事業化に向けた調整を行い、目標を概ね達成することができました。 ●公的賃貸住宅等供給推進事業について、サービス付き高齢者向け住宅の指導指針等を新たに策定するとともに、2住宅59戸の高齢者向け優良賃貸住宅を供給しました。また、今後の公的賃貸住宅のあり方や制度設計の検討を行い、既存住宅の活用策をとりまとめるなど、要綱改正以外の事業を着実に推進し、目標を概ね達成することができました。 ●住宅・マンション良質化支援推進事業について、子育て等あんしんマンション認定制度の要綱改正には至りませんでした。改正に向けた各種検討を進め、分譲マンション段階解消に向けた費用助成をはじめとする住宅の良質化に向けた事業を遂行し、目標を概ね達成することができました。 ●市営住宅等再生事業について、対象を社会福祉法人以外にも広げて、管理手法のモデル的な実施に至ったことから、その効果について早期に検証を行います。コインパーキングの設置においては、契約業者の選定を終了しており、事業全体としては、目標を概ね達成することができました。 ●その他の事務事業については、目標どおり事業を遂行し、課題の解決につながる成果が得られたと考えます。
---------------	---

⑤課題の状況について

年度当初と比べた現時点での課題の状況区分	
課題は増大している	
課題は同水準で存在する	■
課題は縮小・解消している	

課題の状況区分についての説明	<ul style="list-style-type: none"> ●少子高齢化の進展や将来的な人口減少社会の到来が見込まれる中で、多様な居住ニーズなどに対応するための課題は引き続き存在するので、2016年度も取組を継続していく必要があります。
----------------	--

⑥次年度における事務事業の見直し結果

次年度における事務事業の見直し結果区分の説明	<ul style="list-style-type: none"> ●地区まちづくり推進事業について、地区まちづくり構想認定に向けた支援においては、地区まちづくり構想認定に向けて活動する地域に対して地区まちづくり活動をより積極的に支援し、地域住民による地域への周知及び合意形成活動の活性化を図ります。防災まちづくりにおいては、新たな地域で効率的かつ効果的に事業展開を図るため、モデル地区における組織の運営支援の検証を行うとともに、新たに取組む地区の地域特性等の調査・分析を行います。 ●密集住宅市街地整備促進事業については、本年度策定の「密集市街地の改善に向けた新たな取組方針」に基づき、対象区域を拡大するとともに助成制度を拡充し、次年度は事業内容を拡大する方向で検討します。 ●公的賃貸住宅等供給推進事業について、高齢者向け優良賃貸住宅においては、本年度にあり方等の検討に取り組みだところ、進行する高齢化や多様化する市民の居住ニーズに加え、国のサービス付き高齢者向け住宅の制度見直しや川崎市居住支援協議会の設立と連動した制度構築が必要な状況となり、次年度は、既存ストックの活用を含む高齢者向け賃貸住宅制度の構築を行い、高齢者世帯等が安心して暮らせる住宅の供給を促進します。 ●住宅・マンション良質化支援推進事業について、子育て等あんしんマンション認定制度においては、より市民ニーズに合致するよう、マンション周辺の子育てに資する住環境も評価基準に加える方向性で整理、見直しを進め、次年度は、基準の深度化を図り年内に制度を改正し、子育て世帯等誰もが安心して暮らせる良質なマンションの供給を促進します。 ●住情報提供事業について、「住宅の質の向上」等、住まいに関する従前の相談窓口においては、アクセス性向上のための移転や土曜日の開設等改善を図り、次年度から新たな窓口として開設します。「高齢者の住み替え相談」等、新たな行政ニーズへの対応においては、次年度から高齢者が多様な住まい方に関して安心して相談できる窓口を開設します。 ●民間賃貸住宅等居住支援推進事業について、高齢者等の更なる住まいの確保と居住の安定に関する取組を行うため、次年度以降、多様な関係団体で構成する「川崎市居住支援協議会」の設立と設立後の運営支援等を行い、高齢者等に対して、より一層の居住の支援を推進します。
------------------------	--

「アクションプログラム2015」に基づく重点課題進行管理シート

①重点課題の内容等

基本戦略	3 市民生活を豊かにする都市基盤と環境づくり	重点課題名	連続立体交差事業の推進
作成課	建設緑政局計画部企画課	関係課	建設緑政局計画部企画課、建設緑政局道路河川整備部道路整備課
重点課題の内容	<p>●JR南武線連続立体交差事業は、JR南武線の尻手駅～武蔵小杉駅間を連続立体交差化することにより計13か所の踏切を除却し、地域分断の解消や道路交通の円滑化、公共交通機関の定時性確保、一体的な市街地形成などを図るとともに、都市計画道路整備など関連事業により利用者の利便性向上等の取組を促進し、安全・安心で災害に強い活力あるまちづくりにも寄与する事業です。</p> <p>●京浜急行大師線連続立体交差事業は、京急川崎駅～小島新田駅間の延長約5kmのうち、ほぼ全線を地下化することにより計14か所の踏切を除却し、踏切事故の解消や道路交通の円滑化を図るとともに、交通渋滞に起因する騒音、振動、大気汚染を改善し、加えて地域の一体化を促進する事業です。</p>		
重点課題の解決に向けた目標	<p>●JR南武線連続立体交差事業の事業実施に向けた調査・検討及び関係機関との調整を行います。</p> <p>●大師線第1期沿線協議会等を活用し、事業への理解を地元へ求めるとともに、協体制度を構築し、2018年度の産業道路立体交差化を目指します。</p>		

②重点課題に位置付けられた事務事業の目標・実績等

事務事業名・予算額	前半			1年間		
	取組内容・目標	実績等（目標との差異や次期への方向性等）	区分	取組内容・目標	実績等（目標との差異や次期への方向性等）	区分
JR南武線連続立体交差事業 予算 71,200 千円 決算見込 93,679 千円	<ul style="list-style-type: none"> ●鉄道事業者と事業調査の協定締結に向けた調整 ●概略設計の諸条件整理 ●着工準備に向けた国との調整及び概要要望の完了 ●沿線まちづくりの検討 ●広報資料の配布に向けた調整完了 ●計画段階評価、市民説明の実施概要取りまとめ 	目標どおり達成できました。	3	<ul style="list-style-type: none"> ●鉄道事業者と事業調査の協定締結、作業着手 ●連立本体の概略設計完了 ●国から着工準備の2016年度予算を採択 ●沿線まちづくりの方針案の取りまとめ ●広報の着手 ●計画段階評価、市民説明の実施概要に基づく準備着手 	目標どおり達成できました。	3
京浜急行大師線連続立体交差事業 予算 1,970,311 千円 決算見込 1,401,189 千円	<ul style="list-style-type: none"> ●事業を推進するに当たっての諸課題（用地取得、施工管理等）の課題解決に向けた取組 ●大師線第1期沿線協議会を通じ、地元や鉄道事業者等の協体制度の構築のための調整 ●1期2区間（東門前～川崎大師）（鈴木町すり付け）の早期着工に向けた国、県、鉄道事業者等との協議・調整 ●2期区間（川崎大師～京急川崎）の事業環境を整えるための、鉄道事業者等と方向性の調整 ●都市計画事業認可の変更申請に向けた、神奈川県等と協議の実施及び変更申請案の作成 	大師線第1期沿線協議会の開催時期を年後半に変更した以外は、目標どおり達成できました。	3	<ul style="list-style-type: none"> ●事業を推進するに当たっての諸課題（用地取得、施工管理等）の課題解決に向けた取組 ●大師線第1期沿線協議会を通じ、地元や鉄道事業者等の協体制度の構築のための調整 ●1期2区間（東門前～川崎大師）（鈴木町すり付け）の早期着工に向けた国、県、鉄道事業者等との協議・調整 ●2期区間（川崎大師～京急川崎）の事業環境を整えるための、鉄道事業者等と方向性の調整 ●都市計画事業認可の変更申請 	目標どおり達成できました。	3

③重点課題の解決状況に関連する指標

指標	前半			1年間		
	計画・目標値	実績値（計画・目標値との差異）	区分	計画・目標値	実績値（計画・目標値との差異）	区分
指標①	大師線第1期沿線協議会の開催	現場状況の都合等により年後半に開催時期を変更しました。	4	大師線第1期沿線協議会の開催	開催時期を年後半に変更し、予定どおり大師線第1期沿線協議会を開催しました。	3

<④重点課題の総括的な実施結果区分について>

重点課題の総括的な実施結果区分		実施結果区分についての説明
目標を上回る成果があった		
目標とおりの成果があった	■	
目標を下回る成果があった		
ほとんど成果なし		

【JR南武線連続立体交差事業】

- JR南武線連続立体交差事業の事業調査の取組が完了しました。

【京浜急行大師線連続立体交差事業】

- 大師線第1期沿線協議会を通し、地元への理解を深めました。
- 1期②区間については、鉄道事業者等と調整を進め、早期の工事着手に向けて準備を進めました。
- 2期区間については、直ちに工事着手できる状況にないことから、都市計画事業認可の変更手続きにおいて、事業休止としました。

<⑤課題の状況について>

年度当初と比べた現時点での課題の状況区分		課題の状況区分についての説明
課題は増大している		
課題は同水準で存在する	■	
課題は縮小・解消している		

【JR南武線連続立体交差事業】

- JR南武線の尻手駅から武蔵小杉駅間には、開かずの踏切やボトルネック踏切が連担しており、交通の混雑や安全性に関する課題などが引き続き存在することから、2016年度も取組を継続していく必要があります。

【京浜急行大師線連続立体交差事業】

- 2期区間は直ちに工事着手できないことから事業休止としたため、本町踏切の抜本的対策には長期間を要します。

<⑥次年度における事務事業の見直し結果>

次年度における事務事業の見直し結果区分の説明	<p>【JR南武線連続立体交差事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●事業調査の結果を踏まえ、都市計画決定に向けたスケジュールについて調整を行い、次年度から都市計画法手続きに向けた準備や地域への説明に着手します。 <p>【京浜急行大師線連続立体交差事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●費用対効果の大きい産業道路を立体化する段階的整備（1期①区間：小島新田～東門前、延長約1.2km）を促進します。 ●1期②区間（東門前～川崎大師 鈴木町すり付け）については、早期の工事着手に向けて、鉄道事業者等との協議・調整を進めます。 ●事業休止とした2期区間（川崎大師～京急川崎）については、事業環境の整理を行います。
------------------------	---

「アクションプログラム2015」に基づく重点課題進行管理シート

①重点課題の内容等

基本戦略	3 市民生活を豊かにする都市基盤と環境づくり	重点課題名	緑豊かな公園緑地の整備
作成課	建設緑政局計画部企画課	関係課	建設緑政局緑政部みどりの保全整備課、建設緑政局緑政部等々力緑地再編整備室、建設緑政局緑政部生田緑地整備事務所
重点課題の内容	<ul style="list-style-type: none"> ●緑地や広場が少なく、施設の老朽化が課題となっている富士見公園について、「富士見周辺地区整備実施計画」に基づき、緑地や広場の確保などに努め、都心における総合公園にふさわしい富士見公園の再生に向けた取り組みを推進します。 ●生田緑地は、広大な敷地にある施設を結ぶ動線が不足している等の課題があることから、生田緑地ビジョンに基づき、緑地の魅力や利用価値の向上を図るため、計画的な用地取得を行い、緑地の外郭をつなぐ周遊散策路や生田緑地ゴルフ場クラブハウス跡地を整備します。 ●生田緑地ビジョン（2011年3月策定）の基本理念「豊かな自然・文化・人・まちがともに息つき緑がつけられる持続可能な生田緑地の実現」に向けて、生田緑地ビジョンに位置づけられた豊かな自然の保全や、多様な主体が生田緑地の管理運営に参加する生田緑地マネジメント会議の運営、戦略的な情報発信などの取組を推進します。 ●「等々力緑地再編整備実施計画」（2011年3月策定）に基づき、水と緑の自然環境のもと、スポーツ・レクリエーションの拠点施設及び災害時の広域避難場所として、緑地の一体的な整備を進めます。 		
重点課題の解決に向けた目標	<ul style="list-style-type: none"> ●「富士見周辺地区整備実施計画」に基づき、総合公園としての機能回復に向け、「富士見公園再編整備基本計画」を策定するなど、引き続き富士見公園整備事業を推進します。 ●生田緑地については、緑地の回遊性機能の強化やゴルフ場クラブハウス跡地整備など、引き続き生田緑地の整備を推進します。 ●生田緑地ビジョンの理念に基づき、マネジメント会議による更なる生田緑地魅力向上への取組の充実、効果的な情報発信によるインハウンドの獲得を推進します。 ●等々力緑地再編整備実施計画に基づき、陸上競技場・硬式野球場などの運動施設をはじめとした施設老朽化の課題や災害時の活動拠点としての整備、防災機能の強化について取組を行います。 		

②重点課題に位置付けられた事務事業の目標・実績等

事務事業名・予算額	前年			1年間		
	取組内容・目標	実績等（目標との差異や次期への方向性等）	区分	取組内容・目標	実績等（目標との差異や次期への方向性等）	区分
生田緑地整備事業 予算 387,189 千円 決算見込 58,484 千円	<ul style="list-style-type: none"> ●東生田2丁目東ルート周遊散策路の設計委託発注 ●生田緑地ゴルフ場クラブハウス跡地整備工事の発注 ●初山地区第3期整備工事の発注 ●東生田2丁目地区の長期末整備基本方針策定支援業務委託の発注 ●東生田2丁目地区における地域の意向調査 	目標を下回った。 （生田緑地ゴルフ場クラブハウス跡地整備工事及び初山地区第3期整備工事については、関係団体からの要望についての調整に時間を要したため、発注できませんでした。これについては、11月中の発注を予定しています。また、東生田2丁目地区における地域の意向調査については実施中であるため、11月中に調査が終了する見込みです。）	4	<ul style="list-style-type: none"> ●東生田2丁目東ルート周遊散策路の設計 ●生田緑地ゴルフ場クラブハウス跡地の整備 ●生田緑地初山地区第3期の整備 ●東生田2丁目地区の整備基本方針の策定 	目標を下回りました。 ・東生田2丁目東ルート周遊散策路の基本設計を完了しました。 ・生田緑地ゴルフ場クラブハウス跡地整備工事及び初山地区第3期整備工事については、関係団体からの要望に係る調整に時間を要したため、繰越を行い、2016年10月に完成予定です。 ・東生田2丁目地区の整備基本方針については、地元等との調整を引き続き進める必要があるため、2017年度の基本方針策定に向けた調査・検討を行いました。	4
富士見公園整備事業 予算 601,320 千円 決算見込 473,467 千円	<ul style="list-style-type: none"> ●富士見公園の事業認可申請 ●富士見公園再編整備基本計画策定業務委託の発注 	目標どおり達成できました。	3	<ul style="list-style-type: none"> ●富士見公園の事業認可取得 ●富士見公園子供広場北側の用地取得 ●富士見公園再編整備基本計画の策定 	目標を下回りました。 ・富士見公園の事業認可については、関係部局との協議調整を適切に行い、2015年10月に取得しました。 ・富士見公園子供広場北側の用地は、関係部局との調整や地権者交渉を適切に進め、2016年2月に取得しました。 ・「富士見公園再編整備基本計画」は、関係機関との協議調整に時間を要した結果、2016年度に策定の見込みです。	4
生田緑地調整事業 予算 107,306 千円 決算見込 105,190 千円	<ul style="list-style-type: none"> ●生田緑地ビジョンに基づく取組の推進 ●東ロビジターセンター・西ロサテライトを活用した事業実施 	目標どおり達成できました。	3	<ul style="list-style-type: none"> ●生田緑地ビジョンに基づく取組の推進 ●東ロビジターセンター・西ロサテライトを活用した事業実施 	目標を上回る成果を達成しました。 （多様な主体と連携し、年間5回の実施目標だったイベントを25回開催し、約1,020名が参加しました。）	2

等々力緑地再編整備事業	<ul style="list-style-type: none"> ●「硬式野球場整備計画」に基づき、既存野球場の解体撤去工事について、契約手続きの実施。新野球場の改築工事について、契約準備の推進 ●「等々力緑地再編整備実施計画」に基づき、じゃぶじゃぶ池等の野球場周辺施設について、地元住民等との協議に向けた検討及び資料作成 ●「等々力緑地再編整備実施計画」に基づき、正面広場及び周辺道路の再整備について、契約手続きの実施 ●交付金を含む事業費の調整や事業スケジュールの調整などを行うとともに、地域住民に対して事業説明を行うなど、再編整備事業の推進に向けた協議・調整 	目標どおり達成できました。	3	<ul style="list-style-type: none"> ●硬式野球場について、既存野球場の解体撤去工事を実施し、新野球場の改築工事について年度末に契約を締結 ●じゃぶじゃぶ池等の野球場周辺施設について、地元住民等との協議・調整及び基本設計の着手 ●正面広場及び周辺道路の再整備について、整備工事の着手。 ●引き続き、交付金を含む事業費の調整や事業スケジュールの調整などを行うとともに、地域住民に対して事業説明を行うなど、再編整備事業の推進に向けた協議・調整 	目標どおり達成できました。	3
予算	1,074,479 千円					
決算見込	609,790 千円					

③重点課題の解決状況に関連する指標

	前半			1年間		
	計画・目標値	実績値 (計画・目標値との差異)	区分	計画・目標値	実績値 (計画・目標値との差異)	区分
指標①	指標に関する実績値が1年ごとしか把握できないため、1年間の目標のみ設定していません。			生田緑地東ロビジターセンター・西ロサテライトを活用した事業実施5回	事業実施25回(約1,020名参加)	2

④重点課題の総合的な実施結果区分について

重点課題の総合的な実施結果区分	<ul style="list-style-type: none"> 【生田緑地整備事業】 <ul style="list-style-type: none"> ・東生田2丁目東ルート周遊散策路の基本設計を完了しました。 ・生田緑地ゴルフ場クラブハウス跡地整備工事及び初山地区第3期整備工事については、関係団体からの要望についての調整に時間を要したため、予算繰越を行い、2016年10月に完成予定です。 ・「東生田2丁目地区の整備基本方針」については、2017年度の策定に向け、調査・検討を行いました。 【富士見公園整備事業】 <ul style="list-style-type: none"> ・富士見公園の事業認可及び子供広場北側の用地が取得できました。 ・再編整備基本計画は、2016年度に策定の見込みです。 【生田緑地調整事業】 <ul style="list-style-type: none"> ・多様な主体が運営に参加する生田緑地マネジメント会議において、生田緑地のルール検討や、プロジェクトによるばら苑への案内などを行うとともに、東ロビジターセンター・西ロサテライトを活用した一体的な情報発信を行い、生田緑地の価値と魅力の向上の取組を推進しました。 【等々力緑地再編整備事業】 <ul style="list-style-type: none"> ・硬式野球場の解体撤去工事を実施し、正面広場及び周辺道路の整備工事に着手しました。また、じゃぶじゃぶ池等の野球場周辺施設の基本設計に着手しました。
目標を上回る成果があった	
目標どおりの成果があった	■
目標を下回る成果があった	
ほとんど成果なし	

⑤課題の状況について

年度当初と比べた現時点での課題の状況区分	<ul style="list-style-type: none"> ●生田緑地整備事業については、都市計画施設としての完成を目指し、取組を継続していくことが必要です。 ●富士見公園整備事業については、都心における総合公園にふさわしい公園とするため、老朽化した施設の更新などの取組を継続していくことが必要です。 ●生田緑地調整事業については、50を超える多様な主体との調整などの課題が存在するため、2016年度も取組を継続していくことが必要です。 ●等々力緑地再編整備事業については、小杉駅周辺のまちづくりと連携した施設整備などの課題が存在するため、2016年度も取組を継続していくことが必要です。
課題は増大している	
課題は同水準で存在する	■
課題は縮小・解消している	

⑥次年度における事務事業の見直し結果

次年度における事務事業の見直し結果区分の説明	<ul style="list-style-type: none"> ●生田緑地整備事業については、「生田緑地ビジョン」に基づき魅力や利用価値の向上を図るため、引き続き、整備を推進するとともに、東生田2丁目地区については、整備基本方針の策定に向けて、更なる調査・検討を進めます。 ●富士見公園整備事業については、今後も「富士見公園周辺地区整備実施計画」及び次年度策定する「富士見公園再編整備基本計画」に基づき整備を推進します。 ●生田緑地調整事業については、今後も「生田緑地ビジョン」に基づき、多様な主体が管理運営に参加する「協働のプラットフォーム」の具体的なしくみとしての生田緑地マネジメント会議の運営を推進するとともに、東ロビジターセンター・西ロサテライトを活用した一体的・効果的な情報発信を行い、生田緑地の更なる価値と魅力の向上を図っていきます。 ●等々力緑地再編整備事業については、今後も「等々力緑地再編整備実施計画」に基づき、硬式野球場等の整備を推進するとともに、陸上競技場第2期整備に向けた事業評価を実施します。
------------------------	--

「アクションプログラム2015」に基づく重点課題進行管理シート

①重点課題の内容等

基本戦略	3 市民生活を豊かにする都市基盤と環境づくり	重点課題名	上下水道施設の地震対策等の推進
作成課	上下水道局経営管理部経営企画課	関係課	上下水道局水道部水道計画課、上下水道局下水道部管路課、上下水道局下水道部施設課
重点課題の内容	<p>●水道事業では大規模地震の発生に備えるため、浄水場など基幹構造物の施設改良、更新に合わせ耐震化を推進するとともに、東日本大震災を踏まえ、応急給水拠点の確実性・利便性を高め、より迅速な応急給水の実現を図るため、配水池・配水塔や供給ルートの耐震化が完了した小中学校等を対象に開設不要な応急給水拠点の整備を進めていきます。また、老朽管更新等の管路工事の実施に合わせて効率的に管路の耐震化を進めていきます。</p> <p>●下水道事業では、大規模地震発生時においても下水道機能の確保が必要となる重要な管きよの耐震化や、施設の再整備・再構築に合わせた耐震化・津波対策を進めるとともに、被害の最小化を図る減災対策も合わせ、計画的かつ効率的に下水道施設の地震対策を進めていきます。また、浸水実績を考慮した浸水対策や合流式下水道の改善等を進めていきます。</p>		
重点課題の解決に向けた目標	<p>●水道事業における浄水場など基幹構造物について、2015年度までに浄水施設の耐震化を完了させ、配水池・配水塔の耐震化については2022年度の完了を目指し、長沢浄水場や鷺沼配水池等の耐震化を進め、当該耐震化率を32.8%（2014年度末）から64.2%（2015年度末）に引き上げます。また、老朽配水管更新による管路耐震化工事を進めます。</p> <p>●水道事業における応急給水拠点（開設不要型含む）整備について、2023年度に全311か所の完了を目指し、152か所（2014年度末）から162か所（2015年度末）に増設し、震災時に身近な場所で応急給水が受けられるよう整備を進めます。</p> <p>●下水道事業における管きよの耐震化について、老朽管が多く地盤の液状化による被害が想定される、川崎駅以南の地域の重要な管きよについては2019年度の完了を目指し、新川下水幹線等の耐震化を進め、当該耐震化率を33.5%（2014年度末）から48.8%（2015年度末）に引き上げます。また、その他の地域（川崎駅以北）の重要な管きよの耐震診断を2019年度の完了を目指し進めます。</p> <p>●下水道事業における浸水対策重点化地区の整備について、2018年度末の完了を目指し、丸子地区、宮崎地区等で整備を進め、当該実施率を22.6%（2014年度）から27.7%（2015年度末）に引き上げます。</p> <p>●下水道事業における合流式下水道の改善について、2023年度の完了を目指し、引き続き大師河原貯留管の整備等を進めます。</p>		

②重点課題に位置付けられた事務事業の目標・実績等

事務事業名・予算額	取組内容・目標	前半		1年間		
		実績等（目標との差異や次期への方向性等）	区分	実績等（目標との差異や次期への方向性等）	区分	
水道施設の整備・再構築事業 予算 13,529,992 千円 決算見込 12,589,777 千円	<ul style="list-style-type: none"> ●浄水場や配水池等の基幹構造物の更新・耐震化 <ul style="list-style-type: none"> ・長沢浄水場更新工事の推進 ・生田配水池更新工事の推進 ・鷺沼配水池の耐震化の推進 ・宮崎配水塔及び末吉配水池更新工事の推進 ●開設不要型応急給水拠点の整備の推進 ●老朽配水管更新による管路耐震化工事の推進 ●基幹施設の自家発電設備等の整備工事の推進 	目標どおり達成できました。	3	<ul style="list-style-type: none"> ●浄水場や配水池等の基幹構造物の更新・耐震化 <ul style="list-style-type: none"> ・長沢浄水場更新工事の完成 ・生田配水池更新工事の完成 ・鷺沼配水池の耐震化の完成 ・宮崎配水塔更新工事の推進【完成目標2016年度】 ・末吉配水池更新工事の推進【完成目標2018年度】 ・黒川配水池の耐震化工事の着手【完成目標2017年度】 ●開設不要型応急給水拠点の整備の推進（小中学校10か所完成）【整備完了2023年度】 ●老朽配水管更新による管路耐震化工事の推進（老朽配水管更新35km完成） ●基幹施設の自家発電設備等の整備工事の推進【整備完了2016年度】 	目標どおり達成できました。	3
下水管きよ施設の整備・再整備事業 予算 5,643,852 千円 決算見込 6,068,145 千円	<ul style="list-style-type: none"> ●川崎駅以南の地域の重要な下水管きよの耐震化の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・新川、田島、小田その2下水幹線などの耐震化の推進 ●浸水対策重点化地区における雨水幹線などの整備の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・丸子地区、宮崎地区などの浸水対策の推進 ●合流改善機能を有する貯留管の整備の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・大師河原貯留管の整備の推進 ●未普及地域解消に向けた取組の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・多摩美地区、登戸土地区画整理地区などでの取組の推進 ●老朽化した下水管きよの計画的な再整備の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・老朽化した下水管きよが集中する川崎駅以南を中心とした地区での再整備の推進 	目標どおり達成できました。	3	<ul style="list-style-type: none"> ●川崎駅以南の地域の重要な下水管きよの耐震化の推進【対策完了目標2019年度】 <ul style="list-style-type: none"> ・新川、田島、小田その2下水幹線などの耐震化の推進（約6km完成） ●汚泥圧送管の二条化（麻生〜等々力水処理センター）の着手 ●浸水対策重点化地区における雨水幹線などの整備の推進【対策完了目標2018年度】 <ul style="list-style-type: none"> ・丸子地区、宮崎地区などの浸水対策の推進（約4.3ha完成） ●合流改善機能を有する貯留管の整備の推進【貯留管整備完了目標2018年度】 <ul style="list-style-type: none"> ・大師河原貯留管の整備の推進 ●未普及地域解消に向けた取組の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・多摩美地区、登戸土地区画整理地区などでの取組の推進（約1ha完成） ●老朽化した下水管きよの計画的な再整備の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・老朽化した下水管きよが集中する川崎駅以南を中心とした地区での再整備の推進（約10km完成） 	目標どおり達成できました。	3

水処理センター・ポンプ場施設の整備・再構築事業	●地震対策の推進 ・加瀬水処理センター南系水処理施設、戸手ポンプ場雨水ポンプ棟などの耐震化の推進 ・入江崎水処理センター、大師河原ポンプ場などの津波対策の推進 ●高度処理の推進 ・入江崎水処理センター西系水処理施設、沈砂池管理棟などの整備の推進 ・等々力水処理センター流量調整池整備の推進 ●合流改善の推進 ・大師河原貯留管送水ポンプ棟整備の推進 ・大島、六郷、渋川ポンプ場などの夾雑物除去スクリーン設置の推進 ●老朽化対策の推進 ・入江崎総合スラッジセンター、水処理センター、ポンプ場などの長寿命化対策の推進 ・渡田ポンプ場再構築の推進	目標どおり達成できました。	●地震対策の推進 ・加瀬水処理センター南系水処理施設、戸手ポンプ場雨水ポンプ棟などの耐震化の推進 ・入江崎水処理センター、大師河原ポンプ場などの津波対策の推進 ・京町、観音川、戸手ポンプ場のバイパス管整備の着手 ●高度処理の推進 【対策完了目標2024年度】 ・入江崎水処理センター西系水処理施設、沈砂池管理棟などの整備の推進 ・等々力水処理センター流量調整池整備の推進 ●合流改善の推進 【対策完了目標2023年度】 ・大師河原貯留管送水ポンプ棟整備の推進 ・大島、六郷、渋川ポンプ場などの夾雑物除去スクリーン設置の完了 ●老朽化対策の推進 ・入江崎総合スラッジセンター、水処理センター、ポンプ場などの長寿命化対策の推進 ・渡田ポンプ場再構築の推進	目標どおり達成できました。
		3		3
予算	10,062,794 千円			
決算見込	11,110,360 千円			

＜③重点課題の解決状況に関する指標＞

指標	計画・目標値	前半		1年間		
		実績値 (計画・目標値との差異)	区分	実績値 (計画・目標値との差異)	区分	
指標①	指標に関する実績値が1年ごとにしか把握できないため、1年間の目標値のみ設定しています。			浄水施設の耐震化率 100%	浄水施設の耐震化率 100%	3
指標②				配水池・配水塔の耐震化率 64.2%	配水池・配水塔の耐震化率 64.4%	3
指標③				応急給水拠点数(総数) 162か所	応急給水拠点数(総数) 160か所	3
指標④				川崎駅以南の重要な下水管 きよの耐震化率 48.8%	川崎駅以南の重要な下水管 きよの耐震化率 48.8%	3
指標⑤				浸水対策実施率 ※2013年度段階の重点化地区を対象 27.7%	浸水対策実施率 ※2013年度段階の重点化地区を対象 27.7%	3
指標⑥				合流改善率 ※合流式下水道における大雨時の放流回数の削減などが図られた割合 68.5%	合流改善率 ※合流式下水道における大雨時の放流回数の削減などが図られた割合 68.5%	3

＜④重点課題の総合的な実施結果区分について＞

重点課題の総合的な実施結果区分		実施結果区分についての説明 ●重点課題の解決に向けた目標について、設定した指標を概ね達成しており、目標どおりの成果があったと考えます。
目標を上回る成果があった		
目標どおりの成果があった	■	
目標を下回る成果があった		
ほとんど成果なし		

＜⑤課題の状況について＞

年度当初と比べた現時点での課題の状況区分		課題の状況区分についての説明 ●水道施設の整備・再構築事業のうち、浄水場の更新・耐震化に関する工事は完成しましたが、配水池・配水塔や管路の更新・耐震化に関する工事等は、2016年度も引き続き取組を継続していくことが必要です。また、下水管きよ施設の整備・再構築事業及び水処理センター・ポンプ場施設の整備・再構築事業については、課題が引き続き存在することから、2016年度も取組を継続していくことが必要です。
課題は増大している		
課題は同水準で存在する	■	
課題は縮小・解消している		

＜⑥次年度における事務事業の見直し結果＞

次年度における事務事業の見直し結果区分の説明	●水道施設の整備・再構築事業について、2016年度までを計画期間として取り組んでいる再構築事業が2015年度で概ね完了しました。それに伴い執行体制の変更等が生じるため、次年度からは主要施設の更新・耐震化事業と送・配水管の更新・耐震化事業に分割し、施設と管路に分けて事務事業を進めます。 ●下水管きよ施設の整備・再構築事業及び水処理センター・ポンプ場施設の整備・再構築事業については、着実な推進が必要となることから、次年度も継続して事業を推進します。
------------------------	---

「アクションプログラム2015」に基づく重点課題進行管理シート

①重点課題の内容等

基本戦略	3 市民生活を豊かにする都市基盤と環境づくり	重点課題名	川崎市バス事業経営プログラムに基づくバス事業の推進
作成課	交通局企画管理部経営企画課	関係課	交通局企画管理部庶務課、交通局企画管理部経理課、交通局企画管理部労務担当、交通局自動車部管理課、交通局自動車部運輸課、交通局自動車部安全・サービス課
重点課題の内容	●川崎市バス事業経営プログラム（計画期間：2014～2018年度）に基づき、安全を第一の使命としつつ、お客様に満足いただけるよう継続的にサービス向上を図り、市民やお客様の足を確保していくため、持続可能な経営を行います。		
重点課題の解決に向けた目標	●法令遵守の徹底など、運輸安全マネジメントに基づく取組を充実・強化し、安全な輸送サービスの確保を図ります。 ●市バスネットワークを維持・充実するとともに、お客様の声を反映したサービス向上の取組を推進し、安心・快適な移動空間を提供します。 ●効率的かつ持続可能な事業運営を図り、資金不足額の削減及び累積欠損金を縮減します。 ●公営バスとしての意義・役割に応じた事業運営を図り、社会的要請等に対応した事業を推進します。		

②重点課題に位置付けられた事務事業の目標・実績等

事務事業名・予算額	前半			1年間		
	取組内容・目標	実績等（目標との差異や次期への方向性等）	区分	取組内容・目標	実績等（目標との差異や次期への方向性等）	区分
事業基盤の充実・強化 予算 27,955 千円 決算見込 16,784 千円	●正規運転手採用 ●公募嘱託運転手採用選考 ●整備職員採用選考 ●運輸事務職転任選考 ●営業所施設の整備計画の協議・調整 ●営業所建替えの基本設計及び委託業務	目標どおり達成できました。	3	●正規運転手採用選考 ●公募嘱託運転手採用選考 ●整備職員採用選考 ●運輸事務職係長昇任・転任選考 ●再任用・再雇用選考 ●塩浜営業所屋上防水補修工事 ●上平間営業所の基本設計ほか	目標どおり達成できました。	3
経営の効率化の推進 予算 0 千円 決算見込 0 千円	●変形労働時間制の見直し検討 ●営業所事務職員の運行管理業務の効率化などの検証 ●営業所事務職員の勤務形態の検証 ●効率的な軽油の調達	目標どおり達成できました。	3	●効果的な組織体制の整備・機能強化 ●変形労働時間制の見直し ●営業所事務職員の運行管理業務の見直しの検討 ●営業所事務職員の勤務形態の見直しの検討 ●効率的な軽油の調達	目標どおり達成できました。	3
経営計画の推進 予算 119,202 千円 決算見込 3,588 千円	●事業進捗管理シートの確認 ●『川崎市バス事業アドバイザリー・ボード』の開催に向けた議題等の検討	目標どおり達成できました。	3	●局内進捗管理会議の開催（第1回、第2回） ●『川崎市バス事業アドバイザリー・ボード』開催	目標どおり達成できました。	3
市バスネットワークの維持・充実 予算 7,891 千円 決算見込 7,080 千円	●上平間営業所所管の路線等においてダイヤ改正を実施 ●新川崎駅交通広場の整備に伴う路線の開設 ●北部地域の市バスネットワークの充実及び井田病院へのアクセス向上に向けた取組（系統新設等の検討） ●路線の見直しや管轄営業所の見直しについて、検討作業を実施	目標どおり達成できました。	3	●市立川崎高校附属中学校の通学需要への対応等のダイヤ改正を実施 ●北部地域の市バスネットワークの充実及び井田病院へのアクセス向上に向けた取組（系統新設等の検討） ●路線の見直しや管轄営業所の見直しについて、検討作業を実施	目標どおり達成できました。	3
市バスサービスポリシーの実践 予算 5,521 千円 決算見込 6,308 千円	●本年度の重点取組項目を含めたサービスポリシー実行計画の策定 ●サービスポリシー実践のためのサービス向上研修（第1回）の実施 ●初任者研修、職長研修、新規採用職員研修等における接遇科目の実施によるサービスポリシーの実践の周知 ●添乗観察（第1回）の実施及び結果に基づく指導の実施	目標どおり達成できました。	3	●本年度の重点取組項目を含めたサービスポリシー実行計画の策定及び取組結果のとりまとめ ●サービスポリシー実践のためのサービス向上研修（年2回）、グループワーク研修、運転手定期研修等の実施 ●添乗観察（年2回）の実施及び添乗観察結果に基づく指導の実施 ●「市バスお客様アンケート調査」の実施と結果の分析・検証及び公表 ●「市バスお客様アンケート調査」「お客様の声」「添乗観察結果」等の事業運営への反映	目標どおり達成できました。	3

運輸安全マネジメントの推進	<ul style="list-style-type: none"> ●職員の安全意識向上 「川崎市交通局安全方針」の徹底 など ●PDCAサイクルによる取組の進捗管理 マシ ャトビ ュー（2回） など ●効果的な事故防止対策の実施 事故防止目標の周知徹底、効果的な事故防止対策の実施 ●安全教育・研修の実施 法令講習会、事故防止研修 など 	目標どおり達成できました。	3	<ul style="list-style-type: none"> ●職員の安全意識向上 「川崎市交通局安全方針」の徹底 など ●PDCAサイクルによる取組の進捗管理 マシ ャトビ ュー（4回）、内部監査の実施（2回） など ●効果的な事故防止対策の実施 事故防止目標の周知徹底、効果的な事故防止対策の実施 ●安全教育・研修の実施 法令講習会、事故防止研修、運転手グループワーク研修 など 	目標どおり達成できました。	3
予算	13,881 千円					
決算見込	10,092 千円					

＜③重点課題の解決状況に関連する指標＞

	前半			1年間		
	計画・目標値	実績値 (計画・目標値との差異)	区分	計画・目標値	実績値 (計画・目標値との差異)	区分
指標①	走行距離10万kmあたりの有責事故発生件数 【月ごとの実績値の累積ではないため、1年間の目標値として設定】			走行距離10万kmあたりの有責事故発生件数 年間 0.28件以下 (年間実績を公表)	走行距離10万kmあたりの有責事故発生件数 年間0.19件	2
指標②	「市バスお客様アンケート調査」におけるお客様総合満足度 【調査は年1回であるため、1年間の目標値として設定】			「市バスお客様アンケート調査」におけるお客様総合満足度 58%以上 (調査は年1回実施)	「市バスお客様アンケート調査」におけるお客様総合満足度 52.1%	3

＜④重点課題の総括的な実施結果区分について＞

重点課題の総括的な実施結果区分	
目標を上回る成果があった	
目標どおりの成果があった	■
目標を下回る成果があった	
ほとんど成果なし	

実施結果区分についての説明	<ul style="list-style-type: none"> ●発生要因を踏まえた効果的な事故防止対策の実施、運転手等の職員を対象とした安全教育・研修による人材育成の推進など、運輸安全マネジメントに基づく取組を着実に推進したことにより、走行距離10万kmあたりの有責事故発生件数が、前年度から大幅に減少しました。 ●「市バスお客様アンケート調査」については、事務改善を図るため、若年層を含めた幅広い層のお客様から御意見をいただくなど、市バスナビと連携してWEBアンケートへのアクセスを向上させ、より一層お客様から多様な御意見をいただけるよう取組を行いました。
---------------	---

＜⑤課題の状況について＞

年度当初と比べた現時点での課題の状況区分	
課題は増大している	
課題は同水準で存在する	■
課題は縮小・解消している	

課題の状況区分についての説明	●昨年度に引き続き、「市バスお客様アンケート調査」の項目の中で、お客様と運転手とのコミュニケーションに関する満足度に課題があるため、お客様サービスの向上を図る取組を継続していくことが必要です。
----------------	--

＜⑥次年度における事務事業の見直し結果＞

次年度における事務事業の見直し結果区分の説明	●川崎市バス事業経営プログラム（計画期間：2014～2018年度）に基づき、市バスの輸送安全の着実な確保及び更なるお客様サービスの向上を図る取組を推進します。
------------------------	---

「アクションプログラム2015」に基づく重点課題進行管理シート

①重点課題の内容等

基本戦略	4 活力と魅力あふれる力強い都市づくり	重点課題名	市内の公衆無線LAN環境の整備
作成課	総務局情報管理部 ICT推進課	関係課	
重点課題の内容	<ul style="list-style-type: none"> ●市民や本市への来訪者など市内にいるすべての方々の利便性や防災力の向上を図るため、市施設に公衆無線LAN（Wi-Fi）環境「かわさきWi-Fi」を整備します。 ●市内には民間事業者が既に整備しているアクセスポイントが多く存在することから、これを活用して効率的・効果的な拡充を進めます。 		
重点課題の解決に向けた目標	<ul style="list-style-type: none"> ●「かわさきWi-Fiの整備方針」に基づき、避難所となる市立小中学校に公衆無線LAN（Wi-Fi）環境「かわさきWi-Fi」を整備します。 ●民間事業者が整備した既設のアクセスポイントの活用については、民間事業者と連携して利用場所の拡充を進めます。 		

②重点課題に位置付けられた事務事業の目標・実績等

事務事業名・予算額	前半			1年間		
	取組内容・目標	実績等（目標との差異や次期への方向性等）	区分	取組内容・目標	実績等（目標との差異や次期への方向性等）	区分
地域情報化推進事業	<ul style="list-style-type: none"> ●「かわさきWi-Fi」の整備・拡張に向けた準備・調整 ●「かわさきアプリ」構築に向けた準備・調整 	目標どおり達成できました。	3	<ul style="list-style-type: none"> ●避難所となる市立小中学校への「かわさきWi-Fi」の整備（164校） ●民間事業者が整備した既設のWi-Fiアクセスポイントの活用 ●「かわさきアプリ」の構築 ●地域ポータルサイトでの「地域情報」の発信 	目標どおり達成できました。	3
予算	15,327千円					
決算見込	27,504千円					

③重点課題の解決状況に関連する指標

指標①	前半			1年間		
	計画・目標値	実績値（計画・目標値との差異）	区分	計画・目標値	実績値（計画・目標値との差異）	区分
				市域における1年間の「かわさきWi-Fi」アクセスポイント数（目標値の設定なし） ※目標値の設定に適さないため、実績のみを把握する指標を設定しますが、実績値が1年ごとにしか把握できないため、1年間の実績値の欄に記載します。	「かわさきWi-Fi」のアクセスポイントを合計443か所へ整備拡張しました。 なお、利用登録や接続認証の統一化が図られた接続アプリを活用することで、市内のフリーWi-Fiと合わせた1,400か所で一体的に利用することが可能になりました。	

④重点課題の総括的な実施結果区分について

重点課題の総括的な実施結果区分		実施結果区分についての説明 <ul style="list-style-type: none"> ●公衆無線LAN環境の整備に当たっては、2014年度にまとめた整備方針に基づき、避難所となる市立小中学校164校に「かわさきWi-Fi」を整備するとともに、民間事業者の既設のWi-Fiアクセスポイントを活用し、新たに市内主要駅周辺や協力店舗など約200か所の利用が可能となりました。また、利用登録や接続認証の統一化が図られた共通の接続アプリを活用することで、市内約1,400か所（全国約14万か所）のアクセスポイントの利用が可能となりました。
目標を上回る成果があった		
目標どおりの成果があった	■	
目標を下回る成果があった		
ほとんど成果なし		

⑤課題の状況について

年度当初と比べた現時点での課題の状況区分		課題の状況区分についての説明 <ul style="list-style-type: none"> ●公衆無線LAN環境の整備については、2014年度にまとめた整備方針に基づき進めています。無線区間の暗号化によるセキュリティ強化対策や東京2020オリンピック・パラリンピックに向けた統一認証方式への対応等、無線LANの技術や国等の動向を的確に把握し対応していく必要があります。
課題は増大している		
課題は同水準で存在する	■	
課題は縮小・解消している		

⑥次年度における事務事業の見直し結果

次年度における事務事業の見直し結果区分の説明	<ul style="list-style-type: none"> ●公衆無線LAN環境の整備については、引き続き市民の皆様の更なる利便性向上を目指し、民間事業者の既設のアクセスポイントを活用するなど、効率的・効果的な取組を進め利用範囲の拡大を図っていく必要があります。
------------------------	---

「アクションプログラム2015」に基づく重点課題進行管理シート

①重点課題の内容等

基本戦略	4 活力と魅力あふれる力強い都市づくり	重点課題名	臨海部における国際戦略拠点の形成
作成課	総合企画局臨海部国際戦略室	関係課	総合企画局臨海部国際戦略室 建設緑政局広域道路整備室
重点課題の内容	<ul style="list-style-type: none"> ●羽田空港の再拡張・国際化の時機を捉え、「KING SKYFRONT（殿町3丁目地区）」を中心に、日本経済の持続的な成長を牽引するライフサイエンス・環境分野の国際戦略拠点の形成を進めるため、適切な企業や研究機関等の立地誘導・研究開発支援を推進します。 ●国際戦略総合特区間の連携強化や、新たな国家戦略特区の目標である国際的ビジネス拠点の形成を促進するための一体的な拠点形成に資する道路として、羽田連絡道路の整備に向けた取組を推進します。 ●2014年9月に内閣官房に設置された「羽田空港周辺・京浜臨海部連携強化推進委員会」にて、羽田空港跡地地区と殿町地区（キングスカイフロント）の連携強化による成長戦略拠点の形成を支えるインフラである「羽田連絡道路」の必要性について、合意形成及び早期実現に向けた取組を推進します。 		
重点課題の解決に向けた目標	<ul style="list-style-type: none"> ●国の総合特区支援制度を活用しながら、企業・研究機関の立地誘導や事業推進を図ります。 ●羽田連絡道路について、関係機関との合意形成に向けた取組を推進します。 ●羽田空港跡地地区と殿町地区（キングスカイフロント）の連携強化による成長戦略拠点の形成を支えるインフラとして、「羽田連絡道路」の必要性について関係者との協議調整を推進します。 ●羽田連絡道路について、関係機関との合意形成に向けた取組を推進するとともに、合意形成された方針に基づき、整備に向けたルート、線形、構造等の素案を作成します。 		

②重点課題に位置付けられた事務事業の目標・実績等

事務事業名・予算額	前半			1年間		
	取組内容・目標	実績等（目標との差異や次期への方向性等）	区分	取組内容・目標	実績等（目標との差異や次期への方向性等）	区分
国際戦略拠点地区整備推進事業	<ul style="list-style-type: none"> ●国家戦略特別区域計画の策定 ●国際戦略総合特別区域計画に基づく事業の実施 ●特区制度などを活用した企業・研究機関等の誘致推進 ●国際戦略拠点形成に向けたプロモーションの実施 ●市民に開かれた拠点の形成に向けたイベントの開催 	目標どおり達成できました。	3	<ul style="list-style-type: none"> ●国家戦略特別区域計画に基づく事業の実施 ●国際戦略特別区域計画に基づく事業の実施 ●特区制度などを活用した企業・研究機関等の誘致推進 ●国際戦略拠点形成に向けたプロモーションの実施 	目標どおり達成できました。	3
羽田連絡道路整備事業	<ul style="list-style-type: none"> ●ルート、構造、線形の素案の策定に向けた取組の推進 ●周辺環境の調査 ●早期整備に向けた関係者との協議調整 ●事業スケジュール策定に向けた取組の推進 	目標どおり達成できました。	3	<ul style="list-style-type: none"> ●ルート、構造、線形の素案の策定 ●周辺環境の調査 ●事業に関する関係者間の協定等の締結 ●事業スケジュールの策定 	目標どおり達成できました。	3
予算	72,347 千円					
決算見込	50,820 千円					
予算	159,000 千円					
決算見込	124,936 千円					

③重点課題の解決状況に関連する指標

	前半			1年間		
	計画・目標値	実績値（計画・目標値との差異）	区分	計画・目標値	実績値（計画・目標値との差異）	区分
指標①	企業・研究機関等の動向によるところが大きい指標であり、目標値の設定に適さないため、実績のみを把握する指標を設定しますが、実績値が1年ごとにしか把握できないため、1年間の実績値の欄に記載します。				企業・研究機関等の誘致件数5件	
指標②	イベント開催に伴う来場者数は、天候など外部要因に左右され目標値の設定に適さないことから、実績値のみ記載します。				イベント開催に伴う来場者数900人	

<④重点課題の総合的な実施結果区分について>

重点課題の総合的な実施結果区分		実施結果区分についての説明	<ul style="list-style-type: none"> ●企業・研究機関の立地誘導や事業推進については、プロモーションの実施などにより、5件の企業・研究機関等の進出決定や特区制度の活用をしました。 ●羽田連絡道路整備事業の取組は、目標どおりに進捗したことから、今後、関係者間で調整を図りながら、整備に向け必要な手続きを進めます。
目標を上回る成果があった			
目標とおりの成果があった	■		
目標を下回る成果があった			
ほとんど成果なし			

<⑤課題の状況について>

年度当初と比べた現時点での課題の状況区分		課題の状況区分についての説明	<ul style="list-style-type: none"> ●国際戦略拠点の形成を推進するためには、拠点マネジメント機能や人材育成機能の導入を行うことが重要となるため、これら機能の導入に向けた取組を行っていきます。 ●羽田連絡道路については、2020年の東京オリンピック・パラリンピックまでの供用を目指し、取組を推進していくことが必要です。
課題は増大している			
課題は同水準で存在する	■		
課題は縮小・解消している			

<⑥次年度における事務事業の見直し結果>

次年度における事務事業の見直し結果区分の説明	<ul style="list-style-type: none"> ●2016年度末の拠点の概成に向けた拠点の価値向上を図るため、慶應義塾大学を中核機関として、国の制度を活用し、拠点マネジメント機能や人材育成機能を導入していくための方向性を取りまとめます。また、拠点マネジメントに向けた調整を効率的・効果的に行うため、キングスカイフロントにマネジメントセンターを開設し、国際戦略拠点の形成を推進します。 ●羽田連絡道路整備事業については、今年度の早期実現に向けた調査、検討の結果、2020年の東京オリンピック・パラリンピックまでの供用を目指す方針とし、次年度は事業規模を拡大して取組を推進する予定としています。
------------------------	--

「アクションプログラム2015」に基づく重点課題進行管理シート

①重点課題の内容等

基本戦略	4 活力と魅力あふれる力強い都市づくり	重点課題名	「音楽のまち・かわさき」「映像のまち・かわさき」の推進
作成課	市民・こども局市民文化室	関係課	
重点課題の内容	<ul style="list-style-type: none"> ●音楽のまちづくりの一層の推進を図るため、幅広い世代の市民が身近に音楽を楽しめる環境づくりを行い、音楽文化の裾野を広げる必要があります。 ●市のイメージアップを図るため、国際的な音楽事業の展開や、国際音楽文化交流の推進による川崎の魅力発信を行います。 ●川崎シンフォニーホールは音楽によるまちづくりの中核施設であるため、ホール機能の維持・向上のための定期的・計画的な管理運営が求められています。 ●市内の豊富な映像資源による活動をより活発化させるため、「映像のまち・かわさき」推進フォーラムの活動を支援するとともに、映像に係るさまざまな主体の間に立って連携・協力の調整を行うことで、多様な主体の参加による活力と潤いのあるまちづくりを推進する必要があります。 		
重点課題の解決に向けた目標	<ul style="list-style-type: none"> ●良質な音楽を市内の身近な場所で提供することや、幅広い世代の市民が音楽を中心にした交流を進めることで、豊かな生活環境と都市イメージを創出し、活力ある地域社会の実現を目指します。 ●映像によるまちづくりを推進することで、まちの魅力の向上、映像文化の振興、映像産業の発展、次世代の映像文化を担う子どもたちの育成などを目指します。 		

②重点課題に位置付けられた事務事業の目標・実績等

事務事業名・予算算額	前半			1年間		
	取組内容・目標	実績等（目標との差異や次期への方向性等）	区分	取組内容・目標	実績等（目標との差異や次期への方向性等）	区分
映像のまち・かわさき推進事業 予算 22,325 千円 決算見込 21,762 千円	<ul style="list-style-type: none"> ●「映像のまち・かわさき」推進フォーラムの活動支援を通じたまちづくりの推進 ●教育現場及び地域における映像制作活動の実施に向けた支援 ●毎日映画コンクール表彰式の川崎開催に向けた支援 ●表彰式を核とした様々なイベント開催に向けた支援 ●地域映像アーカイブ化に向けた基礎調査・検討 	目標どおり達成できました。 ●地域映像アーカイブ化に向けた基礎調査として庁内全体の映像の保有状況調査を実施しました。	3	<ul style="list-style-type: none"> ●「映像のまち・かわさき」推進フォーラムの活動支援を通じたまちづくりの推進 ●教育現場及び地域における映像制作活動の支援 ●毎日映画コンクール表彰式の川崎開催の支援 ●表彰式を核とした様々なイベント開催の支援 ●地域映像アーカイブ化に向けた基礎調査・検討 	目標どおり達成できました。	3
川崎シンフォニーホール管理運営事業 予算 1,190,999 千円 決算見込 1,138,051 千円	<ul style="list-style-type: none"> ●フェスタサマーミュージアの開催 ●海外オーケストラによる演奏会の開催 ●中長期修繕計画の策定に基づく予防保全型メンテナンスの推進 	目標どおり達成できました。	3	<ul style="list-style-type: none"> ●フェスタサマーミュージアの開催 ●海外オーケストラによる演奏会の開催 ●中長期修繕計画の策定に基づく予防保全型メンテナンスの推進 	目標どおり達成できました。 （海外オーケストラによる演奏会3回）	3
音楽のまちづくり推進事業 予算 86,685 千円 決算見込 78,346 千円	<ul style="list-style-type: none"> ●「音楽のまち・かわさき推進協議会」の活動支援を通じた音楽のまちづくりの推進 ●アジア交流音楽祭の開催 ●新たなジャズフェスティバル実施に向けての協議、企画・実行委員会の開催 ●交流の響き開催に向けた支援 	目標どおり達成できました。 ●新たなジャズフェスティバルについては、事務局会議、企画委員会及び実行委員会等を開催し、「かわさきジャズ」と名称決定の上、11月14日～23日の開催を決定し、実施に向けて準備を進めました。	3	<ul style="list-style-type: none"> ●「音楽のまち・かわさき推進協議会」の活動支援を通じた音楽のまちづくりの推進 ●アジア交流音楽祭の開催、2016年度開催に向けた準備 ●新たなジャズフェスティバルの開催、2016年度開催に向けた準備 ●交流の響き開催に向けた支援 	目標どおり達成できました。	3
音楽文化振興事業 予算 7,735 千円 決算見込 5,638 千円	<ul style="list-style-type: none"> ●海外友好都市等との音楽文化交流事業の詳細決定 ●ブラチナ音楽祭の実施 ●東京交響楽団による巡回コンサートの実施 ●音楽・映像による坂本九魅力発信事業の詳細決定 	目標どおり達成できました。	3	<ul style="list-style-type: none"> ●海外友好都市等との音楽文化交流事業の実施 ●ブラチナ音楽祭の実施 ●東京交響楽団による巡回コンサートの実施 ●音楽・映像による坂本九魅力発信事業の実施 	目標どおり達成できました。	3

＜③重点課題の解決状況に関連する指標＞

	前半			1年間		
	計画・目標値	実績値 (計画・目標値との差異)	区分	計画・目標値	実績値 (計画・目標値との差異)	区分
指標①	指標に関する実績値が1年ごとにしか把握できないため、1年間の目標値のみ設定しています。			教育現場及び地域における映像制作活動の支援数 目標値 前年(4団体)比増	9団体 (学校や地域団体の実情に合わせ支援方法の見直しを行った結果、実施団体が前年に比べ倍以上の増加となりました。)	2
指標②	指標に関する実績値が1年ごとにしか把握できないため、1年間の目標値のみ設定しています。			「音楽のまち・かわさき」推進協議会のホームページに掲載された市内で行われる音楽イベント・コンサート(有料・無料含む)の年間件数 目標値 (2,200件)	2,216件	3

＜④重点課題の総合的な実施結果区分について＞

重点課題の総合的な実施結果区分		実施結果区分についての説明
目標を上回る成果があった		
目標どおりの成果があった	■	
目標を下回る成果があった		
ほとんど成果なし		

●フェスタサマーミュージアムは多彩なプログラムを実施した結果、入場者数が前年度を上回る成果がありました。
●音楽公演をはじめ人材育成や地域連携プログラムを充実して「かわさきジャズ」を開催し、また、「音楽のまち・かわさき」推進協議会ホームページイベント情報掲載件数も目標を上回るなど、音楽によるまちづくりを着実に推進しました。
●次世代の映像文化を担う子どもたちへの育成支援に向け、実施方法の見直し、校長会をはじめとした学校・団体への働きかけを強化した結果、当初指標として設定した「教育現場及び地域における映像制作活動の支援数」を大幅に上回ったことから、「映像のまち・かわさき」推進事業について成果があったと考えます。

＜⑤課題の状況について＞

年度当初と比べた現時点での課題の状況区分		課題の状況区分についての説明
課題は増大している		
課題は同水準で存在する	■	
課題は縮小・解消している		

●地域の記録映像については、特に、フィルムの経年劣化や記録媒体の目まぐるしい変化などにより失われつつあり、そうした本市の記録映像の収集・保存作業を行い、まちの記憶を残していくことが求められています。
●その他事業については、それぞれ運営体制のあり方等について課題がありますので、2016年度も事業の一部見直しや改善を行いながら、取組を継続していきます。

＜⑥次年度における事務事業の見直し結果＞

次年度における事務事業の見直し結果区分の説明	<ul style="list-style-type: none"> ●川崎シンフォニーホールの中長期修繕計画による予防保全型メンテナンスの実施については、2018年度以降の大規模修繕実施に向けた検討・工事設計を行っていきます。 ●プラチナ音楽祭は受益者負担を導入し、特別財源も活用し経費を縮減しましたが、引き続き事業運営の見直し検討を行います。 ●アジア交流音楽祭について、2015年度に実行委員会体制の見直しを行いました。より魅力的な開催となるよう引き続き見直しを検討します。 ●交流の響きの運営体制について、事業の魅力が増幅するような運営方法や広報となるよう、体制も含め見直しを行います。 ●2016年度は、映像によるまちづくりの一環として、今年度検討を進めた地域映像アーカイブ化事業に着手します。
------------------------	---

「アクションプログラム2015」に基づく重点課題進行管理シート

①重点課題の内容等

基本戦略	4 活力と魅力あふれる力強い都市づくり	重点課題名	「スポーツのまち・かわさき」の推進
作成課	市民・こども局市民スポーツ室	関係課	市民・こども局市民生活部企画課
重点課題の内容	<ul style="list-style-type: none"> ●子どもの運動能力低下、高齢化、地域コミュニティの希薄化などが進行している中で、市民が気軽にスポーツ・レクリエーション活動に親しむことができる場や機会の提供が必要であり、各種スポーツ事業を開催するとともに、地域スポーツ活動の拠点として各区のスポーツセンターを位置付け、効果的にスポーツ施策を推進していきます。また、スポーツ・文化・レクリエーション活動拠点の強化を図るため、スポーツ・文化総合センターの整備を、PFI手法により推進していきます。 ●多摩川の活用やかわさきスポーツパートナーなど地域におけるスポーツ資源が持つ社会的な効果を活かし、スポーツの推進や市の魅力発信を行うとともに、川崎への愛着・連帯感を高めるためのまちづくりを推進していきます。 		
重点課題の解決に向けた目標	<ul style="list-style-type: none"> ●「川崎市スポーツ推進計画」を推進し、各区と連携し各種スポーツ事業を開催します。 ●スポーツを通して夢や感動を与えるために、トップアスリートが参加する大規模スポーツ大会の実施・誘致を行います。 ●かわさきスポーツパートナーとの連携によるスポーツによるまちづくりを推進します。 ●スポーツ・文化総合センターの2017年10月供用開始に向け、着実なモニタリング等により施設整備を推進します。 		

②重点課題に位置付けられた事務事業の目標・実績等

事務事業名・予算額	前半			1年間		
	取組内容・目標	実績等（目標との差異や次期への方向性等）	区分	取組内容・目標	実績等（目標との差異や次期への方向性等）	区分
アメリカンフットボールを活用したまちづくり推進事業 予算 8,309 千円 決算見込 8,092 千円	<ul style="list-style-type: none"> ●アメリカンフットボールの魅力の広報・PR ●公式試合への市民招待 ●商店街ほか地域イベントへのチャ・選手の参加・PR出展 ●アメフト×商店街事業の拡充 ●フラッグフットボール等の普及 ●富士通スタジアム川崎竣工記念イベントの実施 	目標どおり達成できました。 ・4月5日に開催した富士通スタジアム川崎竣工記念イベント「フットボールフェスタ」で、記念セレモニーとフラッグフットボール体験会を実施し、約3,000人が参加しました。	3	<ul style="list-style-type: none"> ●アメリカンフットボールの魅力の広報・PR ●公式試合への市民招待 ●商店街ほか地域イベントへのチャ・選手の参加・PR出展 ●アメフト×商店街事業の拡充 ●フラッグフットボール等の普及 ●富士通スタジアム川崎竣工記念イベントの実施 	目標どおり達成できました。	3
スポーツ施設の管理運営 予算 736,223 千円 決算見込 726,080 千円	<ul style="list-style-type: none"> ●各屋内スポーツ施設におけるスポーツ教室、スポーツデー等の実施 ●日程調整会議による、各施設における2016年度下半期分の事前確保の調整 ●屋内スポーツ施設館長会議を開催し、指定管理者による適切かつ効果的な事業推進に向けた情報共有の実施 	目標どおり達成できました。	3	<ul style="list-style-type: none"> ●各屋内スポーツ施設におけるスポーツ教室、スポーツデー等の実施 ●日程調整会議による、各施設における2017年度上半期分までの事前確保の調整 ●屋内スポーツ施設館長会議を開催し、指定管理者による適切かつ効果的な事業推進に向けた情報共有の実施 	目標どおり達成できました。	3
Jリーグクラブ支援事業 予算 24,234 千円 決算見込 24,200 千円	<ul style="list-style-type: none"> ●小・中学校での巡回サッカー教室を順次実施 ●7月に実施される市制記念試合への市民招待（1,000組2,000名） ●川崎フロンターレ連携・魅力づくり事業企画（計画） ●後援会の活動支援 	目標どおり達成できました。	3	<ul style="list-style-type: none"> ●小・中学校での巡回サッカー教室を順次実施 ●川崎フロンターレ連携・魅力づくり事業企画（実施） ●川崎フロンターレの区民祭等への参加促進 ●後援会の活動支援 	目標どおり達成できました。	3
市民スポーツ活動の推進事業 予算 71,124 千円 決算見込 70,126 千円	<ul style="list-style-type: none"> ●「川崎市スポーツ推進計画」の遂行 ●第3期スポーツ推進審議会の開催 ●市民大会・大規模スポーツ大会等各種スポーツ事業の実施 ●競技スポーツ選手、指導者育成事業の推進 ●川崎市スポーツ推進委員連絡協議会との連携 ●川崎市レクリエーション連盟との連携 ●川崎市スポーツ協会との連携 	目標どおり達成できました。	3	<ul style="list-style-type: none"> ●「川崎市スポーツ推進計画」の遂行 ●第3期スポーツ推進審議会の開催 ●市民大会・大規模スポーツ大会等各種スポーツ事業の実施 ●競技スポーツ選手、指導者育成事業の推進 ●川崎市スポーツ推進委員連絡協議会との連携 ●川崎市レクリエーション連盟との連携 ●川崎市スポーツ協会との連携 	目標どおり達成できました。	3

多摩川を活用したスポーツ大会開催事業	●2015川崎国際多摩川マラソンの計画 ●カヌー教室の計画・実施	目標どおり達成できました。	●2015川崎国際多摩川マラソンの計画・実施 ●2016多摩川リバーサイド駅伝の計画・実施	目標どおり達成できました。
予算	21,386 千円			
決算見込	21,240 千円			
ホームタウンスポーツ推進事業	●かわさきスポーツパートナー等による小学生ふれあいスポーツ教室等の実施 ●かわさきスポーツパートナーと連携したイベントの開催 ●ホームタウンスポーツに関する広報・PRの実施	目標どおり達成できました。 ・8月23日に、かわさきスポーツパートナーと連携した「ボールゲームフェスタ」を開催し、約200人の小学生が参加しました。）	●かわさきスポーツパートナー等による小学生ふれあいスポーツ教室等の実施 ●かわさきスポーツパートナーのホームゲーム等への市民招待 ●ホームタウンスポーツに関する広報・PRの実施	目標どおり達成できました。
予算	3,515 千円			
決算見込	3,088 千円			
スポーツ・文化複合施設整備事業	●実施設計の実施 ●既存施設の解体工事完了及び新築工事着手 ●設計・建築定例会議の開催 ●都市計画法65条協議の実施	目標どおり達成できました。	●実施設計完了及び新築工事の着手 ●設計及び建設モニタリングの実施 ●事業者との事業定例会及び音響、運営等、各種分科会の開催 ●事業進捗に伴う各種行政手続きの実施	目標どおり達成できました。
予算	8,984 千円			
決算見込	7,329 千円			

③重点課題の解決状況に関連する指標

	計画・目標値	1年間			
		前半	後半	実績値	区分
指標①	※「スポーツのまち・かわさき」の推進事業として数値化できるものは、配下の各事業の実績しかありませんが、目標値には適さないため、指標を設定することは困難です。				

④重点課題の総合的な実施結果区分について

重点課題の総合的な実施結果区分		実施結果区分についての説明 ●市民スポーツ活動の推進事業については、当初の目標どおりスポーツ関係団体・各区と連携して各種スポーツ事業を実施しました。 ●トップアスリートが参加する大規模スポーツ大会として、国際陸上競技大会（ゴールデンランプリ川崎）を開催しました。 ●川崎フロンターレをはじめとするかわさきスポーツパートナーや、アメリカンフットボール競技団体との連携によるスポーツ教室・ホームゲーム招待など、スポーツによるまちづくりを推進しました。
目標を上回る成果があった		
目標どおりの成果があった	■	
目標を下回る成果があった		
ほとんど成果なし		

⑤課題の状況について

年度当初と比べた現時点での課題の状況区分		課題の状況区分についての説明 ●子どもの運動能力低下、高齢化、地域コミュニティの希薄化などが進行している中で、市民が気軽にスポーツ・レクリエーション活動に親しむことができる場や機会の提供が必要であることから、2016年度以降も取組を継続していく必要があります。
課題は増大している		
課題は同水準で存在する	■	
課題は縮小・解消している		

⑥次年度における事務事業の見直し結果

次年度における事務事業の見直し結果区分の説明	●川崎市総合計画の策定に合わせて、「地域スポーツ推進事業」を新設しスポーツ推進委員や総合型地域スポーツクラブなどの地域スポーツ活動事業を集約するとともに、「競技スポーツ大会開催・支援事業」に大規模スポーツ大会、川崎国際多摩川マラソンなどの多摩川を活用したスポーツ大会を集約しました。また「ホームタウンスポーツ推進事業」にアメリカンフットボールを活用したまちづくり推進事業、Jリーグクラブ支援事業を集約し、それぞれ事業の効率化を図りながら取組を継続実施していきます。
------------------------	--

「アクションプログラム2015」に基づく重点課題進行管理シート

①重点課題の内容等

基本戦略	4 活力と魅力あふれる力強い都市づくり	重点課題名	東京オリンピック・パラリンピックに向けた取組
作成課	総合企画局都市経営部企画調整課	関係課	
重点課題の内容	<ul style="list-style-type: none"> ●東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の成功に向け、関係都市等と連携・協力するとともに、本市のスポーツ文化や経済の振興などを通じて本市の発展を図るため、市長を本部長とする「東京2020オリンピック・パラリンピックかわさきプロジェクト推進本部」を設置（2014年1月21日）しました。 ●今後は、スポーツ文化の振興や市内スポーツ施設の活用、大会の円滑な開催への協力、市内への集客、経済・観光振興、オリンピック・パラリンピックを契機とした戦略的なまちづくりの推進などについて、本市としての対応を検討・協議、実施することにより、オリンピック・パラリンピックの成功と開催効果の本市への取り込みを行います。 		
重点課題の解決に向けた目標	<ul style="list-style-type: none"> ●2015年2月にとりまとめた「かわさきパラムーブメント」を基本方向とする取組方針に基づき、かわさきプロジェクト推進本部会等において各分野ごとの取組について検討を進め、市民意見も聴取しながら推進計画を策定します。また、市民・団体・事業者など多様な主体との連携により「かわさきパラムーブメント」の具現化に向けた取組を推進していくため、情報共有や連携のための環境づくりを進めます。 		

②重点課題に位置付けられた事務事業の目標・実績等

事務事業名・予算算額	取組内容・目標	前半		1年間		
		実績等（目標との差異や次期への方向性等）	区分	実績等（目標との差異や次期への方向性等）	区分	
東京オリンピック・パラリンピック開催に向けた準備	<ul style="list-style-type: none"> ●推進本部による取組の推進 ●関係都市等と連携・協力、情報交換 ●推進計画策定に向けた検討・調整 ●外部と連携するためのプラットフォーム構築 ●「かわさきパラムーブメント」推進に関わるイベント検討 	目標どおり達成できました。	3	<ul style="list-style-type: none"> ●推進本部による取組の推進 ●関係都市等と連携・協力、情報交換 ●推進計画の策定 ●外部と連携するためのプラットフォーム構築・運営 ●「かわさきパラムーブメント」推進に関わるイベント開催 	重点課題に対する今年度の取組内容・目標を達成したほか、JOCパートナー都市協定に基づく関係機関・団体との調整のもと、英国オリンピック委員会と事前キャンプ受け入れに係る覚書を締結し、国が進めるホストタウン構想に登録しました。	2
予算	3,000千円					
決算見込	4,030千円					

③重点課題の解決状況に関連する指標

	計画・目標値	前半		1年間		
		実績値（計画・目標値との差異）	区分	実績値（計画・目標値との差異）	区分	
指標①	連携組織（プラットフォーム）に参加した団体・企業数累計（20団体）	連携組織「かわさきパラムーブメント推進フォーラム」について、市長のほか団体・企業の代表及び有識者20名による懇談会として10月1日発足する予定です。	3	連携組織（プラットフォーム）に参加した団体・企業数累計（40団体）	委員・顧問20名で構成する連携組織「かわさきパラムーブメント推進フォーラム」が10月1日に発足しました。全体会・分科会を各2回開催し、40団体延べ52人の参加を得ました。	2

④重点課題の総合的な実施結果区分について

重点課題の総合的な実施結果区分		実施結果区分についての説明
目標を上回る成果があった	■	<ul style="list-style-type: none"> ●庁内推進体制である「東京2020オリンピック・パラリンピックかわさきプロジェクト推進本部」及び外部連携体制として「かわさきパラムーブメント推進フォーラム」を設立し、「かわさきパラムーブメント」推進に向けた基本ビジョンとして「かわさきパラムーブメント推進ビジョン」の取りまとめを行うとともに、両組織の有機的な連携により、取組の具現化に向けた検討や先行的なプロジェクトを実施しました。 ●英国オリンピック委員会と事前キャンプ受け入れに係る覚書を締結し、事前キャンプの受け入れを軸としたホストタウン構想に本市が第1次登録されました。このことは、本市としての大会運営への協力の道筋をつけるものであるとともに、「ひとづくり」「スポーツ振興・健康づくり」等「かわさきパラムーブメント推進ビジョン」で掲げる5つの方向性を今後さらに具体化していく上でも、大きな意義を持つと考えます。
目標とおりの成果があった		
目標を下回る成果があった		
ほとんど成果なし		

⑤課題の状況について

年度当初と比べた現時点での課題の状況区分		課題の状況区分についての説明
課題は増大している	■	<ul style="list-style-type: none"> ●2016年リオ大会終了後は、英国オリンピックチームの事前キャンプの受け入れに係る詳細事項の調整など、大会運営支援に向けた取組を本格化することが求められています。そのため、日本オリンピック委員会、日本パラリンピック委員会、英国大使館等との連携による情報収集や、ロンドン大会（ハード・ソフト）の調査、英国パラリンピック委員会との覚書締結など、英国代表チームの事前キャンプ受け入れに向けた取組の更なる推進を図ります。
課題は同水準で存在する		
課題は縮小・解消している		

⑥次年度における事務事業の見直し結果

次年度における事務事業の見直し結果区分の説明	<ul style="list-style-type: none"> ●東京大会の運営支援に向けた取組とともに、誰もが暮らしやすいまちづくりにつながる「かわさきパラムーブメント」の取組を着実に推進していくため、オリンピック・パラリンピック推進室として執行体制を整備するとともに、「東京オリンピック・パラリンピック推進事業」として市民・団体・事業者など多様な主体との連携により実践的な取組を推進します。
------------------------	---

「アクションプログラム2015」に基づく重点課題進行管理シート

①重点課題の内容等

基本戦略	4 活力と魅力あふれる力強い都市づくり	重点課題名	ものづくり産業の支援
作成課	経済労働局産業振興部工業振興課	関係課	経済労働局国際経済推進室、経済労働局次世代産業推進室
重点課題の内容	<p>●本市には、約400の研究開発機関や高度な技術力を有する中小企業が数多く集積し、地域産業を支える重要な役割を担っていますが、経済の国際化や内陸部工業系用途地域における住宅化など、ものづくり産業を取り巻く経営環境は大きく変化しています。</p> <p>●本市が有する研究開発機能や高度な技術力を活かし、超高齢化社会や地球規模で深化する環境問題などの課題解決に資する先端技術の開発促進や、情報発信力や営業力が弱い中小企業の自社ブランド製品づくりの促進、開発された製品の国内外への情報発信と販路開拓、さらには、内陸部工業系用途地域における中小製造業の操業環境の確保などを通じて、ものづくり産業の成長を促進することが必要となります。</p>		
重点課題の解決に向けた目標	<p>●本市の強みであるものづくり等の研究開発機能を活かして、ライフサイエンスなどの分野における先端技術の事業化の促進、産業デザイン活用による自社ブランド製品づくりの促進、ものづくりブランドとして国内外への情報発信と販路の拡大、住宅化が進む内陸部工業系用途地域における地域住民への理解促進などを通じて、ものづくり産業の成長を促進します。</p>		

②重点課題に位置付けられた事務事業の目標・実績等

事務事業名・予算額	前半			1年間		
	取組内容・目標	実績等（目標との差異や次期への方向性等）	区分	取組内容・目標	実績等（目標との差異や次期への方向性等）	区分
海外販路開拓事業 予算 46,133 千円 決算見込 43,619 千円	<p>●川崎市海外ビジネス支援センターにて、市内企業の海外展開に向けたワンストップサービスの実施</p> <p>●中国（上海市、青島市、瀋陽市）、タイ（バンコク市）における市内企業の展示会出展支援、現地拠点を活用したサポートの実施</p> <p>●現地相談デスクの開設、生産拠点設立支援の開始</p> <p>●川崎日中産業交流協会、川崎国際ビジネス交流推進協議会を通じたセミナー、交流会の開催</p>	タイ・バンコク近郊に、本市の名前を冠した工業団地を開設し、市内企業の生産拠点設立支援を開始しました。	3	<p>●川崎市海外ビジネス支援センターにて、市内企業の海外展開に向けたワンストップサービスの実施</p> <p>●中国等における市内企業の展示会出展支援、現地拠点、現地相談デスク等を活用したサポートの実施</p> <p>●川崎日中産業交流協会、川崎国際ビジネス交流推進協議会を通じたセミナー、交流会の開催</p>	目標を上回る成果がありました。（市内企業のニーズに合わせて、出展支援を行う海外展示会・商談会を拡大しました。タイ3回、ベトナム1回を含む全10回の展示会・商談会で支援を行い、48社が出展し、215件のマッチングを行いました。また、展示会等への出展支援に加え、タイ・バンコク近郊に、本市の名前を冠した工業団地を開設し、市内企業の生産拠点設立支援を開始しました。）	2
先端産業等立地促進事業 予算 6,697 千円 決算見込 3,300 千円	<p>●先端産業創出支援制度を活用した先端産業の立地促進</p> <p>●工業用地及び業務系事務所等の需給情報の積極的な収集と活用による産業立地の誘導</p>	目標どおり達成できました。（先端産業創出支援助成金認定申請1件、工場等希望用地相談対応11件）	3	<p>●先端産業創出支援制度を活用した先端産業の立地促進</p> <p>●工業用地及び業務系事務所等の需給情報の積極的な収集と活用による産業立地の誘導</p>	目標どおり達成できました。（先端産業創出支援助成金認定申請1件、工場等希望用地相談対応29件）	3
ものづくり中小企業販路開拓支援事業 予算 2,900 千円 決算見込 2,760 千円	<p>●販路開拓支援事業補助金（展示会出展補助金）の募集・交付決定</p> <p>●展示会に共同出展</p>	目標どおり達成できました。（販路開拓支援事業補助金については5社から申請があり、5社を交付先に決定しました。）（展示会の共同出展については、1回実施しました。）	3	<p>●補助金の募集・交付決定・補助金額の確定及び支払</p> <p>●展示会に共同出展及びフォローアップ</p>	目標どおり達成できました。（販路開拓支援事業補助金については6社から申請があり、6社を交付先に決定しました。展示会の共同出展については、1回実施しました。）	3
かわさきブランド推進事業 予算 5,000 千円 決算見込 5,000 千円	<p>●川崎ものづくりブランド認定製品・制度の周知広報</p> <p>●川崎ものづくりブランド認定企業の販路開拓支援</p>	目標どおり達成できました。	3	<p>●川崎ものづくりブランド認定製品・制度の周知広報</p> <p>●川崎ものづくりブランド認定企業の販路開拓支援</p> <p>●川崎ものづくりブランドの認定（5件程度）</p>	10件を認定、5件の展示会に出展し、目標を上回りました。	2
内陸部操業環境保全対策事業 予算 1,621 千円 決算見込 990 千円	<p>●住工共生まちづくり活動の支援</p> <p>●ものづくりへの理解を深める情報発信活動の支援</p> <p>●都市計画道路「宮内新横浜線」建設に伴う移転対象事業者の市内への立地誘導</p> <p>●地元工業団体、不動産事業者等との連携による情報提供</p>	目標どおり達成できました。（イベント活動2件支援）	3	<p>●住工共生まちづくり活動の支援</p> <p>●ものづくりへの理解を深める情報発信活動の支援</p> <p>●都市計画道路「宮内新横浜線」建設に伴う移転対象事業者の市内への立地誘導</p> <p>●地元工業団体、不動産事業者等との連携による情報提供</p>	目標どおり達成できました。（イベント活動4件支援）	3
産業デザイン振興育成事業 予算 16,161 千円 決算見込 5,529 千円	<p>●「かわさき産業デザインコンペ」の協賛企業を公募により決定</p> <p>●協賛企業、専門家による検討・調整によるデザインテーマの決定、デザイン案の募集開始</p> <p>●「かわさきデザインフォーラム」の開催</p>	目標どおり達成できました。	3	<p>●かわさきデザインフォーラムの開催</p> <p>●かわさき産業デザインコンペの開催等</p>	目標どおり達成できました。	3

ものづくり医療イノベーション推進事業	●施設運営についての指導・助言 ●i CONMへの入居者の誘致支援 ●i CONM運営に必要な企業・研究機関などとの応接及び視察者の対応 ●立ち上げ期間における支援 ●UR都市機構から割賦制度により購入した用地に対する割賦支払い	目標どおり達成できました。	●施設運営についての指導・助言 ●i CONMへの入居者の誘致支援 ●i CONM運営に必要な企業・研究機関などとの応接及び視察者の対応 ●立ち上げ期間における支援 ●UR都市機構から割賦制度により購入した用地に対する割賦支払い	目標どおり達成できました。
予算	424,726 千円	3	3	3
決算見込	424,726 千円			

＜③重点課題の解決状況に関する指標＞

指標	前半			1年間		
	計画・目標値	実績値 (計画・目標値との差異)	区分	計画・目標値	実績値 (計画・目標値との差異)	区分
指標①	指標に関する実績値が1年ごとにしか把握できないため、1年間の目標値のみ設定しています。			●海外展開セミナー参加者数(370人) ●海外企業ビジネスマッチング数(210件)	●海外展開セミナー参加者数(363人) ●海外企業ビジネスマッチング数(215件)	3
指標②	●川崎ものづくりブランドの申請件数 ●補助金の申請企業数 ※申請に当たっては、企業が多大な労力を投入するため、事前相談をきめ細かにを行い、記載内容を精査した上で受理しているため、数値目標の設定に適さず、前半については、数値目標を設定していません。			●川崎ものづくりブランドの認定(5件程度) ●補助金の交付企業件数(6件程度)	●川崎ものづくりブランドの認定(10件) ●補助金の交付決定企業件数(6件)	2

＜④重点課題の総合的な実施結果区分について＞

重点課題の総合的な実施結果区分		実施結果区分についての説明
目標を上回る成果があった	■	
目標どおりの成果があった		
目標を下回る成果があった		
ほとんど成果なし		

●海外販路開拓事業については、市内企業の海外展示会・商談会への参加機会を全10回に拡大し、それにより215件のマッチングを達成するとともに、タイ・バンコク近郊において市内企業の生産拠点設立支援を開始し、目標を上回りました。
●かわさきブランド推進事業については、10件の認定を行い、目標を上回りました。
●ものづくり中小企業販路開拓支援事業については、補助金の交付先を6社決定し、展示会の共同出展を1回実施し、当初の目標どおりの成果がありました。

＜⑤課題の状況について＞

年度当初と比べた現時点での課題の状況区分		課題の状況区分についての説明
課題は増大している		
課題は同水準で存在する	■	
課題は縮小・解消している		

●引き続き、情報発信力や経営力が弱い中小企業の自社ブランド製品づくりの促進、開発された製品の国内外への情報発信や販路開拓などの課題が存在するので、2016年度も取組を継続していくことが必要です。

＜⑥次年度における事務事業の見直し結果＞

次年度における事務事業の見直し結果区分の説明	●ものづくり医療イノベーション推進事業については、ナノ医療イノベーションセンターの安定的な事業運営に至るまでの一定期間、センター共用スペース等に係る維持管理費の一部負担など、川崎市及び川崎市産業振興財団の役割分担において支援を行います。 ●ものづくり中小企業販路開拓支援事業については、次年度も引き続き複数企業の共同出展経費の一部の補助を継続する一方で、市内中小企業の展示会出展経費の一部を補助することについては、上限額の増額や対象企業を広げるなど見直しを行い、新規の補助事業である「がんばるものづくり企業応援補助金」の1つのメニューとして統合を図りました。
------------------------	--

「アクションプログラム2015」に基づく重点課題進行管理シート

①重点課題の内容等

基本戦略	4 活力と魅力あふれる力強い都市づくり	重点課題名	中小企業の成長促進
作成課	経済労働局産業振興部工業振興課	関係課	経済労働局次世代産業推進室、経済労働局産業政策部企画課
重点課題の内容	<p>●本市には、大企業の研究機関や高度な技術力を有する中小企業が数多く集積し、地域産業を支える重要な役割を担っていますが、経済の国際化や少子高齢化など急激な社会経済環境の変化により、中小企業を取り巻く経営環境は大きく変化しています。</p> <p>●地域経済の活性化を図るためには、ものづくり集積の優位性を活かしながら、製品や技術等の高付加価値化、生産性の向上、知的財産の活用促進を図るとともに、独自の技術やサービスを活かした起業・創業や新事業分野進出の取組に対する支援や、新たな成長産業の振興・育成を通じて、中小企業の成長を促進することが必要となります。</p>		
重点課題の解決に向けた目標	<p>●本市の強みであるものづくり機能や研究開発機能を活かして、新技術・新製品開発や産学連携の促進、知的財産の活用によるオープンイノベーションの推進、起業・創業の促進、超高齢社会に対応したウェルフェアイノベーションの推進に取り組むことで、川崎発のイノベーションを起こせるような環境づくり、しくみづくりを推進し、競争力のある付加価値の高い産業構造への転換を図ることで中小企業の成長を促進します。</p>		

②重点課題に位置付けられた事務事業の目標・実績等

事務事業名・予算額	前半			1年間		
	取組内容・目標	実績等（目標との差異や次期への方向性等）	区分	取組内容・目標	実績等（目標との差異や次期への方向性等）	区分
知的財産戦略の推進 予算 8,400 千円 決算見込 8,428 千円	<ul style="list-style-type: none"> ●知的財産シンポジウムの開催（1回） ●知的財産交流会の開催（1回） ●知的財産マッチング支援及び事業化に向けたフォロー（コーディネータ派遣）（100回） ●大企業と中小企業のマッチング成立件数（1件） ●知的財産スクールの開催（6回） 	大企業と中小企業のマッチング成立件数（未契約）を含め、目標どおり達成できました。	3	<ul style="list-style-type: none"> ●知的財産シンポジウムの開催（1回） ●知的財産交流会の開催（4回） ●知的財産マッチング支援及び事業化に向けたフォロー（コーディネータ派遣）（210回） ●大企業と中小企業のマッチング成立件数（3件） ●知的財産スクールの開催（6回） 	<ul style="list-style-type: none"> ●知的財産シンポジウムの開催 1回 ●知的財産交流会の開催 14回 ●コーディネータ派遣回数 224回 ●マッチング成立件数 1件 ●知的財産スクールの開催 6回 	3
ものづくり中小企業経営革新支援事業 予算 12,465 千円 決算見込 10,160 千円	<ul style="list-style-type: none"> ●補助金の公募を実施 ●川崎市産業振興支援事業評価委員会及び審査会の開催 ●補助金の交付決定事務 	目標どおり達成できました。	3	<ul style="list-style-type: none"> ●補助金の公募を実施 ●川崎市産業振興支援事業評価委員会及び審査会の開催 ●補助金の交付決定事務 ●補助金の交付企業に対する中間検査の実施 ●実績報告に基づく補助金額の確定及び支払 ●次年度の補助金制度の募集説明会・個別相談会の開催 ●過去の交付企業へのフォローアップ（訪問・アンケート） 	目標どおり達成できました。	3
起業化総合支援事業 予算 6,687 千円 決算見込 6,556 千円	<ul style="list-style-type: none"> ●創業フォーラムの開催（年2回のうち1回） ●かわさき起業家オーディションの開催（年6回のうち2回まで） ●創業支援担当者会議の開催（年2回のうち1回） 	目標どおり達成できました。	3	<ul style="list-style-type: none"> ●創業フォーラムの開催（年2回） ●起業家塾の開催（10日間程度） ●かわさき起業家オーディションの開催（年6回） ●創業支援担当者会議の開催（年2回） 	目標どおり達成できました。	3
ウェルフェアイノベーション推進事業 予算 51,992 千円 決算見込 46,240 千円	<ul style="list-style-type: none"> ●ウェルフェアイノベーション推進会議の開催 ●福祉製品開発等のプロジェクト創出 ●コーディネーターを活用したプロジェクトの推進 ●プロジェクトに対する試作化委託の実施 ●海外展開プロジェクトの創出 	目標どおり達成できました。	3	<ul style="list-style-type: none"> ●ウェルフェアイノベーション推進会議の開催 ●ウェルフェアイノベーションフォーラムの開催 ●福祉製品開発等のプロジェクト創出 ●コーディネーターを活用したプロジェクトの推進 ●中国福祉関係者との交流、現地視察 	目標どおり達成できました。	3

＜③重点課題の解決状況に関連する指標＞

	前半			1年間		
	計画・目標値	実績値 (計画・目標値との差異)	区分	計画・目標値	実績値 (計画・目標値との差異)	区分
指標①	●補助金の申請企業数 (新技術・新製品開発等支援事業、産学共同研究開発プロジェクト助成事業) ※補助金の申請企業数は、国や県の補助制度の実施状況の影響を受けるため、数値目標の設定に適さず、前半については、数値目標を設定していません。			●補助金の交付企業数 (新技術・新製品開発等支援事業、産学共同研究開発プロジェクト助成事業) ※補助金の申請企業数は、国や県の補助制度の実施状況の影響を受けるため、数値目標の設定に適さず、実績値のみを記載	申請企業14社、採択企業8社、交付企業8社	
指標②	●ウェルフェアイノベーションフォーラムでのプロジェクト創出・推進件数(10件)	●ウェルフェアイノベーションフォーラムでのプロジェクト創出・推進件数(15件)	3	●ウェルフェアイノベーションフォーラムでのプロジェクト創出・推進件数(20件) ●ウェルフェアイノベーションフォーラム(分科会・マッチング会等を含む)開催回数(2回)	●ウェルフェアイノベーションフォーラムでのプロジェクト20件を創出・推進 ●ウェルフェアイノベーションフォーラム(分科会・マッチング会等を含む)を2回開催	3
指標③	●創業フォーラムの開催(年2回のうち1回) ●かわさき起業家オーディションの開催(年6回のうち2回まで) ●知的財産交流会等の開催回数(2回)	●創業フォーラムの開催(1回) ●かわさき起業家オーディションの開催(2回)	3	●創業フォーラムの開催(年2回) ●かわさき起業家オーディションの開催(年6回) ●知的財産交流会等の開催回数(4回)	●創業フォーラムの開催2回 ●かわさき起業家オーディションの開催6回 ●知的財産シンポジウムの開催1回 ●知的財産交流会の開催14回 ●コーディネータ派遣回数224回 ●マッチング成立件数1件 ●知的財産スクールの開催6回	3

＜④重点課題の総括的な実施結果区分について＞

重点課題の総括的な実施結果区分		実施結果区分についての説明
目標を上回る成果があった		
目標どおりの成果があった	■	
目標を下回る成果があった		
ほとんど成果なし		

＜⑤課題の状況について＞

年度当初と比べた現時点での課題の状況区分		課題の状況区分についての説明
課題は増大している		
課題は同水準で存在する	■	
課題は縮小・解消している		

＜⑥次年度における事務事業の見直し結果＞

次年度における事務事業の見直し結果区分の説明	<ul style="list-style-type: none"> ●新技術・新製品開発等支援事業、産学共同研究開発プロジェクト助成事業については、市内中小企業が他社との差別化を図るためには、新製品や新技術開発による新事業・新分野への進出が必要不可欠であることから、引き続き事業を継続していきます。 ●起業化総合支援事業については、創業支援機関との連携のもと引き続き創業支援に取り組むとともに、起業希望者にとってモデルケースとなる成長企業の創出加速に向けた取組として、新たに専門家等を活用した個別・集中のベンチャー企業等への支援を実施します。 ●ウェルフェアイノベーション推進事業については、事業の必要性が高まっていること、プロジェクトの創出・推進が順調に進んでいることから、次年度は一層の充実を図っていきます。 ●知的財産戦略の推進については、知的財産交流会が「川崎のモデル」の知財活用支援として国や他の自治体から注目され、大企業、中小企業とのネットワークが全国に広がり、マッチング機会が拡大していることから、引き続き積極的に推進していきます。
------------------------	--

「アクションプログラム2015」に基づく重点課題進行管理シート

①重点課題の内容等

基本戦略	4 活力と魅力あふれる力強い都市づくり	重点課題名	都市農業の振興
作成課	経済労働局農業振興課	関係課	農地課・農業技術支援センター
重点課題の内容	<p>●都市農業を取り巻く環境は、営農環境の悪化や担い手の減少など、厳しさを増しています。そのような中、市民に新鮮で、安全・安心な農産物を供給するとともに、環境保全や防災、教育など多面的な機能を有する農業・農地の重要性はますます高まっています。</p> <p>●現行の農業振興計画（かわさき農の新生プラン）に基づき、農業者の営農意欲を向上させ、農業・農地の維持・保全をしていくためには、農業技術支援や農業生産基盤整備、地産地消の推進が特に重要となります。また、計画期間の終了期を迎えている現行の農業振興計画に代わるものとして、新たな課題に対応した今後10年間の次期農業振興計画を策定します。</p>		
重点課題の解決に向けた目標	<p>●農業者の営農意欲を向上させ、次世代に農業・農地を残していくために、地域環境の変化に対応した試験研究やその普及、各種研修会・講習会の開催、大学・企業等との連携を通じた技術的支援、さらには、市民の農業理解や市内農業を応援する仕組みづくり、ブランド化等による市内産農産物の販売促進などのソフト面での施策展開を図るとともに、農業振興地域を中心とした農業用施設等の計画的な調査・改修（ストックマネジメント）を行い長寿命化を図るなど、ハード面での整備を推進します。また、新たな課題に対応した今後10年間の次期農業振興計画を策定します。</p>		

②重点課題に位置付けられた事務事業の目標・実績等

事務事業名・予算額	前半			1年間		
	取組内容・目標	実績等（目標との差異や次期への方向性等）	区分	取組内容・目標	実績等（目標との差異や次期への方向性等）	区分
地産地消推進事業 予算 28,692 千円 決算見込 27,264 千円	<ul style="list-style-type: none"> ●第1回かわさき地産地消推進協議会の開催 ●かわさきさたちPR活動（地産地消フェア等）及びその一環としての農産物直売の実施 ●食農教育指導者への研修及び学校給食への供給推進 ●民間事業者等との連携の検討 	目標どおり達成できました。	3	<ul style="list-style-type: none"> ●かわさき地産地消推進協議会の開催（年3回） ●かわさきさたちPR活動（バスツアー、料理教室等）及びその一環としての農産物直売の実施 ●学校給食への供給及び食農教育指導者の育成 ●JR南武線活性化事業と連動したイベント等の検討 ●市内産農産物の安定供給支援 ●大型農産物直売所出荷奨励及び直売団体育成支援 ●市場出荷団体への出荷奨励及び多摩川ナシの生産奨励 	概ね目標どおり達成できました。（地産地消の効果的な推進を図るため、食農教育指導者の育成については、他機関が実施する事業と重複している部分もあることから見直しを行いました。今後も、既存事業の見直しの中で関係機関や民間事業者等の連携や情報共有を行い、効果的な事業展開を図っていきます。）	3
農業振興計画推進事業 予算 27,775 千円 決算見込 26,051 千円	<ul style="list-style-type: none"> ●次期農業振興計画素案の方向性に基づく事務事業の見直し（部内検討会の開催）（月1～2回） ●次期農業振興計画の庁内調整 ●害獣被害調査（委託事業）の実施（5月～、月次報告確認） ●HP・メルマガ、農政情報誌等による農情報の発信・PR 	目標どおり達成できました。	3	<ul style="list-style-type: none"> ●次期農業振興計画の庁内調整、パブリックコメントの実施 ●次期農業振興計画の策定 ●農業振興計画推進委員会の開催（年1回） ●害獣被害調査の実施（～2月、報告書の確認、有害鳥獣駆除事業へのフィードバック） ●HP・メルマガ、農政情報誌等による農情報の発信・PR 	目標どおり達成できました。	3
生産基盤等整備事業 予算 55,623 千円 決算見込 66,120 千円	<ul style="list-style-type: none"> ●黒川東土地改良事業共同施工の道水路補修工事補助による換地促進 ●早野地区上池・五郎池水路改修工事の実施 ●岡上・早野地区揚水機場機能診断の実施（ストックマネジメント） 	目標どおり達成できました。	3	<ul style="list-style-type: none"> ●黒川東土地改良事業共同施工の道水路補修工事補助による換地促進 ●早野地区上池・五郎池水路改修工事の実施 ●岡上・早野地区揚水機場機能診断の実施（ストックマネジメント） ●早野地区堤入池の安全防護柵改修工事等の実施（ストックマネジメント） ●動力揚水機（農業用水取水堰代替施設）の動力費及び維持管理費の補償 ●農業用動力揚水機の動力費の補助 	目標どおり達成できました。	3

農業技術支援事業	<ul style="list-style-type: none"> ●老朽化施設整備、農業技術支援機能強化の検討 ●大学や企業等と連携した試験研究及び大学からのインターンシップ等の受け入れ ●生産者向け講習会等の実施 ●園芸展覧会（植木の部）の開催（5月：等々力緑地）、梨・ぶどう品評会（前期・後期）の開催（前期：8月セシザ川崎農協本店（予定）、後期：8～9月農業技術支援センター） ●有償援農ボランティアの育成と活動支援 	目標どおり達成できました。	<ul style="list-style-type: none"> ●老朽化施設整備、農業技術支援機能強化の検討 ●大学や企業等と連携した試験研究及び大学からのインターンシップ等の評価 ●大学、県、企業等と連携した試験研究 ●生産者向けの講習会等の実施 ●園芸展覧会（園芸生産物の部）の開催（11月） ●有償援農ボランティアの育成と活動支援 	目標どおり達成できました。	
予算	43,977 千円		3		3
決算見込	41,758 千円				

＜③重点課題の解決状況に関連する指標＞

	前半			1年間		
	計画・目標値	実績値 (計画・目標値との差異)	区分	計画・目標値	実績値 (計画・目標値との差異)	区分
指標①	農業者数や農地面積等の指標が計画・目標値となり得るが、半年・1年という短期間での成果が期待できないため、指標を設定することが困難です。					

＜④重点課題の総合的な実施結果区分について＞

重点課題の総合的な実施結果区分		実施結果区分についての説明 <ul style="list-style-type: none"> ●重点事業に位置付けた4つの事業については、概ね目標どおりの成果がありました。 ●「農業振興計画推進事業」の中で、今年度、新たな「川崎市農業振興計画」を策定しましたが、策定の過程の中で、併せて既存事業の見直しや新たに取り組む事業について検討を進めてきました。次年度以降は、この計画に基づき様々な農業振興施策を効果的に推進していきます。
目標を上回る成果があった		
目標どおりの成果があった	■	
目標を下回る成果があった		
ほとんど成果なし		

＜⑤課題の状況について＞

年度当初と比べた現時点での課題の状況区分		課題の状況区分についての説明 <ul style="list-style-type: none"> ●都市農業の振興については、短期間での成果は期待できない課題であることから、依然課題は多く存在する状況です。都市化による営農環境の悪化や相続を契機とした農地の減少等、農業を取り巻く環境が厳しさを増す中、本市農業を振興し、次世代に農業・農地を残していくためには、継続的な施策の展開が必要となっています。
課題は増大している		
課題は同水準で存在する	■	
課題は縮小・解消している		

＜⑥次年度における事務事業の見直し結果＞

次年度における事務事業の見直し結果区分の説明	<ul style="list-style-type: none"> ●2016年2月に策定した新たな「川崎市農業振興計画」は、昨今における農業を取り巻く環境の変化や新たに生じた課題や期待に対応するために策定したものです。策定作業を進める中で、計画に基づき既存の事業を見直し、新たな事業についても検討を進めてきました。具体的には「直売団体育成支援対策事業」や「出荷推進対策事業」などを見直し一方で、「農業担い手経営高度化支援事業」や「農商工等連携推進事業」、「農地貸借促進事業」を新規に行っていくこととしました。 ●2016年度以降「農業振興計画推進事業」は、2015年度に設置した「農業振興計画推進委員会」において、「川崎市農業振興計画」に基づき展開される農業施策の進捗管理や、施策の検討・研究などを中心に事業を行っていきます。また、新たに展開する農商工等連携推進事業において、農業者・JA・大学・企業・NPO等の多様な主体で構成・設置する「都市農業活性化連携フォーラム」との連携も行いながら、効果的な農業施策を推進していきます。
------------------------	--

「アクションプログラム2015」に基づく重点課題進行管理シート

①重点課題の内容等

基本戦略	4 活力と魅力あふれる力強い都市づくり	重点課題名	新川崎・創造のもり地区での新たな施設整備
作成課	経済労働局次世代産業推進室	関係課	
重点課題の内容	●「新川崎・創造のもり」第3期第2段階事業として、これまで取組を進めてきた先端産業の集積及び新技術・新産業創出の一層の推進に向け、研究開発を行う企業の新たな進出ニーズに対応する研究開発スペースや産学連携を促進する交流スペース、既存施設に不足する飲食スペース等を備えた産学交流・研究開発施設の整備を推進します。		
重点課題の解決に向けた目標	●民間活力を活用した新たな産学交流・研究開発施設の整備に向けて、整備事業者の選定業務を行います。また、2017年度の供用開始を目指し、基本設計に着手するとともに、入居候補企業との調整を行います。		

②重点課題に位置付けられた事務事業の目標・実績等

事務事業名・予算額	取組内容・目標	前半		1年間		
		実績等（目標との差異や次期への方向性等）	区分	取組内容・目標	実績等（目標との差異や次期への方向性等）	区分
新川崎・創造のもり第3期計画推進事業	●新たな産学交流・研究開発施設整備に係る選定業務	整備事業者の公募を実施しましたが、入札参加予定者の辞退があり、入札参加者がなかったため、入札を中止しました。再入札の可否等について、年内を目途に検討を行います。	4	●新たな産学交流・研究開発施設整備事業者との契約締結、基本設計着手	新たな産学交流・研究開発施設整備事業者の選定業務については、入札参加予定者の辞退により、入札を中止したため、再入札の可否等に係る検討・調整を踏まえ、2016年3月29日付けで整備事業者の公募を行いました。次年度に整備事業者の選定及び契約締結を実施する計画です。	4
予算	42,422千円					
決算見込	37,982千円					

③重点課題の解決状況に関連する指標

指標	計画・目標値	前半		1年間		
		実績値（計画・目標値との差異）	区分	計画・目標値	実績値（計画・目標値との差異）	区分
指標①	民間活力を活用した新たな研究開発施設の整備に向けて、民間事業者の募集・選定等を行うものであり、数値の指標を設定することが困難です。					

④重点課題の総括的な実施結果区分について

重点課題の総括的な実施結果区分	
目標を上回る成果があった	
目標とおりの成果があった	
目標を下回る成果があった	■
ほとんど成果なし	

実施結果区分についての説明

●新たな産学交流・研究開発施設整備事業者の選定業務については、入札参加予定者の辞退により、入札を中止したため、当初予定していた選定スケジュールが変更となりました。再入札の可否等について、検討・調整を行った結果、2016年3月29日付けで整備事業者の公募を行い、選定及び契約締結については次年度に実施することとなったため、今後も引き続き、早期の供用開始に向けて調整を進めていく必要があります。

⑤課題の状況について

年度当初と比べた現時点での課題の状況区分	
課題は増大している	
課題は同水準で存在する	■
課題は縮小・解消している	

課題の状況区分についての説明

●施設整備事業については、工事価格の上昇等により施工や工期に影響を及ぼす可能性があり、また、可能な限り早期の供用開始を目指し、取組を進めていく必要があることから、引き続き事業者や入居企業等との調整を適切に行ってまいります。

⑥次年度における事務事業の見直し結果

次年度における事務事業の見直し結果区分の説明	●入札参加者辞退により再公告を行ったことから、2016年度は、それに係る選定業務や契約締結の事務が見込まれます。また、2017年度内の供用開始に向けた施設的设计等について、民間事業者との協議により進めていくことが必要です。
------------------------	---

「アクションプログラム2015」に基づく重点課題進行管理シート

①重点課題の内容等

基本戦略	4 活力と魅力あふれる力強い都市づくり	重点課題名	臨港道路東扇島水江町線の整備等による川崎港の機能強化
作成課	港湾局港湾経営部整備計画課	関係課	港湾局港湾経営部経営企画課、港湾局港湾経営部整備計画課、川崎港管理センター設備課
重点課題の内容	<ul style="list-style-type: none"> ●ユーザーの課題・要望に基づき川崎港の利用促進に効果的な施策を検討・実施することによって、川崎港の更なる利便性の向上を図り、選択される港づくりを推進します。 ●国際コンテナ戦略港湾の実現に向けて、川崎港を含む京浜港の国際競争力強化を目指すとともに、貨物集荷等のための取組を推進します。 ●コンテナ貨物量の動向や社会経済情勢などを見据えながら、川崎港コンテナターミナルの適正な維持管理を行うとともに、施設整備等を図ります。 ●京浜港における外資コンテナ輸送需要の増加や東扇島の物流機能の効率化に対応した交通機能の強化、臨海部交通ネットワークの充実、環境負荷の軽減、災害時における緊急物資輸送路並びに東扇島で働く人々の避難路の拡充のため、東扇島と水江町を結ぶ臨港道路の整備を促進します。 		
重点課題の解決に向けた目標	<ul style="list-style-type: none"> ●川崎港の利用促進を目指し、国内外におけるポートセールス活動など様々な取組を展開し、コンテナ貨物や在来貨物の集荷に必要な新たな航路の誘致を進めます。 ●京浜港広域連携の取組を推進し、特に川崎港のメインターゲットであるアジア関連貨物の集荷に取り組むとともに、川崎港コンテナターミナルの第2段階の民営化に向けた検討・調整を行います。 ●川崎港コンテナターミナル内の各種施設の維持補修や再整備を実施することにより、コンテナターミナル機能の維持・向上を図ります。 ●臨海部の交通ネットワークの充実や環境負荷の軽減、災害時における緊急物資の輸送路や働く人々の避難路を拡充するため、臨港道路東扇島水江町線の整備を促進します。 		

②重点課題に位置付けられた事務事業の目標・実績等

事務事業名・予算額	前半			1年間		
	取組内容・目標	実績等（目標との差異や次期への方向性等）	区分	取組内容・目標	実績等（目標との差異や次期への方向性等）	区分
ポートセールス事業 予算 39,985 千円 決算見込 9,283 千円	<ul style="list-style-type: none"> ●新規コンテナ定期航路の開設に向けた官民一体となった取組の推進 ●既存コンテナ定期航路の安定・拡充へ向けた取組の推進 ●国内外の荷主等に対する川崎港の更なる利用促進のためのポートセールス活動 ●京浜港広域連携施策に基づく集荷策の実施 ●完成自動車等、在来貨物の取扱拡大に向けた取組の推進 	目標どおり達成できました。	3	<ul style="list-style-type: none"> ●新規コンテナ定期航路の開設に向けた官民一体となった取組の推進 ●既存コンテナ定期航路の安定・拡充へ向けた取組の推進 ●国内外の荷主等に対する川崎港の更なる利用促進のためのポートセールス活動 ●京浜港広域連携施策に基づく集荷策の実施 ●完成自動車等、在来貨物の取扱拡大に向けた取組の推進 	2015年（暦年）のコンテナターミナルにおけるコンテナ取扱実績は前年比4.0%増の約9万4千TEUとなり、過去最高を更新しました。	2
京浜港広域連携推進事業 予算 140,752 千円 決算見込 205,933 千円	<ul style="list-style-type: none"> ●国際コンテナ戦略港湾の実現に向けた三港連携施策の推進 ●川崎港利用促進策の検討・実施 ●京浜三港の特例港湾運営会社の統合に向けた協議 	目標どおり達成できました。	3	<ul style="list-style-type: none"> ●国際コンテナ戦略港湾の実現に向けた三港連携施策の推進 ●川崎港利用促進策の検討・実施 ●京浜三港の特例港湾運営会社の統合に向けた協議 	目標どおり達成しました。（特例港湾運営会社の経営統合については、東京港が設立時点での統合を見送ったことから、川崎港、横浜港の2港が先行し港湾運営会社を設立しました。）	3
コンテナターミナル維持・整備事業 予算 715,343 千円 決算見込 589,857 千円	<ul style="list-style-type: none"> ●受変電等電気設備及び受変電棟空調設備補修工事の設計・積算及び発注 ●ガントリークレーン・トランスファークレーン補修工事の設計・積算及び発注 ●荷捌き地改良工事の実施 ●再整備に向けた方向性の検討 	目標どおり達成できました。	3	<ul style="list-style-type: none"> ●受変電等電気設備の保守点検・補修工事の実施 ●ガントリークレーン・トランスファークレーンの保守点検・補修工事の実施 ●荷捌き地改良工事の実施 ●再整備に向けた方向性の取りまとめ 	目標どおり達成しました。（受変電設備の保守点検を実施し、併せて補修・改修工事を実施、完了しました。また、増加する貨物への対応として荷捌き地の改良工事を実施しました。）	3
臨港道路東扇島水江町線整備事業 予算 3,488,600 千円 決算見込 2,219,056 千円	<ul style="list-style-type: none"> ●国等関係機関との協議・調整 ●国による整備の取組への支援 ●道路改良工事 	目標どおり達成できました。	3	<ul style="list-style-type: none"> ●国等関係機関との協議・調整 ●国による整備の取組への支援 ●道路改良工事 	目標どおり達成しました。	3

＜③重点課題の解決状況に関連する指標＞

	前半			1年間		
	計画・目標値	実績値 (計画・目標値との差異)	区分	計画・目標値	実績値 (計画・目標値との差異)	区分
指標①	臨港道路東扇島水江町線やコンテナターミナルの維持・整備など、複数年にまたがる事業によって機能強化を図るため、単年度での指標を設定することが困難です。					

＜④重点課題の総括的な実施結果区分について＞

重点課題の総括的な実施結果区分		実施結果区分についての説明
目標を上回る成果があった		
目標どおりの成果があった	■	
目標を下回る成果があった		
ほとんど成果なし		

●ポートセールス事業の取組の結果、2015年におけるコンテナ貨物が過去最高になる見通しとなりました。また、更なる貨物集荷等のためのソフト事業として京浜港広域連携推進事業が推進され、ハード事業としては、ガントリークレーン・トランスファークレーンの補修・改修工事の実施や臨港道路東扇島水江町線の本格的な工事開始など、各取組が確実に進捗したことから、成果があがったと考えます。

＜⑤課題の状況について＞

年度当初と比べた現時点での課題の状況区分		課題の状況区分についての説明
課題は増大している		
課題は同水準で存在する	■	
課題は縮小・解消している		

●コンテナ取扱量が順調に増加する一方で、ターミナル整備や、より一層のポートセールスの必要性も引き続き存在するため、2016年度も取組を継続していく必要があります。

＜⑥次年度における事務事業の見直し結果＞

次年度における事務事業の見直し結果区分の説明	●2015年の川崎港コンテナターミナルにおけるコンテナ取扱実績が過去最高に達しました。引き続き、更なる定期航路の開港等がなされた場合に備え、必要な対応を行っていきます。
------------------------	--

「アクションプログラム2015」に基づく重点課題進行管理シート

①重点課題の内容等

基本戦略	5 誰もが生きがいを持てる市民自治の地域づくり	重点課題名	有償ボランティア制度の検討
作成課	総合企画局自治推進部	関係課	
重点課題の内容	●従来の町内会・自治会の地縁活動に加え、市民活動団体やボランティア団体の活動、さらに企業や大学の社会貢献活動や地域連携の取組など、幅広い分野で多様な主体の協働・連携による課題解決の取組が求められています。誰もが生きがいを持てる市民自治の地域づくりを目指して、多様な主体の基盤となる市民参加の更なる促進が急務となっています。		
重点課題の解決に向けた目標	●行政や地域の取組の「見える化」や関連情報の共有化により、多様化・複雑化する地域課題の解決に向けた取組に誰もが気軽に参加できるようにするため、ICTなどを活用して情報や人材をつなぐプラットフォームを構築します。		

②重点課題に位置付けられた事務事業の目標・実績等

事務事業名・予算額	取組内容・目標	前半		1年間	
		実績等（目標との差異や次期への方向性等）	区分	実績等（目標との差異や次期への方向性等）	区分
多様な主体による協働・連携推進事業	●人材マッチングモデル事業の実施（事前説明会、キックオフミーティング、人材と団体とのマッチングの実施） ●ICTを活用した情報プラットフォームの構築に向けた検討	目標どおり達成できました。	3	●人材マッチングモデル事業の検証及び市民向け成果フォーラムの開催 ●ICTを活用した情報プラットフォームの運用開始に向けた設計	3
予算	7,119 千円				
決算見込	6,786 千円				

③重点課題の解決状況に関連する指標

指標①	計画・目標値	前半		1年間	
		実績値（計画・目標値との差異）	区分	実績値（計画・目標値との差異）	区分
●人材マッチング事業への参加人数（45人）及び参加団体数（10団体） 上半期の事業実績に基づく指標であるため、上半期の目標のみ設定しています。	参加人数：46人 参加団体数：11団体		3		

④重点課題の総合的な実施結果区分について

重点課題の総合的な実施結果区分		実施結果区分についての説明	●人材マッチングモデル事業については、職業上の経験、知識、専門技術などをいかした新しい社会貢献活動であるプロボノを活用した「プロボノサマーチャレンジ」を実施し、46人の参加者を11団体にマッチングして団体が持つ課題の解決に取り組むとともに、プロボノを市民に広げるためのフォーラムとして「プロボノ文化祭」を開催し、約70人の参加がありました。 ●ICTを活用した情報プラットフォームの構築については、次年度からの段階的運用開始に向けて先進事例調査や必要な機能、運用方法などの検討を行い、実現すべき仕組みや機能に関する調達仕様書（基本設計書）を作成しました。 ●これらの取組を進めていくに当たって、地域活動とその対価との関係性や市民による寄付の取組など、有償ボランティアを含めた地域における資金循環のあり方などについても検討を行ったため、目標どおりの成果があったと考えます。
目標を上回る成果があった			
目標どおりの成果があった	■		
目標を下回る成果があった			
ほとんど成果なし			

⑤課題の状況について

年度当初と比べた現時点での課題の状況区分		課題の状況区分についての説明	●今後、社会経済環境の変化に伴い、地域における課題もますます多様化・複雑化することが見込まれる中では、引き続き地域の多様な主体がそれぞれの特徴や強みを持ち寄り、協働・連携して地域づくりを担っていくことが必要です。
課題は増大している			
課題は同水準で存在する	■		
課題は縮小・解消している			

⑥次年度における事務事業の見直し結果

次年度における事務事業の見直し結果区分の説明	●2015年度に策定した「川崎市協働・連携の基本方針」に基づき、引き続き人材マッチング事業の実施やICTを活用した情報プラットフォームの構築を含め、市民参加をさらに促進する取組及び多様な主体による協働・連携を推進する取組を実施していきます。
------------------------	--

「アクションプログラム2015」に基づく重点課題進行管理シート

①重点課題の内容等

基本戦略	5 誰もが生きがいを持てる市民自治の地域づくり	重点課題名	町内会・自治会活動の活性化
作成課	市民・こども局市民生活部市民活動推進課	関係課	
重点課題の内容	<p>●町内会・自治会への加入率の低下や担い手の高齢化などの課題が生じている一方で、地域課題が複雑化する中、地域コミュニティの中核を担い、行政との協働のパートナーである町内会・自治会の重要性が高まっています。このため、「町内会・自治会の活動の活性化に関する条例」を踏まえ、町内会・自治会活動への支援を行うとともに、町内会・自治会への職員の理解を深める必要があります。</p> <p>●2020年1月に再開ビルに移転予定の総合自治会館が市民自治活動の拠点としてふさわしいものとなるよう、(公財)川崎市市民自治財団の機能強化と併せた検討を行うとともに、川崎市全町内会連合会や同財団の自主的な活動を支援するための補助金交付、自治功労者表彰等の表彰、市内の全町内会・自治会に対する住民組織調査、町内会・自治会会館への補助等、住民組織の振興につながる事業を行います。</p>		
重点課題の解決に向けた目標	<p>町内会・自治会の加入率は近年低下傾向にあるものの、地域コミュニティの中核を担う重要な組織であることから、中間支援組織である市民自治財団と連携した支援を通じて、町内会・自治会活動の継続と活性化を目指すとともに、協働のパートナーである町内会・自治会との関係性をよりよいものとするため、職員が町内会・自治会の実情や関わり方について学ぶことで、町内会・自治会に対する意識が向上するよう、新たに職員研修を実施します。</p>		

②重点課題に位置付けられた事務事業の目標・実績等

事務事業名・予算額	前半			1年間		
	取組内容・目標	実績等(目標との差異や次期への方向性等)	区分	取組内容・目標	実績等(目標との差異や次期への方向性等)	区分
地域振興事業	<ul style="list-style-type: none"> ●総合自治会館の移転先である小杉町3丁目東地区の権利変換計画認可(2016年3月予定)に向けた調整 ●町内会・自治会と行政との関係性の整理 ●町内会・自治会の活動等に係る広報・啓発 ●川崎市全町内会連合会の活動の支援 ●住民組織調査の実施 ●認可地縁団体に係る事務の実施 	目標どおり達成できました。	3	<ul style="list-style-type: none"> ●小杉町3丁目東地区の権利変換計画認可に伴う新総合自治会館の面積・基本レイアウトの確定 ●町内会・自治会に関する職員研修の実施 ●町内会・自治会の活動等に係る広報・啓発 ●川崎市全町内会連合会の活動の支援 ●認可地縁団体に係る事務の実施 ●自治功労者表彰等の実施 	目標どおり達成できました。	3
町内会・自治会会館耐震化事業	<ul style="list-style-type: none"> ●会館整備補助制度に係る事務の実施(制度の見直し内容の周知、事前相談対応、申請受付、審査、交付決定) ●利子補給制度(既融資分)に係る事務の実施 	目標どおり達成できました。	3	<ul style="list-style-type: none"> ●会館整備補助制度に係る事務の実施(制度周知、補助金交付) ●利子補給制度(既融資分)に係る事務の実施 	目標どおり達成できました。	3
川崎市市民自治財団補助・運営事業	<ul style="list-style-type: none"> ●(公財)川崎市市民自治財団の活動の支援 ●川崎市総合自治会館の老朽化に対応するための施設整備の実施 	目標どおり達成できました。	3	<ul style="list-style-type: none"> ●(公財)川崎市市民自治財団の活動の支援 ●川崎市総合自治会館の老朽化に対応するための施設整備の実施 	目標どおり達成できました。	3
予算	27,895千円					
決算見込	22,802千円					
予算	37,647千円					
決算見込	35,033千円					
予算	48,856千円					
決算見込	48,424千円					

③重点課題の解決状況に関連する指標

	前半			1年間		
	計画・目標値	実績値(計画・目標値との差異)	区分	計画・目標値	実績値(計画・目標値との差異)	区分
指標①	指標に対する実績値が1年ごとにはしか把握できないため、1年間の目標値のみ設定しています。			町内会・自治会加入率(64.5%)	町内会・自治会加入率(63.8%)	3

指標②	指標に対する実績値が1年ごとには把握できないため、1年間の目標値のみ設定しています。		町内会・自治会数 (650団体)	町内会・自治会数 (649団体)	3
-----	--	--	---------------------	---------------------	---

<④重点課題の総合的な実施結果区分について>

重点課題の総合的な実施結果区分		実施結果区分についての説明	<ul style="list-style-type: none"> ●町内会・自治会の会館整備に向けた新たな補助制度の運用や自治功労者表彰、川崎市全町内会連合会の活動支援を実施するとともに、(公財)川崎市市民自治財団の活動支援や新総合自治会館の面積基本レイアウトをまとめました。また、新たに職員向けの研修を実施しました。 ●市内で住宅販売等を行う事業者団体と全町内会連合会・市が協定を結び、町内会・自治会の活動を啓発するポスター掲出やチラシ配布を通じて、市への転入者に対して町内会・自治会への加入促進を図っていくなどの取組を行いました。
目標を上回る成果があった			
目標とおりの成果があった	■		
目標を下回る成果があった			
ほとんど成果なし			

<⑤課題の状況について>

年度当初と比べた現時点での課題の状況区分		課題の状況区分についての説明	<ul style="list-style-type: none"> ●町内会・自治会活動の継続と活性化を図ることや、協働のパートナーである町内会・自治会との関係性をよりよいものとするのが課題となっています。このため、2016年度以降も <ul style="list-style-type: none"> ・市職員が町内会・自治会の状況を十分に理解し、行政依頼事務が加重にならないように必要な見直し等を行うこと ・補助金交付や表彰等を通じた町内会・自治会の自主的な活動を市として側面支援すること ・町内会・自治会への加入や活動への参加を促すため、転入者をはじめとする市民や住宅建築・販売事業者等の理解・協力への働きかけを行うこと などの取組を継続していくことが必要です。
課題は増大している			
課題は同水準で存在する	■		
課題は縮小・解消している			

<⑥次年度における事務事業の見直し結果>

次年度における事務事業の見直し結果区分の説明	<p>地域コミュニティの中核を担う重要な組織であり、行政との協働のパートナーである町内会・自治会への活動支援を推進するため、「地域振興事業」に「市民自治財団補助・運営事業」と「美化運動推進事業」を統合し、包括的な取組を進めます。</p>
------------------------	--

「アクションプログラム2015」に基づく重点課題進行管理シート

①重点課題の内容等

基本戦略	5 誰もが生きがいを持てる市民自治の地域づくり	重点課題名	区への分権等に向けた取組
作成課	市民・子ども局区政推進部区調整課	関係課	
重点課題の内容	<ul style="list-style-type: none"> ●市民にとって最も身近な行政機関である区役所について、大都市制度に関する地方自治制度の見直しや地域包括ケアシステムの構築など、政令指定都市の区役所に求められる役割や周辺環境が大きく変わりつつある中、本市におけるこれまでの10年間にわたる区行政改革の取組を踏まえつつ、10年後の地域の姿を見据え、川崎らしい新たな区役所のあり方を定める必要があります。 ●2014年5月の地方自治法の一部改正に伴い、国から、どのような区のあり方がふさわしいか十分に検討した上で区役所の事務分掌条例を立案する必要があるとの技術的助言を受けていることから、他政令市の動向も注視しながら検討し、「区役所改革の基本方針」を取りまとめ、区への分権に向けた取組を推進します。 		
重点課題の解決に向けた目標	●他政令市の動向も注視し、新たな総合計画や行財政運営に関する計画、地域包括ケアシステムの検討との整合性を図りながら、「区役所改革の基本方針」を取りまとめます。		

②重点課題に位置付けられた事務事業の目標・実績等

事務事業名・予算額	前半			1年間		
	取組内容・目標	実績等（目標との差異や次期への方向性等）	区分	取組内容・目標	実績等（目標との差異や次期への方向性等）	区分
区役所機能の強化	<ul style="list-style-type: none"> ●「区役所改革の基本方針」の中間取りまとめ ●「区における総合行政の推進に関する規則」の運用 	目標どおり達成できました。	3	<ul style="list-style-type: none"> ●「区役所改革の基本方針」の策定 ●「区における総合行政の推進に関する規則」の運用 ●区役所事務分掌条例の制定 	目標どおり達成できました。	3
予算	0千円					
決算見込	0千円					

③重点課題の解決状況に関連する指標

	前半			1年間		
	計画・目標値	実績値（計画・目標値との差異）	区分	計画・目標値	実績値（計画・目標値との差異）	区分
指標①	本業務は、本市らしい新たな「区のあり方」を定めるとともに区への分権を推進することが主たる業務内容であるため、指標となる数値設定にはそぐわない事業です。					

④重点課題の総括的な実施結果区分について

重点課題の総括的な実施結果区分		実施結果区分についての説明 ●学識経験者による附属機関の部会である「川崎市行財政改革に関する計画策定委員会区役所のあり方検討部会」や区総合行政推進会議をはじめとした庁内検討などを重ね、パブリックコメント手続などから寄せられた市民意見を踏まえ「区役所改革の基本方針」を策定しました。
目標を上回る成果があった		
目標どおりの成果があった	■	
目標を下回る成果があった		
ほとんど成果なし		

⑤課題の状況について

年度当初と比べた現時点での課題の状況区分		課題の状況区分についての説明 ●今後は「区役所改革の基本方針」に基づく取組を推進することにより、区役所を取り巻く地域課題の解決を図ることが必要です。
課題は増大している		
課題は同水準で存在する	■	
課題は縮小・解消している		

⑥次年度における事務事業の見直し結果

次年度における事務事業の見直し結果区分の説明	●「区役所改革の基本方針」に基づき、区役所機能の強化等の取組を進めます。
------------------------	--------------------------------------

「アクションプログラム2015」に基づく重点課題進行管理シート

①重点課題の内容等

基本戦略	5 誰もが生きがいを持てる市民自治の地域づくり	重点課題名	コンビニエンスストアにおける証明書交付に向けた取組
作成課	市民・子ども局区政推進部戸籍住民サービス課	関係課	
重点課題の内容	●2016年1月から交付を開始するマイナンバーカード（個人番号カード）は、多くの市民の取得が予想されており、その行政サービスの一つに挙げられているコンビニエンスストアにおける証明書交付を実施することで、市民の利便性（満足度）の向上及び事務の効率化を図ります。		
重点課題の解決に向けた目標	●2016年1月に個人番号カードを用いた実店舗テストを行い、コンビニエンスストアにおける証明書交付を開始します。		

②重点課題に位置付けられた事務事業の目標・実績等

事務事業名・予算額	前半			1年間		
	取組内容・目標	実績等（目標との差異や次期への方向性等）	区分	取組内容・目標	実績等（目標との差異や次期への方向性等）	区分
戸籍住民基本台帳事務	●戸籍事務、住民基本台帳事務、印鑑登録事務等の迅速かつ的確な提供 ●コンビニエンスストアにおける証明書交付に向けた準備・システム設計、調達	目標どおり達成できました。	3	●戸籍事務、住民基本台帳事務、印鑑登録事務等の迅速かつ的確な提供 ●コンビニエンスストアにおける証明書交付に向けた準備・交付開始 ・システム設計、調達 ・連携・実店舗テスト ・システム稼働、交付開始	目標どおり達成できました。	3
予算	1,501,263 千円					
決算見込	1,433,370 千円					

③重点課題の解決状況に関連する指標

	前半			1年間		
	計画・目標値	実績値（計画・目標値との差異）	区分	計画・目標値	実績値（計画・目標値との差異）	区分
指標①	コンビニエンスストアにおける証明書交付の円滑な開始に向けた「システム設計やテスト等の準備」が主たる業務内容であるため、指標となる数値設定にはそぐわない事業です。					

④重点課題の総合的な実施結果区分について

重点課題の総合的な実施結果区分		実施結果区分についての説明	●コンビニエンスストアにおける証明書交付に係るシステムを構築し、予定どおり連携テストから実店舗テストまでを実施し、2016年1月22日に当該システムを稼働しました。
目標を上回る成果があった			
目標どおりの成果があった	■		
目標を下回る成果があった			
ほとんど成果なし			

⑤課題の状況について

年度当初と比べた現時点での課題の状況区分		課題の状況区分についての説明	●コンビニエンスストアにおける証明書交付の利用に必要なマイナンバーカード（個人番号カード）について、想定を大きく上回る申請があったことから、カードの交付を着実に進めていくことが開始後の課題です。
課題は増大している			
課題は同水準で存在する	■		
課題は縮小・解消している			

⑥次年度における事務事業の見直し結果

次年度における事務事業の見直し結果区分の説明	●コンビニエンスストアにおける証明書交付の利用に必要なマイナンバーカード（個人番号カード）の交付を進めつつ、証明書の交付件数の動向等を注視し、証明書交付体制のあり方を引き続き検討していきます。
------------------------	--

3 重点課題進行管理シート 掲載ページ索引

「アクションプログラム2015」に基づく56の重点課題は、次のとおり基本戦略順に掲載しています。また、119ページ以降には作成局別の索引を掲載しています。

(1) 基本戦略順索引

基本戦略1 生命を守り生き生きと暮らすことができるまちづくり

No.	重点課題名	頁
1	防災機能の強化	16
2	国のグリーンニューディール基金を活用した低炭素化の推進・防災機能の強化	18
3	本庁舎等の建替えの取組	20
4	高齢者の多様な居住環境の整備	21
5	かわさき健幸福寿プロジェクトの推進	22
6	地域包括ケアシステムの構築に向けた取組	24
7	障害者の暮らしを支える取組の充実	27
8	がん検診の取組の強化	29
9	民間建築物の耐震化の促進	30
10	臨海部の防災・減災対策の推進	32
11	市立病院の機能強化に向けた取組	34
12	消防力の総合的な強化	36

基本戦略2 子どもを安心して育てることのできるふるさとづくり

No.	重点課題名	頁
1	質の高い保育・幼児教育の総合的な提供	38
2	小児医療費助成の拡充	41
3	青少年を地域で見守る取組	42
4	「キャリア在り方生き方教育」の推進	44
5	確かな学力の育成	46
6	一人ひとりの教育的ニーズに対応した総合的な支援	48
7	いのち・心の教育の推進と子どものSOSを見逃さない指導・相談体制の構築	50
8	中学校完全給食の導入に向けた取組	52
9	教育環境の整備	53
10	地域ぐるみで教育を支える環境の充実	55

基本戦略3 市民生活を豊かにする都市基盤と環境づくり

No.	重点課題名	頁
1	スマートシティの推進	57
2	地球温暖化対策の推進	59
3	国際環境施策の推進	62
4	資源循環社会の構築に向けた取組の推進	64
5	魅力ある都市拠点の整備（川崎駅周辺地区）	66
6	魅力ある都市拠点の整備（小杉駅周辺地区）	68
7	魅力ある都市拠点の整備（新百合ヶ丘駅周辺地区）	70
8	魅力ある都市拠点の整備（新川崎・鹿島田駅周辺地区）	71
9	魅力ある都市拠点の整備（溝口駅周辺地区）	72
10	魅力ある都市拠点の整備（鷺沼駅周辺地区）	73
11	魅力ある都市拠点の整備（登戸・向ヶ丘遊園駅周辺地区）	74
12	魅力ある都市拠点の整備（幹線道路）	75
13	身近な地域交通環境の整備	77
14	南武支線の機能強化	79
15	ユニバーサルデザインのまちづくりの推進	80
16	暮らしやすい住宅・住環境の整備	82
17	連続立体交差事業の推進	86
18	緑豊かな公園緑地の整備	88
19	上下水道施設の地震対策等の推進	90
20	川崎市バス事業経営プログラムに基づくバス事業の推進	92

基本戦略4 活力と魅力あふれる力強い都市づくり

No.	重点課題名	頁
1	市内の公衆無線LAN環境の整備	94
2	臨海部における国際戦略拠点の形成	95
3	「音楽のまち・かわさき」「映像のまち・かわさき」の推進	97
4	「スポーツのまち・かわさき」の推進	99
5	東京オリンピック・パラリンピックに向けた取組	101
6	ものづくり産業の支援	102
7	中小企業の成長促進	104
8	都市農業の振興	106
9	新川崎・創造のもり地区での新たな施設整備	108
10	臨港道路東扇島水江町線の整備等による川崎港の機能強化	109

基本戦略5 誰もが生きがいを持てる市民自治の地域づくり

No.	施策課題名	頁
1	有償ボランティア制度の検討	111
2	町内会・自治会活動の活性化	112
3	区への分権等に向けた取組	114
4	コンビニエンスストアにおける証明書交付に向けた取組	115

(2) 作成局別索引

※作成局は、2015年度時点の組織名称で掲載しています。

<総務局>

No.	重点課題名	頁
1	防災機能の強化	16
2	本庁舎等の建替えの取組	20
3	市内の公衆無線LAN環境の整備	94

<総合企画局>

No.	重点課題名	頁
1	スマートシティの推進	57
2	臨海部における国際戦略拠点の形成	95
3	東京オリンピック・パラリンピックに向けた取組	101
4	有償ボランティア制度の検討	111

<市民・こども局>

No.	重点課題名	頁
1	「音楽のまち・かわさき」「映像のまち・かわさき」の推進	97
2	「スポーツのまち・かわさき」の推進	99
3	町内会・自治会活動の活性化	112
4	区への分権等に向けた取組	114
5	コンビニエンスストアにおける証明書交付に向けた取組	115

<市民・こども局こども本部>

No.	重点課題名	頁
1	質の高い保育・幼児教育の総合的な提供	38
2	小児医療費助成の拡充	41
3	青少年を地域で見守る取組	42

<経済労働局>

No.	重点課題名	頁
1	ものづくり産業の支援	102
2	中小企業の成長促進	104
3	都市農業の振興	106
4	新川崎・創造のもり地区での新たな施設整備	108

<環境局>

No.	重点課題名	頁
1	国のグリーンニューディール基金を活用した低炭素化の推進・防災機能の強化	18
2	地球温暖化対策の推進	59
3	国際環境施策の推進	62
4	資源循環社会の構築に向けた取組の推進	64

<健康福祉局>

No.	重点課題名	頁
1	高齢者の多様な居住環境の整備	21
2	かわさき健幸福寿プロジェクトの推進	22
3	地域包括ケアシステムの構築に向けた取組	24
4	障害者の暮らしを支える取組の充実	27
5	がん検診の取組の強化	29

<まちづくり局>

No.	重点課題名	頁
1	民間建築物の耐震化の促進	30
2	魅力ある都市拠点の整備（川崎駅周辺地区）	66
3	魅力ある都市拠点の整備（小杉駅周辺地区）	68
4	魅力ある都市拠点の整備（新百合ヶ丘駅周辺地区）	70
5	魅力ある都市拠点の整備（新川崎・鹿島田駅周辺地区）	71
6	魅力ある都市拠点の整備（鷺沼駅周辺地区）	73
7	魅力ある都市拠点の整備（登戸・向ヶ丘遊園駅周辺地区）	74
8	身近な地域交通環境の整備	77
9	南武支線の機能強化	79
10	ユニバーサルデザインのまちづくりの推進	80
11	暮らしやすい住宅・住環境の整備	82

<建設緑政局>

No.	重点課題名	頁
1	魅力ある都市拠点の整備（溝口駅周辺地区）	72
2	魅力ある都市拠点の整備（幹線道路）	75
3	連続立体交差事業の推進	86
4	緑豊かな公園緑地の整備	88

<港湾局>

No.	重点課題名	頁
1	臨海部の防災・減災対策の推進	32
2	臨港道路東扇島水江町線の整備等による川崎港の機能強化	109

<上下水道局>

No.	重点課題名	頁
1	上下水道施設の地震対策等の推進	90

<交通局>

No.	重点課題名	頁
1	川崎市バス事業経営プログラムに基づくバス事業の推進	92

<病院局>

No.	重点課題名	頁
1	市立病院の機能強化に向けた取組	34

<消防局>

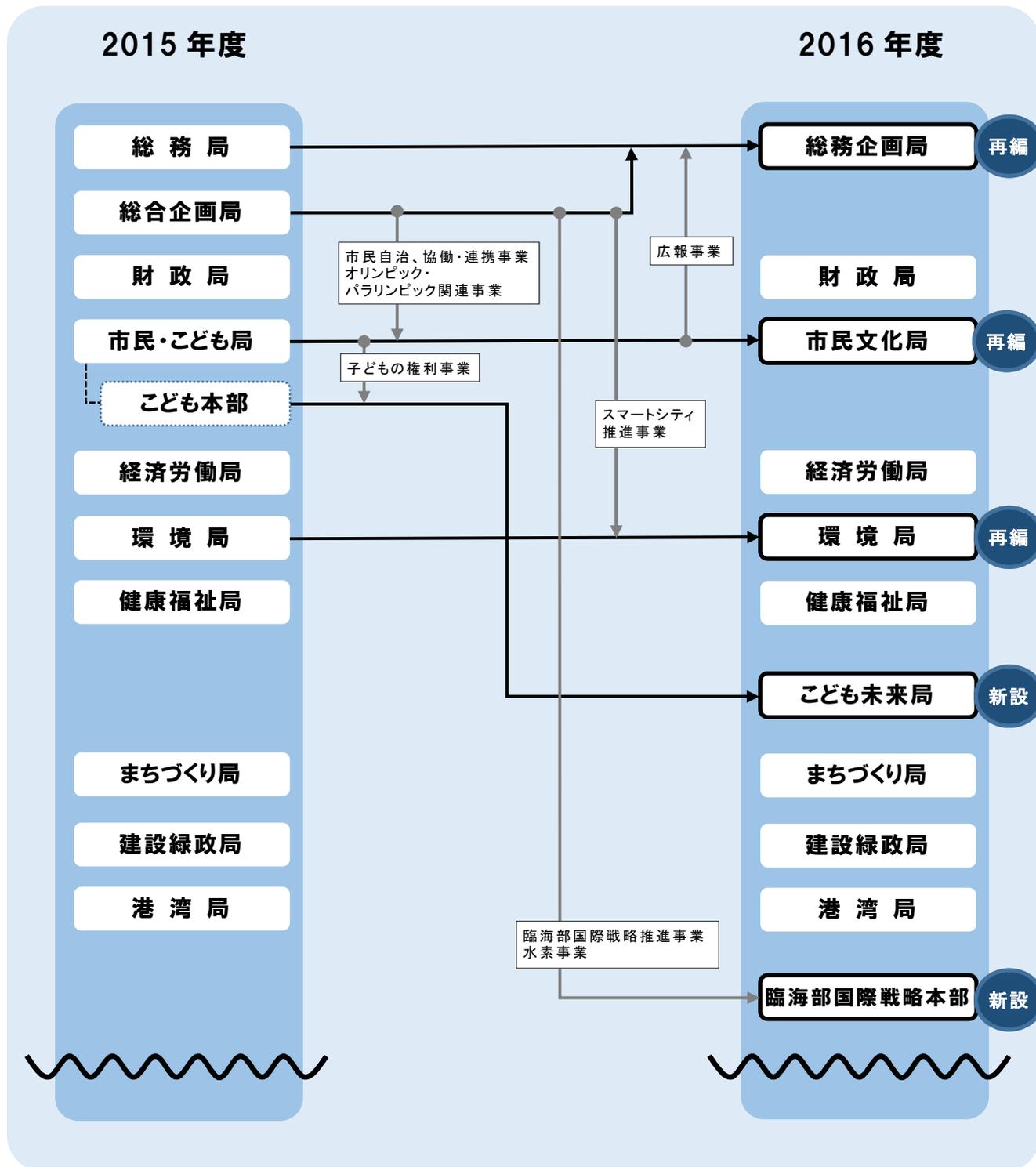
No.	重点課題名	頁
1	消防力の総合的な強化	36

<教育委員会事務局>

No.	重点課題名	頁
1	「キャリア在り方生き方教育」の推進	44
2	確かな学力の育成	46
3	一人ひとりの教育的ニーズに対応した総合的な支援	48
4	いのち・心の教育の推進と子どものSOSを見逃さない指導・相談体制の構築	50
5	中学校完全給食の導入に向けた取組	52
6	教育環境の整備	53
7	地域ぐるみで教育を支える環境の充実	55

※ 局再編成について

本冊子については、2015年度の組織名称で記載していますが、局再編成により2016年度の組織名称は次のとおり変更となっています。



参考資料 帳票

1 様式1 事務事業進行管理シート

2015年度 事務事業進行管理シート							様式1		
<事務事業の基礎情報>									
事務事業コード		事務事業名		重点課題					
事務事業所管組織				担当者名		連絡先			
事務事業の概要									
予決算 (単位：千円)	年度		2013年度		2014年度		2015年度		
			予算	決算	予算	決算	予算	決算	
	事業費		0	0	0	0	0	0	
	財 源 内 訳	国庫支出金		0	0	0	0	0	0
		市債		0	0	0	0	0	0
		その他特財		0	0	0	0	0	0
一般財源		0	0	0	0	0	0		
人工(単位：人)			0.00		0.00		0.00		
<目標・実績に関する情報>									
2015年度の 取組内容・目標									
2015年度の 目標の達成状況区分									
実績等(目標との差 異や次期への方向性 等)									
数値で把握すること が可能な事業	種類	数値指標の内容				2013	2014	2015	単位
				実績値					
				実績値					
				実績値					
				実績値					
				実績値					
<新たな総合計画に向けた事務事業の方向性に関する情報>									
事務事業のあり方に 関する検討方針	<input type="checkbox"/> 事務事業内容の見直し (<input type="checkbox"/> 事業規模拡大 <input type="checkbox"/> 事業規模縮小 <input type="checkbox"/> 事業手法・執行体制の変更 <input type="checkbox"/> その他) <input type="checkbox"/> 他事務事業との統合 <input type="checkbox"/> 事務事業の廃止 <input type="checkbox"/> 現状維持								
上記に関する補足事項									
上記の検討結果(事務事業を見直し、次年度に反映させた内容を含む)									

2 **様式2** 事務事業進行管理シート（重点課題用）

2015年度 事務事業進行管理シート(重点課題用)							様式2	
<事務事業の基礎情報>								
事務事業コード		事務事業名		重点課題				
事務事業所管組織				担当者名		連絡先		
事務事業の概要								
予決算 (単位：千円)	年度	2013年度		2014年度		2015年度		
		予算	決算	予算	決算	予算	決算	
	事業費	0	0	0	0	0	0	
	財 源 内 訳	国庫支出金	0	0	0	0	0	0
		市債	0	0	0	0	0	0
		その他特財	0	0	0	0	0	0
		一般財源	0	0	0	0	0	0
人工(単位：人)		0.00		0.00		0.00		
<目標・実績に関する情報>								
2015年度の 取組内容・目標	前半			1年間				
2015年度の 目標の達成状況区分								
実績等(目標との差 異や次期への方向性 等)								
数値で把握すること が可能な事業	種類	数値指標の内容			2013	2014	2015	単位
					実績値			
					実績値			
					実績値			
					実績値			
					実績値			
<新たな総合計画に向けた事務事業の方向性に関する情報>								
事務事業のあり方 に関する検討方針	<input type="checkbox"/> 事務事業内容の見直し (<input type="checkbox"/> 事業規模拡大 <input type="checkbox"/> 事業規模縮小 <input type="checkbox"/> 事業手法・執行体制の変更 <input type="checkbox"/> その他) <input type="checkbox"/> 他事務事業との統合 <input type="checkbox"/> 事務事業の廃止 <input type="checkbox"/> 現状維持							
上記に関する補足事項								
上記の検討結果(事 務事業を見直し、次 年度に反映させた内 容を含む)								

3 **様式3** 事務事業進行管理シート（その他の事務事業用）

2015年度 事務事業管理シート							様式3	
<事務事業の基礎情報>								
事務事業コード		事務事業名						
事務事業所管組織					担当者名		連絡先	
事務事業の概要								
予決算 (単位：千円)	年度	2013年度		2014年度		2015年度		
		予算	決算	予算	決算	予算	決算	
	事業費	0	0	0	0	0	0	
	財 源 内 訳	国庫支出金	0	0	0	0	0	0
		市債	0	0	0	0	0	0
		その他特財	0	0	0	0	0	0
		一般財源	0	0	0	0	0	0
人工 (単位：人)		0.00		0.00		0.00		
<新たな総合計画に向けた事務事業の方向性に関する情報>								
事務事業のあり方に関する検討方針	<input type="checkbox"/> 事務事業内容の見直し (<input type="checkbox"/> 事業規模拡大 <input type="checkbox"/> 事業規模縮小 <input type="checkbox"/> 事業手法・執行体制の変更 <input type="checkbox"/> その他) <input type="checkbox"/> 他事務事業との統合 <input type="checkbox"/> 事務事業の廃止 <input type="checkbox"/> 現状維持							
上記に関する補足事項								
上記の検討結果（事務事業を見直し、次年度に反映させた内容を含む）								

4 様式4 「アクションプログラム2015」に基づく重点課題進行管理シート

「アクションプログラム2015」に基づく重点課題進行管理シート						様式4																																																																					
<①重点課題の内容等> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-top: 10px;"> <tr> <td style="width: 40%;"></td> <td style="width: 20%; text-align: center;">担当者</td> <td style="width: 20%;"></td> <td style="width: 20%; text-align: center;">連絡先</td> <td style="width: 10%;"></td> <td style="width: 10%;"></td> <td style="width: 10%;"></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">基本戦略</td> <td colspan="2"></td> <td style="text-align: center;">重点課題名</td> <td colspan="3"></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">作成課</td> <td colspan="2"></td> <td style="text-align: center;">関係課</td> <td colspan="3"></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">重点課題の内容</td> <td colspan="6"></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">重点課題の解決に向けた目標</td> <td colspan="6"></td> </tr> </table>								担当者		連絡先				基本戦略			重点課題名				作成課			関係課				重点課題の内容							重点課題の解決に向けた目標																																								
	担当者		連絡先																																																																								
基本戦略			重点課題名																																																																								
作成課			関係課																																																																								
重点課題の内容																																																																											
重点課題の解決に向けた目標																																																																											
<②重点課題に位置付けられた事務事業の目標・実績等> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-top: 10px;"> <thead> <tr> <th rowspan="2" style="width: 15%;">事務事業名・予算額</th> <th colspan="3" style="width: 35%;">前半</th> <th colspan="3" style="width: 35%;">1年間</th> </tr> <tr> <th style="width: 20%;">取組内容・目標</th> <th style="width: 15%;">実績等（目標との差異や次期への方向性等）</th> <th style="width: 5%;">区分</th> <th style="width: 20%;">取組内容・目標</th> <th style="width: 15%;">実績等（目標との差異や次期への方向性等）</th> <th style="width: 5%;">区分</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">予算</td> <td colspan="6"></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">千円</td> <td colspan="6"></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">決算見込</td> <td colspan="6"></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">千円</td> <td colspan="6"></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">予算</td> <td colspan="6"></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">千円</td> <td colspan="6"></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">決算見込</td> <td colspan="6"></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">千円</td> <td colspan="6"></td> </tr> </tbody> </table>							事務事業名・予算額	前半			1年間			取組内容・目標	実績等（目標との差異や次期への方向性等）	区分	取組内容・目標	実績等（目標との差異や次期への方向性等）	区分	予算							千円							決算見込							千円							予算							千円							決算見込							千円						
事務事業名・予算額	前半			1年間																																																																							
	取組内容・目標	実績等（目標との差異や次期への方向性等）	区分	取組内容・目標	実績等（目標との差異や次期への方向性等）	区分																																																																					
予算																																																																											
千円																																																																											
決算見込																																																																											
千円																																																																											
予算																																																																											
千円																																																																											
決算見込																																																																											
千円																																																																											
<③重点課題の解決状況に関連する指標> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-top: 10px;"> <thead> <tr> <th rowspan="2" style="width: 15%;"></th> <th colspan="3" style="width: 35%;">前半</th> <th colspan="3" style="width: 35%;">1年間</th> </tr> <tr> <th style="width: 20%;">計画・目標値</th> <th style="width: 15%;">実績値（計画・目標値との差異）</th> <th style="width: 5%;">区分</th> <th style="width: 20%;">計画・目標値</th> <th style="width: 15%;">実績値（計画・目標値との差異）</th> <th style="width: 5%;">区分</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">指標①</td> <td colspan="6"></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">指標②</td> <td colspan="6"></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">指標③</td> <td colspan="6"></td> </tr> </tbody> </table>								前半			1年間			計画・目標値	実績値（計画・目標値との差異）	区分	計画・目標値	実績値（計画・目標値との差異）	区分	指標①							指標②							指標③																																									
	前半			1年間																																																																							
	計画・目標値	実績値（計画・目標値との差異）	区分	計画・目標値	実績値（計画・目標値との差異）	区分																																																																					
指標①																																																																											
指標②																																																																											
指標③																																																																											

<④重点課題の総合的な実施結果区分について>

重点課題の総合的な実施結果区分		実施結果区分についての説明	
目標を上回る成果があった			
目標どおりの成果があった			
目標を下回る成果があった			
ほとんど成果なし			

<⑤課題の状況について>

年度当初と比べた現時点での課題の状況区分		課題の状況区分についての説明	
課題は増大している			
課題は同水準で存在する			
課題は縮小・解消している			

<⑥次年度における事務事業の見直し結果>

次年度における事務事業の見直し結果区分の説明	
------------------------	--

「アクションプログラム 2015」
実施結果

平成28年8月発行

問い合わせ先

川崎市総務企画局都市政策部企画調整課

TEL 044-200-2037

FAX 044-200-0401

E-mail 17kityo@city.kawasaki.jp

HP <http://www.city.kawasaki.jp>



Colors, Future!

いろいろって、未来。

川崎市